林原編年	山陰地方			瀬戸内
	西部	中部	東部	東部
	島式	島式	島式	福田Ｋ２式古段階
林原Ⅰ期	暮地式	暮地式	暮地式	福田Ｋ２式新段階
林原Ⅱ期	刻目隆帯文土器群？	（松ノ木式類似土器） （北原本郷ＤＴ05段階）	布勢式古段階	大浦浜下層式
			布勢式新段階	なつめの木式
林原Ⅲ期	（イセ遺跡）	林原式	（桂見遺跡・栗谷遺跡）	津雲Ａ式
林原Ⅳ期		崎ヶ鼻１式		
林原Ⅴ期	＋	崎ヶ鼻２式	（智頭枕田遺跡ＳＩ資料？）	彦崎Ｋ１式

第132図　山陰地方の縄文後期中葉の編年試案

客体的である点など、崎ヶ鼻式には無い特徴を多く持つ。これらは、母体となる布勢式からの連続的な変遷を追えるため、山陰東部には中部とは異なる型式が成立していた可能性が高い。

当地の土器は、口縁部を平板上に肥厚させ、区画文を配する津雲Ａ式的要素と、多条沈線による文様意匠を基本とする北白川上層式１期的な要素に加え、崎ヶ鼻式的要素である入組文を持つなど、隣接する三地域の特徴を兼ね備えた土器として理解される。

該期の土器は桂見遺跡（牧本他編1996）や栗谷遺跡（谷岡編1989ａ、1989ｂ、1990）でまとまって出土しており、以下のような変遷が追える（第130図）。林原式並行の土器は、比較的ゆるやかな波状口縁を呈し、一条の沈線による入組文や連弧文、区画文が施される（９～16）。双頭の波頂部を持つものも該期に属すると思われる。続く崎ヶ鼻１式並行期になると、沈線の数が増え、多条沈線による入組文や山形文、区画文を描く（17～22）。そして崎ヶ鼻２式並行期の土器（23～33）は、波頂部がより急角度になることで、相対的に口縁部主文様の描かれる面積が増え、沈線のさらなる多条化へと向かう。区画文は姿を消し、口縁部主文様と従文様を連結した文様が主体となる。前段に比べ口縁部肥厚帯がゆるくなり、口縁端部を面取りするものが増えるようだ。まとまった資料としては、最近報告された智頭枕田遺跡ＳＩ資料（酒井編2006）が相当するかもしれない。ただし、これらの検討は確たる根拠があるわけではないので、今後の課題としておきたい。

山陰西部ではイセ遺跡出土土器群（渡辺編1993）がある（第131図）。これらも、前段階の刻目隆帯文土器群からの変遷がうかがえ、崎ヶ鼻式とは異なる特徴を有していると言える。

さて、これまでの検討をもとにして、千葉豊（千葉1989）、柳浦俊一（柳浦2000）、山崎真治（山崎2003）らの研究成果を参考に作成したものが第132図の編年表である。これを見ると、山陰地方は縁帯文成立期を境に東部、中部、西部に分かれ、それぞれが近接する地域の影響を受けながら独自に展開していることが分かる。こうした地域区分は、土器の底部形態（幸泉2004）や石器製作技術構造（稲田2007）、竪穴住居や石囲炉、石棒（濱田2000）などからも言及されており、縁帯文成立期以降に細かな地域性が顕在化していることは間違いないと思われる。

註

（１）　このような考えは、より強い屈曲を見せる布勢式には橋状把手が多用され、比較的くびれの弱い松ノ木式や橋詰式には橋状把手がほとんど見られない点からも支持される。

（２）　千葉豊氏のご教示による。

（３）　時期は異なるが、彦崎Ｋ２式先行土器群の内文にも同様の解釈が与えられている（橋本1994）。

（４）　この指標を用いると、山陰中部の後期土器埋設遺構のうち、そのほとんどが磨消縄文土器期に帰属される。後期の土器埋設遺構の特徴は、逆位で埋められ底部が欠損している点である。興味深いことに、面白谷遺跡の単耳壺や暮地遺跡の浅鉢の底部が意図的に打ち抜かれた状態で出土しており、該期には底部の打ち抜き行為が、頻繁に行なわれていたのかもしれない。

第２節　林原遺跡出土剥片石器群の石器製作技術構造

１．はじめに

林原遺跡では、磨消縄文土器期から縁帯文土器期にわたる石器群が出土している。これらのうち、特に剥片石器に焦点をあて、その製作技術について検討してみたい。その際に、まず帰属時期の明確な肥厚型縁帯文土器期の資料を分析し、その後に磨消縄文土器期、縁帯文成立期の石器製作技術構造を抽出する。なお、石器の分類には筆者の論文（稲田2005、2006、2007）を用いる。

２．肥厚型縁帯文土器期の石器製作技術構造

ｉ）林原Ⅲ期～Ⅴ期の利用石材

第133図は、林原Ⅲ期からⅤ期にかけての石材別利用表である。これを見ると、点数、重量ともに最も多く利用されているのは黒曜石であることが分かる。従来、山陰地方の縄文後期はサヌカイトの利用が増加する時期とされてきたが（竹広2000など）、肥厚型縁帯文土器期では黒曜石の利用率が高いようだ。続いて利用率が高いのはサヌカイトで、点数では黒曜石の２分の１、重量では３分の１が利用されている。

以上から、林原遺跡の石器製作は黒曜石を主要石材としていたと判断され、林原遺跡の石器製作技術構造を復元するにあたって、まず黒曜石製の石器製作工程の検討から始めよう。

ii）黒曜石製石器製作工程

【素材搬入形態】

黒曜石の素材搬入形態を検討してみる。林原遺跡では黒曜石原石の出土は見られなかったが、ＳＫ18より興味深い資料が出土している。第68図１と２は、大型剥片を素材とした石核で、両者は土坑内に納められていた。出土状況から見て黒曜石貯蔵穴と判断され、山陰地方では初の検出例となる。出土した黒曜石は、接合して大角礫に近い状態になる。黒曜石製の大角礫は、黒曜石利用の高まる縄文前期には認められず、唯一、原産地直下に位置する隠岐の島町宮尾遺跡でのみ確認されている（稲田2005）。後期の例としては、米子市古市河原田遺跡（鳥取県教育文化財団編1999）や、時期不明ながら可能性の高い資料として家の後Ⅱ遺跡（熱田編2007）などがあげられる。類例は少ないが、素材搬入の一形態として大角礫が採用されていた可能性が高いだろう。こうした黒曜石貯蔵穴や大角礫の存在から、後期段階には前期と異なった黒曜石流通形態がとられていたと推測される。具体的にどのような流通形態がとられていたかは、さらなる検討が必要であるが、こうした黒曜石製大角礫を保有する遺跡が、黒曜石流通の際に中核となっていたと推定される。

点数

	Cr	Pe	Fl	Ch	Ah	Awl	Ssc	抉	鈎	N	Rf	Uf	計
Ob	3	18	46	84	8	7			3	2	4	10	185
San	2	1	24	29	19	7	3	5			1	1	92
An	1		4	4			1						10
Ag			1	1		1							3
Sh				2									2
Cr	1	1											2
計	7	20	75	120	27	15	4	5	3	2	5	11	294

重量

	Cr	Pe	Fl	Ch	Ah	Awl	Ssc	抉	鈎	N	Rf	Uf	計
Ob	304.9	93.8	83.6	30.6	5.9	20.3			7	6.4	5.1	25.6	583.2
San	13.2	1.4	43.7	8.9	16	13.8	9.7	47.9			2.1	6.4	163.1
An	487.21		21.5	1.8			201.85						712.36
Ag			1.6	1		1.4							4
Sh				0.9									0.9
Cr	2.8	2.6											5.4
計	808.11	97.8	150.4	43.2	21.9	35.5	211.55	47.9	7	6.4	7.2	32	1468.96

第133図　林原Ⅲ～Ⅴ期の石材利用

点数

	Cr	Pe	Fl	Ch	Ah	Awl	Ssc	抉	鈎	N	Rf	Uf	計
Ob	2	5	29	76	6	4				2	1	3	128
San		12	61	52	19	3		3	1	1	3		155
An			10	4			2				1		17
Ag													
Sh			1										1
Cr			2	3			1					1	7
計	2	17	103	135	25	7	3	3	1	3	5	4	308

重量

	Cr	Pe	Fl	Ch	Ah	Awl	Ssc	抉	鈎	N	Rf	Uf	計
Ob	3.5	16.3	58.1	19.7	5.2	6.7				3.8	1	8.2	122.5
San		40.8	135.1	17.8	11.3	5.5		19	4.8	3	12		249.3
An			117.7	5.9			563.48				2.7		689.78
Ag													
Sh			2										2
Cr			3.2	2			3.3					3.3	11.8
計	3.5	57.1	316.1	45.4	16.5	12.2	566.78	19	4.8	6.8	15.7	11.5	1075.38

第134図　林原Ⅰ～Ⅴ期の石材利用

【剥片剥離技術】

続いて、剥片剥離技術について検討する。石核は、大角礫を分割した大型剥片を素材としており、求心的に剥離し残核形状が盤状のもの（Ｃ類石核、稲田2007分類）、打面を頻繁に転移し残核形状がサイコロ状のもの（Ｄ類石核）、一方向から交互剥離を行ない残核形状がチョッピングトゥール状のもの（Ｇ類石核）の３者が存在する。

Ｃ類石核（第68図２）は剥離面や礫面を打面とし、径が５㎜程度のハードハンマーを用いた直接打撃によって剥離している。剥離角は幅広く、60度から120度まである。剥離面の末端は大きなヒンジになっており、手首にスナップをきかせて、石核中心部へ向けて深めに加撃していたことが分かる。そのため、得られた剥片はかなり分厚いものであったと思われ、最低でも８㎜から1.5㎝程度の厚さの不定形剥片が予想される。

Ｄ類石核（第91図１）は、厚めの剥片を素材として径が１㎜程度のソフトハンマーによって剥離している。剥離角はおおむね110度から120度にまとまり、剥片は小型で薄手のものが大半だったと推測される。

Ｇ類石核（第68図１）は、径が２㎜程度のハードもしくはソフトハンマーによる直接打撃で、剥離作業面を交互に入れ替えながら剥離している。剥離角は70度から80度と規則的である。石核の下端部側が平坦であることから、こちら側を手で固定して剥離していたと推測される。剥離の末端はフェザーエンドが多く、剥離される剥片は比較的薄い幅広剥片であったようだ。また、実測図左面左側縁の剥離面には、ハンマーの打撃痕が残っており、剥離失敗の痕跡と判断される。

この他に剥片生産が想定される器種として、楔形石器（Ｅ類石核）があげられる。林原遺跡では多量の楔形石器が出土しており、石器組成の中でも主体をしめる。厚めの剥片を素材とし、径が１㎜程度のソフトハンマーを用いた垂直加撃で、線状打面を持つ薄手の小型縦長剥片を剥離している（第75図６、７）。また、楔形石器の中には平坦打面を持つものが多く、当初から打面と作業面の区別が行なわれていたことが分かる。

以上から林原遺跡の剥片剥離技術を復元すると、

①剥片剥離技術Ⅲ：大角礫→大型剥片→ハードハンマーによる求心剥離→厚手の大型不定形剥片
②剥片剥離技術Ⅳ：厚めの剥片→ソフトハンマーによるランダムな剥離→薄手の不定形小型剥片
③剥片剥離技術Ⅴ：厚めの剥片→ソフトハンマーによる両極技術→薄手の小型縦長剥片
④剥片剥離技術Ⅶ：大角礫→大型剥片→ハード、ソフトハンマーによる交互剥離→薄手の大型幅広剥片

としてまとめられる。石核の出土量から各剥片剥離技術の割合を見てみると、①：②：③：④＝１：１：18：１となり、剥片剥離技術Ⅴが大多数であったようだ。次は、得られた剥片がどのように器種利用されるかを検討してみる。

【器種製作技術】

今回認定された黒曜石製石器の器種は、石鏃、石錐１類、石錐２類、釣針型石器、ノッチ、ＲＦ、ＵＦ、楔形石器であり、ＳＳＣ等の刃器類は製作されていない。残存する素材面の観察から、石鏃、石錐１類、ノッチには薄手の剥片を、石錐２類や釣針型石器、楔形石器には、厚手の剥片を多用する傾向にある。従って、前者は剥片剥離技術Ⅳ、Ⅴ、Ⅶと親縁性が高く、後者は剥片剥離技術Ⅲと対応することが指摘できよう。ただし、両者は排他的な関係にはなく、あくまでも傾向として認め

られるものである。

石鏃は、基部から先端部にかけて平坦な押圧剥離が施される。凹基式が多いが、早期や前期のものに比べると抉りが浅い傾向がある。また全体的に小型で２㎝前後に収まる場合が多い。

石錐１類は、薄手の剥片を用いて急斜度押圧剥離で錐部を作出している。基部は素材面を残すものが多く、ほとんどの資料が折断調整を行なっている。石錐２類は、厚手の剥片を利用し、平坦剥離や急斜度押圧剥離を用いて複数面を加工することで立体的な錐部を作り出している。これも基部に素材面を残す傾向があるが、折断調整は少ない。

釣針型石器は、該期に特徴的に組成される器種である。急斜度押圧剥離によって全面を整形し、釣針状に加工する。中には本物の釣針のように逆刺がつくものも存在する。基部は、折断もしくは二又状に加工される。用途は不明だが、第61図17は先端に樋状剥離が確認され、これが使用による結果であるなら、何らかの刺突具としての機能が推定される。

ノッチは、急斜度押圧剥離を用いて抉りを入れ、刃部としている。抉り以外の箇所に微細剥離痕が見られることも多く、多機能的な器種と考えられる。

ＲＦは、そのほとんどが石鏃や石錐の未製品と考えられ、また刃器として用いられたものも含まれるようだ。ＵＦは薄手の剥片の鋭いエッジをそのまま用いている。

ⅲ）その他の石材の石器製作工程

続いて、その他の石材の石器製作工程を検討する。サヌカイト製石器製作工程では、大型剥片を素材とした剥片剥離技術Ⅲと剥片剥離技術Ⅴによって、薄手の小型剥片を剥離している。得られた剥片は、黒曜石とほぼ同じ器種に加工されるが、小型ＳＳＣや抉入石器などの刃器類は、サヌカイト製石器製作工程のみに配置され、器種製作における石材別の使い分けとして注目される。

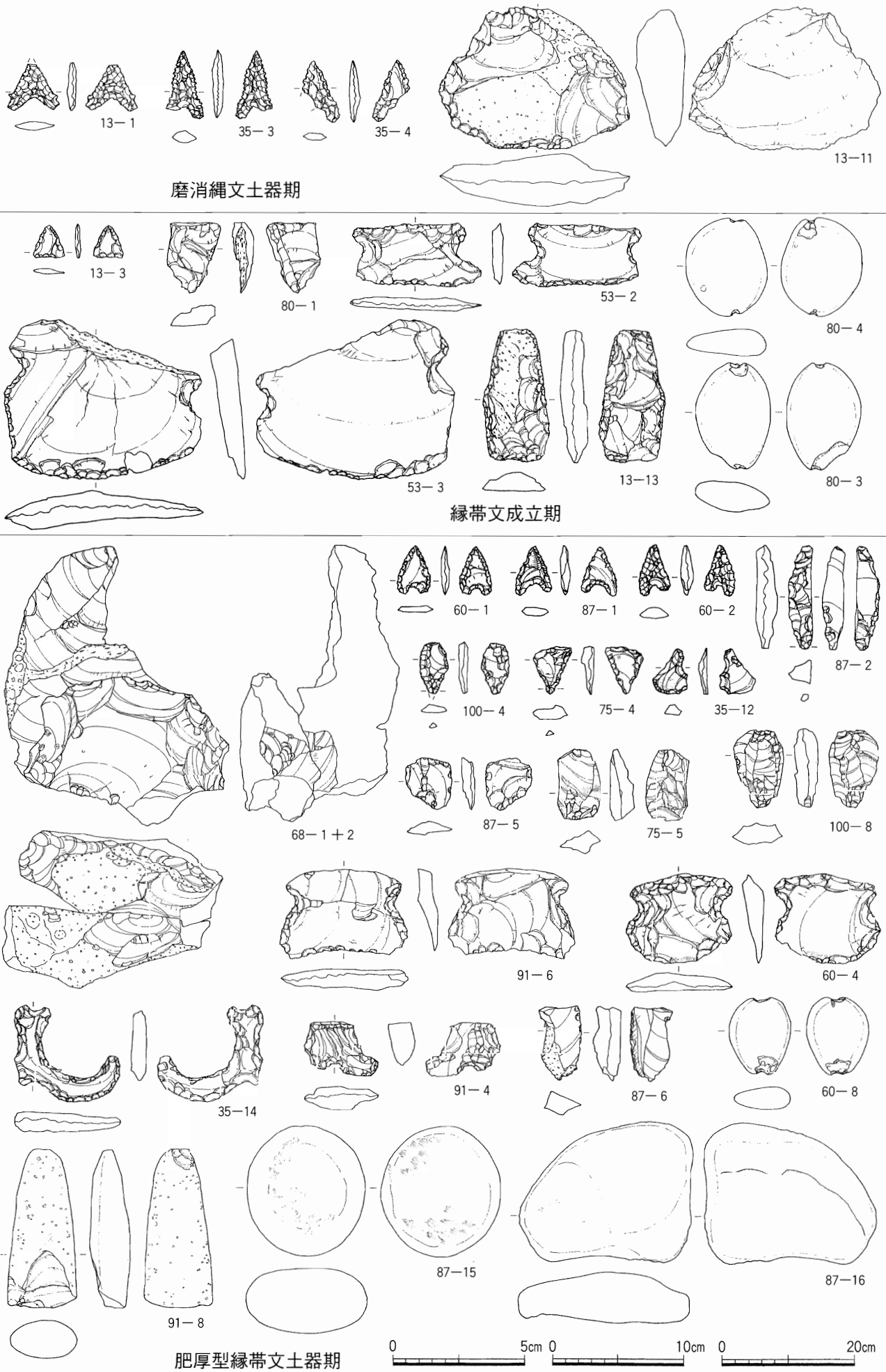
小型ＳＳＣ（第75図８）は、押圧剥離によって刃部を作出し、折断調整が見られる。抉入石器（第60図４、第91図６など）は、大型剥片を用いるものが多く、搬入された剥片をそのまま用いて加工していたと推測される。急斜度押圧剥離で抉部を作り、刃部は未調整の場合が多い。刃部が使用によって摩滅しているものが散見され、かなり頻繁に利用されていたことが分かる。

次に安山岩製石器製作工程を見てみる。大粒の斑晶が入る安山岩を使用しており、このような石材は斐伊川中流域で採取可能である。石核は、大型剥片を用いたＧ類石核（第87図８）があり、２㎜から３㎜程度の径を持つソフトハンマーを用いて大型幅広剥片を剥離している。この点は、黒曜石製のＧ類石核と共通し、剥離技術とハンマーに何らかの対応関係が存在していた可能性がある。

大型剥片の用途は不明だが、ＤＴ５では流紋岩製の大型ＳＳＣ（第87図７）が出土しており、ＤＴ１－２でも斑晶の多い安山岩を用いた大型ＳＳＣが見られることから、大型刃器類への利用が考えられる。この他に、玉髄・メノウや水晶も用いられているが、量的に僅かであるため割愛する。

ⅳ）林原型石器製作技術構造

これまでの分析をまとめ、林原遺跡の石器製作技術構造を復元する。林原遺跡では、黒曜石製石器製作工程を主体としながら、刃器類の製作においてサヌカイトと石材別の使い分けが確認できた。このような技術構造は、早期や前期でも一般的に見られ、その意味では山陰地方の伝統的な石器製作技術を継承していると言えよう。だが一方で、黒曜石の大角礫を搬入する点、大角礫と結びついた剥片剥離技術Ⅶが見られる点、剥片剥離技術Ⅴが圧倒的主体となる点、釣針型石器や抉入石器など新たな器種が製作される点などから、早期や前期の石器製作技術構造とは区別可能であり、この



第135図　林原遺跡出土石器変遷図（S＝1/3、1/6、1/12）

ような石器製作技術構造を、林原遺跡出土資料を標識として**林原型石器製作技術構造**と設定する。

林原型は山陰地方の肥厚型縁帯文土器期に成立し、その分布範囲は、三瓶山以東から大山にかけての山陰地方中部域に広がっている（稲田2007）。これは、林原式や崎ヶ鼻式の分布範囲とおおむね重なると考えており、山陰中部の地域性を表す一要素として注目される。では次に、磨消縄文土器期、縁帯文成立期の石器製作技術構造を抽出してみよう。

３．磨消縄文土器期、縁帯文成立期の石器製作技術構造

第134図は、磨消縄文土器期から肥厚型縁帯文土器期の資料が混在するＤＴ１－１、ＤＴ１－２、ＤＴ４の利用石材別器種別一覧表である。これを見ると、肥厚型縁帯文土器期とは異なり、サヌカイトが最も多く利用されていることが分かる。また、安山岩や頁岩、水晶などの地元石材が比較的多いことも指摘しておきたい。製作される器種は、鋸歯縁鏃やサヌカイト製打製石斧など、林原型にはない器種が存在する。これらのことから、磨消縄文土器期と縁帯文成立期には、肥厚型縁帯文土器期とは違う石器製作技術構造がとられていたと判断される。

最も多くの石器を出土したＤＴ１－１・２は、林原型との混在が予想されるためより純粋な時期的まとまりを持つ資料を例示すると、磨消縄文土器期の資料として奥出雲町前田遺跡（西尾他編2005）が、縁帯文成立期の資料として同町北原本郷遺跡ＤＴ05資料（熱田他編2007）があげられる。

前田遺跡では、黒曜石を用いて鋸歯縁鏃などの石鏃を製作する工程と、安山岩や頁岩など地元の石材を用いてＵＦなど刃器類を作る工程の２者があり、これを**前田型石器製作技術構造**と呼ぶ。

北原本郷遺跡ＤＴ05では、サヌカイトを主体とした石器製作が行なわれ、石鏃や石錐、大型ＳＳＣなどが作られる。特に注目されるのは新たに登場した抉入石器と打製石斧で、両者ともサヌカイトが用いられる。抉入石器は、林原型のそれと比べて若干大型であり、長さ４㎝以上の大型剥片を素材としている。サヌカイト製打製石斧は、石材が剥片石器と共通していることから、その調整剥片を他の器種へと利用することができ、この点は山陰地方の石器製作技術と一線を画する。こうした石器製作技術構造を**北原本郷型石器製作技術構造**と呼ぶ。

このように、当地域の石器製作技術構造は前田型（磨消縄文土器期）、北原本郷型（縁帯文成立期）、林原型（肥厚型縁帯文土器期）の３者を確認できる。ではここで、改めてＤＴ１－１・２、ＤＴ４の資料を整理してみよう。林原型と推定される資料を差し引いた残りの石器群のうち、黒曜石やサヌカイト製鋸歯縁鏃と、安山岩や水晶製刃器類は前田型に、サヌカイトを多用した石器群や大型の抉入石器、サヌカイト製打製石斧は北原本郷型に比定できる。従って、ＤＴ１－１・２、ＤＴ４の資料は、これら３類型の混在と理解でき、これは土器型式の混在状況と合致している。

４．まとめ

以上、林原遺跡の石器製作技術構造を分析してきた。その結果、林原遺跡では前田型→北原本郷型→林原型と、３段階の時期的変遷が認められた（第135図）。そこには、石材利用を軸とした大きな画期が存在しており、背景には、人間集団の動きや生業・居住戦略の変化が関与していると想定している（稲田2007）。また、これまで石器の時期決定には土器型式のみが用いられてきたが、石器そのものからもある程度時期を決定しうることを示した。今後もこうした検討を通時的に行ない、縄文時代石器群の編年を確立していく必要があるだろう。

第３節　林原遺跡から見た山陰地方縄文後期集落の一様相

１．はじめに

山陰地方の縄文時代集落像は、高橋護（高橋2000、2001）や山田康弘（山田2002）によって大枠が論じられている。両者は、山陰地方の遺跡群が概して小規模である点を確認した上で、高橋はこれを農耕集団の散村形態と捉え、山田は２棟単位の世帯または家族による、移動や定住を繰り返すフレキシブルな居住形態の現われと説いた。解釈こそ異なるものの、両者の議論の中心に据えられているのは、東日本との比較の中で抽出された遺跡の「小規模性」であり、この点は山陰地方に留まらず西日本全域で議論の焦点になっている（瀬口2005など）。

しかし、一概に「小規模」といっても、その中にも多様な遺跡間格差は存在しているのであって、これは東日本との比較の上では見出すことはできない。あくまで、山陰地方内部での比較作業が必要であり、特に志津見・尾原ダムの成果を得た今、こうした検討が具体的に行なえる段階にきていると言えよう。ここでは、前節で検討した土器と石器の分析を踏まえ、肥厚型縁帯文土器期の集落像について、林原遺跡を中心に検討してみたい。

２．肥厚型縁帯文期における林原遺跡の集落像

林原遺跡の最大の特徴は、時期の異なる土器溜まり（以下ＤＴ）が環状を呈して検出されたことである。そこでまず、これらＤＴの性格について検討してみよう。

第136図はＤＴごとの特徴をまとめたものだが、まず注目したいのは、ＤＴ直下に検出された焼土や石囲炉、硬化面などの遺構である。これらは通常住居址に伴う遺構で、特に単独での検出例が少ない石囲炉は、そこに住居址が存在していたことを強く示唆する。

また、唯一明確に住居址と認定できるＳＩ01では、住居址内の埋土に多量の遺物が一括廃棄されていた。同様の廃棄事例は、松江市勝負遺跡（川原編2007）や家の後Ⅱ遺跡（熱田編2007）でも確認できる事から、ＤＴの成因もこれに準じて考えることができるだろう。以上から、ＤＴの直下には、屋内炉を備えた住居址が存在していた可能性が高いと思われる(1)。

ＤＴの特徴について、もう少し詳細に見てみよう。各ＤＴは直下の遺構の他に、周囲に焼土や配石遺構、土坑、石器集中区、石錘溜まり、土偶を伴うことが多い（第136図）。焼土は屋外炉、配石遺構は配石遺構04、09など墓坑と推定されるものを含む。石錘溜まりは10点程度のまとまりを持ち、これを魚網具の１単位とするなら、住居ごとに魚網具を所有・保管していたと言える。土器や石器は、ＤＴごとに安定的な器種組成を示し、特に剥片石器は、剥片・チップ類を中心とした石器集中

		DT1−1･2	DT2	DT3	DT4	DT5	DT6	DT7	DT8	SI01
DT直下	焼土		○	○				○	○	○
	炉			石囲炉				石囲炉		
	硬化面			○				○	○	
DT周辺	焼土	○	○				○	○		○
	配石遺構	○	○			○	○	○		○
	土坑	○	○	○	○					
	石器集中区	○	○	○			○	○	○	
	石錘溜まり	○	○			○	○			
遺物	土偶	○	○	○				○		○
	石錘	178	29	6	5	73	19	83	0	4

注１：ＤＴ１−１、１−２の石錘は両者の合計値である。内訳はＤＴ１−１で69点、ＤＴ１−２で108点となる。
注２：ＤＴ２、ＤＴ５、ＤＴ６の石錘は石錘溜まりの点数も含めている。

第136図　ＤＴ直下及び周辺の遺構・遺物一覧

部がＤＴに隣接されていることから、石器製作がＤＴごとに独立して行なわれていたと判断される。この他に「第二の道具」とされる土偶も、ＤＴやＳＩに付属して見つかることが多く、祭祀具も住居単位での保有が推定される。

以上をまとめると、林原遺跡のＤＴは、屋内炉を配した住居址に加え、それぞれが屋外炉、墓、土器や石器製作、祭祀具といった、集落を構成する一連の要素を備えていることが分かるだろう（第137図）。すなわち各ＤＴは、各々が独立して完結的な経済活動を営むことを可能にしており、概期の住居址は、生産・消費における最小の単位として理解することができよう。山田康弘の検討によれば、１住居址の居住人数は５人以下であったとされ、これらは何らかの血縁関係を持つ家族ないし世帯であった可能性が指摘されている（山田2002）。従ってここでも、ＤＴを形成した集団を、５人程度の家族や世帯として捉えておこう。

さて、各ＤＴを住居址と仮定した場合、林原遺跡には最低９棟の住居址を認定することになる。しかし第１節で見たように、各ＤＴには時期差が存在しており、全ての住居址が同時存在しているわけではない。１時期に限定できるＤＴは少ないが、遺跡利用の極大値を向かえる林原式期について見てみると、少なくともＤＴ３、ＤＴ６、ＤＴ７が同時併存していたと思われ、ＤＴ１－１もその可能性を持つ。続く崎ヶ鼻1式期には減少するが、崎ヶ鼻２式期にはＤＴ２、ＤＴ８、ＳＩ01とやはり最低３棟が併存するなど、複数棟の同時併存は間違いないと思われる。

このように、林原遺跡では各々が自立性を持った家族ないし世帯が、複数集まって生活するあり方が復元される。ＤＴが環状を呈する理由についてはなお検討を要するが、居住空間の重層的利用の結果であることは間違いなく、この点において東日本的な集落構造を読み取ることができるだろう。以上、林原遺跡の集落像について検討を行なった。次節では、肥厚型縁帯文土器期の生業・居住戦略について、他遺跡の資料も交えて検討してみよう。

３．山陰地方中部の住居址検出遺跡の二者

前節までの分析結果から、山陰地方の縄文後期前半期は、いくつかの画期や地域差が存在することが分かった。従って、ひとえに「縄文時代後期」と言っても、時期や地域ごとに想定される集落像が異なっている可能性があり、これらを一括りにして検討しては、雑多な結論しか生み出せなくなってしまう。そこでまず、本稿で取り扱う時期と地域を設定することにしよう。

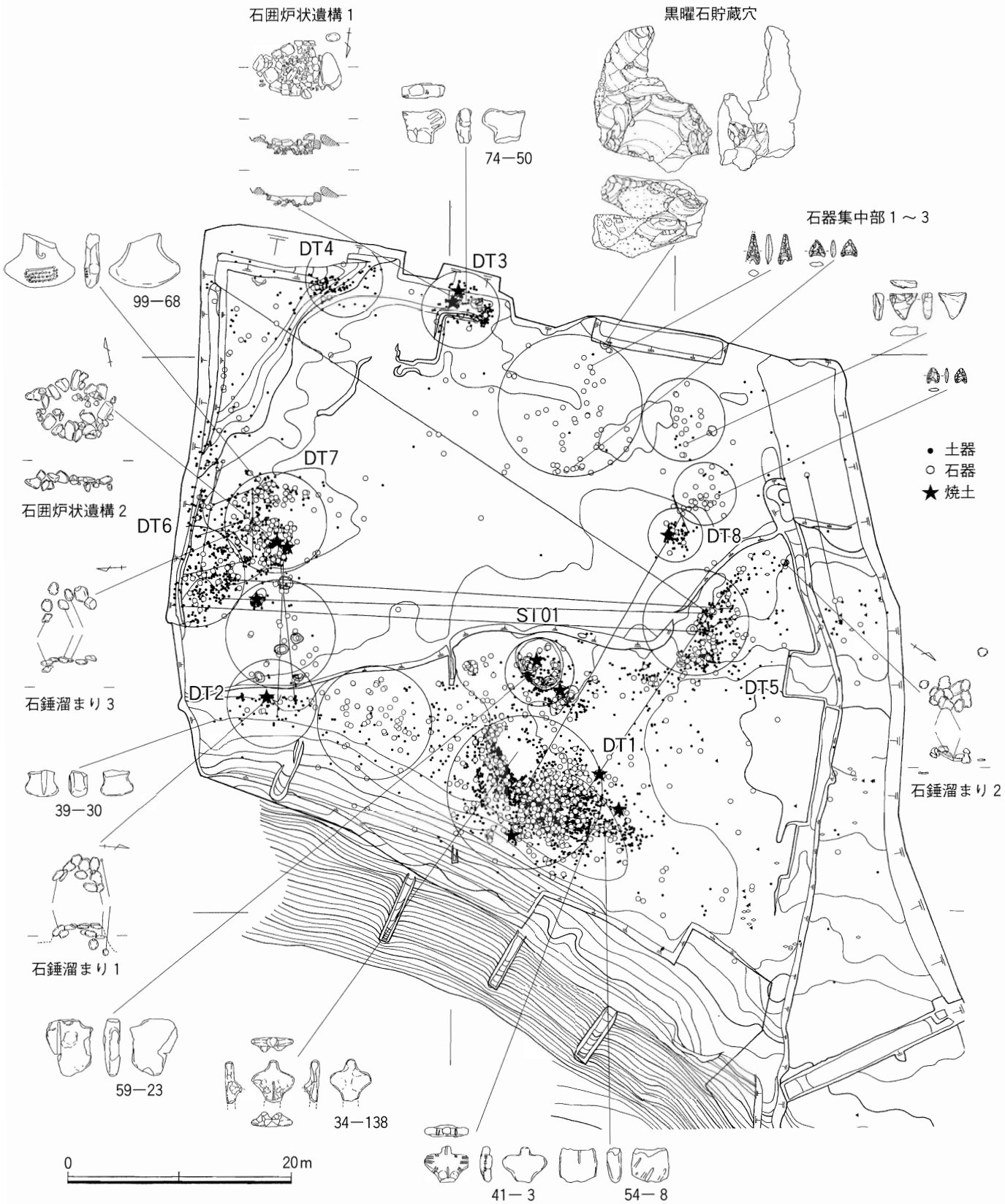
時期は、山陰地方でも比較的資料の充実している肥厚型縁帯文土器期の資料を用い、地域は三瓶山以東から大山までを設定する。当地域は、林原式や崎ヶ鼻式土器、林原型石器製作技術構造が分布し、また、土偶や岩偶の多出域とも合致する。従って当地域は、土器型式や石器製作技術構造、祭祀具等の文化要素を共有する地域単位として区別でき、これを山陰中部と呼称する。

山陰中部の肥厚型縁帯文土器期の住居址検出遺跡を概観してみると、大きく以下の２類に分類される。

１類：１棟程度の住居址のみで構成される遺跡。

２類：多数の土器溜まり群(2)（住居址）や多数の焼土で構成される遺跡。

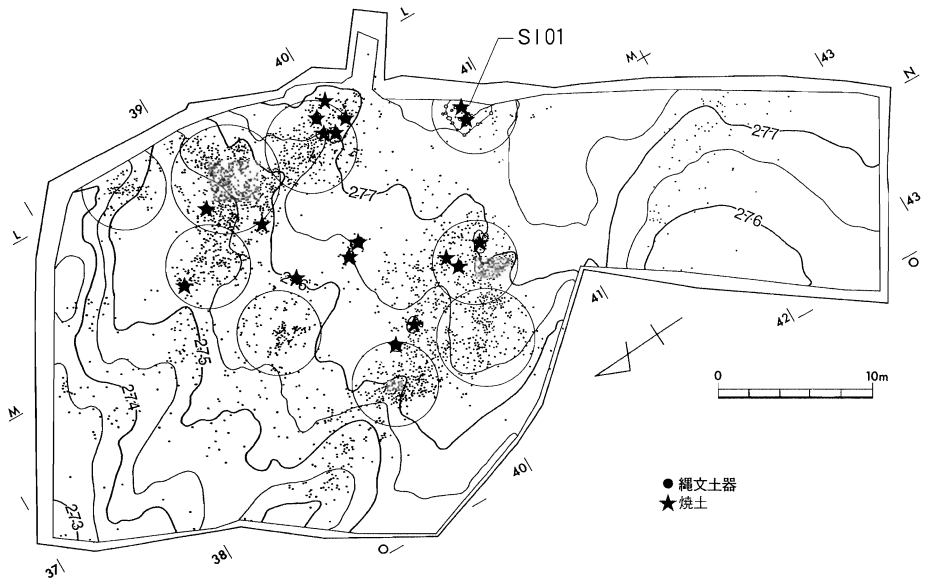
１類に属する遺跡は、出雲市御領田遺跡（角田編1994）、松江市勝負遺跡（川原2007）、飯南町五明田遺跡？（山崎編1999、2001）、同町貝谷遺跡（神柱編2002）、雲南市家の後Ⅱ遺跡（熱田他編2007）、米子市大下畑遺跡（鳥取県教育文化財団編1994）、同市百塚第７遺跡（鳥取県教育文化財団



第137図　林原遺跡全体図（Ｓ＝1/500）

分類	遺　跡	遺構名	時　期	形　態	大きさ（m）	深さ（cm）	炉	柱穴	備　考
１類	御領田遺跡	竪穴住居跡	林　原　式	隅丸方形	(1.7)×(3.0)	50	なし	15以上	一部欠損
	貝谷遺跡	2号竪穴住居跡	林　原　式	隅丸方形	3.6×3.6	42	地床炉	なし	壁面に礫が壁を沿うように検出
	勝負遺跡	竪穴住居	林　原　式	隅丸方形	3.6×2.6	45	地床炉	44	一部欠損。壁柱穴を伴う
	百塚第７遺跡	ＳＩ01	崎ヶ鼻１式	隅丸方形	4.3×(3.6)	70	地床炉	4	一部欠損
	大下畑遺跡	ＳＩ27	崎ヶ鼻１式	不　明	不明	不明	地床炉	３？	大半が欠損。側溝有り？
	五明田遺跡	ＳＩ01	崎ヶ鼻１式	円　形	4.1×3.8	20？	地床炉	25	南側に壁柱穴
	五明田遺跡	ＳＩ02	林原式～崎ヶ鼻式？	円　形	3.2×3.0	20？	地床炉	９	柄鏡型
	五明田遺跡	ＳＩ03	林原式～崎ヶ鼻式？	円　形	？	20？	地床炉	10以上	柄鏡型。南側に壁柱穴
	五明田遺跡	ＳＩ04	崎ヶ鼻２式？	円　形	2.8×(3.0)	20？	地床炉	７以上	南側に壁柱穴
	家の後Ⅱ遺跡	竪穴建物跡	崎ヶ鼻２式？	隅丸方形	4.9×4.9	36	石囲炉	４～６	三瓶大平山火山灰にパック
	貝谷遺跡	3号竪穴住居跡	崎ヶ鼻２式	不整楕円形	(1.2)×(0.8)	32	地床炉	20	一部欠損
	大塚遺跡	縄文住居址	後　期	円　形	3.3×3.3	32	石囲炉	10以上	半分欠損
２類	林原遺跡	ＳＩ01	崎ヶ鼻２式	不整楕円形	4×4.6	15	地床炉	なし	三瓶大平山火山灰にパック
	神原Ⅱ遺跡	ＳＩ01	不　明	不　明	不明	なし	地床炉	13	柱穴のみ

第138図　山陰中部の住居跡一覧

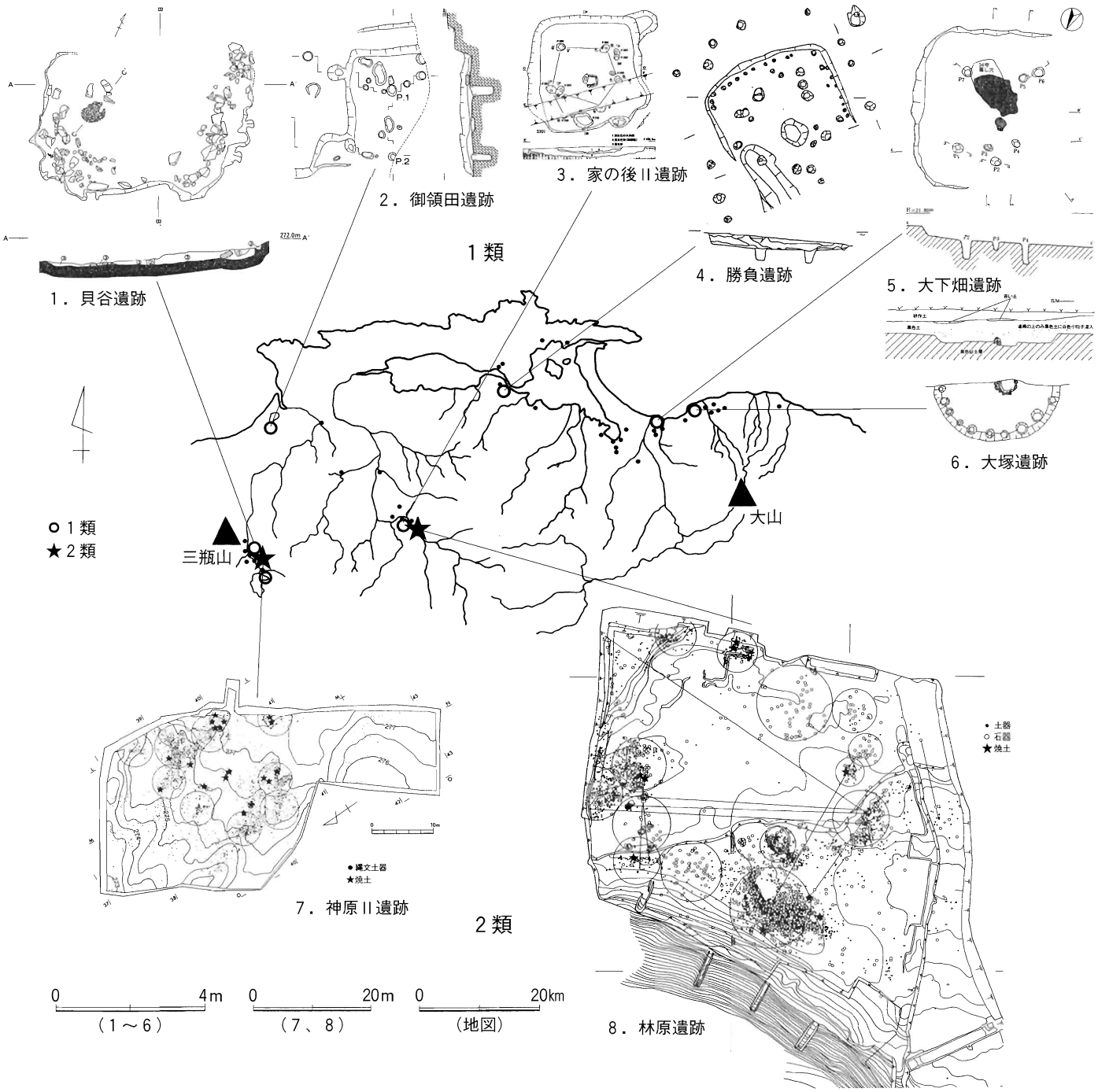


第139図　神原Ⅱ遺跡の遺物出土状況（Ｓ＝1/500）（鳥谷他編2000を一部改変）

編1999）、大山町大塚遺跡（富長編1994）があげられる（第138図）。山間部と平野部の両方に立地し、貝谷遺跡のように墓坑と推定される配石遺構が伴う場合もある。２類と比べて遺跡規模が小さく、単一時期にのみ形成されるなど重層的な遺跡利用を行なわない場合が多い。

住居址は、筆者の編年観で見ると、大多数が１時期１棟のみで存在するようだ。平面形は隅丸方形が多く、大きさは一辺が４ｍ～５ｍである。しっかりした掘り込みを持ち、深さは32cm～70cm、平均で44cmを測る。中央に地床炉を持ち、家の後Ⅱ遺跡や大塚遺跡のように石囲炉が設置される場合もある。柱穴はほとんどの住居址で確認でき、御領田遺跡や勝負遺跡、家の後Ⅱ遺跡、百塚第７遺跡では主柱穴が、勝負遺跡、大塚遺跡、五明田遺跡、御領田遺跡（？）では多数の壁柱穴が見られるなど、規則的な柱穴配置が看取される。この点において興味深いのは、貝谷遺跡の壁面付近に配される石列で、壁柱穴と合わせて、壁面の強化を意識した住居構造と評価できるだろう。

２類に属する遺跡は、林原遺跡と神原Ⅱ遺跡があげられ、板屋Ⅲ遺跡第２黒色土上面もその可能性がある。山間部にのみ立地し、ＤＴ周辺に多数の配石遺構や焼土を伴う。相対的に遺跡規模が大きく、重層的な遺跡利用が確認できる。また、屋外炉と推定される多数の焼土が認められる点も２類の特徴である。



第140図　山陰地方中部における肥厚型縁帯文土器期の集落
（1～6：S＝1／160、7、8：S＝1／1,000、地図：S＝1／1,000,000）

飯南町神原Ⅱ遺跡２区第２黒色土では、中津式から崎ヶ鼻２式期までの遺物が、環状約30ｍを呈する９箇所（？）のＤＴとして検出されている（第139図）。残念ながら遺物の出土地点が示されておらず、土器型式とＤＴの関係は不明だが、おおむね林原遺跡と同時期の所産と推測される。注目されるのは、各々のＤＴが生活遺構である焼土を伴っている点であり、少ないながら土坑も検出されている。ＤＴと焼土の位置関係から、両者が何らかの有機的関連を持つことは確実であり、林原遺跡と同様に直下に住居址を伴っていた可能性が高いだろう。

住居址は、平面プランを有するものとＤＴ状のものがある。平面プランを有するものは林原遺跡

でのみ確認されており、径４ｍ×4.6ｍの不整楕円形を呈す。掘り込みは緩やかで、深さは約15㎝と浅い。中央には地床炉が設置されるが、主柱穴や壁柱穴は認められない。また神原Ⅱ遺跡のように、掘り込みの無い柱穴のみの住居址も存在するようだ。

ＤＴ状のものは、平面プランや掘方をうかがうことができないが、黄色砂層（18層）直上に硬化面や石囲炉を検出した林原遺跡ＤＴ３、ＤＴ７、ＤＴ８でも、周辺に明確な柱穴を伴っていないことから、平面プランを有するものと同様の特徴を持っていたと思われる。２類の住居址の多くが、ＤＴという形でしか確認できないのは、掘り込みが浅く、１類のようなしっかりした住居構造を持たないことに起因するためではないだろうか。

このように１類と２類は、遺跡規模や遺跡利用のあり方、住居構造などにおいて明確な差異が認められる（第140図）。特に住居構造は、住居の安定性という観点から見た場合、１類では安定性が高い住居を築造し、２類では安定性の低い住居が造られていると言えるだろう（加納1995、谷口1998）。では次に、１類と２類の関係をについて、再び林原遺跡に目を戻して検討してみよう。

４．肥厚型縁帯文土器期の生業・居住戦略

林原遺跡のＤＴに多数の焼土が伴うことは前述したが、そのうちＤＴ７に伴う焼土08～10（第93図）とＤＴ８に隣接する14、15（第101図）は興味深い状態で検出された。ＤＴ７直下では３枚の遺構面が確認され、上層では焼土08、09と硬化面２が、中層には硬化面３と粘土床、下層では焼土10と共に硬化面４と配石遺構08、石囲炉状遺構２が見つかっている。特に焼土08は、焼土10のほぼ真上に構築されていることから、下層の焼土を意識して火を焚いていることが分かる。ＤＴ８では、硬化面を伴う焼土14の直下に、厚さ約３㎝の間層を挟んで焼土15が確認されている。

このような焼土や硬化面の重複現象は、焼土間に確実な時期差が存在していることを示し、またいずれの場合も間層を挟むことから、一定期間後に再び同じ場所で火を焚くという回帰的なあり方を想起させる。この場合、ＤＴ８の重複焼土の間層が僅か３㎝と薄い点や、間層があるにも関わらずほぼ同一地点で焼土が形成される点などから、上下の重複焼土は、それほど長い時間断絶していなかったと推測できる。この現象は、１類の勝負遺跡竪穴住居内でも確認されるため、類型間で共通した現象であるようだ。

問題は、焼土間の間層が人為堆積か自然堆積かであるが、人為堆積とした場合、その成因に住居廃絶に伴う儀礼行為や土屋根の崩落、住居の改築等が想定される(3)。山陰地方では、松江市面白谷遺跡で検出された暮地式期の竪穴住居で、住居廃絶儀礼に伴う火入れの可能性が指摘されており、その根拠として、埋土全面に炭化物が散在していることや、底部を打ち欠いた単耳壺の完形土器があげられている（柳浦2006）。

林原遺跡のＤＴは、黒色土単層であるため検討を行なえないが、他遺跡の住居址埋土を見てみると、確かに勝負遺跡や貝谷遺跡のように埋土中に多量の炭化物を含んでいる例がある。しかし勝負遺跡では、炭化物を含む層は暗灰赤褐色土と暗灰黄褐色土に限られていて、住居内全面に分布していない(4)。また、面白谷遺跡例のような特殊な完形土器も見られず、住居廃絶時の儀礼行為を積極的に見出す根拠は存在しないようだ。住居改築についても、山陰地方では今のところ明確に改築をうかがわせる事例は見当たらない。加えて、御領田遺跡の黒灰色粘質土層のように、住居外からの流入土が一次堆積土となっている例が存在することなどから、山陰中部の肥厚型縁帯文土器期の

住居内埋土は、基本的に自然堆積であったと考えたい。

以上から、重複焼土を根拠に1類と2類では一定期間を経た集団の回帰が行なわれていたと解釈することが可能となる。こうした移動論的視点から考えると、先に見た住居構造の強弱と、1類と2類の関係について説明が付きそうだ。すなわち季節的な移動である。

筆者らが林原遺跡を発掘した2005年度は、積雪が1mに達するほどの豪雪に見舞われ、発掘は困難を極めた。旧仁多町や旧横田町などの山間部集落では、住家1棟が一部損壊、農機具庫やビニールハウス数十棟が倒壊するなど、現代家屋でさえ甚大な被害をこうむっている。また昭和37年から38年の大雪の際には、これを超える2m以上の積雪を記録したという。加えて、縄文時代後期は今より若干冷涼であった点（渡辺2005）なども勘案すると、2類のような柱穴すら持たない安定性の低い住居構造が、果たして山間の越冬に耐えうるのか、甚だ疑問に思える。逆に言えば、1類の住居址が持つ高い安定性は、越冬を視野に入れた住居構造であると評価することができ、両者は、季節ごとに使い分けられる、相互補完的な関係にあったと推測されよう。

こうした観点に立てば、両者の遺跡規模の違いや、1時期の住居址数の違いについても、季節的な移動に伴う離合集散の結果と捉えることができる。しかし、上述したように筆者は、該期の住居は単独で生業を営みうると考えているため、離合集散のモデルを想定した場合、わざわざ集団が集合する理由を考えなければならない。

この点において注目されるのが、該期に多量に出土する石錘である。便宜的石器（阿子島1999）の側面が強い石錘は、遺跡内での活動をある程度忠実に表していると思われ、その組成差は遺跡ごとの生業活動の差に還元できる。そこで、時期の限定できるものについて見てみると、1類の遺跡では、勝負遺跡3点、御領田遺跡1点、百塚第7遺跡0点、貝谷遺跡2号竪穴住居址1点、貝谷遺跡3号竪穴住居址0点と少ないのに対し、2類の林原遺跡では石錘溜まり3箇所を含む計283点もの石錘が出土しており、DTごとの保有量でも1類の遺跡を凌駕している（第131図）。

こうした石錘保有量の圧倒的差異から、2類の遺跡では石錘を用いた生業活動において集約的な労働投下が行なわれていたと推定される。従って、集団が集合する理由の一つとして、内水面漁労に際する協業をあげることができよう。2類に特徴的に見られる多数の屋外炉は、こうした協業に際した、集団共通の消費活動の場であったのかもしれない。恐らく夏から秋口にかけて山間部に集合した集団が、協力して内水面漁労を中心とした生業を行ない、冬になると離散して各々が狩猟や採集等を行なっていたのだろう。

このように、肥厚型縁帯文土器期の山陰中部では、季節的な離合集散を行ないながら山間部と平野部を移動する、Collector型（Binford1980）の生業・居住戦略がとられていたと判断される。従って、1類は集団が各地に離散する時のResidential Base、2類は集団集合時のResidential baseと位置付けることができる。こうした広範な居住地移動を考えるなら、該期に急速に広域化する黒曜石の利用状況も、集団の移動に伴った現象と解釈でき、林原遺跡で検出された黒曜石貯蔵穴も、集団集合時の黒曜石貯蔵、補給用と理解することができるだろう。

以上から、林原遺跡は、夏から秋にかけて複数の集団が集合して営まれていた拠点居住地であることが分かった。ただし、集団での協業を行なう一方で、石器製作や祭祀、基本的な消費活動は各住居で自立的に行なわれていることから、その関係は比較的緩やかなものであったと推測される。

5．おわりに

以上、山陰中部の縄文後期集落の一様相について、林原遺跡を中心に論じてきた。最後に、林原遺跡から見た山陰中部の肥厚型縁帯文土器期の時代像について論じ、まとめとしたい。

林原遺跡の物質文化は、土器型式や石器製作技術構造、板状土偶など、瀬戸内との接触の中で独自的に発展した要素と、環状土器溜まり群（住居址群）や石囲炉などの内在的な変化では説明できない要素に二分される。山陰全域で俯瞰した場合、隅丸方形の住居址や柄鏡型住居址（？）なども後者に属すことができようか。後者の要素には、随所に東日本的な要素が散見され、いわゆる「東日本縄文文化複合体の西漸」と関係を持つものと捉えることができる。

しかし、前者の視点から見た場合、そこには安定した地域的発展の過程を読み取ることでき、山陰地方の縄文後期社会が、人口の大量流入といったような東日本からの一方的な影響下には成立しえないことを示唆する。むしろ磨消縄文土器期から継続する、地域ごとの安定的な自立性に立脚した東西交流の活発化（矢野1993、2005、幸泉2001、2002、山崎2003など）としたほうが、実態に即しているのではなかろうか。

本稿では、東日本の影響を検討するに先立って、まずは地域ごとの独自性を追求することが必要であると判断し（濱田2000）、「他地域からの影響」という解釈を極力用いずに検証を行なった。結果は、上に述べたとおりだが、今後の山陰地域史を復元するために林原遺跡の成果が一助となれば、幸いである。

（稲田陽介）

註

（1）　ただし、他遺跡で検出されるＤＴが全て住居址に比定できるというわけではなく、北原本郷遺跡のように明らかに溝内へ廃棄した例もある。ＤＴの性格については、遺跡単位で検討しなければならない。

（2）　環状土器溜まり群を住居址とした場合、住居址が環状配置する東日本の環状集落と酷似する。一般的に、西日本では環状集落は存在しないとされてきたが（矢野1999、瀬口2005）、林原遺跡や神原Ⅱ遺跡以外にも、大阪府縄手遺跡、宮崎県本ノ原遺跡などが可能性を持つものとして指摘できよう。いずれも、後期初頭から後期中葉と時期的にも共通する。ただし、これらは掘立柱建物や貯蔵施設などを伴わず、谷口康浩が言う重帯構造や分節構造、半分構造（谷口2005）を持たないことから、東日本の環状集落と直接対比できるものではない。重要な問題なだけに、今後慎重に検討を行なっていかなければならないだろう。

（3）　竪穴住居の第一次埋土や柱穴覆土を、自然堆積（末木1975、1985、石井1977など）とするか人為堆積（山本1978、1987など）とするかの議論は枚挙にいとまがなく、両者の見解の相違は、その根底に集落の継続性・定住性の捉え方の違いが横たわっているからとされる（谷口2005）。山陰地方でも、移動と定住の問題はなお決着を見ないが、山田康弘が言うように、「周辺の自然的・社会的環境や集団内の社会的状況によって、集落規模や居住期間が融通無碍に変化する」（山田2002）可能性を視野に入れ、総合的な検討を行なう必要がある。

（4）　焼失住居の認定条件は大島直行の設定した条件（大島1994）を参考とした。

挿図出典（遺跡の文献は文中に記載）

第127図１・４・10：樋屋遺跡，２・３・５～９：暮地遺跡，11：家の後Ⅰ遺跡，12～17：暮地遺跡，18～32：北原本郷遺跡　第128図：御領田遺跡　第129図１：崎ヶ鼻遺跡，２・３：下山遺跡，４：貝谷遺跡，５・７・12：御領田遺跡，６・11・13～17：百塚第7遺跡，８・９：五明田遺跡，10：大下畑遺跡，18：比治山貝塚，19・23・24・31・35～39：永井遺跡，20・21・25～29・32：津雲貝塚，22・30・33・34：津島岡大遺跡　第130図１：森藤第２遺跡，２・４・７・８・11～13・19・20・24：栗谷遺跡，３・６・９・10・14～18・21～23・25・27・28・31・32：桂見遺跡，５：布勢遺跡，26・29・30・33：智頭枕田遺跡　第131図１～10：イセ遺跡　第139図：神原Ⅱ遺跡　第140図：１：貝谷遺跡，２：御領田遺跡，３：家の後Ⅱ遺跡，４：勝負遺跡，５：大下畑遺跡，６：大塚遺跡，７：神原Ⅱ遺跡，８：林原遺跡

【参考文献】

阿子島　香1999『石器の使用痕』ニュー・サイエンス社
熱田貴保他2007『家の後Ⅱ遺跡２・北原本郷遺跡２』島根県教育委員会
阿部芳郎1994『津島岡大遺跡第５次調査』岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
石井　寛1977「縄文時代における集団移動と地域組織」『調査研究集録』２
稲田陽介2005「山陰地方における縄文時代前期の石器製作技術構造」『島根考古学会誌』第22集、島根考古学会
稲田陽介2006「山陰地方における縄文時代早期の石器製作技術構造」『島根考古学会誌』第23集、島根考古学会
稲田陽介2007「山陰地方における縄文時代後期の石器製作技術構造」『島根考古学会誌』第24集、島根考古学会
今村啓爾1983「文様の割りつけと文様帯」『縄文文化の研究』５
大島直行1994「縄文時代の火災住居－北海道を中心として－」『考古学雑誌』第80巻第１号、日本考古学会
角田徳幸編1994『神南地区県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書』湖陵町教育委員会
角田徳幸編2007『中祖遺跡範囲確認調査報告書』島根県教育委員会
加納　実1995「下総台地における加曽利ＥⅢ式期の諸問題－集落の成立に関する予察を中心に－」『千葉県文化財センター研究紀要』16、千葉県文化財センター
神柱靖彦編2002『貝谷遺跡』島根県教育委員会
川原和人編2007『国道485号線道路改築事業（松江第５大橋道路）建設に伴う埋蔵文化財調査報告書Ⅰ　南外１号墳・勝負遺跡』島根県教育委員会
幸泉満夫2001「西日本縄文後期土器組成論－瀬戸内地方における沈線文系土器に関する研究－」『考古学研究』第48巻第３号、考古学研究会
幸泉満夫2002「土器底部形態にみる縄文時代後期社会の小地域性」『犬飼徹夫先生古稀記念論集　四国とその周辺の考古学』犬飼徹夫先生古稀記念論文集刊行会
幸泉満夫2004「山陰地方における縄文時代後期社会の小地域性」『考古論集－河瀬正利先生退官記念論文集』河瀬正利先生退官記念事業会
酒井雅代他編2006『智頭枕田遺跡Ⅰ』智頭町教育委員会
佐々木謙・小林行雄1937「出雲国山村崎ヶ鼻洞窟及び権現山洞窟遺跡」『考古学』第８巻第10号
島田貞彦・清野謙次・梅原末治1920「備中国大島村津雲貝塚発掘報告」『京都帝国大学文学部考古学研究報告』第５冊、京都大学
宍道正年1974『島根県の縄文土器集成Ⅰ』
宍道正年1980「島根県の縄文土器の研究－編年を中心として」『松江考古』第３号、松江考古学談話会
末木　健1975「移動としての吹上パターン」『山梨県中央道埋蔵文化財包含地発掘調査報告書』山梨県教育委員会
末木　健1985「土器廃棄と集落研究」『論集日本原史』吉川弘文館
瀬口眞司2005「関西地方の縄文集落の規模と構成」『第１回西日本縄文文化研究会　西日本縄文文化の特徴』関西縄文文化研究会・中四国縄文研究会・九州縄文研究会
瀬古諒子編2006『勝負奥遺跡』松江市教育委員会
高橋　護2000「西日本における縄文時代の生業と集落」『第28回山陰考古学研究集会　山陰の縄文時代遺跡』
高橋　護2001「西日本における縄文時代の生業と集落」『島根考古学会誌』第18集、島根考古学会
竹広文明2000「山陰における石器石材利用をめぐる二、三の問題」『島根考古学会誌』第17集、島根考古学会
谷岡陽一他編1989ａ『栗谷遺跡発掘調査報告書Ⅰ』福部村教育委員会
谷岡陽一他編1989ｂ『栗谷遺跡発掘調査報告書Ⅱ』福部村教育委員会
谷岡陽一他編1990『栗谷遺跡発掘調査報告書Ⅲ』福部村教育委員会
谷口康浩1998「縄文時代早期撚糸文期における集落の類型と安定性」『考古学ジャーナル』429
谷口康浩2005『環状集落と縄文社会構造』学生社
千葉　豊1989「縁帯文系土器群の成立と展開－西日本縄文後期前半期の地域相－」『史林』72巻６号
千葉　豊1990「近畿北部・山陰東部の成立期縁帯文土器」『小森岡遺跡』兵庫県城崎郡竹野町教育委員会
千葉　豊1997「福田Ｋ２式と宿毛式・序論－型式弁別の視点について－」『古代吉備』第19集、古代吉備研究会
千葉　豊2005「西日本縄文後期土器編年研究の現状と課題」『縄文時代』16、縄文時代文化研究会
千葉　豊2001「沖丈遺跡出土縄文後期土器の編年的意義－崎ヶ鼻式と「権現山式」のあいだ－」『沖丈遺跡』島根県邑智町教育委員会
出原恵三編2004『西分増井遺跡Ⅱ』高知県文化財団埋蔵文化財センター
鳥取県教育文化財団編1994『大下畑遺跡』鳥取県教育文化財団
鳥取県教育文化財団編1999『古市遺跡群１　古市カハラケ田遺跡・古市河原田遺跡』鳥取県教育文化財団
冨井　眞2005「遺物型式学的編年の論理と西日本磨消縄文土器」『考古学研究』第51巻第４号、考古学研究会
富長源十郎編1994『名和町内遺跡分布調査報告書』名和町教育委員会
鳥谷芳雄編2000『神原１遺跡・神原Ⅱ遺跡』島根県教育委員会
仲田信一他編1995『百塚第７遺跡（８区）』鳥取県教育文化財団
西尾克己編1979『京殿遺跡－調査概報－』島根県三刀屋町教育委員会

西尾克己他編2005『前田遺跡（２）・下布施氏館跡・原田遺跡Ⅰ区（分析編）』島根県教育委員会
西脇対名夫1990「伊木力遺跡出土縄文時代後期土器の検討」『伊木力遺跡』多良見町教育委員会
野津旭編2004『暮地遺跡』仁多町教育委員会
橋本久和1995『芥川遺跡発掘調査報告書』高槻市立埋蔵文化財調査センター
橋本雄一1994「彦崎Ｋ２式に先行する土器群について」『津島岡大遺跡第５次調査』岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
濱田竜彦2000「山陰・縄文時代後期における東日本系文化要素の波及」『縄文・弥生移行期の石製呪術具１』小林青樹編
深田浩編2002『下山遺跡』島根県教育委員会
前田光雄編2000『松ノ木遺跡Ⅴ』高知県長岡郡本山町教育委員会
牧本哲雄他編1996「桂見遺跡」鳥取県教育文化財団
増田浩太編2003『家の後Ⅰ遺跡・垣ノ内遺跡』島根県教育委員会
三森定男1936「西南日本縄文土器の研究」『考古学論叢』第１号
宮本一夫1990『文京遺跡第８・９・11次調査』愛媛大学法文学部考古学研究室、愛媛大学埋蔵文化財調査室
柳浦俊一編2006『県道浜乃木湯町線（湯町工区）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』島根県教育委員会
柳浦俊一2000「山陰地方縄文時代後期初頭～中葉の土器編年」『島根考古学会誌』第17集、島根考古学会
矢野憲一1993「縄文時代中期後葉の瀬戸内地方」『江口貝塚Ⅰ－縄文前中期編－』愛媛大学法文学部考古学研究室
矢野憲一1999「非環状集落地域」『季刊考古学』第69号
矢野憲一2005「土器型式圏の広域化」『第1回西日本縄文文化研究会　西日本縄文文化の特徴』関西縄文文化研究会・中四国縄文研究会・九州縄文研究会
山崎順子1999「飯石郡頓原町五明田遺跡発掘調査概報」『島根考古学会誌』第16集、島根考古学会
山崎順子2001「五明田遺跡」『第12回中四国縄文研究会　三瓶山周辺の縄文遺跡』中四国縄文研究会
山崎真治2003「縁帯文土器の編年的研究」『東京大学大学院人文社会系研究科・文学部考古学研究室研究紀要』18号
山田康弘2002「中国地方の縄文時代集落」『島根考古学会誌』第19集、島根考古学会
山本暉久1978「縄文中期における住居跡内一括遺存土器群の性格」『神奈川考古』第３号、神奈川考古同人会
山本暉久1987「縄文時代社会の移動－「集団移動」論をめぐる研究の現状とその問題点について－」『神奈川考古』第23号、神奈川考古同人会
渡部明夫編1990『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第九冊』香川県教育委員会、財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
渡辺正巳2005「縄文時代晩期の古環境」『第16回中四国縄文研究会　縄文時代晩期の山陰地方』中四国縄文研究会
渡辺友千代編1993『ヨレ遺跡・イセ遺跡・筆田遺跡』匹見町教育委員会
Binford, L.1980 “Willow Smoke and Dog's Tails：Hunter－gatherer Settlement Systems and Archaeological Site Formation” American Antiquity 45

第4節　まとめ

林原遺跡の発掘調査の結果、縄文時代後期を中心に多くの資料と情報が得られた。以下、林原遺跡の様相を時代を追って概観し、まとめとしたい。

【縄文時代早期・前期】林原遺跡で確認される遺物は、最も古いもので縄文時代早期（菱根式）にさかのぼり、前期の遺物も少量出土している。

【縄文時代中期】本格的な遺跡の開始は縄文時代中期からで、貯蔵穴1基を含む数基の土坑が確認された。後述の縄文時代後期に比べると、住み着いた集団の規模は非常に小さかったようである。

【縄文時代後期】縄文時代後期に入ると集落の規模は一気に拡大し、遺跡のピークを迎える。縄文時代後期の土器が土器溜まりの状態で確認され、かつ焼土・炉などを伴い、それぞれが一つの生産・消費単位と推定された。埋土が同質のため掘り形こそ確認されなかったが住居跡の可能性が高い。上記の土器溜まりと掘り形が確認できた住居跡とを合わせると、最大で9棟の生活跡が認定できることになり、これらは環状に分布していた。土器溜まりに囲まれた調査区中央部は遺構の確認されない空白地帯となっており、広場として居住区と区別されている点が注意される。

当遺跡の住居は、掘り形が浅く、主柱穴や壁柱穴を持たない不安定な構造であり、越冬は不可能とみられるものであった。一方、焼土が同じ地点に重層する事例が検出されていることを併せて考えると、他の土地で冬を越し、特定の季節に林原遺跡に帰ってくる回帰的な居住スタイルが想定される。また、一時期に多数の住居が見られることと、石錘が多数出土していることから、夏から秋にかけての漁期に複数の集団が集結し、協力して内水面漁労に従事する拠点であったと推測される。

配石遺構や土器埋設遺構は後期になって出現し、下部土坑を伴い墓と推定される配石遺構も認められる。これらの配石遺構や土器埋設遺構は土器溜まりや竪穴住居に隣接あるいは重複している。また、配石遺構04・09は焼土と切り合い関係にあり、分布範囲が焼土と重なる。以上の遺構配置からは、生活域と墓域を区別するという計画性は認められない。中国地方の縄文集落では、墓域と居住域が区別されているのが一般的であるが(1)、林原遺跡はやや異なった様相をみせる。漁期に限った季節的な居住であることや、複数集団の寄り合い所帯であることに起因するのかもしれない。

林原遺跡の調査成果は、縄文時代の季節性、居住形態まで踏み込んだ議論に道を開くものである。縄文時代後期人が、予想以上に移動性の高い生活をしていたことが考えられ、山間部遺跡と平野部遺跡の両方を視野に入れる必要性が高いことが判明した。検出される遺構の解釈に際しては、縄文人の移動という視点を持って臨むことが必要になるだろう。山間部で漁労が行なわれている時、平野部の住居に人が残っていたかという問題も含め、検討課題は今後多方面に広がると予想される。

上記の居住・埋葬にかかわる遺構に加え、黒曜石の貯蔵穴も検出された。黒曜石の貯蔵・供給の拠点、及びその担い手が縄文時代後期に海岸部から山間部へ進出してきたことを明らかにした(2)点で、石材の流通形態の変化の画期を示す遺構と評価できる。

遺物では、7点出土した土偶が注意される。当遺跡では、土偶の多くが住居や土器溜まりに伴って出土し、1生活単位につき1個と見られる所有状況が確認された。一遺跡での土偶出土点数は中国地方で最多となったが、これは当遺跡が漁期に複数集団が集結した季節的な集落であることに由来するのかもしれない。集団が分散する冬季の居住場所と見られる小規模集落（Ⅰ類）では、異なった所有状況となることも予想される。

縄文時代後期の一括資料（石器を含む）が纏まって得られた点は大きな意味を持つ。当該時期の

土器編年は、広範囲の遺跡から標識となりうる土器をピックアップして組み立てられていたが、当遺跡の資料の出現で、一括資料に基づく編年が可能になった。本報告書でも、これらの一括資料を用いて編年案（第１節）を作成し、屈曲形有文深鉢の変遷を軸に後期前半を５つの小時期に細分した。また、縁帯文成立期を境に山陰東、中、西部の地域差が顕在化して、山陰として一括りにするのが難しくなり、むしろ四国の松ノ木式との類似性など南北のつながりが強く認識された（第１節）。サヌカイトの搬入（第２節）も考慮し、ヒトの移動が、中国山地を横断する河川に沿って行なわれたと仮定すれば、自然な結果といえる。石器の検討からは、両極技術の多用や、黒曜石の大角礫を搬入して交互剥離によって剥離する技術などの特徴が抽出され、「林原型石器製作技術構造」として認定するに至った。その技術構造の分布は土器型式の分布とも重なり、当該時期の山陰中部の地域性と考えられる（第２節）。

【縄文時代晩期】縄文時代晩期の遺構は土器埋設遺構３基と配石遺構１基が確認されており、これらの遺構は調査区の南に偏る傾向を見せる。住居などの生活痕跡は見られず、当該時期の土器もほとんど出土しないことから、居住域は調査区の外にあり、林原遺跡は墓域に特化していたとも見られ、後期の集落とは異なった様相を見せている。

【古墳時代後期】古墳時代後期の遺構は、竪穴住居が調査区南寄りで検出されている。土師器や須恵器の出土位置も調査区南に偏しており、生活域は南へ移動している。包含層からは土師器や須恵器が一定量出土しており（第５表）、遺構数の少なさから受ける印象に比して、集落の規模は比較的大きかったことが推測される。調査区外ではあるが林原遺跡の上方の丘陵斜面に林原古墳が存在しており、同古墳に近い位置で確認された集落として、両者の密接な関係が推測される。また、当遺跡対岸でも集落では家の脇Ⅱ遺跡（古墳時代後期）、古墳では時仏山横穴墓の存在が知られており、対岸に所在するこれらの遺跡との関係も問題となろう。

当遺跡の調査に併せて行なった自然科学分析の結果を付編に記した。石材産地の分析では、黒曜石が隠岐島久見、サヌカイトは金山東麓（香川県）の可能性が高いという結果を得た。放射性炭素年代測定では先行調査例と矛盾のない値が得られた。一方、ＳＩ01床面から採取した土壌は浮遊選別を行ない（委託先は例言に記載）、得られた固形物の種実同定を行なったが、良好な種子が検出されず、縄文人の植物利用については十分解明できなかった。

以上が、林原遺跡の調査成果と、そこから派生する今後の課題である。

註

（１）　山田康弘2002「中国地方の縄文時代集落」『島根考古学会誌』第19集、島根考古学会

（２）　稲田陽介2007「山陰地方における縄文時代前期の石器製作技術構造」『島根考古学会誌』第24集、島根考古学会

付編　自然科学分析

第１節　北原本郷遺跡、林原遺跡出土の黒曜石、安山岩製遺物の原材産地分析

有限会社　遺物材料研究所

はじめに

石器石材の産地を自然科学的な手法を用いて、客観的に、かつ定量的に推定し、古代の交流、交易および文化圏、交易圏を探ると言う目的で、蛍光Ｘ線分析法によりサヌカイトおよび黒曜石遺物の石材産地推定を行なっている[1, 2, 3]。最近の黒曜石の伝播距離に関する研究では、伝播距離は数千キロメートルは一般的で、６千キロメートルを推測する学者もでてきている。正確に産地を判定すると言うことは、原理原則に従って同定を行うことである。原理原則は、同じ組成の黒曜石が異なった産地では生成されないという理論がないために、少なくとも遺跡から半径数千キロメートルの内にある石器の原材産地の原石と遺物を比較し、必要条件と十分条件を満たす必要がある。『遺物原材とある産地の原石が一致したという「必要条件」を満たしても、他の産地の原石にも一致する可能性が残っているから、他の産地には一致しないという「十分条件」を満たして、一致した産地の原石が使用されていると言い切れる。また、十分条件を求めることにより、一致しなかった産地との交流がなかったと結論でき、考古学に重要な資料が提供される。』

産地分析の方法

先ず原石採取であるが、本来、一つの産地から産出する全ての原石を採取し分析する必要があるが不可能である。そこで、産地から抽出した数十個の原石でも、産地全ての原石を分析して比較した結果と同じ結果が推測される方法として、理論的に証明されている方法で、マハラノビスの距離を求めて行う、ホテリングのＴ２乗検定がある。ホテリングのＴ２乗検定法の同定とクラスター判定法（同定ではなく分類）、元素散布図法（散布図範囲に入るか否かで判定）を比較すると、クラスター判定法は判定基準が曖昧である。クラスターを作る産地の組み合わせを変えることにより、クラスターが変動する。例えば、Ａ原石製の遺物とＡ、Ｂ、Ｃ産地の原石でクラスターを作ったとき遺物はＡ原石とクラスターを作るが、Ａ原石を抜いてＤ、Ｅ産地の原石を加えてクラスターを作ると、遺物がＥ産地とクラスターを作る。よってＡ産地が調査されていないと、遺物はＥ原石製遺物と判定される可能性があり結果の信頼性に疑問が生じる。またＡ原石製遺物と分かっていれば、Ｅ原石とクラスターを作らないように作為的にクラスターを操作することもできる。次に元素散布図法は肉眼で原石群元素散布の中に遺物の結果が入るか図示した方法で、各原石の含有元素の絶対定量値をそれぞれ求めて地球科学的に議論するには、地質学では最も適した方法であるが、産地分析からみると、クラスター法より、さらに後退した方法である。なぜなら何個の原石を分析すればその産地を正確に表現されているのか不明であり、分析する原石の数が少ないときにはＡ産地とＢ産地が区別できていたのに、原石数を増やすと、Ａ産地、Ｂ産地の区別ができなくなる可能性があり（クラスター法でも同じ危険性がある）判定結果に疑問が残るからである。

産地分析の方法としては、火山学、堆積学など専門知識は必要なく、地質学の常識的な知識（高

校生）さえあれば出来るものがよい。また、実際の分析においては非破壊で遺物の形態の違いによる相対定量値の影響を評価しながら、同定を行なうことが必要であり、地球科学的なことは関係なく、如何に原理原則に従って正確な判定を行うかである。クラスター法、元素散布図法の欠点を解決し、前述のように誰でも簡単に測定できるよう考え出された方法が、理論的に証明された判定法のホテリングのＴ２乗検定法である。ある産地の原石組成と遺物組成が一致すれば、そこの産地の原石と決定できるという理論がないために、多数の産地の原石と遺物を比較し、必要条件と十分条件を満たす必要がある。考古学では、人工品の様式が一致すると言う結果が非常に重要な意味があり、見える様式としての形態、文様、また見えない様式として土器、青銅器、ガラスなどの人手が加わった調合素材がある。一致すると言うことは、古代人の思考が一致すると考えてもよく、相互関係を調査する重要な意味をもつ結果である。前述のような石器の様式による主観的な分類ではなく、自然の法則で決定した石材の元素組成を指標にした客観的な分類では、産地分析の結果の信頼性は何ヶ所の原材産地の原石と客観的に比較して得られたかにかかっており、比較した産地が少なければ、信頼性の低い結果と言える。黒曜石、安山岩などの主成分組成は、原産地ごとに大きな差はみられないが、不純物として含有される微量成分組成には異同があると考えられるため、微量成分を中心に元素分析を行ない、これを産地を特定する指標とした。分類の指標とする元素組成を遺物について求め、あらかじめ、各原産地ごとに数十個の原石を分析して求めておいた各原石群の元素組成の平均値、分散などと遺物の元素組成を比較して、各平均値からの離れ具合（マハラノビスの距離）を求める。しかし、古代人が採取した原石産出地点と現代人が分析のために採取した原石産出地が異なる地点である可能性は十分に考えられる。従って、分析した有限個の原石から無数にある産地全体の個数の平均値と分散を推測して判定を行うホテリングのＴ２乗検定を行う。この検定を全ての産地について行い、ある遺物原材がＡ産地に10％の確率で必要条件がみたされること（この意味はＡ産地で10個原石を採取すると１個が遺物と同じ成分だと言うこと）は、実際に十分あり得ることであり、遺物はＡ産地原石と判定される。しかし、他の産地について、例えばＢ産地では0.01％の確率（一万個中に一個の組成の原石に相当）であるときは相当に低い値であり、遺跡にいる人が１万個も遺跡に持ち込んだとは考えにくい、従って、Ｂ産地ではないと言う十分条件を満足する。またＣ産地では百万個中に一個、Ｄ産地では・・・・一個と各産地毎に十分条件を満足させ、客観的な検定結果から必要条件と十分条件をみたしたＡ産地の原石を使用した可能性が高いと同定する。即ち多変量解析の手法を用いて、各産地に帰属される確率を求めて産地を同定する。

今回分析した遺物は島根県大原郡木次町に位置する北原本郷遺跡出土の黒曜石製遺物１個と安山岩製遺物１個、また同県仁多郡奥出雲町三沢に位置する林原遺跡出土の黒曜石製遺物１個と安山岩製遺物２個の合計５個で、産地分析の結果が得られたので報告する。

黒曜石、安山岩（サヌカイトなど）原石の分析

黒曜石、サヌカイト両原石の自然面を打ち欠き、新鮮面を出し、塊状の試料を作り、エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置によって元素分析を行なう。分析元素はAl、Si、K、Ca、Ti、Mn、Fe、Rb、Sr、Y、Zr、Nbの12元素をそれぞれ分析した。 塊試料の形状差による分析値への影響を打ち消すために元素量の比を取り、それでもって産地を特定する指標とした。黒曜石は、Ca／K、Ti／K、Mn／Zr、Fe／Zr、Rb／Zr、Sr／Zr、Y／Zr、Nb／Zrの比量を産地を区別する指標としてそれぞ

れ用いる。黒曜石の原産地は北海道、東北、北陸、東関東、中信高原、伊豆箱根、伊豆七島の神津島、山陰、九州の各地に分布する。調査を終えた原産地を図１に示す。この原石群と原石産地が不明の遺物で作った遺物群を加えると282個の原石群・遺物群になる。安山岩では、K／Ca、Ti／Ca、Mn／Sr、Fe／Sr、Rb／Sr、Y／Sr、Zr／Sr、Nb／Srの値を指標として用いる。サヌカイトの原産地は、西日本に集中してみられ、石材として良質な原石の産地、および質は良くないが考古学者の間で使用されたのではないかと話題に上る産地、および玄武岩、ガラス質安山岩など、合わせて32ヶ所以上の調査を終えている。図２にサヌカイトの原産地の地点を示す。これら産地の原石および原石産地不明の遺物を元素組成で分類すると156個の原石群に分類できる。

また、岩屋、中持地域原産地の堆積層から円礫状で採取される原石の中に、金山・五色台地域産サヌカイト原石の諸群にほとんど一致する元素組成を示す原石がある。これら岩屋産出のものを分類すると、全体の約２／３が金山・五色台地域の諸群に一致し、これらが金山・五色台地域から流れ着いたことがわかる。和泉・岸和田原産地からも全体の約１％であるが金山東群に一致する原石が採取される（表４）。仮に、遺物が岩屋、和泉・岸和田原産地などの原石で作られている場合には、産地分析の手続きは複雑になる。まずその遺跡の複数の遺物を分析し、それぞれの群に帰属される頻度分布を求め、確率論による期待値と比較して確認しなければならない。金山東群を作った原石は香川県坂出市に位置する金山東麓を中心にした広い地域から採取された。この金山東群と組成の類似する原石は岩屋、和泉・岸和田の原産地からそれぞれ５％、１％の割合で採取されることから、一遺跡から複数の遺物を分析し、それぞれの群に帰属される頻度分布をもとめて、岩屋、和泉・岸和田原産地の原石が使用されたかどうか判断しなければならない。

結果と考察

遺跡から出土した黒曜石製石器、石片は風化に対して安定で、表面に薄い水和層が形成されているにすぎないため、表面の泥を水洗するだけで完全な非破壊分析が可能であると考えられる。黒曜石製の石器で、水和層の影響を考慮するとすれば、蛍光Ｘ線分析法の特性として軽い元素（原子番号の小さいもの）の分析ほど表面分析になるため、水和層の影響を受けやすいと考えられる。水和層の影響を回避するためCa／K、Ti／Kの両軽元素比量を除いて産地分析を行なった場合、また除かずに産地分析を行った場合、いずれの場合にも同定される産地は同じである。他の元素比量についても風化の影響を完全に否定することができないので、得られた確率の数値にはやゝ不確実さを伴うが、遺物の石材産地の判定を誤るようなことはない。また、安山岩製の遺物は、白っぽく表面が風化しているために、アルミナ粉末を風化面に吹き付け、新鮮面を出して分析している。

今回分析した北原本郷遺跡、林原遺跡出土黒曜石製遺物の分析結果を表５－１に、安山岩製遺物の分析結果を表５－２に示した。

石器の分析結果から石材産地を同定するためには数理統計の手法を用いて各原石群・遺物群との比較をする。説明を簡単にするためRb／Zrの一変量だけを考える。表５－１の分析番号98557番の遺物ではRb／Zrの値は0.376である。そして、表５－１の久見群のRb／Zrの［平均値］±［標準偏差値］は、0.386±0.011である。分析番号98557番の遺物と久見群の差を久見群の標準偏差値（σ）を基準にして考えると98557番遺物は久見群から0.9σ離れている。ところで久見群の原産地から100個の原石を採ってきて分析すると、平均値から±0.9σのずれより大きいものが36個ある。すなわ

ち、分析番号98557番の遺物が、久見群の原石から作られていたと仮定しても、0.9σ以上離れる確率は36％であると言える。だから、久見群の平均値から0.9σしか離れていないときには、この遺物が久見群の原石から作られたものでないとは到底言い切れない。ところがこの遺物を中町第１群に比較すると、中町第１群のRb／Zrの［平均値］±［標準偏差値］は、0.810±0.087であるので中町第１群の標準偏差値（σ）を基準にして考えると遺物は中町第１群から4.99σ離れている。これを確率の言葉で表現すると、中町第１群の産地の原石を採ってきて分析したとき、平均値から4.99σ以上離れている確率は、五十万分の一であると言える。このように、五十万個に一個しかないような原石をたまたま採取して、この遺物が作られたとは考えられないから、この遺物は、中町第１群産の原石から作られたものではないと断定できる。これらのことを簡単にまとめて言うと、「分析番号98557番の遺物は久見群に36％の確率で帰属され、信頼限界の0.1％を満たしていることから久見群原石が使用されていると同定され、さらに中町第１群に五千分の一％の低い確率で帰属され、信頼限界の0.1％に満たないことから中町第１群産原石でないと判定される」。しかし、例え久見群と中町第１群の原石の元素組成が異なっていて遺物が一ヶ所の産地（久見群産地）と一致したからと言っても、分析している試料は原石でなく遺物であり、さらに分析誤差が大きくなる不定形（非破壊分析）であることから、他の産地に一致しないとは言いきれない。また、同種岩石の中での分類である以上、他の産地にも一致する可能性は残る。すなわちある産地（久見群）に一致し必要条件を満たしてもその一致した産地の原石とだけ一致しているとは限らないために、帰属確率による判断を295個すべての原石群・遺物群について行ない、十分条件である低い確率（0.1％未満）で帰属された原石群・遺物群を消していくことにより、はじめて久見群産地の石材のみが使用されていると判定される。実際はRb／Zrといった唯１つの値だけでなく、前述した８個の値で取り扱うのでそれぞれの値の間の相関を考慮しなければならない。例えばＡ原産地のＡ群で、Ca元素とSr元素との間に相関があり、Caの量を計ればSrの量は分析しなくても分かるような場合を想定してみる。Ａ群の石材で作られた遺物であれば、Ａ群と比較したとき、Ca量が一致すれば当然Sr量も一致するはずである。もしSr量だけが少しずれている場合には、この試料はＡ群に属していないと言わなければならない。

このことを数量的に導き出せるようにしたのが相関を考慮した多変量統計の手法であるマハラノビスの距離を求めて行なうホテリングのＴ２乗検定である。これによって、それぞれの群に帰属する確率を求めて、産地を同定する[4, 5]。

産地の同定結果は１個の遺物に対して、黒曜石では295個の推定確率結果が得られている。今回産地分析を行った遺物の産地推定結果について低い確率で帰属された原産地の推定確率は紙面の都合上記入を省略しているが、本研究ではこれら産地の可能性が非常に低いことを確認したという非常に重要な意味を含んでいる。すなわち、久見群産原石と判定された遺物について、台湾の台東山脈産原石、北朝鮮の会寧遺跡で使用された原石と同じ元素組成の原石とか、信州和田峠、霧ケ峰産の原石の可能性を考える必要がない結果で、表６では高い確率で同定された産地のみの結果を記入した。原石群を作った原石試料は直径３㎝以上であるが、小さな遺物試料は単位時間あたりの分析カウントは少なくなり、含有量の少ない元素では、得られた遺物の測定値には大きな誤差範囲が含まれ、原石群の元素組成のバラツキの範囲を超えて大きくなる。したがって、小さな遺物の産地推定を行なったときに、判定の信頼限界としている0.1％に達しない確率を示す場合が比較的多くみ

られる。この場合には、原石産地（確率）の欄の確率値に替えて、マハラノビスの距離Ｄ２乗の値を記した。この遺物については、記入されたＤ２乗の値が原石群の中で最も小さなＤ２乗値で、この値が小さい程、遺物の元素組成はその原石群の元素組成と似ているといえるため、推定確率は低いが、そこの原石産地と考えてほゞ間違いないと判断されたものである。また、蛍光Ｘ線分析では、分析試料の風化による表面状態の変化（粉末の場合粒度の違い）、不定形では試料の置き方で誤差範囲を越えて分析値に影響が残り、分析値は変動し判定結果は一定しない。特に元素比組成の似た原産地同士では区別が困難で、遺物の原石産地が原石・遺物群の複数の原石産地に同定されるとき、および、信頼限界の0.1％の判定境界に位置する場合は、分析場所を変えて４～12回分析し最も多くの回数同定された産地を判定の欄に記している。また、判定結果には推定確率が求められているために、先史時代の交流を推測するときに、低確率（１％以下）の遺物はあまり重要に考えないなど、考古学者が推定確率をみて選択できるために、誤った先史時代交流を推測する可能性がない。以上のことは安山岩を含めた他の種類の石材の場合でも同様である。

今回分析した北原本郷遺跡、林原遺跡出土の黒曜石製遺物の２個のホテリングのＴ２乗検定法で表１の原石群と比較した結果、久見産原石が使用されていると判定された。また、十分条件で、久見原石と組成が比較的似ている北朝鮮の白頭山産原石、会寧城外遺物群の可能性が否定されたことから、隠岐との交流のみで北朝鮮との交流の可能性は否定された結果である。

安山岩製遺物の原石は、坂出市金山地域では、金山東麓からのサヌカイトで作られた金山東群と金山西麓からの金山西群があり、また金山の隣の城山地域では城山群がある。これら各群は比較的似ていて、従来のK／Ca、Ti／Ca、Mn／Sr、Fe／Sr、Rb／Sr、Y／Sr、Zr／Sr、Nb／Srの比の値を指標としてのホテリングのＴ２乗検定では、遺物の中には信頼限界の0.1％以上の確率で、金山東、金山西、城山の各群に同時に同定される場合があった。このため、新たな元素比の組み合わせのK／Si、Ca／K、Ti／K、Rb／Fe、Fe／Zr、Sr／Zr、Sr／Rb、Si／Feの比の値を指標としてホテリングのＴ２乗検定を行い、金山東群と金山西、城山群が明確に区別できるようにし、結果を新元素比による金山東・金山西・城山のホテリングのＴ２乗検定の欄に記した。この２段階ホテリングの判定により金山東麓の原石が使用された可能性がより明確に判定できるようになり、結果を判定の欄に記した。また、金山東群に一致する原石は、淡路島岩屋産地から採取原石の５％、和泉・岸和田産地からは１％の産出頻度で採取される。よって北原本郷遺跡から出土する金山東群と同定された１個は、淡路島岩屋産地から５％の確率で、また、和泉・岸和田産地からは１％の確率で採取された原石が北原本郷遺跡に伝搬する確率である。この１個の結果からでは岩屋産地、和泉・岸和田産地から採取された原石の可能性を払拭できない。５％、１％の確率は低いように思えるが、先史時代の人は、広い交易範囲を持っていて、直接または間接的に淡路島岩屋産地、和泉・岸和田産地地域の交流も推測されることから、自然科学の手法で金山東麓産原石と判定するには最低でも５個程度の分析によって、金山東麓のサヌカイトが伝播したと判定される必要がある。

林原遺跡では、岩屋産地、和泉・岸和田産地から採取される確率は、それぞれ、0.05（５％）および0.01（１％）を２回累乗した確率でそれぞれ、0.25％と0.01％で、岩屋産地、和泉・岸和田産地から採取された原石の可能性は低く、金山東麓のサヌカイトが伝播したと判定された。遺物から交流を推測するとき、坂出市金山東麓との交流のみを考え、瀬戸内海を通り兵庫県、大阪府産地原石が岡山の遺跡に伝播した可能性は不明であるが、この岡山県を経由して北原本郷遺跡へ伝播した

可能性を考えなくてよい結果で、金山東麓との交流を推測しても産地分析の結果と矛盾しない。

参考文献

（1）　藁科哲男・東村武信（1975），蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定（Ⅱ）。考古学と自然科学，8:61-69
（2）　藁科哲男・東村武信・鎌木義昌（1977），（1978），蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定（Ⅲ）。（Ⅳ）。考古学と自然科学，10，11:53-81:33-47
（3）　藁科哲男・東村武信（1983），石器原材の産地分析。考古学と自然科学，16:59-89
（4）　東村武信（1976），産地推定における統計的手法。考古学と自然科学，9:77-90
（5）　東村武信（1980），考古学と物理化学。学生社

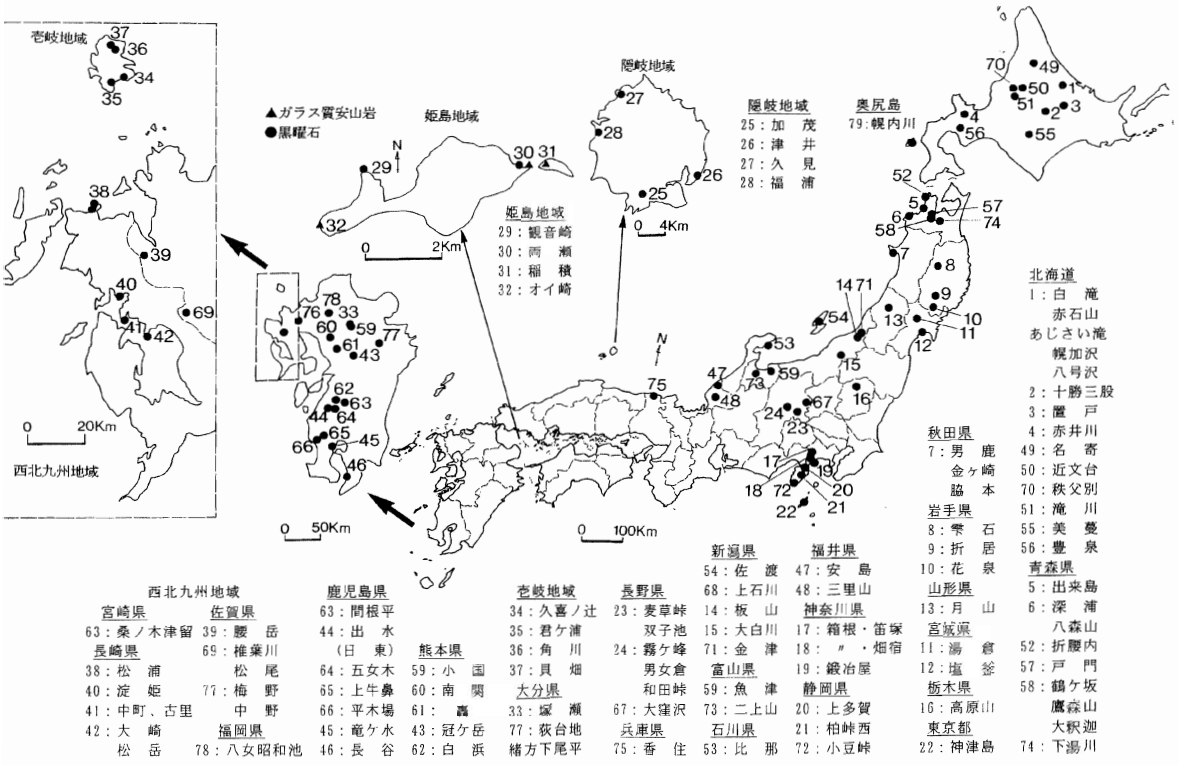


図1　　黒曜石原産地

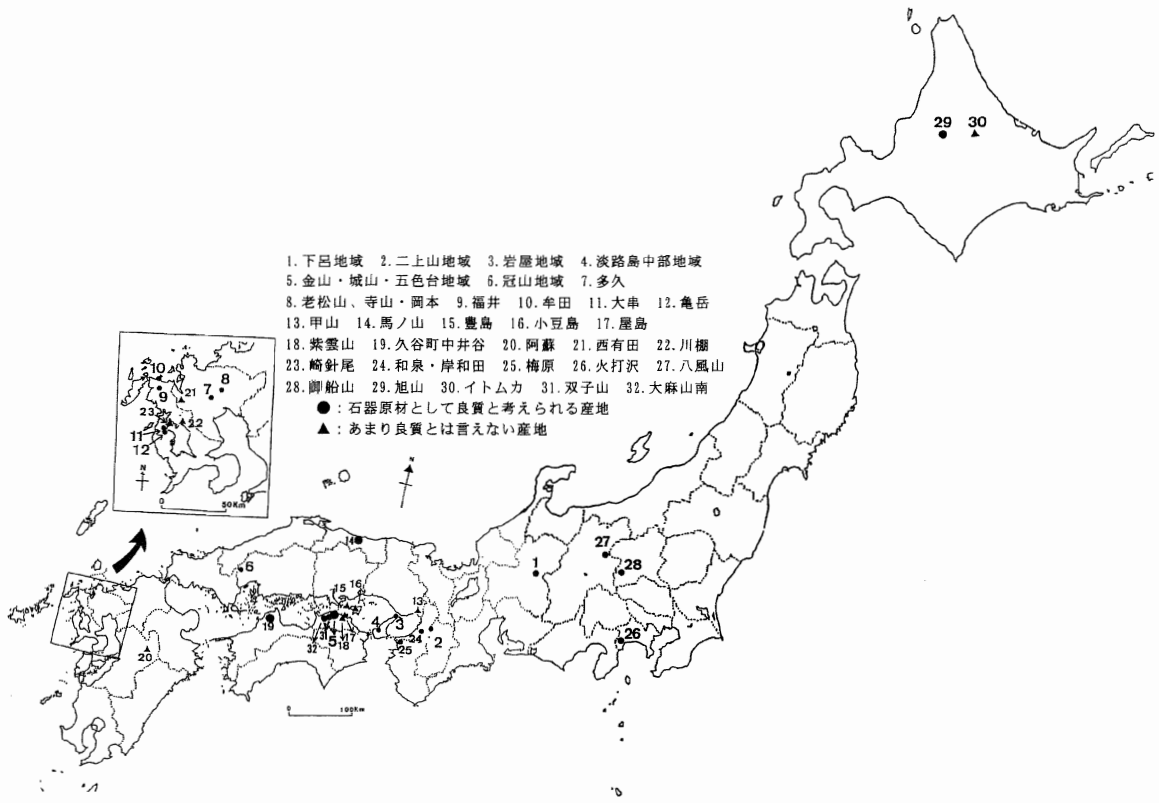


図2　安山岩（サヌカイト）の原産地

表５－１　北原本郷、林原遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果

分析番号	元素比									
	Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
98552	0.143	0.061	0.021	0.968	0.386	0.002	0.111	0.242	0.024	0.310
98557	0.145	0.060	0.021	0.968	0.376	0.007	0.107	0.235	0.024	0.310
JG-1	0.780	0.208	0.072	4.113	0.969	1.260	0.310	0.047	0.031	0.317

表５－２　北原本郷、林原遺跡出土安山岩製遺物の元素比分析結果

分析番号	元素比									
	K/Ca	Ti/Ca	Mn/Sr	Fe/Sr R	b/Sr	Y/Sr	Zr/Sr	Nb/Sr	Al/Ca	Si/Ca
98553	0.456	0.229	0.081	4.488	0.294	0.091	1.174	0.026	0.025	0.184
98558	0.451	0.221	0.083	4.533	0.312	0.085	1.182	0.033	0.024	0.180
98559	0.452	0.223	0.084	4.544	0.303	0.086	1.208	0.021	0.024	0.182

JG-1：標準試料-Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E.　1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt.　Geochemical Journal, Vol.8 175-192 (1974)

表６　北原本郷、林原遺跡出土黒曜石、安山岩製遺物の原材産地分析結果

番号	遺跡名	分析番号	出土地点	ホテリングＴ２乗検定(確率)	新元素比によるホテリングのＴ２乗検定(確率)	判定
1	北原本郷遺跡	98552	９区 Y22　１層　Pno.2271	久見(38%)		久見
2	北原本郷遺跡	98553	８区 W36　２層	金山東(67%), 城山(1%)	金山東(29%), 城山(0.00001%)	金山東
6	林原遺跡	98557	土器溜まり３　Pno.4068	久見(99.8%), 加茂(0.2%)		久見
7	林原遺跡	98558	土器溜まり３	金山東(95%), 城山(0.2%)	金山東(43%), 城山(0.00001%)	金山東
8	林原遺跡	98559	SI01　Pno.4671	金山東(96%)	金山東(82%)	金山東

新元素比によるホテリングのＴ２乗検定：K/Si、Ca/K、Ti/K、Rb/Fe、Fe/Zr、Sr/Zr、Sr/Zr、Si/Feの元素比により金山東、城山の各群の区別をホテリングのＴ２乗検定で行う。この検定で分析できされた遺物は金山東群にのみ特定され区別が明確になった。しかし、表１に掲載している他の原石群について、この検定を行っていないために、他の原石・遺物群については、従来のK/Ca、Ti/Ca、Mn/Sr、Fe/Sr、Rb/Sr、Y/Sr、Zr/Sr、Nb/Srの元素比によるホテリングのＴ２乗検定により判定をおこなった。両検定で、高確率で共通に一致した原石群は金山東群が必要条件を満たし、また、他の１７４個の原石・遺物群には信頼限界の０．１%に達しなかったことから、十分条件を満たている。

注意：近年産地分析を行う所が多くなりましたが、判定根拠が曖昧にも関わらず結果のみを報告される場合があります。本報告では日本における各遺跡の産地分析の判定基準を一定にして、産地分析を行っていますが、判定基準の異なる研究方法（土器様式の基準も研究方法で異なるように)にも関わらず、似た産地名のために同じ結果のように思われるが、全く関係（相互チェックなし）ありません。本研究結果に連続させるには本研究法で再分析が必要です。本報告の分析結果を考古学資料とする場合には常に同じ基準で判定されている結果で古代交流圏などを考察をする必要があります。

第２節　放射性炭素年代測定結果報告書（ＡＭＳ測定）林原遺跡

（株）加速器分析研究所

（１）遺跡の位置

林原遺跡は、島根県仁多郡奥出雲町三沢1757-1（35° 13′ 05″、132° 59′ 04″）に位置する。斐伊川左岸に位置し、斐伊川に削られた丘陵先端に立地する。

（２）測定の意義

土器溜まり３・４、ＳＩ01、ＳＩ01－ＳＫ1の時期を明らかにする。

（３）測定対象試料

測定対象試料は、土器溜まり３から出土した土器付着炭化物（No. 7：IAAA-62723）、土器溜まり４から出土した土器付着炭化物（No. 8：IAAA-62724）、ＳＩ01の焼土付近の埋土中から出土した土器付着炭化物（No. 9：IAAA-62725）、ＳＩ01－ＳＫ１底部から出土した土器付着炭化物（No. 10：IAAA-62726）、合計４点である。これらの遺構からは、縄文時代後期の土器が出土した。また、ＳＩ01は三瓶太平山火山灰（約3600年前）に覆われている。

（４）化学処理工程

１）メス・ピンセットを使い、根・土等の表面的な不純物を取り除く。

２）AAA（Acid Alkali Acid）処理。酸処理、アルカリ処理、酸処理により内面的な不純物を取り除く。最初の酸処理では１Ｎの塩酸（80℃）を用いて数時間処理する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。アルカリ処理では0.001～１Ｎの水酸化ナトリウム水溶液（80℃）を用いて数時間処理する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。最後の酸処理では１Ｎの塩酸（80℃）を用いて数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈し、90℃で乾燥する。

３）試料を酸化銅１ｇと共に石英管に詰め、真空下で封じ切り、500℃で30分、850℃で２時間加熱する。

４）液体窒素とエタノール・ドライアイスの温度差を利用し、真空ラインで二酸化炭素（CO_2）を精製する。

５）精製した二酸化炭素から鉄を触媒として炭素のみを抽出（還元）し、グラファイトを作製する。

６）グラファイトを内径１㎜のカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、加速器に装着し測定する。

（５）測定方法

測定機器は、３ＭＶタンデム加速器をベースとした^{14}C-AMS専用装置（NEC Pelletron 9 SDH-２）を使用する。134個の試料が装填できる。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOxⅡ）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

また、加速器により$^{13}C/^{12}C$の測定も同時に行う。

（6）算出方法

1）年代値の算出には、Libbyの半減期5568年を使用した。

2）BP年代値は、過去において大気中の炭素14濃度が一定であったと仮定して測定された、1950年を基準年として遡る放射性炭素年代である。

3）付記した誤差は、次のように算出した。
複数回の測定値について、χ^2検定を行い測定値が1つの母集団とみなせる場合には測定値の統計誤差から求めた値を用い、みなせない場合には標準誤差を用いる。

4）$\delta^{13}C$の値は、通常は質量分析計を用いて測定するが、AMS測定の場合に同時に測定される$\delta^{13}C$の値を用いることもある。
$\delta^{13}C$補正をしない場合の同位体比および年代値も参考に掲載する。

同位体比は、いずれも基準値からのずれを千分偏差（‰；パーミル）で表した。

$$\delta^{14}C = [(^{14}A_S - {}^{14}A_R) / {}^{14}A_R] \times 1000 \quad (1)$$
$$\delta^{13}C = [(^{13}A_S - {}^{13}A_{PDB}) / {}^{13}A_{PDB}] \times 1000 \quad (2)$$

ここで、$^{14}A_S$：試料炭素の^{14}C濃度：$(^{14}C/^{12}C)_S$ または $(^{14}C/^{13}C)_S$
$^{14}A_R$：標準現代炭素の^{14}C濃度：$(^{14}C/^{12}C)_R$ または $(^{14}C/^{13}C)_R$

$\delta^{13}C$は、質量分析計を用いて試料炭素の^{13}C 濃度（$^{13}A_S = {}^{13}C/^{12}C$）を測定し、PDB（白亜紀のベレムナイト（矢石）類の化石）の値を基準として、それからのずれを計算した。但し、加速器により測定中に同時に$^{13}C/^{12}C$を測定し、標準試料の測定値との比較から算出した$\delta^{13}C$を用いることもある。この場合には表中に〔加速器〕と注記する。

また、$\Delta^{14}C$は、試料炭素が$\delta^{13}C = -25.0$（‰）であるとしたときの^{14}C濃度（$^{14}A_N$）に換算した上で計算した値である。（1）式の^{14}C濃度を、$\delta^{13}C$の測定値をもとに次式のように換算する。

$$^{14}A_N = {}^{14}A_S \times (0.975/(1 + \delta^{13}C/1000))^2 \quad (^{14}A_S\text{として}{}^{14}C/^{12}C\text{を使用するとき})$$
または
$$= {}^{14}A_S \times (0.975/(1 + \delta^{13}C/1000)) \quad (^{14}A_S\text{として}{}^{14}C/^{13}C\text{を使用するとき})$$

$$\Delta^{14}C = [(^{14}A_N - {}^{14}A_R)/ {}^{14}A_R] \times 1000 \ (‰)$$

貝殻などの海洋が炭素起源となっている試料については、海洋中の放射性炭素濃度が大気の炭酸ガス中の濃度と異なるため、同位体補正のみを行った年代値は実際の年代との差が大きくなる。多くの場合、同位体補正をしない$\delta^{14}C$に相当するBP年代値が比較的よくその貝と同一時代のものと考えられる木片や木炭などの年代値と一致する。

^{14}C濃度の現代炭素に対する割合のもう一つの表記として、pMC（percent Modern Carbon）がよく使われており、$\Delta^{14}C$との関係は次のようになる。

$$\Delta^{14}C = (pMC/100 - 1) \times 1000 \quad (‰)$$

$$pMC = \Delta^{14}C/10 + 100 \quad (\%)$$

国際的な取り決めにより、この$\Delta^{14}C$あるいはpMCにより、放射性炭素年代（Conventional Radiocarbon Age；yrBP）が次のように計算される。

$$T = -8033 \times \ln[(\Delta^{14}C/1000) + 1]$$

$$= -8033 \times \ln(pMC/100)$$

5）^{14}C年代値と誤差は，1桁目を四捨五入して10年単位で表示される。

6）較正暦年代の計算では、IntCal04データベース（Reimer et al 2004）を用い、OxCalv3.10較正プログラム（Bronk Ransey1995 Bronk Ransey 2001 Bronk Ramsey, van der Plicht and Weninger 2001）を使用した。

（7）測定結果

測定された^{14}C年代は、土器溜まり3から出土した土器付着炭化物（No.7：IAAA-62723）が3690±40yrBP、土器溜まり4から出土した土器付着炭化物（No.8：IAAA-62724）が3720±40yrBP、SI01の焼土付近の埋土中から出土した土器付着炭化物（No.9：IAAA-62725）が3770±40yrBP、SI01-SK1底部から出土した土器付着炭化物（No.10：IAAA-62726）が3750±40yrBPである。暦年較正年代（1σ）は、No.7が2140BC～2030BC（68.2%）、No.8が2200BC～2170BC（9.6%）・2150BC～2110BC（17.6%）・2100BC～2030BC（41.0%）、No.9が2280BC～2240BC（16.7%）・2230BC～2130BC（51.5%）、No.10が2280BC～2250BC（4.9%）・2210BC～2130BC（50.5%）・2090BC～2050BC（12.9%）である。4点の測定年代は近似しており、縄文時代後期前葉の中の後半段階に相当する。共伴遺物の年代や層序とも整合的であることから、妥当な年代と考えられる。

参考文献

Stuiver M. and Polash H.A.（1977）Discussion:Reporting of 14C data. Radiocarbon,19:355-363

Bronk Ramsey C.（1995）Radiocarbon calibration and analysis of stratigraphy: the OxCal Program, Radiocarbon, 37（2）425-430

Bronk Ramsey C.（2001）Development of the Radiocarbon Program OxCal, Radiocarbon, 43（2A）355-363

Bronk Ramsey C., van der Plicht J. and Weninger B.（2001）'Wiggle Matching' radiocarbon dates, Radiocarbon, 43（2A）381-389

Reimer, P.J. et al.（2004）IntCal04 terrestrial radiocarbon age calibration, 0-26cal kyr BP. Radiocarbon 46, 1029-1058

IAA

IAA Code No.	試料	BP 年代および炭素の同位体比
IAAA-62723	試料採取場所 ： 島根県仁多郡奥出雲町三沢 1757-1 林原遺跡	Libby Age(yrBP) ： 3,690 ± 40
		$\delta^{13}C$(‰)、(加速器) ＝ -27.50 ± 0.55
	試料形態 ： 炭化物	$\Delta^{14}C$(‰) ＝ -368.5 ± 2.7
	試料名(番号) ： No. 7	pMC(%) ＝ 63.15 ± 0.27
		$\delta^{14}C$(‰) ＝ -371.7 ± 2.6
	(参考) $\delta^{13}C$ の補正無し	pMC(%) ＝ 62.83 ± 0.26
#1650-1		Age (yrBP) ： 3,730 ± 30
IAAA-62724	試料採取場所 ： 島根県仁多郡奥出雲町三沢 1757-1 林原遺跡	Libby Age(yrBP) ： 3,720 ± 40
		$\delta^{13}C$(‰)、(加速器) ＝ -24.42 ± 0.55
	試料形態 ： 炭化物	$\Delta^{14}C$(‰) ＝ -370.4 ± 2.7
	試料名(番号) ： No. 8	pMC(%) ＝ 62.96 ± 0.27
		$\delta^{14}C$(‰) ＝ -369.6 ± 2.6
	(参考) $\delta^{13}C$ の補正無し	pMC(%) ＝ 63.04 ± 0.26
#1650-2		Age (yrBP) ： 3,710 ± 30
IAAA-62725	試料採取場所 ： 島根県仁多郡奥出雲町三沢 1757-1 林原遺跡	Libby Age(yrBP) ： 3,770 ± 40
		$\delta^{13}C$(‰)、(加速器) ＝ -23.32 ± 0.64
	試料形態 ： 炭化物	$\Delta^{14}C$(‰) ＝ -374.9 ± 2.8
	試料名(番号) ： No. 9	pMC(%) ＝ 62.51 ± 0.28
		$\delta^{14}C$(‰) ＝ -372.8 ± 2.7
	(参考) $\delta^{13}C$ の補正無し	pMC(%) ＝ 62.72 ± 0.27
#1650-3 代替		Age (yrBP) ： 3,750 ± 40
IAAA-62726	試料採取場所 ： 島根県仁多郡奥出雲町三沢 1757-1 林原遺跡	Libby Age(yrBP) ： 3,750 ± 40
		$\delta^{13}C$(‰)、(加速器) ＝ -32.36 ± 0.54
	試料形態 ： 炭化物	$\Delta^{14}C$(‰) ＝ -373.2 ± 2.9
	試料名(番号) ： No. 10	pMC(%) ＝ 62.68 ± 0.29
		$\delta^{14}C$(‰) ＝ -382.6 ± 2.8
	(参考) $\delta^{13}C$ の補正無し	pMC(%) ＝ 61.74 ± 0.28
#1650-4		Age (yrBP) ： 3,870 ± 40

参考

IAAA-62725 に関しましては，代替試料を処理し測定した結果になります。

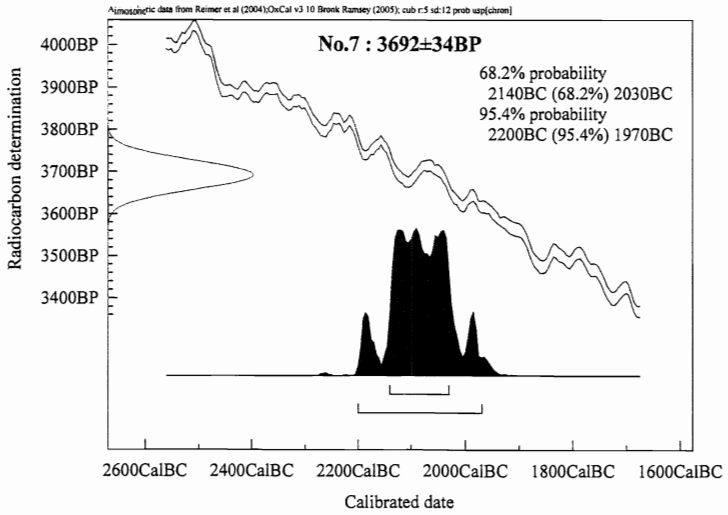
参考資料：暦年較正用年代

IAA

IAA Code No.	試料番号	Libby Age(yrBP)
IAAA-62723	No. 7	3692 ± 34
IAAA-62724	No. 8	3716 ± 34
IAAA-62725	No. 9	3774 ± 36
IAAA-62726	No. 10	3752 ± 37

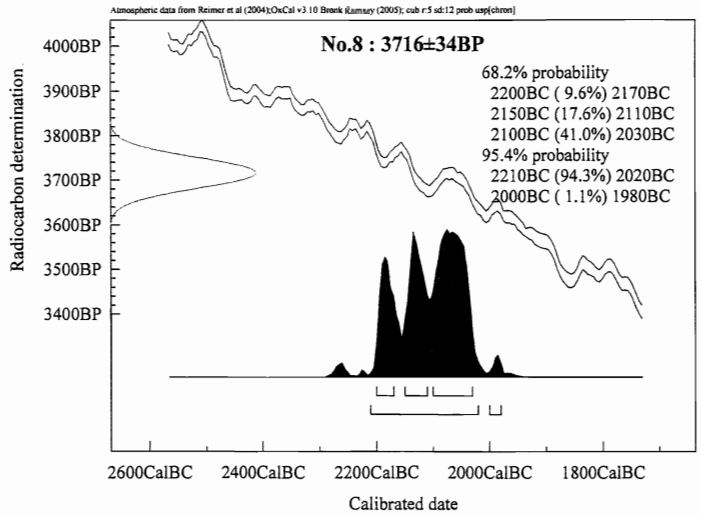
ここに記載する Libby Age（年代値）と誤差は下１桁を丸めない値です。

【参考値：暦年補正　Radiocarbon determination】



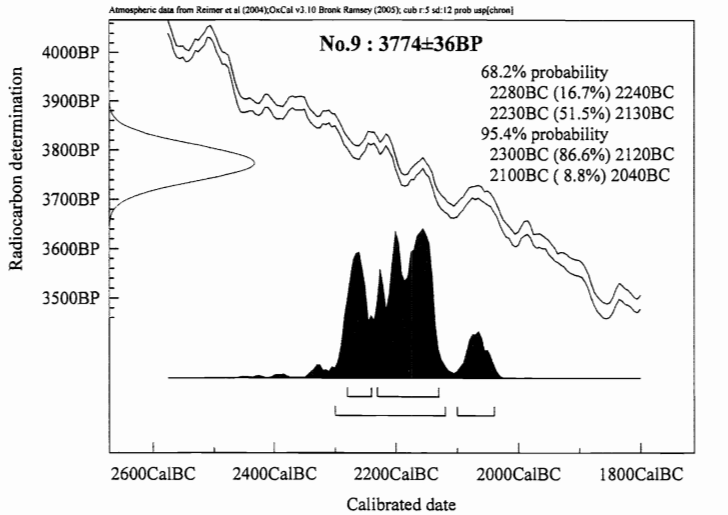
使用プログラム・OxCal　v3.10

【参考値：暦年補正　Radiocarbon determination】



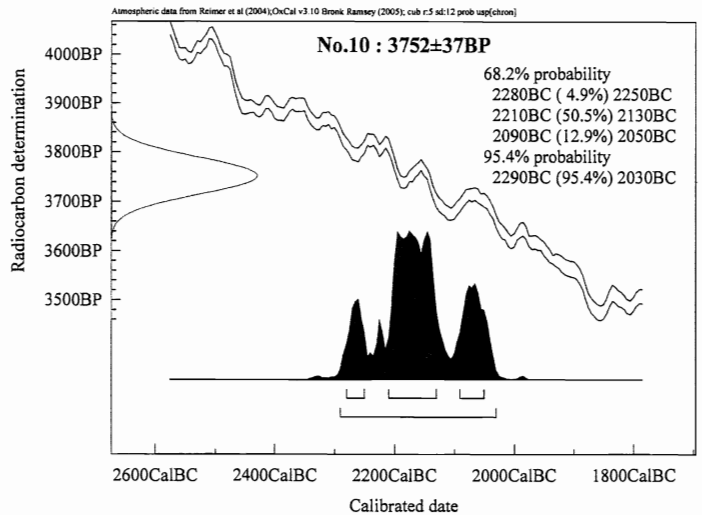
使用プログラム・OxCal　v3.10

【参考値：暦年補正　Radiocarbon determination】



使用プログラム・OxCal　v3.10

【参考値：暦年補正　Radiocarbon determination】



使用プログラム・OxCal　v3.10

第３節　林原遺跡から出土した遺物に付着した赤色顔料について

島根県埋蔵文化財調査センター　柴崎　晶子

林原遺跡から出土した縄文土器のうち２点に赤色顔料が付着していることが肉眼観察にて確認された。土器をはじめ遺物に付着している赤色顔料の種類として水銀朱（硫化水銀；HgS）、ベンガラ（酸化第二鉄；Fe_2O_3）、鉛丹（四酸化三鉛；Pb_3O_4）が想定される[*1]が、出土した土器の年代から水銀朱かベンガラが多用されていたと考えられる。これらの遺物の用途を知る手がかりとして赤色顔料の主成分の同定を行なった。

１．試　　料

林原遺跡出土の縄文土器２点を分析した。詳細は以下のとおりである。

挿図番号	種　別	器　種	赤色顔料の状態
第73図５	縄文土器	深　　鉢	内面に塗膜状に付着
第97図21	縄文土器	浅　　鉢	外面の文様の中に入り込むように残存

２．分析方法

エネルギー分散型蛍光X線分析（XRF）による定性分析を行なった。

使用機器は奈良大学保存科学研究室が所有、管理しているEDAX社製エネルギー分散型微小部蛍光X線分析EAGLEⅡXXLである。分析条件は以下のとおりである。

X線管球；Cr（クロム）　　走査範囲；$2\theta = 65^{\circ}$

測定雰囲気；真空　　測定時間；200秒

管電圧；25Kv　　管電流；800μA

３．結　　果

分析結果を以下に示す。

挿図番号	結　　果
第73図５	水銀朱（HgS）
第97図21	ベンガラ（Fe2O3）

蛍光X線分析の結果、ＤＴ１－５では水銀（Hg）硫黄（S）の検出ピークが高かったことにより、水銀朱が付着しているといえる。ＤＴ６－21ではFe（鉄）の検出ピークが高く、鉄を多く含む顔料が付着していると考えられ、遺物への付着状態や顕微鏡による観察によってベンガラであると判断した。

4．まとめ

赤色顔料の使用について林原遺跡では水銀朱とベンガラが確認された。第73図５は土器内面に付着し、外面には赤色顔料の付着が確認されなかったことから水銀朱の保管や運搬、あるいは加工に使われたものであると考えられる。土器内面に水銀朱が残存している場合、粉状のものが胎土に入り込んだように残っていることが多いが、第73図５ではやや厚みのある塗膜のように水銀朱が残っており、容易に剥落しないことから膠や漆などの接着剤のような物質との加工*2が推測される。第97図21は付着状態から装飾を目的としてベンガラが使われたと考えられる。

また、尾原ダム建設予定地内では過去の調査から多くの縄文土器や土製品に赤色顔料が付着していることが確認されている。したがって、この地域では赤色顔料が幅広く使用されていたと考えられる。

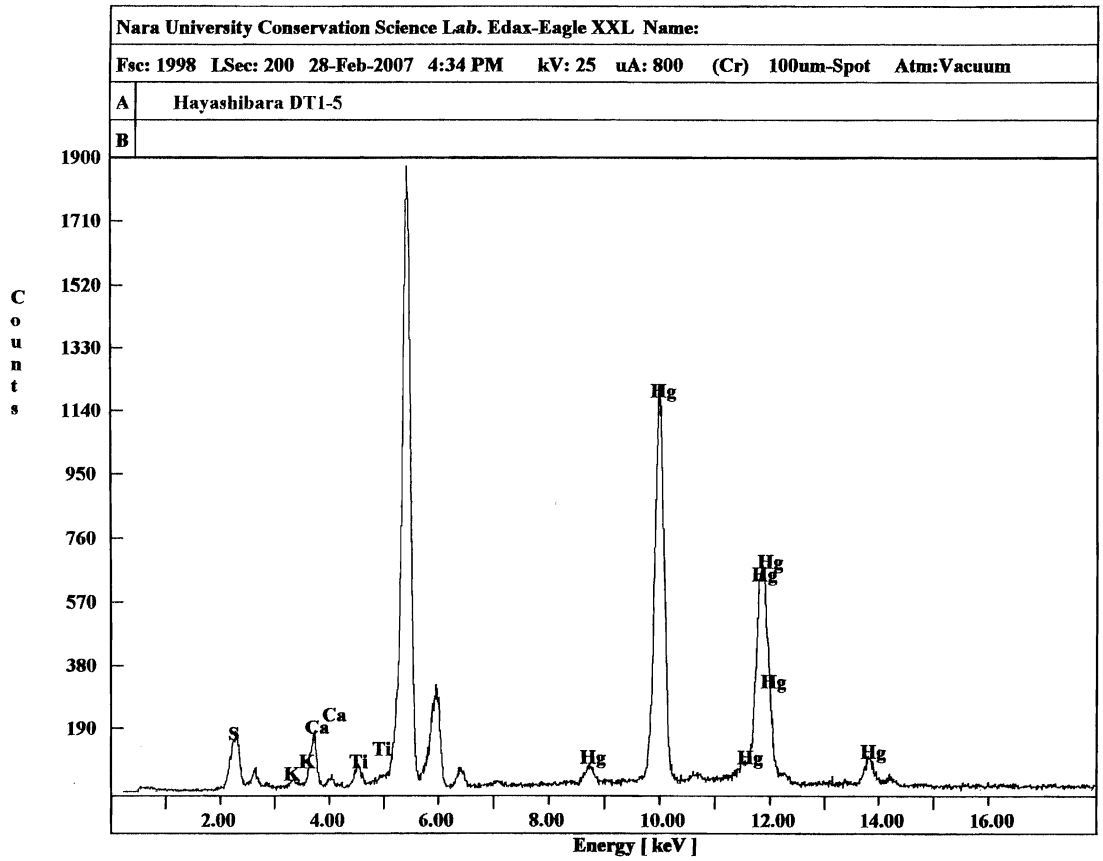
謝　辞

蛍光Ｘ線分析に際し、奈良大学保存科学研究室の西山要一教授には機器の使用にあたり格別のご配慮をいただきました。厚く御礼申し上げます。

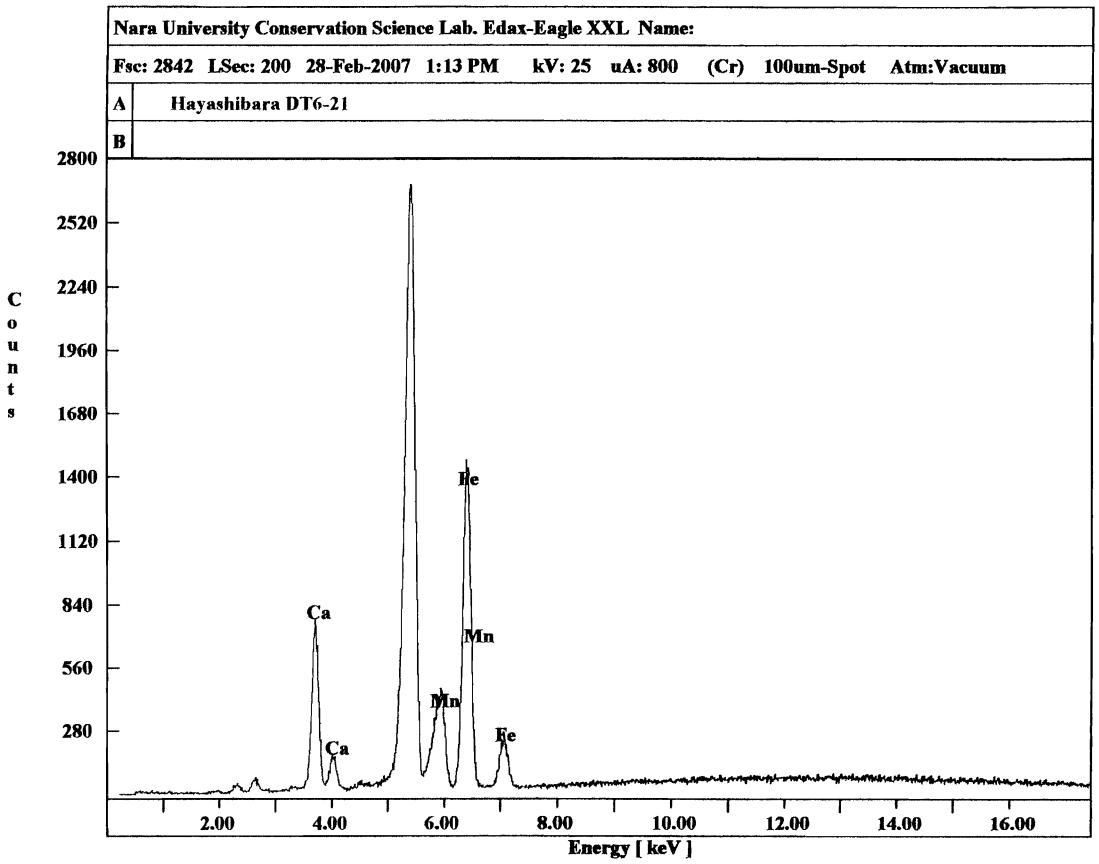
＊1　市毛勲　1998　『新版　朱の考古学』　雄山閣
＊2　大田区立郷土博物館　編　2001　『ものづくりの考古学―原始・古代の人々の知恵と工夫―』東京美術

蛍光Ｘ線分析スペクトル

第 73 図 5



第 97 図 21



第２表　林原遺跡検出遺構計測表

竪穴住居及び付属土坑計測表

遺構名	層位	上面 長軸	上面 短軸	床面 長軸	床面 短軸	検出高	底面高	深さ	備考(時期)
SI01	1	4.62	3.88	4.01	3.92	199.43	199.32	0.11	縄文後期中葉
SI01-SK1	1	1.8	1.03	1.34	0.62	199.34	199.02	0.32	縄文後期中葉
SI01-SK2	1	1.46	0.68	0.92	0.4	199.4	199.12	0.28	縄文後期中葉
SI02	1	2.38	2	1.9	1.62	200.21	200.06	0.15	古墳後期

焼土計測表

遺構名	層位	上面 長軸	上面 短軸	底面 長軸	底面 短軸	検出高	底面高	深さ	備考(時期)
焼土01	1a	1.12	0.97	0.74	0.6	200.49	200.26	0.23	縄文後期中葉
焼土02	1a	0.82	0.72	0.3	0.22	200.22	200.06	0.16	縄文後期
焼土03	1a	1.12	0.83	0.76	0.56	200.14	199.9	0.24	縄文後期
焼土04	1b	(0.78)	(0.66)	(0.7)	(0.62)	199.53	199.38	0.15	縄文後期中葉
焼土05	1	(0.8)	0.54	(0.48)	0.44	199.46	199.3	0.16	縄文後期中葉
焼土06	1	0.42	0.27	不明	不明	198.31	不明	不明	縄文後期中葉
焼土07	1	0.41	(0.22)	不明	不明	198.3	不明	不明	縄文後期中葉
焼土08	1	0.62	0.5	0.36	0.3	198.75	198.62	0.13	縄文後期中葉
焼土09	1	0.78	0.55	0.46	0.42	198.72	198.46	0.26	縄文後期中葉
焼土10	1	0.62	0.62	不明	不明	198.32	198.26	0.06	縄文後期中葉
焼土11	1	0.68	0.22	不明	不明	198.95	198.82	0.13	
焼土12	1	0.5	0.38	0.38	0.28	198.77	198.7	0.07	
焼土13	1	0.54	0.42	不明	不明	198.66	198.58	0.08	縄文後期中葉
焼土14	1	0.3	0.21	不明	不明	198.85	198.79	0.06	縄文後期中葉
焼土15	1	0.71	0.25	不明	不明	198.79	198.66	0.13	縄文後期中葉
焼土16	1	0.52	0.38	不明	不明	199.81	199.72	0.09	古墳後期

炭溜まり計測表

遺構名	層位	上面 長軸	上面 短軸	底面 長軸	底面 短軸	検出高	底面高	深さ	備考(時期)
炭溜まり1	1a	0.73	0.61	不明	不明	200.63	200.54	0.09	
炭溜まり2	1a	1.2	1.1	0.49	0.42	200.58	200.44	0.14	
炭溜まり3	1a	0.88	0.48	0.52	0.26	200.34	200.26	0.08	
炭溜まり4	1	0.84	0.54	0.42	0.28	199.4	199.28	0.12	

石鍾溜まり計測表

遺構名	層位	長軸	短軸	石鍾の個数	石鍾の大きさ	検出高	最低レベル	高低差	備考(時期)
石鍾だまり1	1	0.27	0.15	11個	4～8cm	199.61	199.52	0.09	縄文後期中葉
石鍾だまり2	1b	0.25	0.16	11個	5～6cm	199.56	199.4	0.16	縄文後期中葉
石鍾だまり3	1	0.28	0.21	7個	5～7cm	198.655	198.57	0.08	縄文後期中葉

流路跡計測表

遺構名	層位	上面 長さ	上面 幅	底面 長さ	底面 幅	検出高	底面高	深さ	備考(時期)
SR01	1	2.4	0.48	2.4	0.28	197.98	197.83	0.15	
SR02	1	0.98	0.38	1.08	0.23	197.98	197.83	0.15	
SR03	1	9.72	2.16	10.88	0.4	198.1	197.6	0.5	弥生後期

土器埋設遺構計測表

遺構名	層位	底部形態	埋設状態	検出高	底面高	深さ	備考(時期)
埋設遺構1	1a	尖底	正位	200.35	200	0.35	縄文晩期中葉
埋設遺構2	1	欠損	逆位	199.59	199.25	0.34	縄文後期前葉
埋設遺構3	1	尖底	正位	198.9	198.62	0.35	縄文晩期中葉
埋設遺構4	1	丸底	正位	199.38	199.07	0.25	縄文晩期中葉

配石遺構及び下部土坑計測表

遺構名	層位	検出面 長軸	検出面 短軸	底面 長軸	底面 短軸	検出高	底面高	深さ	平面形	備考(時期)
配石遺構01	1a									
配石遺構02	1a									
配石遺構03	1c									
配石遺構04	1	1.69	1.16	1.04	0.96	199.49	198.98	0.51	楕円形	縄文後期中葉
配石遺構05	1	1.08	1.1	0.91	0.61	198.73	198.43	0.3	円形	縄文後期中葉
配石遺構06	1	1.05	(0.25)	0.99	(0.21)	198.69	198.6	0.09	長楕円形	縄文後期中葉
配石遺構07	1	0.98	0.84	0.64	0.54	199.88	199.57	0.31	円形	縄文時代
配石遺構08	1									
配石遺構09	1	1.74	1.08	1.22	0.7	198.09	198.68	0.41	楕円形	縄文後期中葉
配石遺構10	1	1.11	0.82	0.92	0.6	200.23	199.95	0.28	楕円形	縄文晩期中葉
配石遺構11	1	0.99	0.83	0.82	0.73	198.77	198.65	0.12	円形	
配石遺構12	1	0.83	0.72	0.73	0.54	200.25	200.1	0.15	円形	縄文後期か
配石遺構13	1									
配石遺構14	1									
配石遺構15	1									縄文時代
配石遺構16	1									
配石遺構17	1									

土坑計測表

遺構名	層位	上面 長軸	上面 短軸	下面 短軸	下面 長軸	検出高	底面高	深さ	平面形	備考(時期)
SK01	1a	1.2	0.56	0.29	0.92	200.15	199.96	0.19	不整楕円形	
SK02	1a	1.31	0.75	0.3	1.25	200.4	200.2	0.2	楕円形	
SK03	1a	0.96	0.86	0.32	0.5	200.36	200.18	0.18	円形	縄文後期中葉
SK04	1a	0.82	0.74	0.34	0.42	200.01	199.75	0.26	円形	
SK05	1a	1.1	0.88	0.42	0.63	200.45	200.12	0.33	円形	
SK06	1b	0.93	0.54	0.45	0.82	200.64	200.49	0.15	楕円形	
SK07	1b	(2)	(0.46)	(0.38)	(1.68)	199.32	199.03	0.29	楕円形	縄文後期中葉
SK08	1c	0.8	0.7	0.56	0.46	199.26	198.96	0.3	円形	縄文中期後葉
SK09	1c	0.78	0.66	0.59	0.7	199.06	198.04	0.02	円形	
SK10	1c	0.9	0.78	0.52	0.68	199.28	198.68	0.6	不整楕円形	縄文中期後葉
SK11	1c	1.38	0.68	0.52	1.02	199.16	198.87	0.29	長楕円形	縄文中期後葉
SK12	1c	0.78	0.7	0.58	0.66	199.16	199.08	0.08	円形	
SK13	1c	0.9	0.81	0.66	0.84	199.54	199.1	0.44	円形	縄文後期
SK14	1	1.42	1.2	1.04	1.2	199.3	198.18	1.12	円形	縄文中期後葉
SK15	1	1.1	0.72	0.56	0.96	198.79	198.59	0.2	楕円形	縄文後期中葉
SK16	1	1.3	0.92	0.7	0.96	198.87	198.44	0.43	楕円形	縄文後期中葉
SK17	1	0.9	0.38	不明	不明	199.25	不明	不明	長楕円形	縄文後期中葉
SK18	1	(0.9)	(0.3)	(0.08)	(0.2)	198.73	198.43	0.3	円形	縄文後期
SK19	1	2	0.9	0.6	0.9	不明	不明	不明	長楕円形	
SK20	1	(1.4)	(0.32)	(0.14)	(1.12)	197.1	196.92	0.18	楕円形	
SK21	1	1.24	1.08	0.86	1.04	198.6	198.42	0.18	隅丸方形	縄文後期
SK22	1	0.84	0.43	0.36	0.73	198.49	198.36	0.13	長楕円形	
SK23	1	0.86	0.48	0.38	0.74	199.33	199.2	0.13	長楕円形	縄文時代
SK24	1	1.22	0.92	0.58	0.9	198.66	198.5	0.16	不整楕円形	縄文時代
SK25	1	1.28	0.73	0.5	0.94	201.45	201.24	0.21	不整形	縄文時代
SK26	1	0.9	0.54	0.32	0.54	198.48	198.36	0.12	長楕円形	縄文時代
SK27	1	1.08	0.7	0.56	0.94	200.46	200.25	0.21	長楕円形	
SK28	1	0.94	0.76	0.34	0.46	198.74	198.54	0.2	不整円形	縄文時代
SK29	1	0.96	0.76	0.56	0.76	199.46	199.26	0.2	不整楕円形	
SK30	1	0.57	(0.35)	(0.35)	0.35	199.39	199.26	0.13	円形	

ピット計測表

番号	層位	上面 長軸	上面 短軸	下面 長軸	下面 短軸	検出高	深さ	備考
1	1	0.2	0.16	0.12	0.12	198.56	0.04	
2	1	0.2	0.18	0.11	0.11	198.52	0.03	
3	1	0.21	0.21	0.14	0.11	198.51	0.04	
4	1	0.5	0.3	0.4	0.24	198.5	0.06	
5	1	0.63	0.5	0.34	0.22	198.35	0.12	縄文時代
6	1	0.4	0.36	0.24	0.14	198.29	0.11	
7	1	0.6	0.48	0.48	0.38	198.32	0.07	
8	1	0.73		0.13	0.1	198.17	0.27	
9	1	0.48	0.28	0.32	0.17	196.88	0.07	
10	1	0.68	0.61	0.56	0.38	196.88	0.17	縄文時代
11	1	0.37	0.32	0.34	0.27	196.99	0.03	
12	1	0.6	0.6	0.4	0.36	197.94	0.14	
13	1	1.01	0.54	0.18	0.17	198.06	0.08	
14	1a	0.32	0.3	0.22	0.14	200.33	0.33	
15	1a	0.19	0.13	0.08	0.07	200.28	0.17	
16	1a	0.48	0.42	0.36	0.28	200.29	0.16	縄文時代
17	1a	0.17	0.16	0.12	0.12	200.25	0.17	
28	1a	0.32	0.3	0.22	0.18	200.16	0.17	
29	1a	0.28	0.26	0.16	0.16	200.09	0.15	
30	1a	0.81	0.5	0.58	0.32	200.01	0.15	
31	1a	0.76	0.46	0.63	0.38	200.07	0.1	
32	1a	0.24	0.18	0.14	0.12	200.11	0.25	
33	1a	0.63	0.48	0.55	0.38	199.89	0.06	
34	1a	0.35	0.3	0.23	0.18	199.85	0.24	縄文後期
35	1a	0.5	0.5	0.32	0.26	199.99	0.15	
36	1a	0.52	0.4	0.42	0.34	199.83	0.17	縄文後期中葉
37	1a	0.43	0.4	0.2	0.2	199.96	0.19	
38	1a	0.64	0.5	0.47	0.33	199.91	0.12	縄文時代
39	1a	0.5	0.39	0.34	0.26	200.5	0.33	
40	1a	0.35	0.32	0.14	0.1	200.53	0.27	縄文時代
41	1a	0.32	0.29	0.09	0.09	200.64	0.37	
42	1a	0.3	0.26	0.14	0.14	200.23	0.22	縄文時代
43	1a	0.23	0.21	0.16	0.13	200.53	0.22	
44	1a	0.26	0.24	0.2	0.18	200.34	0.16	
45	1a	0.34	0.34	0.27	0.26	200.33	0.21	縄文時代
46	1a	0.22	0.21	0.16	0.12	200.39	0.04	
47	1a	0.74	0.68	0.63	0.58	200.3	0.11	縄文時代
48	1a	0.54	0.46	0.42	0.4	200.23	0.14	縄文時代
49	1a	0.28	0.24	0.22	0.18	200.22	0.18	縄文時代
50	1a	0.3	0.27	0.25	0.2	200.22	0.15	縄文時代
51	1a	0.35	0.33	0.22	0.18	200.2	0.25	縄文時代
52	1a	0.37	0.32	0.3	0.28	200.38	0.05	
53	1a	0.64	0.53	0.52	0.44	200.29	0.15	縄文後期
54	1a	0.52	0.48	0.38	0.36	200.35	0.21	
55	1a	0.58	0.58	0.36	0.23	200.37	0.31	
56	1a	0.68	0.57	0.59	0.44	200.41	0.23	
57	1a	0.3	0.25	0.21	0.1	200.25	0.06	
58	1a	0.38	0.38	0.18	0.16	200.3	0.18	
59	1a	0.36	0.35	0.26	0.26	200.38	0.08	
60	1a	0.3	0.28	0.2	0.2	199.84	0.17	縄文時代
61	1a	0.34	0.3	0.16	0.14	199.89	0.28	縄文時代
62	1a	0.57	0.56	0.4	0.36	200.01	0.18	縄文晩期末葉
63	1a	0.55	0.46	0.48	0.33	199.98	0.19	縄文後期
64	1a	0.3	0.28	0.22	0.16	200.17	0.27	縄文後期
65	1a	0.3	0.2	0.28	0.16	200.12	0.21	縄文時代
66	1a	0.38	0.26	0.35	0.26	200.13	0.24	縄文時代
67	1a	0.4	0.36	0.26	0.26	200.11	0.38	
68	1c	0.28	0.2	0.2	0.18	200.27	0.18	
69	1c	0.36	0.24	0.19	0.17	200.31	0.08	
70	1c	0.38	0.28	0.28	0.9	200.37	0.13	
71	1c	0.2	0.18	0.12	0.1	200.27	0.11	
72	1c	0.28	0.28	0.22	0.2	200.41	0.06	
73	1c	0.3	0.28	0.18	0.16	200.19	0.09	
74	1c	0.48	0.44	0.33	0.29	200.27	0.11	
75	1c	0.24	0.2	0.11	0.08	200.21	0.12	
76	1c	0.26	0.25	0.19	0.18	200.41	0.17	
77	1b	0.57	0.52	0.46	0.42	199.53	0.07	縄文時代
78	1	0.48	0.44	0.34	0.2	198.09	0.3	縄文時代
79	1	0.36	0.25	0.23	0.18	198.2	0.1	縄文後期
80	1b	0.38	0.3	0.3	0.21	200.4	0.1	
89	1b	0.48	0.45	0.38	0.34	199.49	0.06	
90	1b	0.6	0.48	0.46	0.37	199.49	0.03	
91	1	0.76	0.56	0.42	0.39	198.64	0.15	
110	1b	0.8	0.42	0.72	0.3	200.41	0.08	
111	1b	0.9	0.56	0.83	0.48	199.52	0.04	縄文時代
134	1	0.52	0.42	0.4	0.28	197.98	0.32	
190	1a	0.23	0.2	0.17	0.13	200.02	0.18	
191	1a	0.2	0.15	0.14	0.14	200.01	0.14	
192	1a	0.23	0.2	0.14	0.11	200.04	0.13	
193	1a	0.23	0.18	0.14	0.12	199.97	0.2	
194	1a	0.35	0.29	0.25	0.12	200.02	0.14	
195	1a	0.32	0.24	0.15	0.12	199.92	0.23	縄文時代
196	1a	0.48	0.4	0.38	0.3	199.91	0.25	
197	1a	0.48	0.4	0.25	0.12	199.89	0.26	
198	1a	0.53	0.43	0.1	0.08	199.97	0.22	
199	1	0.5	0.38	0.46	0.37	199.85	0.22	縄文時代
200	1	0.76	0.64	0.47	0.3	199.85	0.18	縄文時代
201	1	0.36	0.32	0.26	0.22	199.85	0.16	
202	1	0.36	0.32	0.28	0.24	199.89	0.2	
203	1	0.26	0.23	0.16	0.16	199.82	0.14	
204	1a	0.31	0.3	0.19	0.16	199.93	0.19	
205	1a	0.34	0.24	0.16	0.12	200.06	0.25	縄文時代
206	1b	0.61	0.58	0.5	0.48	199.76	0.07	縄文時代
207	1b	0.66	0.5	0.5	0.36	200.29	0.16	
208	1	0.37	0.28	0.22	0.16	199.41	0.25	縄文時代
209	1	0.36	0.35	0.2	0.16	199.44	0.13	
210	1	0.24	0.21	0.18	0.12	199.39	0.08	
211	1	0.4	0.36	0.26	0.2	199.45	0.17	縄文後期中葉
212	1	0.36	0.36	0.22	0.16	199.4	0.11	縄文時代
213	1	0.34	0.28	0.27	0.18	199.39	0.1	
214	1	0.4	0.21	0.24	0.16	199.42	0.25	縄文時代
215	1	0.48	0.44	0.34	0.3	199.39	0.14	
216	1	0.44	0.38	0.3	0.2	199.39	0.19	縄文時代
217	1	0.36	0.34	0.2	0.16	199.37	0.19	
218	1	0.38	0.34	0.2	0.13	199.48	0.17	
219	1c	0.36	0.32	0.26	0.26	199.42	0.14	縄文時代
220	1c	0.26	0.26	0.22	0.2	199.43	0.11	
221	1c	0.32	0.26	0.28	0.24	199.43	0.06	
222	1c	0.48	0.34	0.46	0.29	199.46	0.23	
223	1c	0.24	0.23	0.22	0.18	199.43	0.15	縄文時代
224	1c	0.36	0.32	0.27	0.26	199.42	0.37	縄文後期
225	1c	0.42	0.32	0.36	0.26	199.41	0.38	縄文時代
226	1c	0.3	0.26	0.22	0.22	199.44	0.1	縄文後期前葉
227	1c	0.3	0.28	0.28	0.23	199.45	0.21	
228	1c	0.42	0.4	0.32	0.28	199.55	0.27	縄文後期
229	1c	0.38	0.36	0.36	0.3	199.59	0.12	
230	1c	0.34	0.3	0.2	0.18	199.6	0.18	
231	1c	0.32	0.3	0.24	0.2	199.6	0.19	
232	1c	0.3	0.26	0.18	0.16	199.56	0.13	
233	1a	0.58	0.54	0.4	0.26	199.46	0.19	縄文時代
234	1c	0.39	0.36	0.29	0.28	199.82	0.07	
235	1c	0.34	0.26	0.21	0.15	199.66	0.16	
236	1c	0.54	0.46	0.36	0.28	199.67	0.1	
237	1	0.26	0.18	0.14	0.08	199.37	0.12	
238	1	0.36	0.3	0.17	0.08	199.13	0.17	
239	1c	0.31	0.24	0.2	0.12	199.12	0.22	
240	1c	0.64	0.4	0.55	0.32	199.11	0.12	
241	1c	0.38	0.28	0.33	0.24	199.57	0.08	
242	1c	0.24	0.22	0.2	0.16	198.98	0.2	
243	1c	0.26	0.24	0.16	0.16	199.27	0.07	
244	1c	0.24	0.22	0.18	0.14	199	0.05	縄文時代
245	1	0.38	0.32	0.32	0.29	198.79	0.14	縄文時代
246	1	0.3	0.26	0.24	0.22	198.72	0.13	
247	1	0.24	0.22	0.1	0.1	198.69	0.24	
248	1	0.23	0.19	0.18	0.12	198.77	0.08	
249	1	0.26	0.23	0.14	0.1	198.74	0.2	
250	1	0.33	0.28	0.2	0.18	198.72	0.13	縄文時代
251	1	0.38	0.35	不明	不明	198.73	0.22	縄文時代
252	1	0.28	0.26	0.06	0.03	199.46	0.18	
254	1a	0.34	0.34	0.3	0.28	200.95	0.12	
255	1a	0.52	0.5	0.42	0.35	200.96	0.08	
257	1a	0.42	0.32	0.28	0.22	200.97	0.12	
258	1a	0.44	0.34	0.36	0.3	200.96	0.25	
259	1a	0.5	0.44	0.44	0.34	200.83	0.07	縄文時代
260	1a	0.27	0.2	0.25	0.12	200.77	0.04	
261	1a	0.42	0.31	0.28	0.18	200.77	0.07	
262	1a	0.48	0.32	0.32	0.16	200.75	0.03	

第３表　林原遺跡出土土器・土製品観察表

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
10-1	33	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	焼土01	1a層	—	—	—	(外) 口縁部上面刻目 (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/8) (内) 明赤褐色 (5YR5/6)	
10-2	33	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	焼土01	1a層	—	—	—	(外) 口縁部外面、内面に沈線 (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 黄橙色 (7.5YR8/8)	
10-3	33	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期	焼土01	1a層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 灰黄褐色 (10YR5/2) (内) 灰黄褐色 (10YR5/2)	
10-4	33	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期	焼土01	1a層	—	—	—	(外) ナデ (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 灰黄褐色 (10YR4/2) (内) 灰黄褐色 (10YR4/2)	
10-5	33	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式古～中段階	焼土03	1a層	—	—	—	(外) 撚糸文 (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
11-1	34	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 耳状突起 (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (5YR5/8) (内) 明赤褐色 (5YR5/8)	
11-2	34	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 口縁部上面に１条の沈線と刻目 (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
11-3	34	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 口縁部外面に区画文と刻目、単節RL縄文 (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 褐色 (7.5YR4/3)	
11-4	34	縄文土器	砲弾形有文深鉢b	林原式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目 (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) にぶい赤褐色 (2.5YR4/3) (内) 橙色 (2.5YR6/8)	
11-5	34	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT1-1	1a層	21.6	—	—	(外) 口縁部外面に渦巻文、１条の沈線、刻目、単節RL縄文、胴部単節RL縄文 (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 灰黄褐色 (10YR6/2) (内) 灰黄褐色 (10YR5/2)	
11-6	34	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 口縁部外面に入組文、１条の沈線、単節RL縄文 (内) ナデ	3mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
11-7	34	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 口縁部外面に刺突文、１条の沈線、単節RL縄文 (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
11-8	34	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻２式？	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 口縁部外面、頸部に単節RL縄文 (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/8) (内) 明赤褐色 (2.5YR5/8)	
11-9	34	縄文土器	屈曲形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 口縁部外面、内面に沈線 (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
11-10	34	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 口縁部上面に１条の沈線 (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 灰黄褐色 (10YR4/2) (内) 灰黄褐色 (10YR4/2)	
11-11	34	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
11-12	34	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 口縁部上面に単節RL縄文。胴部単節RL縄文 (内)	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
11-13	34	縄文土器	壺形鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 胴部に単節RL縄文 (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
11-14	34	縄文土器	橋状把手	縁帯文成立期	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 中央に１条の沈線、単節RL縄文	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/8)	
11-15	34	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 口縁部上面面取り (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
11-16	34	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 口縁部肥厚 (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 暗赤褐色 (5YR4/3) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
11-17	34	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 口縁部肥厚 (内) ナデ	5mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
11-18	34	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	28.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
11-19	34	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	24.6	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (5YR5/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
11-20	34	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	44.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
11-21	34	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	29.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	5mm程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (7.5YR4/6) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
12-22	35	縄文土器	皿形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
12-23	35	縄文土器	皿形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/6) (内) 明赤褐色 (2.5YR5/6)	
12-24	35	縄文土器	皿形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (7.5YR3/1) (内) 黒褐色 (7.5YR3/1)	
12-25	35	縄文土器	バケツ形浅鉢？	暮地式～縁帯文成立期	DT1-1	1a層	33.6	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
12-26	35	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) ナデ (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
12-27	35	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) 小型環状突起 (内) ミガキ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
12-28	35	縄文土器	屈曲形鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	28.4	—	—	(外) 口縁部肥厚 (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
12-29	35	縄文土器	ボール形浅鉢	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) にぶい橙色 (7.5YR7/4) (内) にぶい橙色 (7.5YR7/4)	
12-30	35	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	9.2	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
12-31	35	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	6.0	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
12-32	35	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	7.7	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 浅黄橙色 (7.5YR8/6) (内) 浅黄橙色 (7.5YR8/6)	
12-33	35	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	10.0	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
12-34	35	縄文土器	注口土器	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/6)	
12-35	35	縄文土器	土製円盤	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (5YR3/1) (内) 黒褐色 (5YR3/1)	
12-36	35	縄文土器	有孔土製円盤	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
15-1	36	縄文土器	深鉢	原田式古段階	土器埋設遺構1	1a層	—	—	—	(外) 口頸部条痕 (内) 条痕	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
19-1	37	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻2式	G9	1a層	—	—	—	(外) 口縁部外面に複合鋸歯文 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
19-2	37	縄文土器	屈曲形深鉢	権現山式古段階	G7	1a層	—	—	—	(外) 口縁部内面に1条の沈線、単節RL縄文 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐灰色 (10YR4/1) (内) 褐灰色 (10YR4/1)	
19-3	37	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻2式並行？	G7	1a層	—	—	—	(外) 口縁部内面に渦巻文、縄文？ (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	平城式系？
19-4	37	縄文土器	注口土器	縄文時代	C11	1a層	—	—	—	(外) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6)	
19-5	37	土師器	甕	古墳時代後期	E10	1a層	20.4	—	—	(外) 口頸部ナデ、胴部ハケメ (内) 口頸部ハケメ、胴部ケズリ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
19-6	36	土師器	甕	古墳時代後期	F10	1a層	24.6	—	—	(外) 口頸部ナデ、胴部ハケメ (内) 口頸部ナデ、胴部ケズリ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
19-7	37	土師器	甕	古墳時代後期	F10	1a層	17.2	20.6	—	(外) 口頸部ナデ、胴部ハケメ (内) 口頸部ナデ、胴部ケズリ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
19-8	37	土師器	甕	古墳時代後期	D12	1a層	26.6	—	—	(外) 口頸部ナデ、胴部ハケメ (内) 口頸部ナデ、胴部ケズリ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
19-9	37	土師器	甑	古墳時代後期	E10	1a層	—	—	—	(外) 口頸部ナデ、胴部ハケメ (内) 口頸部ミガキ、胴部ケズリ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
19-10	37	土師器	甑・把手	古墳時代後期	E10	1a層	—	—	—	(外) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8)	
19-11	37	須恵器	短頸壺	古墳時代終末期？	I5	1a層	8.8	—	—	(外) 回転ナデ (内) 回転ナデ	1㎜程度の長石を含む	(外) 灰色 (7.5Y6/1) (内) 灰色 (7.5Y6/1)	
19-12	37	須恵器	坏身	大谷7～8期？	H6	1a層	19.7	5.8	9	(外) 回転ナデ (内) 回転ナデ、内面に2条1単位の細線	1㎜程度の長石を含む	(外) 灰色 (7.5Y6/1) (内) 灰色 (7.5Y6/1)	
19-13	37	須恵器	坏蓋	大谷6期	F10	1a層	10.4	4.0	—	(外) 回転ナデ、回転ヘラケズリ (内) 回転ナデ	1㎜程度の長石を含む	(外) 灰色 (7.5Y6/1) (内) 灰色 (7.5Y6/1)	
19-14	37	須恵器	坏身	大谷6期	F11	1a層	6.2	3.5	7.6	(外) 回転ナデ (内) 回転ナデ	1㎜程度の長石を含む	(外) 灰色 (7.5Y6/1) (内) 灰色 (7.5Y6/1)	
25-1	38	縄文土器	深鉢	中期末	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 沈線上に交互刺突 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
25-2	38	縄文土器	有文深鉢	暮地式併行？	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 6条以上の並行沈線文 (内) ナデ	1㎜程度の長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 黄褐色 (10YR5/6)	
25-3	38	縄文土器	屈曲形深鉢	暮地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に1条の沈線と刺突。口頸部に2条の沈線とその間に刺突文 (内) 摩滅	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
25-4	38	縄文土器	屈曲形深鉢	暮地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に縦位の短沈線、口頸部に沈線間刺突 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐灰色 (10YR5/2) (内) 褐灰色 (10YR5/2)	
25-5	38	縄文土器	屈曲形深鉢	暮地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目 (内) ナデ	3㎜程度の石英を含む	(外) 浅黄橙色 (10YR8/4) (内) 浅黄橙色 (10YR8/4)	
25-6	38	縄文土器	屈曲形深鉢	暮地式	DT1-2	1b層	34	—	—	(外) 口頸部に1条の沈線 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/8) (内) 明黄褐色 (10YR6/8)	
25-7	38	縄文土器	屈曲形深鉢	暮地式	DT1-2	1b層	24.8	—	—	(外) 口縁部上面に1条の沈線と単節RL縄文。口縁部、胴部にも単節RL縄文 (内) 摩滅	1㎜程度の長石を含む	(外) 橙色 (5YR7/8) (内) 黄橙色 (7.5YR8/8)	全体が風化している
25-8	38	縄文土器	屈曲形深鉢	暮地式	DT1-2	1b層	28.4	—	—	(外) 大型環状突起。口縁部上面に1条の沈線と単節LR縄文。胴部にも1部単節LR縄文が残る (内) ナデ	1㎜程度の長石を含む	(外) 淡黄色 (2.5Y8/4) (内) 淡黄色 (2.5Y8/4)	全体が風化している
26-9	39	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 耳状突起上に刺突、口縁部上面には1条の沈線 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
26-10	39	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に1条の沈線 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 明褐色 (10YR6/6)	
26-11	39	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	21.2	—	—	(外) 口縁部上面に2条の沈線と連弧文 (内) ミガキ	1㎜程度の長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR7/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/4)	橋詰式に類似
26-12	39	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	23.2	—	—	(外) 小型環状突起。口縁部上面に刻目 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 明黄褐色 (2.5Y7/6)	
26-13	39	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 小型の耳状突起。口縁部上面に1条の沈線と刻目 (内) ナデ	1㎜程度の長石を含む	(外) 明赤褐色 (7.5YR8/8) (内) 橙色 (5YR7/8)	
26-14	39	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目 (内) ナデ	1㎜程度の長石を含む	(外) にぶい黄色 (2.5Y6/4) (内) にぶい黄色 (2.5Y6/4)	
26-15	39	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目。頸部に刺突文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/8) (内) 明赤褐色 (2.5YR5/8)	
26-16	38	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 小型環状突起。口縁部上面に浅く幅広の沈線 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 浅黄色 (2.5Y7/4) (内) 浅黄色 (2.5Y7/4)	
26-17	39	縄文土器	砲弾形有文深鉢a	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目 (内) ナデ	3㎜程度の石英を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/8) (内) 明赤褐色 (2.5YR5/8)	
26-18	39	縄文土器	砲弾形有文深鉢a	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 明褐色 (7.5YR5/8)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
26-19	39	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	23.2	—	—	(外) 口縁部上面に刻目 (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 明褐色 (7.5YR5/8)	
26-20	40	縄文土器	屈曲形鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	17.6	10.8	—	(外) 口縁部をやや外反させ端部に刻目。胴部に沈線 (内) ナデ	1mm程度の長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/8) (内) 明赤褐色 (2.5YR5/8)	
26-21	40	縄文土器	砲弾形有文深鉢b	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	18	17.6	—	(外) 山形突起。口縁部上面に刻目 (内) ナデ	3mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
26-22	39	縄文土器	砲弾形有文深鉢a	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	31.6	—	—	(外) 口縁部上面に刻目 (内) ナデ	1mm程度の長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
26-23	39	縄文土器	砲弾形有文深鉢a	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 双頭突起。口縁端部に刻目 (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 明褐色 (7.5YR5/6)	
26-24	39	縄文土器	屈曲形鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部をやや外反させ端部に刻目 (内) ナデ	3mm程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
26-25	39	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部外面に1条の沈線。波頂部に鉤状入組文 (内) ミガキ	1mm程度の長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 明褐色 (7.5YR5/6)	
26-26	39	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 双頭突起。口縁部上面に沈線による区画文 (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/2) (内) 黄橙色 (10YR8/8)	
26-27	39	縄文土器	屈曲形深鉢	布勢式新段階	DT1-2	1b層	29.6	—	—	(外) 口縁部外面に2条の沈線と単節RL縄文。波頂部は肥厚した鉤状入組文。頸部に細密条痕。胴部は単節RL縄文を施した矩形文 (内) ナデ	1mm程度の長石を含む	(外) 浅黄橙色 (10YR8/3) (内) 灰白色 (10YR8/2)	文様、胎土、色調などが他の土器と異なる。搬入品の可能性
26-28	39	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部外面に縦位の短沈線 (内) 横走沈線、ナデ	1mm程度の長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
27-29	39	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目を施した橋状把手 (内) ナデ	1mm程度の長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/8) (内) 明赤褐色 (2.5YR5/8)	
27-30	39	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	36.4	—	—	(外) 渦状突起。口縁上端に1条の沈線。頸部から胴部に渦巻文。沈線の末端は刺突 (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (7.5YR4/6) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
27-31	39	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に鉤手文。橋状把手？ (内) ミガキ	1mm程度の長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
27-32	39	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 小型環状突起。口縁端部面取り (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
27-33	39	縄文土器	砲弾形有文深鉢？	崎ヶ鼻2式？	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に1条の沈線と単節RL縄文。胴部は全面単節RL縄文 (内) ナデ	1mm程度の長石を含む	(外) 暗赤褐色 (5YR3/4) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
27-34	39	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期？	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 胴部上端部を横走沈線で区画。胴部は斜行短沈線 (内) ナデ	1mm程度の長石を含む	(外) 黄褐色 (10YR5/6) (内) 黄褐色 (10YR5/6)	
27-35	39	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 胴部上端部を横走沈線で区画。胴部は単節RL縄文を施した後で数条の横走沈線 (内) ナデ	3mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
27-36	39	縄文土器	砲弾形有文深鉢a	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 胴部に単節LR縄文を施した後、大形の渦巻文 (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
27-37	40	縄文土器	バケツ形浅鉢？	暮地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 胴部に単節RL縄文を施した後、沈線で矩形に区画し強いミガキで磨り消している (内) ミガキ	1mm程度の長石を含む	(外) 黄褐色 (10YR6/5) (内) 灰黄褐色 (10YR4/2)	
27-38	40	縄文土器	バケツ形浅鉢	暮地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に1条の沈線と単節RL縄文。胴部磨消縄文 (内) ミガキ	1mm程度の長石を含む	(外) 黒褐色 (10YR3/2) (内) 黒褐色 (10YR3/2)	
27-39	40	縄文土器	バケツ形浅鉢	暮地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に1条の沈線と単節RL縄文。胴部磨消縄文 (内) ミガキ	1mm程度の長石を含む	(外) 黒褐色 (10YR3/2) (内) 黒褐色 (10YR3/2)	
27-40	40	縄文土器	バケツ形浅鉢	暮地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に1条の沈線と単節RL縄文。胴部磨消縄文 (内) ミガキ	1mm程度の長石を含む	(外) 黒褐色 (10YR3/2) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
28-41	40	縄文土器	バケツ形浅鉢	暮地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に沈線と刻目。胴部磨消縄文 (内) ミガキ	1mm程度の長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR4/3) (内) にぶい黄褐色 (10YR4/3)	
28-42	40	縄文土器	皿形浅鉢	暮地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁上面に1条の沈線、波頂部に縦位の短沈線 (内) ミガキ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
28-43	40	縄文土器	バケツ形浅鉢	暮地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部無文。胴部磨消縄文 (内) ミガキ	3mm程度の石英、長石を含む	(外) 暗褐色 (10YR3/3) (内) 暗褐色 (10YR3/3)	
28-44	40	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に単節LR縄文 (内) ミガキ？	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
28-45	40	縄文土器	皿形浅鉢	暮地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部内外面に1条の沈線と単節RL縄文 (内) ミガキ	1mm程度の長石を含む	(外) 黒褐色 (10YR2/2) (内) 黒褐色 (10YR2/2)	
28-46	40	縄文土器	皿形浅鉢	暮地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 胴部磨消縄文。1条の沈線と単節RL縄文を施す (内) ミガキ 口縁部内面を肥厚	1mm程度の長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
28-47	41	縄文土器	屈曲形浅鉢	暮地式	DT1-2	1b層	35.6	—	—	(外) 口頸部の横走沈線から屈曲部にかけて磨消縄文で連結。屈曲部は2条の沈線の間に刻目 (内) ミガキ	1mm程度の長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR7/3) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/3)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
28-48	41	縄文土器	屈曲形浅鉢	暮地式	DT1-2	1b層	32.4	—	—	(外) 大型環状突起。口縁部上面に1条の沈線 (内) ミガキ	1mm程度の長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR7/2) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/2)	
28-49	41	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	31.2	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	3mm程度の石英を含む	(外) 褐色 (10YR4/4) (内) 褐色 (10YR4/6)	
28-50	41	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	35.2	—	—	(外) (内) 胴部屈曲部に1条の沈線と刻目ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄褐色 (2.5Y5/4) (内) 黄褐色 (2.5Y5/4)	
28-51	41	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	26.8	—	—	(外) (内) 胴部屈曲部に刻目ミガキ？	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (2.5Y7/6) (内) 明黄褐色 (2.5Y7/6)	内面が風化している
28-52	41	縄文土器	ボール形浅鉢	暮地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に1条の沈線と単節RL縄文。胴部は磨消縄文による区画文 (内) ミガキ	1mm程度の長石を含む	(外) 黒褐色 (2.5Y3/1) (内) 褐灰色 (10YR4/1)	宿毛式に類似
29-53	41	縄文土器	ボール形浅鉢	暮地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) (内) 沈線による入組文ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (10YR3/2) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
29-54	41	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) (内) 口縁部上面に1条の沈線ナデ	1mm程度の長石を含む	(外) 灰黄褐色 (10YR5/2) (内) 灰黄褐色 (10YR5/2)	壺の可能性
29-55	41	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	23.6	—	—	(外) 鉤状文 (内) ミガキ	1mm程度の長石を含む	(外) 灰黄褐色 (10YR4/2) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
29-56	41	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	32.1	12.5	—	(外) 口頸部では沈線内刺突が見られる。胴部は円形渦巻文と四角形渦巻文が並んでおり、撚戻し縄文が施される (内) 口縁付近ナデ、胴部ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) にぶい黄褐色 (10YR4/3)	
29-57	42	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	26.8	—	—	(外) (内) 口縁部外面を肥厚させ、2条の沈線ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
29-58	42	縄文土器	屈曲形鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部外面に単節RL縄文。胴部は横走沈線で区画し、全縄文 (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
29-59	42	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	17.5	—	—	(外) (内) 口縁部無文。胴部は単節RL縄文ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明褐色 (2.5YR5/8) (内) 橙色 (5YR6/6)	
29-60	42	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	13.4	—	—	(外) 口縁部外面に単節RL縄文 胴部全縄文 (内) ミガキ	1mm程度の長石を含む	(外) 黒褐色 (7.5YR3/2) (内) 黒褐色 (7.5YR3/2)	
29-61	42	縄文土器	壺形鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 頸部に入組文。胴部に3本1単位の入組文 (内) ミガキ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
29-62	42	縄文土器	壺形鉢？	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁端部に1条の沈線と単節RL縄文 (内) ミガキ	2mm程度の石英、長石、金雲母を含む	(外) 褐灰色 (7.5YR4/1) (内) 褐灰色 (7.5YR4/1)	屈曲形有文深鉢の可能性
29-63	42	縄文土器	壺形鉢	暮地式？	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 頸部ミガキ。胴部は肥厚帯によって区画し、単節LR縄文を充填。耳状の突起がつく (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 褐灰色 (7.5YR4/1) (内) 明黄褐色 (7.5YR6/6)	双耳壺
29-64	42	縄文土器	壺形鉢	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) (内) 胴部に肥厚帯。沈線による渦巻文ナデ	1mm程度の長石を含む	(外) 暗褐色 (7.5YR3/3) (内) 暗褐色 (7.5YR3/3)	
29-65	42	縄文土器	壺形鉢？	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	6	(外) (内) 2対の渦巻文ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR4/8) (内) 明赤褐色 (2.5YR4/8)	
30-66	42	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	32.4	—	—	(外) (内) 口縁部上面面取り。ナデナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (7.5YR4/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
30-67	42	縄文土器	屈曲形深鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	24.6	—	—	(外) (内) 口縁端部肥厚。ミガキミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
30-68	42	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	30.2	—	—	(外) (内) 口縁部上面面取り。縦方向の条痕条痕	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 灰黄褐色 (10YR4/2) (内) にぶい黄褐色 (10YR5/3)	
30-69	43	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	30.0	—	—	(外) (内) 口縁部上面面取り。ナデナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
30-70	42	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	26.0	—	—	(外) (内) 口縁部上面面取り。ナデナデ	1mm程度の長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
30-71	42	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) (内) 口縁部上面面取り。ナデナデ	1mm程度の長石を含む	(外) 黒褐色 (10YR3/1) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
30-72	42	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	17.6	—	—	(外) (内) 口縁部上面面取り。ナデナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/8) (内) 明赤褐色 (2.5YR5/8)	
30-73	42	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	38.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
30-74	43	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	36.0	—	—	(外) (内) 口縁部上面面取り。ナデ貝殻条痕	2mm程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR5/4) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
30-75	42	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	4mm程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
30-76	43	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	24.8	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR6/3) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/3)	
31-77	43	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	27.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
31-78	44	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	27.0	—	—	(外) 条痕 (内) 条痕？	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 灰褐色 (7.5YR5/2) (内) 浅黄色 (2.5Y7/4)	
31-79	45	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	17.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (5YR5/8) (内) 明赤褐色 (5YR5/8)	
31-80	45	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	21.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 浅黄橙色 (10YR8/4)	
31-81	43	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	33.8	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR8/6) (内) にぶい黄橙色 (10YR8/6)	
31-82	43	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	26.4	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
31-83	43	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	34.8	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明褐色 (10YR5/6) (内) 明赤褐色 (2.5YR5/8)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
31-84	43	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	36.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 褐色 (7.5YR4/4) (内) 明赤褐色 (2.5YR5/8)	
31-85	44	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	27.2	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
32-86	45	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	13.4	14.8	7	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) にぶい橙色 (7.5YR6/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
32-87	43	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	17.2	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
32-88	45	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	15.7	22.5	8	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
32-89	46	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	44.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 褐色 (10YR4/6) (内) 橙色 (5YR6/8)	
32-90	46	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	44.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 黒褐色 (7.5YR3/1) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
32-91	46	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	24.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 灰褐色 (7.5YR4/2) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
32-92	45	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	32.0	29.8	—	(外) ナデ (内) ナデ	3㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
32-93	46	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR8/8) (内) 黄橙色 (7.5YR8/8)	
33-94	46	縄文土器	バケツ形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	13.6	5.2	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の長石、石英を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
33-95	46	縄文土器	皿形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	2㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
33-96	46	縄文土器	皿形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	30.0	4.3	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 灰褐色 (5YR4/2) (内) 灰褐色 (5YR4/2)	
33-97	46	縄文土器	皿形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	31.0	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 灰褐色 (5YR4/2) (内) 灰褐色 (5YR4/2)	
33-98	46	縄文土器	皿形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	40.8	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (10YR5/6) (内) 黄褐色 (10YR5/6)	
33-99	46	縄文土器	ボール形浅鉢	暮地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
33-100	46	縄文土器	ボール形浅鉢	暮地式	DT1-2	1b層	25.3	7.3	8.4	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (7.5YR5/6) (内) 明褐色 (7.5YR5/6)	
33-101	46	縄文土器	皿形浅鉢	縁帯文成立期	DT1-2	1b層	29.4	—	—	(外) 双頭突起、ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) にぶい褐色 (7.5YR5/4) (内) にぶい褐色 (7.5YR5/4)	
33-102	46	縄文土器	屈曲形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	38.0	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
33-103	46	縄文土器	屈曲形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	25.7	4.7	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/8) (内) 明赤褐色 (2.5YR5/8)	
33-104	46	縄文土器	屈曲形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	19.2	4.5	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 赤色 (10R5/8) (内) 赤色 (10R4/6)	
33-105	46	縄文土器	皿形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 2条の横走沈線。ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 灰褐色 (5YR4/2) (内) 灰褐色 (7.5YR6/2)	
33-106	47	縄文土器	ボール形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	30.0	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙呂 (7.5YR6/8)	
33-107	47	縄文土器	ボール形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙呂 (7.5YR6/8)	106と同一固体？
33-108	47	縄文土器	ボール形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	3㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 灰褐色 (7.5YR4/2) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
33-109	47	縄文土器	ボール形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	29.4	16.2	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 褐色 (7.5YR4/3) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
33-110	47	縄文土器	ボール形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	21.6	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	3㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
33-111	47	縄文土器	ボール形浅鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	9.0	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 赤褐色 (5YR4/8) (内) 褐色 (7.5YR4/6)	
33-112	47	縄文土器	屈曲形鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	19.6	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (7.5YR5/6) (内) 黄褐色 (7.5YR5/6)	
33-113	47	縄文土器	屈曲形鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	28.0	11.8	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	2㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (7.5YR6/8) (内) 黄褐色 (7.5YR5/6)	
33-114	47	縄文土器	屈曲形鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	23.8	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	2㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (7.5YR5/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
34-115	47	縄文土器	壺形鉢	暮地式～縁帯文成立期	DT1-2	1b層	9.6	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 黒褐色 (7.5YR3/1) (内) 黒褐色 (7.5YR3/1)	
34-116	44	縄文土器	バケツ形浅鉢	暮地式	DT1-2	1b層	25.4	9.3	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) にぶい橙色 (7.5YR7/4)	
34-117	47	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	9.0	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR8/8) (内) 黄橙色 (7.5YR8/8)	
34-118	45	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	9.0	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR8/8) (内) 黄橙色 (7.5YR8/8)	
34-119	47	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	4.4	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
34-120	47	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	3.2	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 赤褐色 (2.5YR4/8) (内) 赤褐色 (2.5YR4/8)	
34-121	47	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	9.0	(外) ナデ (内) ナデ	3㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
34-122	47	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	8.1	(外) ナデ (内) ナデ	3㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
34-123	47	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	9.2	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
34-124	47	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	9.0	(外) ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石 英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
34-125	47	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	8.8	(外) ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
34-126	47	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	8.5	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
34-127	47	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	8.5	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 赤色 (10R5/8) (内) 赤色 (10R5/8)	
34-128	48	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	8.5	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
34-129	48	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	9.2	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	外面が風化している
34-130	48	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	7.6	(外) ミガキ (内) ミガキ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (7.5YR3/1) (内) 黒褐色 (7.5YR3/1)	
34-131	48	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	9.0	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
34-132	48	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	10.0	(外) ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
34-133	48	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	6.6	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	内面が風化している
34-134	48	縄文土器	底部	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/8) (内) 明赤褐色 (2.5YR5/8)	
34-135	48	土製品	有孔土製円盤	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
34-136	48	土製品	有孔土製円盤	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい褐色 (7.5YR5/3) (内) にぶい褐色 (7.5YR5/3)	
34-137	48	土製品	耳栓？	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (5YR5/8) (内) 暗赤褐色 (5YR3/2)	底部の可能性
34-138	33	土製品	土偶	暮地式～崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 中央に正中線。胸部表現		橙色 (5YR6/8)	4.1×4.1×0.9cm
37-1	49	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式～崎ヶ鼻1式	SK07	1b層	—	—	—	(外) 単節RL縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (7.5YR4/4) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
37-2	49	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻1式	SK07	1b層	34.0	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明褐色 (7.5YR5/6) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
39-1	50	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式古～中段階	DT2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面刻目。横方向の貝殻条痕の後撚糸文 (内) 貝殻条痕	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
39-2	50	縄文土器	深鉢	中期？	DT2	1b層	—	—	—	(外) 沈線文 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (7.5YR4/6) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
39-3	50	縄文土器	深鉢	船元式？	DT2	1b層	—	—	—	(外) 単節LR縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (7.5YR7/6) (内) 明黄褐色 (7.5YR7/6)	
39-4	50	縄文土器	砲弾形有文深鉢b	崎ヶ鼻２式	DT2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に１条の沈線、単節RL縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR6/4) (内) 浅黄橙色 (10YR8/4)	
39-5	50	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	DT2	1b層	22.0	—	—	(外) 口縁部外面に鉤状文と単節RL縄文 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
39-6	50	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	DT2	1b層	26.8	—	—	(外) 口縁部外面に円文、単節RL縄文 (内) ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
39-7	50	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻２式	DT2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目。外面に３条の細い沈線による山形文 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (7.5YR4/3) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
39-8	50	縄文土器	屈曲形浅鉢	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 明褐色 (7.5YR5/8)	
39-9	50	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻式？	DT2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部に単節RL縄文 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
39-10	50	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	—	(外) 磨消縄文によるＪ字文 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
39-11	50	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻２式	DT2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に渦巻状突起、複合鋸歯文 (内)	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
39-12	50	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に単節RL縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 灰褐色 (7.5YR5/2) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
39-13	50	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部外面に単節RL縄文 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (7.5YR3/1) (内) 灰褐色 (7.5YR6/2)	
39-14	50	縄文土器	屈曲形深鉢？	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明褐色 (10YR7/6) (内) 明褐色 (10YR7/6)	
39-15	50	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 暗褐色 (7.5YR3/3) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
39-16	50	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (10YR3/2) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
39-17	50	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
39-18	50	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明褐色 (7.5YR6/5) (内) にぶい褐色 (7.5YR5/4)	
39-19	50	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 赤褐色 (2.5YR4/8) (内) 赤褐色 (2.5YR4/8)	
39-20	50	縄文土器	把手？	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	—	ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	明黄褐色 (10YR6/6)	
39-21	50	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR5/3) (内) にぶい黄褐色 (10YR5/3)	
39-22	50	縄文土器	屈曲形浅鉢	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 赤褐色 (2.5YR4/8) (内) 明赤褐色 (5YR5/6)	
39-23	50	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
39-24	50	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
39-25	50	縄文土器	底部	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	8.0	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
39-26	50	縄文土器	底部	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	8.0	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR6/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR8/4)	
39-27	50	縄文土器	底部	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	11.2	(外) ナデ (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR6/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR8/4)	
39-28	50	縄文土器	底部	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	5.2	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR6/5) (内) 明赤褐色 (2.5YR6/5)	
39-29	50	縄文土器	底部	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	5.2	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (2.5Y7/6) (内) 明黄褐色 (2.5Y7/6)	
39-30	33	土製品	土偶	崎ヶ鼻式	DT2	1b層	—	—	—	(外) 中央に正中線		(外) 明赤褐色 (5YR5/8)	2.5×3.2×1.8cm
41-1	51	縄文土器	深鉢	船元Ⅲ式	C11	1b層	—	—	—	(外) 隆帯 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 黒色 (7.5YR2/1)	
41-2	51	縄文土器	砲弾形無文深鉢	暮地式～崎ヶ鼻2式	D11	1b層	26.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
41-3	33	土製品	土偶	暮地式～崎ヶ鼻2式	E10	1b層	—	—	—	(外) 頭部、腕部、脇部、頸部に2本1単位の短沈線、中央に正中線		(外) 橙色 (7.5YR6/8)	3.4×4.2×1.0cm
44-1	51	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式古～中段階	SK08	1c層	—	—	—	(外) 撚糸文 (内) 横ナデ？摩滅している	1㎜程度の長石を含む	(外) 赤色 (10R5/8) (内) 明褐色 (2.5YR5/6)	
44-2	51	縄文土器	底部		SK08	1c層	—	—	7.8	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の長石を含む	(外) 灰褐色 (7.5YR6/2) (内) 灰褐色 (7.5YR6/2)	
46-1	51	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式中段階	SK10	1c層	—	—	—	(外) 沈線上に密な交互刺突。胴部無文 (内) ナデ	1㎜程度の長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/6) (内) 橙色 (5YR6/6)	
46-2	51	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式古～中段階	SK10	1c層	—	—	—	(外) 撚糸文 (内) ナデ	5㎜程度の長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
49-1	51	縄文土器	屈曲形深鉢	暮地式	P226	1c層	—	—	—	(外) 単節RLの充填縄文。ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の長石を含む	(外) 暗褐色 (10YR3/3) (内) 暗褐色 (10YR3/3)	
52-1	52	縄文土器	深鉢	北白川下層Ⅰb式	DT1-3	1c層	—	—	—	(外) 口縁部上面を刻み、2条の垂下隆帯。胴部に逆C字爪形文のロッキング (内) ナデ	1㎜程度の長石を含む	(外) 暗褐色 (7.5YR3/4) (内) 明褐色 (7.5YR5/6)	実測図が別固体の可能性
52-2	52	縄文土器	深鉢	北白川下層Ⅰb式	DT1-3	1c層	—	—	—	(外) C字爪形文 (内) ミガキ	1㎜程度の長石を含む	(外) 褐色 (7.5YR4/6) (内) 褐色 (7.5YR4/6)	
52-3	52	縄文土器	深鉢	前期？	DT1-3	1c層	—	—	—	(外) 2枚貝条痕 (内) ナデ	1㎜程度の長石を含む	(外) 褐色 (7.5YR4/6) (内) 褐色 (7.5YR4/7)	北白川下層式に伴なう無文土器
52-4	52	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式古～中段階	DT1-3	1c層	—	—	—	(外) 撚糸文 (内) ナデ	1㎜程度の長石を多量に含む	(外) 明褐色 (7.5YR5/6) (内) 暗褐色 (7.5YR3/4)	
52-5	52	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式新段階	DT1-3	1c層	—	—	—	(外) 口縁部に6条の波状文。胴部は2枚貝条痕 (内) ナデ	1㎜程度の長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 明褐色 (7.5YR5/8)	
52-6	52	縄文土器	ボール形浅鉢	後期前葉	DT1-3	1c層	—	—	—	(外) 口縁部外面を肥厚。胴部はミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 黄褐色 (10YR5/6)	
52-7	52	縄文土器	砲弾形有文深鉢a	後期前葉	DT1-3	1c層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目。胴部ナデ (内) ナデ	2㎜程度の長石を含む	(外) 浅黄橙色 (10YR8/3) (内) 浅黄橙色 (10YR8/3)	
52-8	52	縄文土器	底部		DT1-3	1c層	—	—	—	(外) 単節LR縄文 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
54-1	53	縄文土器	深鉢	轟B式	C11	1c層	—	—	—	(外) 4条の隆帯 (内) ナデ	3㎜程度の石英を含む	(外) 黄褐色 (10YR5/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
54-2	53	縄文土器	深鉢	北白川下層Ⅰb式？	E11	1c層	—	—	—	(外) 密なC字爪形文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 灰黄褐色 (10YR6/2)	
54-3	53	縄文土器	深鉢	船元Ⅲ式	G11	1c層	—	—	—	(外) 6条の沈線と単節RL縄文 (内) ナデ	2㎜程度の長石を含む	(外) 褐灰色 (10YR5/1) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/2)	
54-4	53	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式古～中段階	C11	1c層	—	—	—	(外) 撚糸文 (内) ナデ	2㎜程度の長石を含む	(外) 明褐色 (10YR6/6) (内) 明褐色 (10YR7/6)	
54-5	53	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式古段階	C11	1c層	—	—	—	(外) 波状文 (内) ナデ	3㎜程度の石英を含む	(外) 黄褐色 (10YR5/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
54-6	53	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式古～中段階	C11	1c層	—	—	—	(外) 撚糸文 (内) ナデ	1㎜程度の長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
54-7	53	土製品	耳栓？	前期～暮地式	D12	1c層	—	—	—	渦巻文		黄橙色 (10YR7/8)	
54-8	33	土製品	土偶	前期～暮地式	E10	1c層	—	—	—	(外) 正中線 (内) 臀部付近に斜行沈線？	1㎜程度の長石を含む	橙色 (7.5YR7/6)	3.3×3.5×1.4cm
57-1	53	縄文土器	深鉢	船元Ⅲ式	SK14	1層	—	—	—	(外) 単節RL縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 浅黄橙色 (10YR8/4) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
57-2	53	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式古～中段階	SK14	1層	—	—	—	(外) 撚糸文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
57-3	53	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式古～中段階	SK14	1層	—	—	—	(外) 撚糸文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明褐色 (7.5YR5/8) (内) 明褐色 (7.5YR5/8)	
57-4	53	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式古～中段階	SK14	1層	—	—	—	(外) 撚糸文 (内) ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/8) (内) 黄橙色 (10YR8/8)	
57-5	53	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式新段階	SK14	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面刻目、前面刺突、胴部条痕 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
57-6	53	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式新段階	SK14	1層	—	—	—	(外) 押引文。条痕 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 浅黄橙色 (10YR8/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/2)	
57-7	53	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式新段階	SK14	1層	—	—	—	(外) 条痕 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明褐色 (7.5YR5/8) (内) 褐色 (7.5YR4/6)	接合痕が明瞭に残る
57-8	53	縄文土器	底部	里木Ⅱ・Ⅲ式新段階	SK14	1層	—	—	—	(外) 条痕 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) にぶい褐色 (7.5YR5/4)	7と同一固体？
57-9	53	縄文土器	深鉢	中期？	SK14	1層	25.4	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 灰褐色 (7.5YR5/2) (内) 灰褐色 (7.5YR5/2)	接合痕が明瞭に残る

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
57-10	53	縄文土器	深鉢	中期？	SK14	1層	—	—	—	(外) 隆帯 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/8) (内) 明赤褐色 (2.5YR5/8)	
57-11	53	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式	SK14	1層	—	—	—	(外) 波状文 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 褐色 (10YR4/4)	
57-12	53	縄文土器	深鉢	中期？	SK14	1層	—	—	—	(外) 沈線文 (内) 条痕	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (10YR3/2) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
57-13	53	縄文土器	底部	中期？	SK14	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐灰色 (5YR5/1) (内) 橙色 (5YR7/6)	
59-1	54	縄文土器	砲弾形有文深鉢b	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に１条の沈線。胴部単節RL縄文 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黒色 (10YR2/1) (内) 明黄褐色 (10YR6/8)	
59-2	54	縄文土器	砲弾形有文深鉢b	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に１条の沈線、縄文？胴部ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
59-3	54	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に渦巻文、外面に渦巻文と区画文 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
59-4	54	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に変形渦巻文 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 浅黄橙色 (10YR8/4) (内) 浅黄橙色 (10YR8/4)	
59-5	54	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に２条の沈線と単節RL縄文、胴部単節RL縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 浅黄橙色 (10YR8/4)	
59-6	54	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に１条の沈線、外面に山形文、胴部に２条の垂下沈線。口縁部上面から胴部にかけて全面単節RL縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明褐色 (7.5YR6/5) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
59-7	54	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に１条の沈線、外面に３条の山形文、単節RL縄文 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (5YR3/1) (内) 明赤褐色 (5YR5/8)	
59-8	54	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に単節RL縄文 (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明褐色 (7.5YR5/6) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
59-9	54	縄文土器	屈曲形浅鉢	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
59-10	54	縄文土器	屈曲形浅鉢	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	34.0	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 灰褐色 (7.5YR5/2) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
59-11	54	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	21.0	14.1	—	(外) 口縁部外面に縄文？胴部単節LR縄文 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 暗赤褐色 (5YR3/2) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	全体的に風化している
59-12	54	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
59-13	54	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 浅黄橙色 (10YR8/4) (内) 浅黄橙色 (10YR8/4)	
59-14	54	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 浅黄橙色 (10YR8/4) (内) 浅黄橙色 (10YR8/4)	
59-15	54	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	8.0	(外) ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
59-16	54	縄文土器	屈曲形浅鉢	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (5YR2/2) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
59-17	54	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
59-18	54	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい橙色 (10YR7/4) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
59-19	54	縄文土器	底部	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	8.0	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 浅黄橙色 (10YR8/4)	
59-20	54	縄文土器	底部	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	9.0	(外) ミガキ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR8/8) (内) 黄橙色 (7.5YR8/8)	
59-21	54	縄文土器	底部	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	8.0	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (7.5YR5/6) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
59-22	54	縄文土器	底部	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	9.5	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 浅黄橙色 (10YR8/4) (内) 浅黄橙色 (10YR8/4)	
59-23	54	土製品	土偶	崎ヶ鼻２式	SI01	1層	—	—	—	(外) 中央に正中線。頸部に沈線？胸部表現		橙色 (7.5YR6/8)	5.5×4.5×1.6cm
61-1	55	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	SI01-SK1	1層	17.9	14.0	—	(外) 口縁部外面に２条の沈線、単節RL縄文、頸部に刺突文、胴部に単節RL縄文 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐灰色 (7.5YR5/1) (内) にぶい褐色 (7.5YR5/3)	
61-2	56	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	SI01-SK1	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に１条の沈線、単節RL縄文。頸部に沈線 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
61-3	56	縄文土器	砲弾形有文深鉢b	崎ヶ鼻１式	SI01-SK1	1層	22.8	—	—	(外) 全面単節RL縄文 (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (10YR4/6) (内) 褐色 (10YR4/6)	
61-4	56	縄文土器	砲弾形有文深鉢b	崎ヶ鼻１式	SI01-SK1	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に渦巻文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 赤褐色 (5YR4/8) (内) にぶい黄褐色 (10YR5/4)	
61-5	56	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻１式	SI01-SK1	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に単節RL縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 赤褐色 (5YR4/6) (内) 橙色 (5YR7/8)	
61-6	56	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻１式	SI01-SK1	1層	—	—	—	(外) 口縁部内面に単節RL縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (5YR2/1) (内) 黒褐色 (5YR2/1)	
61-7	56	縄文土器	屈曲形浅鉢	崎ヶ鼻１式	SI01-SK1	1層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に１条の沈線と刻目 (内) ミガキ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
61-8	56	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ鼻１式	SI01-SK1	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に単節RL縄文 (内) ミガキ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黒色 (7.5YR2/1) (内) 黒褐色 (7.5YR3/1)	
61-9	56	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻１式	SI01-SK1	1層	32.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (7.5YR3/1) (内) 明褐色 (7.5YR5/6)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
61-10	55	縄文土器	砲弾形鉢	崎ヶ鼻１式	SI01-SK1	1層	30.0	10.7	—	(外)ナデ (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (5YR6/8) (内)橙色 (5YR6/8)	
61-11	56	縄文土器	砲弾形鉢	崎ヶ鼻１式	SI01-SK1	1層	17.0	11.0	4.8	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黒褐色 (10YR2/2) (内)明黄褐色 (10YR6/6)	
61-12	56	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻１式	SI01-SK1	1層	30.0	10.7	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR7/6) (内)暗褐色 (7.5YR3/3)	
61-13	56	縄文土器	底部	崎ヶ鼻１式	SI01-SK1	1層	—	—	10.0	(外)ナデ (内)ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (7.5YR7/8) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
61-14	56	縄文土器	底部	崎ヶ鼻１式	SI01-SK1	1層	—	—	10.0	(外)ナデ (内)ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR6/6) (内)黒褐色 (10YR3/2)	
61-15	56	縄文土器	底部	崎ヶ鼻１式	SI01-SK1	1層	—	—	8.0	(外)ナデ (内)ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄橙色 (10YR7/4) (内)にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
61-16	56	縄文土器	底部	崎ヶ鼻１式	SI01-SK1	1層	—	—	11.0	(外)ナデ (内)ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)灰黄褐色 (10YR4/2)	
63-1	56	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻２式	配石遺構04	1層	—	—	—	(外)全面単節RL縄文 (内)ミガキ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR8/8) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
63-2	56	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻２式	配石遺構04	1層	—	—	—	(外)口縁部外面に２条の沈線、単節RL縄文 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)暗赤褐色 (5YR3/2) (内)黒褐色 (5YR3/1)	
63-3	56	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻２式	配石遺構04	1層	—	—	—	(外)全面単節RL縄文 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明赤褐色 (5YR5/8) (内)明赤褐色 (5YR5/8)	
63-4	57	縄文土器	壺形鉢	崎ヶ鼻２式	配石遺構04	1層	6.7	14.4	5.8	(外)口縁部上面に入組文、胴部渦巻文、単節RL縄文 (内)渦巻文	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR8/8) (内)黄橙色 (10YR8/8)	
63-5	56	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ鼻２式	配石遺構04	1層	—	—	—	(外)ナデ (内)ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外)赤褐色 (5YR4/6) (内)黄橙色 (7.5YR7/8)	
63-6	56	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻２式	配石遺構04	1層	—	—	—	(外)ナデ (内)ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR6/8) (内)黄橙色 (7.5YR7/8)	
63-7	56	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻２式	配石遺構04	1層	—	—	—	(外)ナデ (内)ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)明褐色 (7.5YR5/6) (内)明褐色 (7.5YR5/6)	
63-8	56	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻２式	配石遺構04	1層	—	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄褐色 (10YR5/3) (内)にぶい黄褐色 (10YR5/4)	
63-9	56	縄文土器	壺形鉢	崎ヶ鼻２式	配石遺構04	1層	10.6	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (5YR6/8) (内)橙色 (5YR6/8)	
63-10	56	縄文土器	底部	崎ヶ鼻２式	配石遺構04	1層	—	—	9.6	(外)ナデ (内)ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR8/8) (内)にぶい褐色 (7.5YR5/4)	
63-11	56	縄文土器	底部	崎ヶ鼻２式	配石遺構04	1層	—	—	10.0	(外)ナデ (内)ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR6/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
64-1	57	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻1～2式	SK15	1層	22.8	—	—	(外)ナデ (内)ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR7/8) (内)黄橙色 (10YR7/8)	
64-2	57	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ鼻1～2式	SK15	1層	—	—	—	(外)口縁部外面に単節RL縄文 (内)ナデ 内面単節RL縄文	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR7/8) (内)黄橙色 (10YR7/8)	
64-3	57	縄文土器	壺形鉢	崎ヶ鼻1～2式	SK15	1層	12.4	—	—	(外)口縁部外面に単節RL縄文 (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)赤褐色 (5YR4/6) (内)黄褐色 (10YR5/6)	
65-1	57	縄文土器	皿形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	SK16	1層	—	—	—	(外)ミガキ (内)口縁部内面に単節RL縄文	3㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR7/8) (内)黄橙色 (10YR7/8)	
66-1	57	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	SK17	1層	30.0	—	—	(外)胴部屈曲部に刻目 (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)赤褐色 (5YR4/6) (内)浅黄橙色 (10YR8/4)	
70-1	58	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	配石遺構06	1層	—	—	—	(外)口縁部外面に２条の沈線、入組文、単節RL縄文 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明赤褐色 (5YR5/8) (内)明赤褐色 (5YR5/8)	
70-2	58	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ鼻１式	配石遺構06	1層	—	—	—	(外)口縁部外面に単節LR縄文 (内)ミガキ？	3㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR7/8) (内)にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
70-3	58	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻１式	配石遺構06	1層	—	—	—	(外)全面単節RL縄文 (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR7/8) (内)黄橙色 (10YR6/6)	
70-4	58	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻１式	配石遺構06	1層	—	—	—	(外)ナデ (内)ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR7/8) (内)黄橙色 (10YR6/6)	
70-5	58	縄文土器	屈曲形浅鉢	崎ヶ鼻１式	配石遺構06	1層	—	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄橙色 (10YR6/4) (内)にぶい黄橙色 (10YR6/4)	
73-1	58	縄文土器	深鉢	中期？	DT３	1層	—	—	—	(外)数条の沈線、刺突文 (内)ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (2.5Y7/6) (内)明黄褐色 (2.5Y7/6)	
73-2	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT３	1層	—	—	—	(外)口縁部外面に１条の沈線、刻目 (内)ミガキ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR6/6) (内)明黄褐色 (10YR6/6)	
73-3	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT３	1層	—	—	—	(外)口縁部外面に１条の沈線、刻目、単節LR縄文。 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)褐色 (7.5YR4/4) (内)褐色 (7.5YR4/4)	
73-4	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT３	1層	23.0	—	—	(外)口縁部外面に縦位の短沈線、１条の沈線、刻目 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄褐色 (10YR5/4) (内)にぶい黄褐色 (10YR6/4)	
73-5	58	縄文土器	皿形浅鉢？	林原式	DT３	1層	—	—	—	(外)口縁部上面付近に１条の沈線、刻目 (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)褐灰色 (10YR4/1) (内)褐灰色 (10YR4/1)	内面に赤色顔料
73-6	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT３	1層	—	—	—	(外)双頭の波頂部に入組文、刻目、１条の沈線。 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)暗褐色 (10YR3/4) (内)にぶい黄褐色 (10YR5/4)	
73-7	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT３	1層	23.4	—	—	(外)口縁部外面に連弧文、上面に１条の沈線、刻目 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明赤褐色 (5YR8/5) (内)明黄褐色 (10YR6/6)	
73-8	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT３	1層	—	—	—	(外)耳状突起。口縁部上面に刻目 (内)ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄褐色 (10YR5/3) (内)にぶい黄褐色 (10YR5/3)	
73-9	58	縄文土器	砲弾形有文深鉢a	林原式	DT３	1層	—	—	—	(外)口縁部上面に刻目 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
73-10	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT3	1層	22.0	—	—	(外) 口縁部上面に1条の沈線、単節LR縄文 (内) ナデ	4mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
73-11	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に2条の沈線、単節RL縄文 (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR6/4) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
73-12	58	縄文土器	砲弾形有文深鉢b	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) 条痕 (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
73-13	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に1条の沈線 (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (10YR4/4) (内) 褐色 (10YR4/4)	
73-14	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に1条の沈線 (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR6/4) (内) 褐色 (10YR4/4)	
73-15	58	縄文土器	屈曲形深鉢？	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) 胴部に単節RL縄文 (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/8) (内) 明黄褐色 (10YR6/8)	
73-16	58	縄文土器	屈曲形深鉢？	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) 胴部に単節RL縄文 (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (10YR3/1) (内) 黒褐色 (10YR3/1)	
73-17	58	縄文土器	皿形浅鉢？	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に突起、外面に1条の沈線 (内) 内面に1条の沈線、ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (5YR5/6) (内) 明赤褐色 (5YR5/8)	
73-18	58	縄文土器	屈曲形浅鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 褐灰色 (5YR4/1) (内) 褐灰色 (5YR4/1)	
73-19	58	縄文土器	屈曲形浅鉢	林原式	DT3	1層	26.4	7.1	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
73-20	58	縄文土器	屈曲形浅鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) にぶい黄橙色 (10YR6/4)	
73-21	58	縄文土器	屈曲形浅鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	5mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) にぶい黄橙色 (10YR6/4)	
73-22	58	縄文土器	屈曲形鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に単節LR縄文 (内) ミガキ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
73-23	58	縄文土器	屈曲形鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に単節RL縄文 (内) ミガキ	5mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
73-24	58	縄文土器	屈曲形鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に単節RL縄文 (内) ミガキ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 灰黄褐色 (10YR6/2) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
73-25	58	縄文土器	屈曲形鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に単節LR縄文 (内) ナデ	1mm程度の石英、長石、金雲母を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR6/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR6/4)	屈曲形有文深鉢の可能性
73-26	58	縄文土器	壺形鉢	林原式	DT3	1層	12.4	—	—	(外) 4本1単位の沈線 (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 黒色 (10YR2/1) (内) 黒色 (10YR2/1)	
73-27	58	縄文土器	壺形鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) 4本1単位の沈線 (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
73-28	58	縄文土器	壺形鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) 3本1単位の沈線 (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (7.5YR3/2) (内) 黒褐色 (7.5YR3/2)	赤色顔料が付着
73-29	59	縄文土器	砲弾形無文深鉢	林原式	DT3	1層	39.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明褐色 (7.5YR5/6) (内) 明褐色 (7.5YR5/6)	
73-30	59	縄文土器	砲弾形無文深鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄褐色 (10YR5/6) (内) 明赤褐色 (5YR5/6)	
73-31	59	縄文土器	砲弾形無文深鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄褐色 (10YR5/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
74-32	59	縄文土器	砲弾形無文深鉢	林原式	DT3	1層	29.2	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) にぶい黄橙色 (10YR6/4)	
74-33	59	縄文土器	砲弾形無文深鉢	林原式	DT3	1層	26.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
74-34	59	縄文土器	砲弾形無文深鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 灰黄褐色 (10YR6/2) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
74-35	59	縄文土器	砲弾形無文深鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 灰黄褐色 (10YR6/2) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/3)	
74-36	59	縄文土器	砲弾形無文深鉢	林原式	DT3	1層	25.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
74-37	59	縄文土器	屈曲形鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	接合痕が明瞭に残る
74-38	59	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	3mm程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (10YR3/1) (内) 黒褐色 (10YR3/1)	
74-39	59	縄文土器	皿形浅鉢	林原式	DT3	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	3mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/8) (内) 明黄褐色 (10YR6/8)	
74-40	59	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式	DT3	1層	24.5	7.1	—	(外) ナデ (内) ナデ	4mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
74-41	59	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式	DT3	1層	29.2	7.1	—	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR6/3) (内) にぶい黄褐色 (10YR6/3)	
74-42	59	縄文土器	壺形鉢	林原式	DT3	1層	15.8	7.3	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR6/4) (内) にぶい黄褐色 (10YR6/4)	
74-43	59	縄文土器	底部	林原式	DT3	1層	—	—	7.0	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 褐灰色 (10YR4/1) (内) 褐灰色 (10YR4/1)	
74-44	59	縄文土器	底部	林原式	DT3	1層	—	—	5.6	(外) ナデ (内) ナデ	5mm程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 褐灰色 (10YR4/1)	
74-45	59	縄文土器	底部	林原式	DT3	1層	—	—	7.2	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石英、長石を含む	(外) 明褐色 (7.5YR8/5) (内) 明褐色 (7.5YR8/5)	
74-46	59	縄文土器	底部	林原式	DT3	1層	—	—	10.0	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
74-47	59	縄文土器	底部	林原式	DT3	1層	—	—	8.0	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR7/4) (内) にぶい黄褐色 (10YR7/4)	
74-48	59	縄文土器	底部	林原式	DT3	1層	—	—	9.4	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黒褐色 (10YR3/1)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
74-49	59	縄文土器	底部	林原式	DT３	1層	—	—	10.0	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 明黄褐色 (2.5Y7/6)	
74-50	33	土製品	土偶	林原式	DT３	1層	—	—	—	(外) 腕部に３本の沈線、胸部表現、中央に正中線		橙色 (7.5YR6/6)	
78-1	60	縄文土器	砲弾形有文深鉢a	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
78-2	60	縄文土器	砲弾形有文深鉢a	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (5YR5/8) (内) 明赤褐色 (5YR5/8)	
78-3	60	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に１条の沈線 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
78-4	60	縄文土器	砲弾形有文深鉢a	晩期中葉？	DT４	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
78-5	60	縄文土器	屈曲形深鉢	暮地式	DT４	1層	28.8	—	—	(外) 口縁部上面に刻目 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	DT２より出土地点が離れている
78-6	60	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	31.2	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
78-7	60	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	28.4	7.5	—	(外) 胴部屈曲部に１条の沈線、刻目 (内) ミガキ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 灰褐色 (7.5YR4/1) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
78-8	60	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
78-9	60	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	—	(外) 磨消縄文による区画文 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 灰黄褐色 (10YR4/2)	
78-10	60	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に２条の沈線 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄橙色 (10YR6/6) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
78-11	60	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	—	(外) 沈線内刺突 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/8) (内) 明赤褐色 (2.5YR5/8)	15、16と同一固体？
78-12	60	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	—	(外) ３条の横走沈線 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR7/2) (内) 黒褐色 (10YR3/1)	
78-13	60	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	—	(外) ２条の横走沈線 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR5/4) (内) 褐灰色 (10YR4/1)	
78-14	60	縄文土器	壺形鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	—	(外) 円文を配した突起が付く (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR5/4) (内) にぶい黄褐色 (10YR5/4)	
78-15	60	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	—	(外) 沈線内刺突 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/8) (内) 明赤褐色 (2.5YR5/8)	11、16と同一固体？
78-16	60	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	—	(外) 渦巻文 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/8) (内) 明赤褐色 (2.5YR5/8)	11、15と同一固体？
78-17	60	縄文土器	底部	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	10.0	(外) 単節RL縄文 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 淡黄色 (2.5Y8/4) (内) 淡黄色 (2.5Y8/4)	
78-18	61	縄文土器	屈曲形鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	29.0	—	—	(外) 口縁肥厚部下端部にわずかに刻目 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
78-19	61	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	30.8	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい褐色 (7.5YR6/3) (内) 橙色 (5YR6/8)	
78-20	61	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	43.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/8) (内) 黄橙色 (10YR8/8)	
78-21	61	縄文土器	屈曲形鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	15.4	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
79-22	61	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	38.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
79-23	61	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
79-24	61	縄文土器	皿形浅鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR3/6) (内) 明赤褐色 (2.5YR3/6)	
79-25	61	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	28.0	5.7	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 淡黄色 (2.5Y8/4) (内) 淡黄色 (2.5Y8/4)	
79-26	61	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	27.0	7.0	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
79-27	61	縄文土器	砲弾形鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	15.0	12.8	3.9	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR5/4) (内) にぶい黄褐色 (10YR5/4)	
79-28	61	縄文土器	屈曲形鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	14.4	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄色 (2.5Y8/6) (内) 黄色 (2.5Y8/6)	
79-29	61	縄文土器	屈曲形鉢	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
79-30	61	縄文土器	底部	縁帯文成立期	DT４	1層	—	—	10.0	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
84-1	62	縄文土器	砲弾形有文深鉢a	林原式～崎ヶ鼻１式	DT５	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に交互刻目 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
84-2	62	縄文土器	砲弾形有文深鉢a	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刺突 (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR5/4) (内) にぶい黄褐色 (10YR5/4)	
84-3	62	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT５	1層	24.8	—	—	(外) 口縁部外面に１条の沈線、刻目、頸部に沈線 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
84-4	62	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT５	1層	31.4	—	—	(外) 口縁部外面に２条の沈線、刺突、刻目 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR7/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
84-5	62	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	DT５	1層	21.0	—	—	(外) 口縁部外面に単節LR縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 灰黄褐色 (10YR6/2) (内) にぶい黄橙色 (10YR6/4)	
84-6	62	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	DT５	1層	21.0	—	—	(外) 口縁部外面に渦巻文、区画文、単節RL縄文 (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) にぶい黄橙色 (10YR6/4)	
84-7	62	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	DT５	1層	17.2	14.0	—	(外) 口縁部外面に円文、区画文、単節RL縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR7/4) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
84-8	62	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	DT５	1層	24.8	—	—	(外) 口縁部外面に山形文、単節LR縄文 (内) ナデ	５㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
84-9	62	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に山形文、単節RL縄文 (内) ナデ	５㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
84-10	62	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	DT５	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に入組文、刺突文 (内) ナデ	５㎜程度の石英、長石を含む	(外) 淡黄色 (10YR8/4) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
84-11	62	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	DT５	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に山形文、刺突文、頸部に沈線 (内) ナデ	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明褐色 (7.5YR5/6) (内) 明褐色 (7.5YR5/6)	
84-12	62	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	DT５	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に山形文、刺突文 (内) ナデ	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
84-13	62	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	DT５	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に菱形文、刺突文、頸部に沈線と刺突文 (内) ナデ	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
84-14	62	縄文土器	砲弾形有文深鉢b	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) 単節RL縄文、渦巻文 (内) ナデ	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄褐色 (10YR5/6) (内) にぶい黄褐色 (10YR5/4)	
84-15	61	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	9.6	(外) 単節LR縄文 (内) ナデ	５㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
84-16	62	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) 単節LR縄文 (内) ナデ	３㎜程度の石英、長石を含む	(外) 灰白色 (10YR7/1) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/2)	
84-17	62	縄文土器	深鉢	晩期中葉	DT５	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目 (内) 条痕	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
84-18	62	縄文土器	深鉢	晩期中葉	DT５	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目 (内) 条痕	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
84-19	62	縄文土器	屈曲形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) 浅黄橙色 (10YR8/4) (内) 浅黄橙色 (10YR8/4)	
84-20	62	縄文土器	屈曲形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	２㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (5YR8/5) (内) 明赤褐色 (5YR8/5)	
84-21	63	縄文土器	屈曲形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	37.4	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
84-22	62	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) 双頭突起。ナデ (内) ナデ	２㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
84-23	62	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) 磨消縄文によるＪ字文 (内) ミガキ	２㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
84-24	62	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	28.2	—	—	(外) 口縁部外面に２条の沈線、単節RL縄文、頸部に沈線 (内) ミガキ	４㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
84-25	62	縄文土器	屈曲形鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に単節RL縄文 (内) ミガキ	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) 赤褐色 (5YR4/8) (内) 赤褐色 (5YR4/8)	
84-26	62	縄文土器	屈曲形鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に単節RL縄文。胴部刻目？ (内) ミガキ	２㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
84-27	62	縄文土器	屈曲形鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	14.8	11.3	—	(外) 胴部に単節RL縄文 (内) ナデ	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
84-28	62	縄文土器	屈曲形鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) 単節RL縄文 (内) ナデ	２㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
84-29	62	縄文土器	壺形鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	9.2	—	—	(外) 単節LR縄文 (内) ナデ	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR5/4) (内) 黄褐色 (10YR5/6)	
84-30	62	縄文土器	壺形鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) 肥厚部に単節RL縄文 (内) ナデ	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR5/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR6/4)	
84-31	62	縄文土器	壺形鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) 沈線 (内) ナデ	２㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
85-32	63	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) 双頭突起。ナデ (内) ナデ	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (7.5YR4/3) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
85-33	63	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	３㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (7.5YR3/1) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
85-34	63	縄文土器	屈曲形鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	22.6	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (5YR5/8) (内) 明赤褐色 (5YR5/8)	
85-35	63	縄文土器	砲弾形鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	２㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
85-36	63	縄文土器	砲弾形無文深鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	13.6	8.6	—	(外) ナデ (内) ナデ	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (5YR5/6) (内) 明赤褐色 (5YR5/6)	
85-37	63	縄文土器	屈曲形鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	21.6	8.4	—	(外) ナデ (内) ミガキ	３㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
85-38	63	縄文土器	砲弾形無文深鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	11.2	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	２㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 浅黄橙色 (10YR8/4)	
85-39	63	縄文土器	砲弾形無文深鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	30.8	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	５㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
85-40	63	縄文土器	砲弾形無文深鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	25.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	３㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR5/4) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
85-41	63	縄文土器	砲弾形無文深鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	26.8	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	５㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
85-42	63	縄文土器	砲弾形無文深鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	18.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
85-43	64	縄文土器	砲弾形無文深鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	34.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
85-44	63	縄文土器	砲弾形無文深鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	５㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
85-45	63	縄文土器	皿形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	１㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
85-46	64	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	30.0	8.0	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	２㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR7/8) (内) 橙色 (5YR7/8)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
85-47	63	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	29.0	6.5	—	(外)ナデ (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (5YR6/8) (内)橙色 (5YR6/8)	
85-48	63	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR7/6) (内)橙色 (7.5YR7/6)	
85-49	63	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
85-50	63	縄文土器	屈曲形鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)赤褐色 (2.5YR4/8) (内)赤褐色 (2.5YR4/8)	
85-51	63	縄文土器	屈曲形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外)ナデ (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄色 (2.5Y8/6) (内)黄色 (2.5Y8/6)	
85-52	63	縄文土器	屈曲形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黒褐色 (10YR3/2) (内)黒褐色 (10YR3/2)	
86-53	63	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	36.0	5.5	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
86-54	63	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR6/6) (内)明黄褐色 (10YR6/6)	
86-55	63	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	26.0	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR6/6) (内)明黄褐色 (10YR6/6)	
86-56	63	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外)ナデ (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄橙色 (10YR6/4) (内)にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
86-57	63	縄文土器	底部	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	8.4	(外)ナデ (内)ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)黄橙色 (7.5YR7/8)	
86-58	63	縄文土器	底部	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	10.2	(外)ナデ (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR8/8) (内)黄橙色 (10YR8/6)	
86-59	63	縄文土器	底部	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	13.4	(外)ナデ (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR6/8) (内)明赤褐色 (5YR5/8)	
86-60	63	縄文土器	底部	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	10.4	(外)ナデ (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR7/8) (内)黄橙色 (10YR7/8)	
86-61	63	縄文土器	底部	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	7.7	(外)ミガキ (内)ミガキ	4㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR6/8) (内)橙色 (7.5YR6/6)	
86-62	63	縄文土器	底部	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	8.0	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR6/6) (内)浅黄橙色 (10YR8/4)	
86-63	63	縄文土器	底部	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	—	(外)単節RL縄文 (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黒褐色 (10YR3/1) (内)黒褐色 (10YR3/1)	
86-64	63	縄文土器	底部	林原式～崎ヶ鼻２式	DT５	1層	—	—	7.0	(外)ナデ (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄橙色 (10YR7/4) (内)にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
89-1	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT６	1層	—	—	—	(外)口縁部上面に刻目 (内)ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)明赤褐色 (5YR8/5) (内)明赤褐色 (5YR8/5)	
89-2	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT６	1層	—	—	—	(外)口縁部上面に３条の沈線、刻目 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR6/6) (内)褐色 (7.5YR4/4)	
89-3	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT６	1層	—	—	—	(外)口縁部外面に２条の沈線、刻目 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR7/6) (内)橙色 (7.5YR7/6)	
89-4	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT６	1層	28.4	—	—	(外)口縁部外面に２条の沈線、刻目、刺突、単節RL縄文 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明赤褐色 (5YR8/5) (内)黄橙色 (10YR8/8)	
89-5	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT６	1層	14.6	12.4	—	(外)口縁部外面に縦位の短沈線、１条の横走沈線、刻目 (内)ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄橙色 (10YR6/3) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
89-6	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT６	1層	22.0	—	—	(外)口縁部外面に１条の沈線、刺突 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (7.5YR7/8) (内)黄橙色 (7.5YR7/8)	
89-7	66	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT６	1層	—	—	—	(外)口縁部外面に１条の沈線 (内)内面に１条の沈線、刺突	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (7.5YR7/8) (内)黄橙色 (7.5YR7/8)	
89-8	66	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT６	1層	—	—	—	(外)口縁部上面に沈線、頚部に縦走する沈線 (内)ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (7.5YR8/8) (内)黄橙色 (7.5YR8/6)	
89-9	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT６	1層	—	—	—	(外)口縁部外面に単弧文、１条の沈線 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
89-10	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT６	1層	—	—	—	(外)口縁部外面に単節LR縄文 (内)口縁部内面に単節LR縄文	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄褐色 (10YR5/4) (内)にぶい黄橙色 (10YR6/4)	
89-11	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT６	1層	—	—	—	(外)単節LR縄文 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR6/8) (内)橙色 (7.5YR6/8)	
89-12	66	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	—	(外)胴部屈曲部に刻目 (内)ミガキ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外)褐色 (10YR4/4) (内)褐色 (10YR4/4)	
89-13	66	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	—	(外)胴部屈曲部に１条の沈線、刻目 (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR7/8) (内)黄橙色 (10YR7/8)	
89-14	66	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	33.4	—	—	(外)ミガキ (内)口縁部内面に単節RL縄文	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
89-15	66	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	28.5	7.4	—	(外)双頭突起、単節LR縄文 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR6/6) (内)橙色 (7.5YR6/6)	
89-16	66	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	—	(外)単節RL縄又の磨消縄文 (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
89-17	67	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	32.2	14.1	—	(外)口縁部上面に入組文、単節RL縄文 (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR6/6) (内)明黄褐色 (10YR6/6)	
89-18	66	縄文土器	屈曲形鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	17.2	—	—	(外)口縁部外面に単節RL縄文、胴部単節RL縄文 (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)灰黄褐色 (10YR5/2) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
89-19	66	縄文土器	屈曲形鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	32.1	—	—	(外)口縁部外面に単節RL縄文、胴部単節RL縄文 (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)褐灰色 (10YR5/1) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
89-20	66	縄文土器	壺形鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	—	(外)肥厚部に単節RL縄文 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明赤褐色 (5YR5/8) (内)明赤褐色 (5YR5/8)	
89-21	66	縄文土器	底部	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	7.0	(外)単節RL縄文 (内)ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR6/8) (内)橙色 (7.5YR6/6)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
90-22	67	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
90-23	67	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 暗褐色 (10YR3/4) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
90-24	67	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (10YR4/4) (内) 明褐色 (10YR6/6)	
90-25	67	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	27.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (10YR4/4) (内) 明褐色 (10YR6/6)	
90-26	67	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	36.4	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (10YR4/4) (内) 明褐色 (5YR4/8)	
90-27	67	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
90-28	67	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	38.4	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
90-29	68	縄文土器	皿形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
90-30	68	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (5YR5/8) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
90-31	68	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
90-32	68	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
90-33	68	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 灰黄褐色 (10YR6/2) (内) 灰黄褐色 (10YR6/2)	
90-34	67	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	26.4	10.5	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
90-35	68	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	34.0	6.2	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (5YR5/8) (内) 明赤褐色 (5YR5/8)	
90-36	68	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
90-37	68	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	29.0	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR7/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
90-38	68	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
90-39	68	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (10YR3/1) (内) 黒褐色 (10YR3/1)	
90-40	68	縄文土器	底部	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	9.8	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
90-41	68	縄文土器	底部	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	8.8	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
90-42	68	縄文土器	底部	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	7.0	(外) ナデ (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
90-43	68	縄文土器	底部	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	7.5	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
90-44	68	縄文土器	底部	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	7.6	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
90-45	68	縄文土器	底部	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	11	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
90-46	68	縄文土器	底部	縁帯文成立期～林原式	DT６	1層	—	—	7.4	(外) ナデ (内) ナデ	4㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
93-1	69	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	焼土08	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に入組文、単節RL縄文 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
96-1	68	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	配石遺構09	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に入組文、１条の沈線、単節RL縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
96-2	68	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻１式	配石遺構09	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) 口縁部内面に単節RL縄文	4㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR7/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
96-3	68	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻１式	配石遺構09	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	4㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
96-4	68	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ鼻１式	配石遺構09	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
96-5	68	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻１式	配石遺構09	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR7/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
96-6	68	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻１式	配石遺構09	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 赤褐色 (5YR4/8) (内) 赤褐色 (5YR4/8)	
96-7	69	縄文土器	壺形鉢	崎ヶ鼻１式	配石遺構09	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 赤褐色 (5YR4/8) (内) 赤褐色 (5YR4/8)	
97-1	70	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式古～中段階	DT７	1層	—	—	—	(外) 刺突文、撚糸文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 浅黄色 (2.5Y7/4) (内) 浅黄色 (2.5Y7/4)	
97-2	70	縄文土器	深鉢	里木Ⅱ・Ⅲ式古～中段階	DT７	1層	—	—	—	(外) 撚糸文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄色 (2.5Y6/4) (内) にぶい黄色 (2.5Y6/4)	
97-3	70	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT７	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に１条の沈線、単節RL縄文 (内) ミガキ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
97-4	70	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT７	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に２条の沈線 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
97-5	70	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	DT７	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に１条の沈線 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 赤褐色 (5YR4/8) (内) 赤褐色 (5YR4/8)	
97-6	70	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT７	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に縦位の短沈線、１条の沈線、刻目 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
97-7	70	縄文土器	砲弾形有文深鉢a	林原式	DT７	1層	—	—	—	(外) 口縁端部に刻目 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
97-8	70	縄文土器	砲弾形有文深鉢a	林原式	DT7	1層	—	—	—	(外) 胴部に羽状沈線文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
97-9	70	縄文土器	砲弾形有文深鉢a	林原式	DT7	1層	—	—	—	(外) 口縁端部に刻目 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/8) (内) 橙色 (7.5YR7/8)	
97-10	71	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT7	1層	23.0	—	—	(外) 口縁部外面に縦位の短沈線、刻目、単節RL縄文、胴部単節RL縄文 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (2.5Y7/6) (内) 明黄褐色 (2.5Y7/6)	
97-11	70	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に入組文、単節RL縄文、区画文 (内) 単節RL縄文	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 浅黄橙色 (10YR8/4) (内) 浅黄橙色 (10YR8/4)	
97-12	70	縄文土器	屈曲形深鉢	平城式？	DT7	1層	—	—	—	(外) 単節RL縄文？ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明褐色 (7.5YR5/8) (内) 明褐色 (7.5YR5/8)	
97-13	70	縄文土器	屈曲形深鉢	平城式？	DT7	1層	—	—	—	(外) 渦巻文 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR5/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR5/3)	
97-14	70	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 単節RL縄文 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
97-15	70	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 単節RL縄文 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
97-16	70	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 1条の沈線、単節RL縄文 (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (7.5YR4/6) (内) 褐色 (7.5YR4/6)	
97-17	70	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 沈線 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明褐色 (7.5YR5/8) (内) 明褐色 (7.5YR5/8)	
97-18	71	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 縦位の沈線文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 浅黄橙色 (10YR8/4) (内) 浅黄橙色 (10YR8/4)	
97-19	70	縄文土器	皿形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 口縁部上面に双頭突起。1条の沈線 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (5YR5/8) (内) 明赤褐色 (5YR5/8)	
97-20	70	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に渦巻文 (内) 単節RL縄文	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
97-21	70	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に入組文、1条の沈線、刻目 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	赤色顔料が付着
97-22	70	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	31.8	—	—	(外) 口縁部外面に沈線、単節LR縄文、刻目。胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄褐色 (10YR5/6) (内) 黄褐色 (10YR5/6)	赤色顔料が付着
97-23	70	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (5YR5/6) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
97-24	70	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
97-25	70	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	30.4	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
97-26	70	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部を肥厚させ刻目 (内) ミガキ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
97-27	70	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
98-28	71・72	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	46.4	—	—	(外) ミガキ (内) 口縁部内面に円文、単節RL縄文	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR7/8) (内) 橙色 (5YR7/8)	
98-29	72	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 単節RL縄文 (内) ミガキ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
98-30	72	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) 口縁部内面に単節RL縄文	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
98-31	72	縄文土器	屈曲形鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に単節RL縄文 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR5/3) (内) にぶい黄褐色 (10YR5/3)	
98-32	72	縄文土器	壺形鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に1条の沈線、単節RL縄文 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (10YR3/2) (内) 黒褐色 (10YR3/2)	
98-33	72	縄文土器	壺形鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) 渦巻状の突起、単節RL縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/8) (内) 黄橙色 (10YR8/8)	
98-34	72	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
98-35	72	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	36.2	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
98-36	72	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	39.2	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
98-37	72	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	17.8	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
98-38	72	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	34.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
98-39	72	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR7/8) (内) 橙色 (5YR7/8)	
98-40	72	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	29.2	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
98-41	72	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄褐色 (10YR5/6) (内) 黄褐色 (10YR5/6)	
98-42	72	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	33.6	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR6/4) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
98-43	72	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	26.8	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
99-44	72	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	28.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/8) (内) 黄橙色 (10YR8/8)	
99-45	72	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) ベタ (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
99-46	72	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT7	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
99-47	72	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	—	(外)ナデ (内)ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR8/8) (内)黄橙色 (10YR8/8)	
99-48	73	縄文土器	砲弾形無文深鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	—	(外)ナデ (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
99-49	73	縄文土器	皿形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄橙色 (10YR6/3) (内)にぶい黄橙色 (10YR6/3)	
99-50	73	縄文土器	皿形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄橙色 (10YR7/4) (内)にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
99-51	73	縄文土器	屈曲形鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	15.5	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄橙色 (10YR6/4) (内)にぶい黄橙色 (10YR6/4)	
99-52	73	縄文土器	屈曲形鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	14.2	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄橙色 (10YR6/4) (内)にぶい黄橙色 (10YR6/4)	
99-53	74	縄文土器	砲弾形鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	14.4	9.3	4.8	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄褐色 (10YR5/6) (内)黄褐色 (10YR5/6)	
99-54	73	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄褐色 (10YR5/6) (内)灰黄褐色 (10YR4/2)	
99-55	73	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR6/6) (内)明黄褐色 (10YR6/6)	
99-56	73	縄文土器	ボール形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄橙色 (10YR7/3) (内)にぶい黄橙色 (10YR7/3)	
99-57	74	縄文土器	底部	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	9.2	(外)ナデ (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)赤褐色 (2.5YR4/8) (内)赤褐色 (2.5YR4/8)	
99-58	73	縄文土器	底部	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	7.4	(外)ナデ (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
99-59	73	縄文土器	底部	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	9.6	(外)ナデ (内)ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR7/6) (内)橙色 (7.5YR7/6)	
99-60	73	縄文土器	底部	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	9.6	(外)ナデ (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	2箇所に底部穿孔
99-61	73	縄文土器	底部	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	8.4	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (7.5YR7/8) (内)黄橙色 (7.5YR7/8)	
99-62	73	縄文土器	底部	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	8.9	(外)ナデ (内)ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (7.5YR7/8) (内)黄橙色 (10YR8/6)	
99-63	73	縄文土器	底部	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	8.0	(外)ミガキ (内)ナデ	4㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄橙色 (10YR6/3) (内)にぶい黄橙色 (10YR6/3)	
99-64	73	縄文土器	底部	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	8.4	(外)ナデ (内)ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
99-65	73	縄文土器	底部	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	9.7	(外)ナデ (内)ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
99-66	73	縄文土器	底部	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	9.2	(外)ナデ (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR8/6) (内)黄橙色 (10YR8/6)	
99-67	73	縄文土器	底部	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	10.4	(外)ナデ (内)ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR8/6) (内)黄橙色 (10YR8/6)	
99-68	33	土製品	土偶	縁帯文成立期～崎ヶ鼻1式	DT７	1層	—	—	—	(外)中央に正中線、下腹部に刺突		黄橙色 (7.5YR7/8)	5.2×6.8×1.4cm
102-1	75	縄文土器	砲弾形有文深鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	—	—	—	(外)口縁部上面に１条の沈線口縁直下に２条の沈線 (内)ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)明褐色 (7.5YR6/5) (内)明褐色 (7.5YR6/5)	
102-2	75	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	—	—	—	(外)口縁部外面に沈線 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)暗褐色 (10YR3/3) (内)暗褐色 (10YR3/3)	
102-3	75	縄文土器	砲弾形有文深鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	35.2	—	—	(外)ナデ (内)山形文	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR6/8) (内)明黄褐色 (10YR6/8)	
102-4	76	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	32.0	13.0	—	(外)口縁部上面に複合鋸歯文、全面単節RL縄文 (内)ミガキ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (5YR6/8) (内)橙色 (5YR6/8)	
102-5	75	縄文土器	屈曲形浅鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	17.2	5.3	—	(外)胴部屈曲部に刻目 (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
102-6	75	縄文土器	屈曲形浅鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	—	—	—	(外)胴部屈曲部に刻目 (内)ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR6/8) (内)黒褐色 (10YR3/2)	
102-7	75	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	—	—	—	(外)口縁部外面に単節LR縄文 (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)灰黄褐色 (10YR5/2) (内)灰黄褐色 (10YR5/2)	
102-8	75	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	—	—	—	(外)ミガキ (内)口縁部内面に単節LR縄文	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)明赤褐色 (5YR5/8) (内)明赤褐色 (5YR5/8)	
102-9	75	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	—	—	—	(外)胴部単節RL縄文 (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (7.5YR7/8) (内)黄橙色 (10YR8/6)	
102-10	76	縄文土器	壺形鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	8.5	—	—	(外)口縁部に把手、胴部に単節RL縄文、渦巻き文 (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄橙色 (10YR6/4) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
102-11	75	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	23.8	—	—	(外)ナデ (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄橙色 (10YR6/4) (内)にぶい黄橙色 (10YR6/4)	
102-12	75	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	37.0	—	—	(外)ナデ (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR6/8) (内)明黄褐色 (7.5YR7/6)	
102-13	75	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	—	—	—	(外)ナデ (内)ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
103-14	75	縄文土器	砲弾形無文深鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	41.4	—	—	(外)ナデ (内)ナデ	4㎜程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (7.5YR7/8) (内)黄橙色 (7.5YR7/8)	
103-15	75	縄文土器	屈曲形浅鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	9.3	4.1	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)黒褐色 (10YR3/1) (内)黄褐色 (10YR5/6)	
103-16	75	縄文土器	屈曲形浅鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	—	—	—	(外)ミガキ (内)ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR6/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
103-17	75	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	—	—	—	(外)ナデ (内)ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外)にぶい黄橙色 (10YR6/4) (内)にぶい黄橙色 (10YR6/4)	
103-18	75	縄文土器	無文胴部	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	—	—	—	(外)ミガキ (内)ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外)灰黄褐色 (10YR6/2) (内)灰黄褐色 (10YR5/2)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
103-19	75	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	－	－	－	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
103-20	75	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	－	－	－	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (5YR5/8) (内) 明赤褐色 (5YR5/8)	
103-21	75	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	－	－	－	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (7.5YR4/4) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
103-22	75	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	－	－	－	(外) ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明褐色 (7.5YR5/6) (内) 明赤褐色 (5YR5/8)	
103-23	75	縄文土器	底部	崎ヶ鼻２式	DT８	1層	－	－	8.0	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
108-1	76	縄文土器	砲弾形無文深鉢	幕地式～林原式	土器埋設遺構2	1層	32.6	38.7	－	(外) ナデ (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明褐色 (7.5YR8/5) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	底部打ち欠き？
108-2	77	縄文土器	深鉢	原田式古段階	土器埋設遺構3	1層	37.8	41.5	尖底	(外) 条痕 (内) 口縁部内面に刺突	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
109-1	77	縄文土器	深鉢	原田式古段階	土器埋設遺構4	1層	42.0	40.0	尖底	(外) 条痕 (内) 口縁部内面に刺突	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
110-1	77	縄文土器	深鉢	晩期中葉？	配石遺構10	1層	15.0	12.3	－	(外) 口縁部上面に刻目。条痕 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/8) (内) 黒褐色 (5YR3/2)	底部打ち欠き？
111-1	77	縄文土器	深鉢	古海式並行	SR03	1層	－	－	－	(外) 口縁端部に刻目突帯 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
111-2	77	縄文土器	屈曲形浅鉢	後期前葉	SR03	1層	－	－	－	(外) ナデ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
111-3	77	弥生土器	甕	Ｖ－２様式	SR03	1層	12.6	－	－	(外) 口縁部外面に６条の擬凹線 (内) ケズリ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR7/4) (内) 橙色 (5YR6/8)	
112-1	77	土師器	高坏	古墳時代後期	SI02	1層	－	－	6.1	(外) ハケメ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6)	
116-1	78	縄文土器	深鉢	菱根式	不明	1層	－	－	－	(外) 無節Ｌ縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR6/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR6/3)	多量の繊維を含む
116-2	78	縄文土器	深鉢	西川津式	D14	1層	－	－	－	(外) 隆帯上に刻目 (内) 条痕	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (10YR4/4) (内) 明黄褐色 (10YR6/8)	
116-3	78	縄文土器	深鉢	北白川下層Ｉb式	D13	1層	－	－	－	(外) ロッキングによる逆Ｃ字爪形文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (10YR3/2) (内) 暗褐色 (10YR3/4)	
116-4	78	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	A14	1層	－	－	－	(外) 口縁部上面に１条の沈線、刻目 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (2.5YR5/8) (内) 明赤褐色 (2.5YR5/8)	
116-5	78	縄文土器	屈曲形深鉢	縁帯文成立期	F11	1層	－	－	－	(外) 双頭突起、口縁部上面に１条の沈線、単節RL縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
116-6	78	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻２式	F14	1層	－	－	－	(外) 口縁部外面に２条の沈線、頸部に単節RL縄文 (内) ミガキ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
116-7	78	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	G14	1層	－	－	－	(外) 口縁部外面に連弧文、刻目 (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 浅黄橙色 (10YR8/4) (内) 浅黄橙色 (10YR8/4)	
116-8	78	縄文土器	砲弾形有文深鉢b	崎ヶ鼻２式	A13	1層	－	－	－	(外) 口縁部上面に１条の沈線 (内) 単節LR縄文	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR5/4) (内) にぶい黄褐色 (10YR5/4)	
116-9	78	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻式	D12	1層	－	－	－	(外) 口縁部外面に単節RL縄文 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (10YR4/4) (内) にぶい黄褐色 (10YR5/4)	
116-10	78	縄文土器	深鉢	林原式～崎ヶ鼻式	B14	1層	－	－	－	(外) 擬縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR6/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR6/4)	
116-11	78	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式～崎ヶ鼻式	A13	1層	－	－	－	(外) 単節RL縄文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
116-12	78	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式～崎ヶ鼻式	D11	1層	－	－	－	(外) 単節RL縄文 (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/8) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
116-13	78	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式～崎ヶ鼻式	D11	1層	－	－	－	(外) 単節RL縄文 (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
116-14	78	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式～崎ヶ鼻式	A13	1層	－	－	－	(外) 単節RL縄文 (内) ナデ	4㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
116-15	78	縄文土器	深鉢	権現山式新段階	F14	1層	－	－	－	(外) 口縁部外面に２条の沈線、刻目 (内) 口縁部内面に２条の沈線、刻目	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 浅黄橙色 (10YR8/4) (内) 浅黄橙色 (10YR8/4)	
116-16	78	縄文土器	深鉢	宮滝式	B15	1層	－	－	－	(外) 口縁部外面に６条の凹線、刺突文、貝殻圧痕文 (内) 口縁部内面に１条の沈線	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 褐灰色 (10YR4/2)	
116-17	78	縄文土器	深鉢	前池式	B15	1層	－	－	－	(外) 口縁部上面に刻目、刻目突帯文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR8/6) (内) 褐灰色 (10YR4/2)	
116-18	78	縄文土器	深鉢	晩期中葉	A14	1層	－	－	－	(外) ナデ (内) 口縁部内面に刺突	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
116-19	78	縄文土器	深鉢	前池式	F13	1層	－	－	－	(外) 口縁部上面に刻目、刻目突帯文 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
116-20	78	縄文土器	深鉢	晩期中葉	G10	1層	－	－	－	(外) ナデ (内) 口縁部内面に刻目	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
116-21	78	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	E11	1層	－	－	－	(外) 口縁端部に刻目、頸部に垂下沈線、胴部屈曲部に刻目 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄褐色 (10YR5/8) (内) 明黄褐色 (10YR6/8)	
116-22	78	縄文土器	有文浅鉢口縁	崎ヶ鼻２式	A13	1層	－	－	－	(外) ナデ (内) 口縁部内面に複合鋸歯文	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
116-23	78	縄文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ鼻式	A13	1層	－	－	－	(外) ミガキ (内) 口縁部内面に単節RL縄文	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
116-24	78	縄文土器	ボール形鉢	林原式～崎ヶ鼻式	A14	1層	－	－	－	(外) ミガキ (内) 口縁部内面に単節RL縄文	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
116-25	78	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	A13	1層	－	－	－	(外) 胴部屈曲部に１条の沈線、刻目 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
116-26	78	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	A13	1層	－	－	－	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
116-27	78	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	A14	1層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
116-28	78	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	B12	1層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) 口縁部内面に弧文	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
116-29	78	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	A14	1層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
116-30	78	縄文土器	屈曲形浅鉢	縁帯文成立期～崎ヶ鼻式	A13	1層	—	—	—	(外) 胴部屈曲部に刻目 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR7/8)	
116-31	78	縄文土器	浅鉢		B15	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に1条の沈線 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (10YR7/8) (内) 黄橙色 (10YR7/8)	
116-32	78	縄文土器	壺形鉢	権現山式新段階	B15	1層	—	—	—	(外) 胴部に刻目、擬縄文 (内) ミガキ、口縁部に沈線、刻目	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黒褐色 (10YR3/1) (内) 黒褐色 (10YR3/1)	
116-33	78	縄文土器	深鉢		B15	1層	—	—	—	(外) 胴部に2条の沈線、単節RL縄文 (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
117-34	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		トレンチ5	1層	20.0	26.0	—	(外) ナデ (内) 条痕	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 灰白色 (7.5YR8/2)	土器埋設遺構だった可能性
117-35	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		C13	1層	30.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	4㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 橙色 (7.5YR7/6)	
117-36	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		A13	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (5YR5/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
117-37	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		B12	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 黄橙色 (10YR8/6)	
117-38	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		B12	1層	40.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 橙色 (5YR6/8)	
117-39	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		B12	1層	29.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
117-40	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		B12	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 灰黄褐色 (10YR6/2) (内) 灰黄褐色 (10YR6/2)	
117-41	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		A13	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR5/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/2)	
117-42	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		A14	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
117-43	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		A13	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR6/6) (内) にぶい黄褐色 (10YR5/3)	
118-44	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		F13	1層	38.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
118-45	80	縄文土器	ボール形浅鉢		A13	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
118-46	80	縄文土器	屈曲形鉢		E12	1層	15.4	10.7	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR6/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR6/4)	
118-47	80	縄文土器	屈曲形浅鉢		B12	1層	38.0	7.2	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
118-48	80	縄文土器	屈曲形浅鉢		A14	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR7/6) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
118-49	80	縄文土器	屈曲形浅鉢		A13	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (10YR4/4) (内) 褐色 (10YR4/4)	
118-50	80	縄文土器	屈曲形浅鉢		A14	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
118-51	80	縄文土器	屈曲形浅鉢		A13	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) にぶい黄橙色 (10YR7/4) (内) にぶい黄橙色 (10YR7/4)	
118-52	80	縄文土器	ボール形浅鉢		A14	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/8) (内) 橙色 (5YR6/8)	
118-53	80	縄文土器	ボール形浅鉢		A13	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (5YR6/6) (内) 浅黄橙色 (10YR8/4)	
118-54	80	縄文土器	ボール形浅鉢		B14	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
118-55	80	縄文土器	ボール形浅鉢		B12	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
118-56	80	縄文土器	ボール形浅鉢		G14	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 黄橙色 (7.5YR7/8)	
118-57	80	縄文土器	ボール形浅鉢		B14	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 褐色 (10YR4/4) (内) 褐色 (10YR4/4)	
118-58	80	縄文土器	ボール形浅鉢		B15	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
118-59	80	縄文土器	屈曲形鉢		B15	1層	14.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 赤褐色 (2.5YR4/8) (内) 赤褐色 (2.5YR4/8)	
118-60	80	縄文土器	注口土器		E11	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/6) (内) 橙色 (7.5YR6/6)	
118-61	80	縄文土器	底部		A12	1層	—	—	8.4	(外) ナデ (内) ナデ	5㎜程度の石英、長石を含む	(外) 黄橙色 (7.5YR7/8) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
118-62	80	土製品	不明土製品		F11	1層	—	—	—	(外) 沈線 (内) ナデ	3㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
118-63	80	土製品	有孔土製円盤		B13	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
118-64	80	土製品	有孔土製円盤		B15	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 橙色 (7.5YR6/8) (内) 橙色 (7.5YR6/8)	
119-65	80	弥生土器	壺		G13	1層	—	—	—	(外) 口縁部外面に刺突 (内) ナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 灰褐色 (10YR6/2) (内) 灰褐色 (10YR6/2)	DT5の可能性
119-66	80	弥生土器	甕	中期	A14	1層	—	—	—	(外) 刺突文、タテハケ (内) ヨコナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	
119-67	80	弥生土器	甕	中期	B14	1層	17.8	—	—	(外) ヨコナデ (内) ヨコナデ	1㎜程度の石英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (10YR7/6) (内) 明黄褐色 (10YR7/6)	

挿図番号	図版番号	種別	器種	時期・型式	グリッド・遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
119-68	80	弥生土器	甕	Ⅴ－２様式	B15	1層	17.0	－	－	(外)口縁部外面に６条の擬凹線 (内)ケズリ	１mm程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
119-69	80	弥生土器	甕	Ⅴ－２様式	B15	1層	17.0	－	－	(外)口縁部外面に４条の擬凹線、頸部に刺突文 (内)ケズリ	１mm程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
119-70	80	弥生土器	甕	Ⅴ－４様式	C15	1層	12.0	－	－	(外)ヨコナデ (内)ケズリ	１mm程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR8/8) (内)黄橙色 (10YR8/8)	
119-71	80	土師器	甕	古式土師器	B15	1層	17.0	－	－	(外)ヨコナデ (内)ヨコナデ	１mm程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (10YR8/6) (内)黄橙色 (10YR8/6)	
119-72	80	土師器	甕	古式土師器	A14	1層	25.0	－	－	(外)ヨコナデ (内)ヨコナデ	１mm程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR6/8) (内)橙色 (7.5YR6/8)	
119-73	80	土師器	甕	古式土師器	B14	1層	20.4	－	－	(外)口縁ヨコナデ、胴部ヨコハケ (内)ケズリ	１mm程度の石英、長石を含む	(外)明赤褐色 (2.5YR5/8) (内)明赤褐色 (2.5YR5/8)	
119-74	80	土師器	甕	古式土師器	B14	1層	20.4	－	－	(外)ヨコナデ (内)ヨコナデ	１mm程度の石英、長石を含む	(外)明赤褐色 (2.5YR5/8) (内)明赤褐色 (2.5YR5/8)	
119-75	80	土師器	鼓形器台	古式土師器	A13	1層	15.7	－	－	(外)ヨコナデ (内)ケズリ	１mm程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	77と同一固体の可能性
119-76	80	土師器	鼓形器台	古式土師器	A14	1層	13.6	－	－	(外)ヨコナデ (内)ケズリ	１mm程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	76と同一固体の可能性
119-77	80	土師器	高坏	古墳時代前期	A14	1層	－	－	－	(外)ヨコナデ (内)ヨコナデ	１mm程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (5YR7/8) (内)橙色 (5YR7/8)	
119-78	81	土師器	高坏	古式土師器	A14	1層	－	－	12.0	(外)タテハケ (内)ケズリ	１mm程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
119-79	81	土師器	甕	古墳時代後期～終末期	G12	1層	22.0	23.0	－	(外)タテハケ (内)ケズリ	３mm程度の石英、長石を含む	(外)黄橙色 (7.5YR7/8) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
119-80	81	土師器	甕	古墳時代後期～終末期	G12	1層	19.0	－	－	(外)タテハケ (内)ケズリ	３mm程度の石英、長石を含む	(外)明赤褐色 (2.5YR5/8) (内)黄橙色 (7.5YR7/8)	
119-81	81	土師器	甕	古墳時代後期～終末期	G12	1層	－	－	－	(外)ヨコナデ (内)ケズリ	２mm程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)明黄褐色 (10YR7/6)	
119-82	81	土師器	甕	古墳時代後期～終末期	B13	1層	19.0	－	－	(外)ヨコナデ、多方向のハケメ (内)ケズリ	３mm程度の石英、長石を含む	(外)明褐色 (7.5YR5/8) (内)明褐色 (7.5YR5/8)	
119-83	81	土師器	甕？	古墳時代後期～終末期	トレンチ１	1層	18.8	15.5	丸底	(外)ハケメ (内)ハケメ	２mm程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR6/8) (内)橙色 (7.5YR6/8)	
119-84	81	土師器	甑	古墳時代後期～終末期	A15	1層	30.2	－	－	(外)タテハケ (内)ナデ	１mm程度の石英、長石を含む	(外)明黄褐色 (10YR7/6) (内)橙色 (7.5YR7/6)	
119-85	81	土師器	甑	古墳時代後期～終末期	G12	1層	18.0	－	10.0	(外)タテハケ (内)ケズリ	２mm程度の石英、長石を含む	(外)橙色 (7.5YR6/8) (内)橙色 (7.5YR6/8)	
119-86	82	須恵器	坏蓋	大谷６期	G10	1層	13.0	3.7	－	(外)宝珠ツマミ、回転ヘラケズリ (内)回転ナデ	１mm程度の石英、長石を含む	(外)灰色 (7.5Y5/1) (内)灰色 (7.5Y5/1)	
119-87	82	須恵器	坏身	大谷６期	トレンチ１	1層	12.2	2.6	－	(外)宝珠欠損。回転ヘラケズリ (内)回転ナデ	１mm程度の石英、長石を含む	(外)灰色 (7.5Y5/1) (内)灰色 (7.5Y5/1)	
119-88	82	須恵器	壺	大谷６期？	G12	1層	－	－	6.6	(外)回転ヘラケズリ、回転ナデ (内)回転ナデ	１mm程度の石英、長石を含む	(外)灰色 (7.5Y5/1) (内)灰色 (7.5Y5/1)	
119-89	82	須恵器	高坏	大谷６期	F13	1層	16.2	9.5	9.2	(外)回転ナデ (内)回転ナデ	１mm程度の石英、長石を含む	(外)灰色 (7.5Y5/1) (内)灰色 (7.5Y5/1)	

第４表　林原遺跡出土石器観察表

挿図番号	図版番号	整理番号	グリッド・遺構	層位	器種	計測値(cm・g)				石材	備考
						長さ	幅	厚さ	重量		
		717	焼土01	1a層	石皿	23.0	19.7	9.1	5500.0	花崗岩	片面に磨痕
13-1	35		DT1-1	1a層	石鏃	(1.8)	1.9	0.4	0.7	黒曜石	凹基式。側縁にかえし。先端部欠損
13-2	35		DT1-1	1a層	石鏃	1.6	1.3	0.3	0.2	サヌカイト	凹基式
13-3	35		DT1-1	1a層	石鏃	1.3	1.1	0.2	0.2	サヌカイト	平基式
13-4	35		DT1-1	1a層	石鏃	2.2	(0.7)	0.3	0.5	サヌカイト	凹基式。基部欠損
13-5	35		DT1-1	1a層	石錐	2.9	1.0	0.5	2.1	黒曜石	３面を急斜度押圧剥離によって錐部を作出
13-6	35		DT1-1	1a層	石錐	2.4	1.2	0.3	1.0	サヌカイト	折断面より急斜度な押圧剥離
13-7	35		DT1-1	1a層	楔形石器	2.8	2.3	2.0	6.2	黒曜石	上端の平坦面より加撃。下端につぶれ。両極剥離後、実測図右面右側縁に二次加工
13-8	35		DT1-1	1a層	楔形石器	2.4	2.0	1.0	5.7	サヌカイト	上端の平坦面より加撃。下端につぶれ
13-9	35		DT1-1	1a層	ＵＦ	2.1	2.8	0.6	3.3	水晶	両側縁を折断調整。刃部に顕著な使用痕
13-10	35		DT1-1	1a層	ノッチ	3.0	1.8	0.7	3.3	黒曜石	左側縁に急斜度な押圧剥離で抉りを作出。右側縁には緩斜度な剥離で刃部調整
13-11	35		DT1-1	1a層	サイドスクレイパー	10.7	14.4	3.6	551.8	凝灰岩	大型の剥片を素材とし、端部に押圧剥離で刃部調整
13-12	35		DT1-1	1a層	磨製石斧	7.9	4.7	1.4	82.3	塩基性片岩	刃部を丁寧に研磨。敲打痕が残る
13-13	35		DT1-1	1a層	打製石斧	10.0	4.7	1.8	99.2	サヌカイト	刃部に磨耗痕。側縁に敲打痕
13-14	35		DT1-1	1a層	打製石斧	13.9	6.4	1.3	143.3	流紋岩	剥片を素材として折断調整後、側縁を垂直打撃
13-15	35		DT1-1	1a層	打製石斧	14.0	8.2	2.2	353.4	流紋岩	扁平な礫を素材として側縁を垂直打撃
13-16	35		DT1-1	1a層	石錘	5.8	4.4	1.7	69.5	流紋岩	打欠石錘
13-17	35		DT1-1	1a層	石錘	7.6	3.4	3.5	79.3	流紋岩	打欠石錘
13-18	35		DT1-1	1a層	磨石・叩石類	12.0	9.5	4.5	715.2	花崗岩	両面に磨痕
		14	DT1-1	1a層	石鏃	2.1	1.2	0.4	0.9	サヌカイト	平基式
		13	DT1-1	1a層	石鏃	1.6	1.2	0.3	0.5	サヌカイト	平基式
		17	DT1-1	1a層	石鏃	1.5	1.3	0.3	0.3	サヌカイト	凹基式
		12	DT1-1	1a層	石鏃	(1.3)	1.2	0.2	0.3	サヌカイト	平基式。先端部欠損
		20	DT1-1	1a層	石鏃	(1.8)	1.5	0.4	0.8	サヌカイト	平基式。先端部欠損
		15	DT1-1	1a層	石鏃	2.7	(1.1)	0.4	0.6	サヌカイト	凹基式。基部の一部を欠損
		5	DT1-1	1a層	石錐	3.2	1.7	0.8	3.9	黒曜石	折断調整後、緩斜度押圧剥離で錐部を作出
		2	DT1-1	1a層	石錐	2.1	2.1	0.5	2.6	サヌカイト	楔形石器の削片を素材とし、緩斜度押圧剥離で調整
		11	DT1-1	1a層	楔形石器	2.2	1.9	0.9	3.1	黒曜石	上下両端につぶれ
		10	DT1-1	1a層	楔形石器	2.8	1.3	0.7	3.5	安山岩	上下両端につぶれ
		1	DT1-1	1a層	サイドスクレイパー	2.8	4.7	1.1	11.9	安山岩	押圧剥離？によって刃部調整
		4	DT1-1	1a層	ノッチ	2.7	2.2	0.5	3.0	安山岩	急斜度な押圧剥離で抉りを作出
		2	DT1-1	1a層	ＲＦ	1.4	2.0	0.4	1.0	黒曜石	石錐の未製品？
		3	DT1-1	1a層	ＵＦ	2.1	1.6	0.3	0.8	黒曜石	剥片端部に微細剥離痕
		239	DT1-1	1a層	打製石斧	(6.5)	5.0	1.3	39.7	流紋岩	基部のみ残存。折断整形が行なわれている
		238	DT1-1	1a層	打製石斧	8.0	6.4	1.8	139.7	流紋岩	扁平な円礫を分割して素材としている。側縁は垂直打撃で、刃部はほぼ未調整
		236	DT1-1	1a層	磨製石斧	(7.1)	3.7	2.6	102.5	塩基性片岩	刃部欠損。ほぼ全面を研磨している
		237	DT1-1	1a層	磨製石斧	(6.4)	4.6	1.8	87.9	安山岩	基部と刃部を欠損。側縁に敲打痕が残る
		235	DT1-1	1a層	磨石・叩石類	12.6	(7.8)	2.9	465.2	花崗岩	半分欠損。片面に磨痕
20-1	37		C11	1a層	石鏃	1.8	1.6	0.5	1.1	黒曜石	平基式
20-2	37		E11	1a層	石鏃	2.0	1.8	0.2	1.1	サヌカイト	平基式。素材面を多く残す
20-3	37		E10	1a層	楔形石器	2.0	1.3	0.8	2.1	黒曜石	平坦剥離面より加撃。下端部はつぶれ
20-4	37		E11	1a層	抉入石器	3.8	2.0	0.4	3.3	サヌカイト	両側縁に急斜度な押圧剥離で抉りを作出。刃部には使用によるものと思われる微細剥離痕
20-5	38		F11	1a層	磨製石斧	14.6	5.7	2.2	248.1	玄武岩	扁平な礫をそのまま使用。側縁に敲打痕
20-6	38		F10	1a層	磨製石斧	(7.2)	4.3	2.8	137.7	玄武岩	基部欠損。全面を研磨
20-7	38		I 7	1a層	磨製石斧	(7.2)	5.5	2.5	166.1	泥質片岩	刃部欠損。全面を研磨
20-8	38		F12	1a層	石錘	8.1	5.3	2.6	180.6	閃緑岩	打欠石錘
20-9	38		E11	1a層	石錘	6.2	5.1	2.0	100.7	閃緑岩	打欠石錘
20-10	38		E12	1a層	石錘	6.6	3.4	1.7	56.6	流紋岩	切目石錘
20-11	38		G 7	1a層	凹石	11.1	7.4	3.8	345.5	凝灰岩	両面に３個１単位の凹み。側縁にも凹みが見られる
		48	E10	1a層	石鏃	2.0	1.5	0.3	1.0	サヌカイト	未製品？
		49	F 9	1a層	石鏃	1.7	1.4	0.3	0.5	サヌカイト	平基式
		83	トレンチ5	1a層	石鏃	2.0	1.4	0.4	1.2	サヌカイト	平基式
		43	G10	1a層	石鏃	1.4	1.1	0.2	0.7	サヌカイト	平基式
		44	E11	1a層	石鏃	2.7	1.7	0.4	1.0	サヌカイト	凹基式

挿図番号	図版番号	整理番号	グリッド・遺構	層位	器種	計測値(cm・g)				石材	備考
						長さ	幅	厚さ	重量		
		47	E11	1a層	石鏃	1.8	0.9	0.3	0.4	サヌカイト	凹基式
		8	F10	1a層	楔形石器	2.9	2.0	0.5	3.1	サヌカイト	上下両側縁につぶれ
		29	F11	1a層	楔形石器	1.6	3.4	0.4	2.4	サヌカイト	上下両側縁につぶれ
		30	F11	1a層	楔形石器	1.9	1.5	0.4	1.2	サヌカイト	上下両側縁につぶれ
		8	C11	1a層	RF	2.3	1.8	0.5	2.4	サヌカイト	楔形石器の削片の可能性
		9	E11	1a層	RF	1.8	1.6	0.5	1.5	サヌカイト	楔形石器の削片の可能性
		7	E11	1a層	RF	1.1	1.8	0.3	0.6	サヌカイト	石鏃の未製品？
		9	F11	1a層	UF	1.8	1.5	0.3	0.5	黒曜石	剥片の右側縁に微細剥離痕
		8	F9	1a層	UF	5.2	2.6	0.6	14.6	玉髄・メノウ	縦長剥片の左側縁に微細剥離痕
		7	F12	1a層	石核	2.2	2.3	1.1	7.8	黒曜石	頻繁に打面を転移しながら不定形な剥片を剥離。両極技術が使われた可能性。残核形態はサイコロ状
		9	D10	1a層	石核	2.2	1.1	0.7	2.1	黒曜石	剥離面打面より打点を回しながら小型縦長剥片を剥離。残核形状は柱状。両極技術の可能性
		10	H8	1a層	石核	(3.0)	4.0	0.8	14.1	サヌカイト	大半が欠損。抉入石器の可能性
		424	G10	1a層	石核素材	2.9	3.1	1.7	32.3	サヌカイト	分割礫
		47	E10	1a層	打製石斧	(6.1)	5.9	1.8	98.7	流紋岩	基部を欠損。剥片を素材とし、垂直打撃で整形。刃部に磨耗痕
		48	H7	1a層	打製石斧	(7.4)	6.7	0.7	72.0	流紋岩	基部を欠損。剥片を素材とし、垂直打撃で整形
		44	G11	1a層	磨石・叩石類	10.0	7.9	2.4	351.8	閃緑岩	片面に磨痕
		45	E10	1a層	磨石・叩石類	13.4	11.7	4.8	1099.1	花崗岩	片面に磨痕？
		46	不明	1a層	凹石	9.6	8.2	3.9	506.6	閃緑岩	両面に２個単位の凹み
		43	F10	1a層	石皿	24.8	18.7	7.0	5000.0	花崗岩	両面に磨痕
		719	F10	1a層	砥石	6.3	3.8	2.3	66.3	頁岩	全面に磨痕
35-1	48		DT1-2	1b層	石鏃	1.5	1.4	0.4	0.7	サヌカイト	凹基式。先端部リダクション
35-2	48		DT1-2	1b層	石鏃	2.0	1.4	0.6	1.3	黒曜石	未製品？折断面が見られる
35-3	48		DT1-2	1b層	石鏃	2.7	(1.5)	0.4	0.9	黒曜石	凹基式の鋸歯縁鏃。基部欠損
35-4	48		DT1-2	1b層	石鏃	2.5	(1.0)	0.3	0.6	サヌカイト	凹基式の鋸歯縁鏃。基部欠損
35-5	48		DT1-2	1b層	石鏃	1.9	(1.0)	0.2	0.3	サヌカイト	凹基式の鋸歯縁鏃。基部欠損
35-6	48		DT1-2	1b層	石錐	3.3	2.0	0.4	1.9	サヌカイト	細かな押圧剥離で整形。基部を折断
35-7	48		DT1-2	1b層	楔形石器	1.8	2.0	0.4	1.3	黒曜石	上下両端につぶれ
35-8	48		DT1-2	1b層	楔形石器	2.3	2.1	0.8	3.7	黒曜石	上下両端につぶれ
35-9	48		DT1-2	1b層	楔形石器	2.9	2.1	1.2	5.7	サヌカイト	上端の平坦面より加撃。下端部はつぶれ
35-10	48		DT1-2	1b層	楔形石器	2.1	4.0	0.4	5.3	サヌカイト	上下両端につぶれ
35-11	48		DT1-2	1b層	抉入石器	2.1	(2.7)	0.8	8.3	サヌカイト	半分欠損。刃部を含め全面が磨耗
35-12	48		DT1-2	1b層	ノッチ	1.8	1.3	0.3	0.5	黒曜石	右側縁に急斜度な押圧剥離で抉りを作出。端部には微細剥離痕
35-13	48		DT1-2	1b層	UF	1.9	1.7	0.5	1.2	黒曜石	両側縁に微細剥離痕。打面部は折断
35-14	48		DT1-2	1b層	釣針型石器	3.6	3.8	0.6	4.8	サヌカイト	急斜度な押圧剥離で調整。基部は双股に整形
35-15	49		DT1-2	1b層	磨製石斧	(7.1)	5.0	2.6	159.4	塩基性片岩	基部欠損。全面研磨
35-16	49		DT1-2	1b層	磨製石斧	(11.8)	4.4	3.4	264.3	塩基性片岩	刃部欠損。研磨は不鮮明。敲打痕が残る
35-17	49		DT1-2	1b層	石錘	6.2	3.6	1.9	69.5	水晶	打欠石錘
35-18	49		DT1-2	1b層	石錘	6.3	5.0	1.3	72.44	閃緑岩	打欠石錘
35-19	49		DT1-2	1b層	磨石・叩石類	13.6	11.4	7.8	1805.2	閃緑岩	片面に磨痕
35-20	49		DT1-2	1b層	石皿	30.2	23.8	7.7	8.3	凝灰岩	側縁を剥離調整。片面に凹み
		3	DT1-2	1b層	石核	1.5	1.4	0.5	14.6	黒曜石	打面を頻繁に転移し小型剥片を剥離。残核形状はサイコロ状
		26	DT1-2	1b層	石鏃	(1.4)	(0.6)	0.3	0.2	黒曜石	凹基式。基部のみ
		34	DT1-2	1b層	石鏃	1.7	1.3	0.3	0.5	黒曜石	平基式。剥片の周辺のみを急斜度押圧剥離で整形
		22	DT1-2	1b層	石鏃	2.3	1.6	0.8	1.6	黒曜石	未製品。側縁を折断
		30	DT1-2	1b層	石鏃	(1.9)	(1.0)	0.4	0.5	サヌカイト	凹基式。先端部、基部欠損
		23	DT1-2	1b層	石鏃	(1.7)	(1.0)	0.3	0.4	サヌカイト	凹基式。先端部、基部欠損
		27	DT1-2	1b層	石鏃	2.0	1.7	0.3	0.6	サヌカイト	平基式
		21	DT1-2	1b層	石鏃	1.7	1.7	0.3	0.8	サヌカイト	未製品。側縁を折断
		31	DT1-2	1b層	石鏃	2.2	1.5	0.3	0.9	サヌカイト	未製品。楔形石器の削片を素材としている
		24	DT1-2	1b層	石鏃	1.8	1.5	0.4	1.7	サヌカイト	未製品。側縁を折断
		8	DT1-2	1b層	石錐	1.3	0.8	0.2	0.2	黒曜石	鋸歯状の押圧剥離で調整。端部折断
		7	DT1-2	1b層	石錐	(1.5)	1	0.2	0.5	黒曜石	錐部欠損。全面を緩斜度押圧剥離で全面を加工
		18	DT1-2	1b層	楔形石器	1.7	1.7	0.6	2.0	黒曜石	上端の平坦面より加撃。下端部につぶれ。左側縁に押圧剥離による調整
		12	DT1-2	1b層	楔形石器	1.8	1.1	0.6	1.5	サヌカイト	上下両端につぶれ
		13	DT1-2	1b層	楔形石器	1.4	1.3	0.5	0.8	サヌカイト	上下両端につぶれ

挿図番号	図版番号	整理番号	グリッド・遺構	層位	器種	計測値(cm・g)				石材	備考
						長さ	幅	厚さ	重量		
		14	DT1-2	1b層	楔形石器	1.4	2.2	0.4	1.3	サヌカイト	上下両端につぶれ
		17	DT1-2	1b層	楔形石器	1.7	1.7	0.5	1.6	サヌカイト	上下両端につぶれ
		16	DT1-2	1b層	楔形石器	1.6	2.2	0.3	1.7	サヌカイト	上下両端につぶれ
		20	DT1-2	1b層	楔形石器	2.6	2.7	1.0	7.1	サヌカイト	上下両端につぶれ
		15	DT1-2	1b層	楔形石器	3.1	2.3	0.8	6.0	サヌカイト	上下両端につぶれ
		4	DT1-2	1b層	サイドスクレイパー	2.8	1.4	0.9	3.3	水晶	ブランティング状の急斜度調整
		10	DT1-2	1b層	ＲＦ	2.5	1.6	0.2	1.2	サヌカイト	側縁に押圧剥離。刃器の可能性
		3	DT1-2	1b層	ＲＦ	1.0	1.7	0.2	0.5	サヌカイト	両極技法？によって整形。楔形石器の可能性
		4	DT1-2	1b層	ＲＦ	3.4	3.7	0.3	10.3	サヌカイト	剥片の３辺を切断し、残りの１辺に押圧剥離。刃器の可能性
		5	DT1-2	1b層	ＲＦ	1.4	3.4	0.6	2.7	安山岩	剥片の端部にわずかに押圧剥離が見られる
		5	DT1-2	1b層	ＵＦ	3.3	1.7	0.8	6.1	黒曜石	楔形石器の削片端部に微細剥離痕
		10	DT1-2	1b層	ＵＦ	1.8	1.3	0.5	0.9	黒曜石	楔形石器の削片左側縁に微細剥離痕
		345	DT1-2	1b層	磨石・叩石類	10.8	8.1	7.1	847.8	流紋岩	全面に磨痕
		346	DT1-2	1b層	石皿	26.9	14.5	4.0	1462.7	凝灰岩	側縁を交互剥離で調整。片面に磨痕
		347	DT1-2	1b層	石皿	27.2	25.8	6.7	8500.0	凝灰岩？	片面に磨痕
38-1	49		石錘溜まり1	1b層	石錘	6.2	5.3	1.7	91.7	流紋岩	打欠石錘
38-2	49		石錘溜まり1	1b層	石錘	7.7	4.5	2.1	116.5	閃緑岩	打欠石錘
38-3	49		石錘溜まり1	1b層	石錘	3.8	3.4	1.8	36.3	閃緑岩	打欠石錘
40-1	51		DT2	1b層	石錘	9.2	6.1	1.9	180.3	閃緑岩	打欠石錘
40-2	51		DT2	1b層	石錘	8.2	6.7	2.2	190.2	閃緑岩	打欠石錘
40-3	51		DT2	1b層	石錘	6.8	4.3	1.6	80.6	閃緑岩	打欠石錘
42-1	51		C11	1b層	石錘	8.5	4.5	1.7	102.3	頁岩	打欠石錘
42-2	51		C11	1b層	石錘	6.6	5.9	2.1	106.3	流紋岩	打欠石錘
42-3	51		E10	1b層	石錘	5.2	4.4	1.2	44.7	流紋岩	打欠石錘
		12	C11	1b層	石錐	3.9	1.2	0.8	3.5	黒曜石	急斜度押圧剥離で錐部を作出
		32	C11	1b層	楔形石器	3.7	1.9	1.1	6.1	黒曜石	上下両端につぶれ
		14	C11	1b層	サイドスクレイパー	1.9	2.5	0.8	3.2	黒曜石	左側縁に緩斜度な押圧剥離で刃部を調整
		715	SK13	1c層	磨石・叩石類	14.2	9.0	6.6	1031.7	閃緑岩	片面に磨痕？
		716	SK13	1c層	磨石・叩石類	13.4	10.7	7.3	1425.0	凝灰岩	片面に磨痕。被熱の痕跡
		49	E11	1b層	石皿	18.1	12.5	6.5	2500.0	花崗岩	片面に凹み
53-1	52		DT1-3	1c層	石鏃	1.7	(1.3)	0.3	0.4	黒曜石	凹基式。基部欠損
53-2	52		DT1-3	1c層	抉入石器	2.2	4.7	0.4	6.5	サヌカイト	両側縁に押圧剥離によって抉りを作出。刃部は細かな押圧剥離で調整
53-3	52		DT1-3	1c層	抉入石器	5.5	7.4	1.0	42.0	サヌカイト	両側縁に細かな押圧剥離で抉りを作出。刃部は細かな押圧剥離で調整
55-1	53		D10	1c層	磨製石斧	(8.6)	4.5	2.4	138.2	玄武岩	刃部欠損。全面研磨
55-2	53		C12	1c層	石錘	6.2	4.8	1.4	68.5	凝灰岩	打欠石錘
55-3	53		C11	1c層	石錘	5.6	4.2	1.6	55.8	凝灰岩	打欠石錘
55-4	53		E10	1c層	石錘	4.6	4.2	1.6	52.6	凝灰岩	打欠石錘
		91	D11	1c層	石皿	23.3	28.0	8.3	5500.0	花崗岩	片面に凹み
		15	P245	1層	石核	3.2	2.8	2.3	18.7	黒曜石	直接打撃で打面を転移しながら剥離。残核形状はサイコロ状
57-14	54		SK14	1層	石錘	7.5	5.8	2.6	184.6	閃緑岩	打欠石錘
57-15	54		SK14	1層	石錘	5.2	4.1	1.4	52.7	凝灰岩	打欠石錘
57-16	54		SK14	1層	石錘	4.8	4.7	1.2	36.4	凝灰岩	打欠石錘
60-1	55		SI01	1層	石鏃	1.8	1.2	0.3	0.6	サヌカイト	凹基式
60-2	55		SI01	1層	石鏃	1.9	1.2	0.4	0.7	黒曜石	凹基式
60-3	55		SI01	1層	石錐	0.9	1.2	0.3	0.4	サヌカイト	急斜度押圧剥離で錐部を作出
60-4	55		SI01	1層	抉入石器	3.4	3.7	0.6	9.8	サヌカイト	両側縁に押圧剥離によって抉りを作出。刃部は細かな押圧剥離で調整。磨耗痕が見られる
60-5	55		SI01	1層	楔形石器	1.9	2.0	0.9	2.1	黒曜石	上下左右につぶれ。上端の平坦面より加撃した後、打面転移して左側縁より加撃
60-6	55		SI01	1層	石錘	8.1	5.6	2.7	199.8	閃緑岩	打欠石錘
60-7	55		SI01	1層	石錘	5.0	4.8	1.3	46.5	流紋岩	打欠石錘
60-8	55		SI01	1層	石錘	5.8	4.6	1.8	69.9	流紋岩	打欠石錘
60-9	55		SI01	1層	石錘	9.0	7.4	2.2	218.1	流紋岩	打欠石錘
		75	SI01	1層	石鏃	2.3	1.4	0.4	1.0	サヌカイト	平基式
		79	SI01	1層	石鏃	1.1	1.4	0.2	0.3	サヌカイト	凹基式
		76	SI01	1層	石鏃	1.5	(0.6)	0.2	0.1	サヌカイト	凹基式の鋸歯縁鏃。側縁欠損
		22	SI01	1層	ＲＦ	1.5	1.3	0.5	0.8	黒曜石	側縁に数枚の押圧剥離

挿図番号	図版番号	整理番号	グリッド・遺構	層位	器種	計測値(cm・g)				石材	備考
						長さ	幅	厚さ	重量		
		18	SI01	1層	UF	1.5	2.8	0.5	2.3	黒曜石	側縁に微細剥離痕？
		20	SI01	1層	UF	1.7	2.6	1.0	2.5	黒曜石	剥片の右側縁に微細剥離痕
		19	SI01	1層	UF	4.4	4.6	0.4	6.4	サヌカイト	側縁に微細剥離痕
		672	SI01	1層	磨製石斧	(5.7)	3.3	3.2	60.4	塩基性片岩	基部のみ残存。研磨
		493	SI01	1層	磨石・叩石類	12.1	9.7	5.7	977.6	閃緑岩	片面に磨痕
61-17	55		SI01-SK1	1層	釣針型石器	1.5	2.4	0.6	1.2	黒曜石	折断後、急斜度な押圧剥離で整形。尖頭部に樋状剥離
61-18	55		SI01-SK1	1層	石錘	8.9	6.8	1.4	156.9	流紋岩	打欠石錘
		62	SI01-SK1	1層	楔形石器	1.8	2.8	1.0	5.1	黒曜石	上下両端につぶれ
		61	SI01-SK1	1層	楔形石器	2.6	1.4	0.7	2.6	水晶	上下両端につぶれ
		10	SI01-SK1	1層	抉入石器	4.3	(3.3)	0.6	15.1	サヌカイト	半身欠損。欠損時の折断面にリダクションと思われる押圧剥離
		673	SI01-SK2	1層	磨製石斧	(6.7)	4.1	2.9	117.3	塩基性片岩	基部のみ残存。研磨
63-12	57		配石遺構04	1層	石錐	4.2	2.8	0.5	5.3	サヌカイト	両側縁と端部に急斜度押圧剥離で抉りを作出。両側縁の抉りには顕著な研磨痕。錐部に摩滅
63-13	57		配石遺構04	1層	石錘	7.5	4.8	1.9	105.2	凝灰岩	打欠石錘
		710	焼土５	1層	磨石・叩石類	11.4	10.5	4.2	695.3	花崗岩	両面に磨痕。被熱の痕跡
		84	SK15	1層	石鏃	1.0	1.1	0.2	0.2	黒曜石	凹基式。欠損後リダクション
65-2	57		SK16	1層	石錐	5.3	1.6	1.1	10.1	黒曜石	剥片の左側縁に緩斜度押圧剥離を３面に施して立体的な錐部を作出
		678	SK16	1層	磨石・叩石類	12.1	11.8	6.0	1005.8	花崗岩	片面に磨痕
68-1	57		SK18	1層	石核	5.5	7.6	2.6	123.7	黒曜石	直接打撃による交互剥離石核。残核形状はチョッピングトゥール状。２と接合
68-2	57		SK18	1層	石核	9.3	7.8	3.0	175.6	黒曜石	直接打撃による求心剥離石核。残核形状は盤状。１と接合
		64	SK12	1層	楔形石器	2.1	1.6	0.7	1.7	黒曜石	上下両端につぶれ
69-1	58		配石遺構05	1層	釣針型石器	2.0	2.7	0.6	2.0	黒曜石	折断後、急斜度な押圧剥離で整形。研磨痕が見られる
70-6	58		配石遺構06	1層	石錐	2.2	1.5	0.5	1.1	黒曜石	緩斜度押圧剥離と急斜度押圧剥離で錐部を作出。基部を折断
		19	配石遺構06	1層	石錐	2.2	1.4	0.5	1.4	玉髄・メノウ	急斜度押圧剥離で錐部を作出。基部折断
75-1	60		DT３	1層	石鏃	1.5	1.0	0.2	0.2	サヌカイト	凹基式。基部欠損？
75-2	60		DT３	1層	石鏃	2.4	1.4	0.6	1.8	黒曜石	突基式？ブランティング調整
75-3	60		DT３	1層	石鏃	2.6	1.5	0.8	2.6	サヌカイト	未製品
75-4	60		DT３	1層	石錐	1.8	1.4	0.4	0.9	サヌカイト	急斜度押圧剥離によって錐部を作出
75-5	60		DT３	1層	楔形石器	2.7	1.6	0.8	3.0	黒曜石	上下両端につぶれ
75-6	60		DT３	1層	楔形石器	3.9	2.3	1.9	18.9	黒曜石	上端につぶれ。下端は欠損。７と接合
75-7	60		DT３	1層	剥片	2.5	0.9	0.2	0.5	黒曜石	両極技法によって剥離。線状打面。６と接合
75-8	60		DT３	1層	サイドスクレイパー	4.0	0.7	0.4	1.3	サヌカイト	押圧剥離による交互剥離で刃部を調整。側縁折断
75-9	60		DT３	1層	石錘	9.6	5.9	2.0	144.8	流紋岩	打欠石錘
75-10	60		DT３	1層	石錘	5.7	4.5	1.6	58.5	流紋岩	打欠石錘
75-11	60		DT３	1層	石錘	7.9	6.1	1.7	127.6	閃緑岩	打欠石錘
		1	DT３	1層	石鏃	3.3	2.2	0.3	2.2	サヌカイト	未製品
		5	DT３	1層	石鏃	1.8	1.3	0.4	0.7	サヌカイト	凹基式
		2	DT３	1層	楔形石器	2.5	1.4	0.6	1.6	黒曜石	上下両端につぶれ
		40	DT３	1層	楔形石器	2.4	1.6	1.2	4.0	黒曜石	上下両端につぶれ
		2	DT３	1層	サイドスクレイパー	3.1	2.4	0.4	4.2	サヌカイト	３辺を折断。顕著な磨耗
		498	DT３	1層	不明石製品	6.5	4.2	1.6	22.3	頁岩	両端に抉りを持つ。石錘の可能性
80-1	61		DT４	1層	楔形石器	2.8	1.8	0.6	3.4	サヌカイト	上端の平坦面より加撃。下端は欠損
80-2	61		DT４	1層	磨製石斧	(7.4)	4.4	2.1	135.8	塩基性片岩	基部欠損。全面研磨
80-3	61		DT４	1層	石錘	8.0	5.7	2.4	139.9	凝灰岩	打欠石錘
80-4	61		DT４	1層	石錘	7.3	5.9	2.0	125.3	流紋岩	打欠石錘
		1	DT４	1層	石核	2.2	1.7	0.8	2.1	黒曜石	直接打撃で剥離。残核形状はサイコロ状。楔形石器の可能性
		6	DT４	1層	石鏃	(1.0)	1.8	0.3	0.4	サヌカイト	平基式。先端部欠損
83-1	61		石錘溜まり2	1層	石錘	8.3	6.3	1.2	108.7	凝灰岩	打欠石錘
83-2	61		石錘溜まり2	1層	石錘	6.4	3.5	1.2	40.7	流紋岩	打欠石錘
87-1	64		DT５	1層	石鏃	1.8	1.3	0.3	0.6	黒曜石	凹基式
87-2	64		DT５	1層	石錐	3.9	0.9	0.8	2.5	黒曜石	楔形石器の削片を素材として急斜度押圧剥離で調整
87-3	64		DT５	1層	石錐	3.7	1.9	0.4	2.5	サヌカイト	緩斜度押圧剥離で錐部を作出。基部折断
87-4	64		DT５	1層	楔形石器	1.7	1.5	0.8	2.2	黒曜石	上下両端につぶれ
87-5	64		DT５	1層	楔形石器	1.8	1.9	0.5	1.4	サヌカイト	上下両端につぶれ
87-6	64		DT５	1層	UF	2.7	1.5	0.7	3.4	黒曜石	縦長剥片の右側縁に微細剥離痕
87-7	65		DT５	1層	サイドスクレイパー	7.8	9.4	2.3	207.9	安山岩	押圧剥離？によって刃部を調整

挿図番号	図版番号	整理番号	グリッド・遺構	層位	器種	計測値(cm・g)				石材	備考
						長さ	幅	厚さ	重量		
87-8	65		DT5	1層	石核	9.9	11.0	3.4	487.0	凝灰岩	直接打撃による交互剥離石核。残核形状はチョッピングトゥール状
87-9	65		DT5	1層	磨製石斧	9.6	4.6	2.5	167.0	玄武岩	刃部の一部を欠損。全面研磨
87-10	65		DT5	1層	石錘	8.4	6.5	2.0	174.6	凝灰岩	打欠石錘
87-11	65		DT5	1層	石錘	6.8	5.9	1.8	102.8	頁岩	打欠石錘
87-12	65		DT5	1層	石錘	10.3	4.4	1.8	127.5	流紋岩	打欠石錘
87-13	65		DT5	1層	磨石・叩石類	7.0	3.5	2.8	88.7	閃緑岩	敲打痕が残る
87-14	65		DT5	1層	磨石・叩石類	10.4	9.3	4.3	632.0	流紋岩	両面に磨痕
87-15	65		DT5	1層	磨石・叩石類	9.8	8.8	4.7	646.9	閃緑岩	両面に磨痕
87-16	65		DT5	1層	石皿	23.0	27.8	7.2	670.0	凝灰岩	片面に磨痕
		2	DT5	1層	石核	2.8	4.2	0.6	7.5	サヌカイト	直接打撃によって求心的に剥離。残核形状は盤状
		9	DT5	1層	石鏃	1.9	2.0	0.4	1.6	サヌカイト	未製品？楔形石器の可能性
		7	DT5	1層	石鏃	(1.2)	1.3	0.2	0.4	サヌカイト	平基式？先端部欠損
		8	DT5	1層	石鏃	2.0	(1.4)	0.3	1.3	サヌカイト	未製品。折断面が残る
		5	DT5	1層	楔形石器	2.5	1.3	0.4	1.5	黒曜石	上端の平坦面より加撃。下端部つぶれ
		34	DT5	1層	楔形石器	1.8	1.8	1.0	2.5	黒曜石	つぶれが顕著ではない。石核の可能性
		2	DT5	1層	UF	1.1	0.7	0.2	0.1	黒曜石	小型剥片の右側縁に微細剥離痕
		558	DT5	1層	磨石・叩石類	10.9	8.4	5.3	714.5	花崗岩	片面に磨痕
		559	DT5	1層	磨石・叩石類	11.4	8.2	5.6	728.1	花崗岩	両面に磨痕。被熱の痕跡
		557	DT5	1層	磨石・叩石類	8.0	6.1	3.3	260.4	流紋岩	側面に敲打痕？
		560	DT5	1層	石皿	24.4	16.0	5.3	4000.0	閃緑岩	半分欠損。片面に磨痕
		561	DT5	1層	石皿	13.1	11.3	4.2	997.4	閃緑岩	大半が欠損。両面に磨痕
91-1	69		DT6	1層	石核	1.6	2.7	1.1	5.6	黒曜石	打面転移しながら直接打撃によって剥離。残核形状はサイコロ状
91-2	69		DT6	1層	石鏃	1.6	1.2	0.3	0.4	サヌカイト	凹基式
91-3	69		DT6	1層	石鏃	2.0	1.2	0.3	0.8	黒曜石	突基式？
91-4	69		DT6	1層	釣針型石器	2.0	2.8	0.9	3.8	黒曜石	折断後、急斜度な押圧剥離で調整
91-5	69		DT6	1層	楔形石器	1.9	1.3	0.4	1.0	黒曜石	上下両端につぶれ
91-6	69		DT6	1層	抉入石器	3.2	4.7	0.6	12.3	サヌカイト	両側縁に急斜度な押圧剥離で抉りを作出。刃部はゆるく湾曲しておりリダクションの可能性
91-7	69		DT6	1層	抉入石器	2.1	3.2	0.4	2.8	サヌカイト	両側縁に急斜度な押圧剥離で抉りを作出。刃部には使用によるものと思われる微細剥離痕
91-8	69		DT6	1層	磨製石斧	(12.0)	4.9	2.9	263.6	玄武岩	刃部欠損。全面に敲打痕が残る
91-9	69		DT6	1層	磨製石斧	(11.0)	3.8	2.4	184.6	塩基性片岩	刃部欠損。敲打痕が残る
91-10	69		DT6	1層	石錘	8.0	5.7	1.7	128.5	流紋岩	打欠石錘
		4	DT6	1層	石核	2.2	2.0	0.8	2.8	水晶	楔形石器の削片の可能性。残核形状は柱状
		54	DT6	1層	石鏃	(1.2)	(0.8)	0.2	0.2	黒曜石	先端部のみ
		36	DT6	1層	石鏃	2.5	1.8	0.3	1.2	サヌカイト	平基式
		573	DT6	1層	打製石斧	11.3	7.5	3.7	427.1	安山岩	未製品。側縁を折断整形
		572	DT6	1層	石皿	24.3	18.6	7.9	4600.0	閃緑岩	側縁を剥離調整。片面に磨痕
94-1	69		石錘溜まり3	1層	石錘	6.1	4.1	1.7	74.0	凝灰岩	打欠石錘
94-2	69		石錘溜まり3	1層	石錘	6.5	4.0	2.2	97.7	凝灰岩	打欠石錘
94-3	69		石錘溜まり3	1層	石錘	6.2	3.9	1.4	57.7	流紋岩	打欠石錘
		82	焼土10	1層	石鏃	(1.7)	1.8	0.5	1.3	黒曜石	平基式。先端部欠損
		63	SK21	1層	楔形石器	2.2	1.6	0.7	2.1	黒曜石	上端の平坦面より加撃。下端につぶれ
96-8	69		配石遺構09	1層	石錐	2.5	1.3	0.3	1.2	サヌカイト	急斜度押圧剥離によって錐部を作出。基部は折断
100-1	74		DT7	1層	石鏃	1.9	1.2	0.4	0.5	サヌカイト	平基式
100-2	74		DT7	1層	石鏃	1.8	1.3	0.3	0.3	サヌカイト	凹基式
100-3	74		DT7	1層	石鏃	2.2	1.3	0.3	0.6	黒曜石	凹基式
100-4	74		DT7	1層	石錐	1.9	1.0	0.3	0.6	黒曜石	緩斜度押圧剥離で錐部を作出。端部折断
100-5	74		DT7	1層	石錐	2.9	1.1	0.4	1.2	サヌカイト	急斜度押圧剥離で錐部を作出。側縁折断
100-6	74		DT7	1層	楔形石器	2.4	6.0	1.3	19.4	黒曜石	左右に顕著なつぶれ
100-7	74		DT7	1層	楔形石器	3.8	2.0	1.9	10.9	黒曜石	上下両端につぶれ
100-8	74		DT7	1層	楔形石器	3.0	1.9	0.8	4.4	黒曜石	上端の平坦面より加撃。下端につぶれ
100-9	74		DT7	1層	抉入石器	2.5	4.5	0.6	7.9	サヌカイト	両端に垂直な直接打撃で抉りを作出。刃部は急斜度な押圧剥離で調整。全面に研磨痕
100-10	74		DT7	1層	打製石斧	17.7	11.6	3.2	704.2	流紋岩	未製品。直接打撃による整形段階
100-11	74		DT7	1層	石錘	6.7	4.8	1.9	89.4	凝灰岩？	打欠石錘
100-12	74		DT7	1層	石錘	6.2	3.5	1.3	48.0	流紋岩	打欠石錘
100-13	74		DT7	1層	石錘	9.2	5.9	2.5	221.9	流紋岩	打欠石錘

挿図番号	図版番号	整理番号	グリッド・遺構	層位	器種	計測値(cm・g)				石材	備考
						長さ	幅	厚さ	重量		
100-14	74		DT7	1層	石錘	6.5	6.2	2.4	149.4	流紋岩	打欠石錘
100-15	74		DT7	1層	石皿	12.2	16.8	3.5	1222.8	凝灰岩	周縁を敲打や剥離によって調整
		6	DT7	1層	石核	2.4	3.1	0.6	5.7	サヌカイト	直接打撃による求心剥離石核。残核形状は盤状
		16	DT7	1層	石核	13.1	8.4	4.7	612.2	花崗岩	大型剥片の側縁より交互剥離。残核形状はチョッピングトゥール状
		57	DT7	1層	石鏃	1.0	(0.8)	0.3	0.2	黒曜石	基部欠損。凹基式
		39	DT7	1層	石鏃	1.8	1.4	0.2	0.5	サヌカイト	平基式
		41	DT7	1層	石鏃	2.0	1.4	0.4	1.2	サヌカイト	未製品
		42	DT7	1層	石鏃	(1.2)	1.3	0.2	0.4	サヌカイト	平基式
		37	DT7	1層	石鏃	1.7	1.5	0.4	0.5	サヌカイト	未製品。折断面が残る
		9	DT7	1層	石錐	4.1	1.3	0.9	4.5	黒曜石	剥片の端部を急斜度押圧剥離で調整し錐部を作出
		8	DT7	1層	石錐	(1.8)	1.2	0.3	0.5	黒曜石	先端部欠損。緩斜度押圧剥離で調整
		10	DT7	1層	石錐	(3.3)	2.4	0.3	2.3	サヌカイト	先端部欠損。基部は折断
		27	DT7	1層	楔形石器	2.0	2.0	0.4	1.7	黒曜石	上端の平坦面より加撃。下端はつぶれ
		48	DT7	1層	楔形石器	2.0	3.8	1.0	6.5	黒曜石	上下両端につぶれ。下端のつぶれは押圧剥離によって切られておりスクレイパーへのリダクションの可能性
		25	DT7	1層	楔形石器	3.2	1.8	0.8	5.0	黒曜石	上下両端につぶれ。打面転移が見られる
		26	DT7	1層	楔形石器	1.4	2.0	1.0	2.6	黒曜石	上端の平坦面より加撃。下端部はつぶれ
		8	DT7	1層	ノッチ	2.3	2.2	1.1	4.4	黒曜石	剥片の端部に抉り。RFの可能性
		6	DT7	1層	RF	2.4	2.3	0.4	2.1	サヌカイト	楔形石器の可能性
		5	DT7	1層	UF	3.8	2.0	0.7	4.6	黒曜石	不明
		7	DT7	1層	UF	2.1	3.5	1.1	6.1	黒曜石	剥片の端部に微細剥離痕
		6	DT7	1層	UF	1.4	1.8	0.6	1.3	黒曜石	剥片の右側縁に微細剥離痕
		655	DT7	1層	磨石・叩石類	10.7	5.0	2.1	189.9	流紋岩	片面に磨痕？
		656	DT7	1層	磨石・叩石類	11.6	9.9	4.0	683.5	流紋岩	両面に磨痕
		658	DT7	1層	磨石・叩石類	10.7	9.6	5.3	790.2	閃緑岩	両面に磨痕
		653	DT7	1層	石皿	16.8	16.5	8.1	3000.0	凝灰岩	両面に磨痕。側縁を交互剥離。石核転用？
		654	DT7	1層	石皿	9.3	6.8	4.2	460.7	凝灰岩	大半が欠損。両面に磨痕
		718	DT7	1層	石皿	36.0	41.0	11.5	21640.0	凝灰岩	片面に磨痕。側縁を交互剥離
103-24	76		DT8	1層	楔形石器	1.7	1.4	0.5	1.4	黒曜石	上下両端につぶれ
		58	DT8	1層	石鏃	1.9	1.6	0.5	1.0	黒曜石	未製品
		13	DT8	1層	石錐	2.1	1.3	0.4	1.0	黒曜石	基部に緩斜度押圧剥離。小型サイドスクレイパーの可能性
		6	DT8	1層	サイドスクレイパー	3.3	1.9	0.7	4.2	サヌカイト	緩斜度な押圧剥離の交互剥離によって刃部を調整
		14	DT8	1層	RF	2.3	1.4	0.5	1.4	黒曜石	楔形石器の削片を用い、左側縁に押圧剥離
		13	DT8	1層	RF	1.6	1.4	0.3	0.4	黒曜石	石鏃の未製品？
		17	DT8	1層	RF	3.3	1.8	0.5	2.5	黒曜石	楔形石器の削片の側縁に数枚の剥離
		15	DT8	1層	UF	1.9	2.1	0.5	1.5	黒曜石	楔形石器の削片の端部に微細剥離痕
106-1	76		SS1	1層	石鏃	1.4	1.2	0.2	0.3	サヌカイト	凹基式
106-2	76		SS3	1層	石鏃	1.1	0.9	0.2	0.2	サヌカイト	凹基式
106-3	76		SS3	1層	石鏃	2.2	1.0	0.5	0.6	黒曜石	先端部、基部欠損。凹基式
106-4	76		SS2	1層	楔形石器	1.8	2.5	0.8	3.7	サヌカイト	上下両端につぶれ
106-5	76		SS2	1層	楔形石器	1.9	1.9	0.6	2.6	サヌカイト	上端の平坦面より加撃。下端はつぶれ
106-6	76		SS3	1層	楔形石器	1.9	1.9	0.5	2.5	サヌカイト	上下両端につぶれ
		70	SS1	1層	石鏃	(1.0)	(0.6)	0.2	0.2	黒曜石	先端部、基部欠損。凹基式
		50	SS1	1層	楔形石器	1.4	0.6	0.6	0.7	黒曜石	上下両端につぶれ
		49	SS1	1層	楔形石器	1.9	1.4	0.5	1.6	サヌカイト	上下両端につぶれ
		51	SS2	1層	楔形石器	1.6	1.8	0.3	1.3	サヌカイト	上端の平坦面より加撃。下端はつぶれ
		53	SS2	1層	楔形石器	2.0	1.2	1.0	2.7	サヌカイト	上端のみつぶれ
		57	SS3	1層	楔形石器	1.5	1.5	0.2	0.7	サヌカイト	上下両端につぶれ
		56	SS3	1層	楔形石器	2.4	2.2	0.6	3.0	サヌカイト	上端につぶれ。下端欠損
		13	SS1	1層	RF	1.8	1.6	0.3	0.7	黒曜石	サイドスクレイパーの可能性
		19	SS1	1層	RF	1.4	1.3	0.2	0.4	サヌカイト	石鏃の未製品？
		20	SS1	1層	RF	2.6	3.5	0.6	6.3	サヌカイト	求心剥離石核の可能性
		21	SS2	1層	RF	1.0	2.6	0.2	0.7	サヌカイト	剥片の打面部にわずかな剥離。UFの可能性
120-1	89		F13	1層	石鏃	1.5	1.2	0.4	0.3	サヌカイト	凹基式
120-2	89		B13	1層	石鏃	1.4	1.2	0.2	0.3	サヌカイト	平基式
120-3	89		F10	1層	サイドスクレイパー	2.7	6.0	0.5	13.2	サヌカイト	押圧剥離による両面調整で刃部調整

挿図番号	図版番号	整理番号	グリッド・遺構	層位	器種	計測値(cm・g)				石材	備考
						長さ	幅	厚さ	重量		
120-4	89		B15	1層	打製石斧	12.3	4.7	0.8	67.3	サヌカイト	基部欠損。側縁は直接打撃で整形
120-5	89		B12	1層	打製石斧	13.6	6.5	1.7	188.9	流紋岩	直接打撃によって調整。未製品の可能性
120-6	89		D12	1層	磨製石斧	(9.5)	3.2	3.2	173.0	塩基性片岩	基部欠損。刃部研磨。基部付近は敲打痕が残る
120-7	89		C15	1層	磨製石斧	10.6	5.5	3.7	324.4	塩基性片岩	刃部研磨。基部には敲打痕が残る
120-8	89		E12	1層	石錘	7.8	5.8	2.7	184.6	凝灰岩	打欠石錘
120-9	89		E12	1層	石錘	6.2	5.0	1.2	68.1	流紋岩	切目石錘
		11	D14	1層	石核	1.8	2.3	1.1	3.9	黒曜石	直接打撃によって打面を転移させながら剥離。残核形状はサイコロ状
		12	B14	1層	石核	2.3	3.2	2.3	25.4	水晶	円礫を素材として一枚剥離。残核形状はサイコロ状
		16	C12	1層	石核	9.7	7.4	4.2	396.3	玄武岩？	直接打撃による交互剥離石核。残核形状はチョッピングトゥール状
		52	D12	1層	石鏃	(1.0)	(0.5)	0.2	0.1	黒曜石	先端部と基部の大半が欠損
		60	A13	1層	石鏃	1.5	1.3	0.3	0.4	黒曜石	未製品
		51	E11	1層	石鏃	1.9	1.6	0.3	0.5	サヌカイト	凹基式
		50	E12	1層	石鏃	(1.4)	(1.1)	0.2	0.3	サヌカイト	基部欠損
		74	G13	1層	石鏃	(1.3)	1.3	0.2	0.4	サヌカイト	先端部欠損
		6.3	不明	1層	石鏃	1.7	1.4	0.3	0.7	サヌカイト	平基式
		66	A15	1層	石鏃	1.4	1.2	0.3	0.4	サヌカイト	平基式
		65	B14	1層	石鏃	1.5	1.4	0.3	0.5	サヌカイト	未製品
		64	B14	1層	石鏃	1.5	1.2	0.2	0.3	サヌカイト	平基式
		66	A15	1層	石鏃	1.4	1.2	0.3	0.4	サヌカイト	凹基式
		6.8	A14	1層	石鏃	2.1	2.0	0.3	1.3	サヌカイト	未製品
		67	B14	1層	石鏃	1.4	1.5	0.3	0.5	サヌカイト	平基式
		69	D12	1層	石鏃	1.3	1.3	0.3	0.4	サヌカイト	平基式
		36	A14	1層	楔形石器	1.8	1.8	0.5	2.1	黒曜石	上下両端につぶれ
		43	B15	1層	楔形石器	2.1	2.0	0.8	3.6	黒曜石	上下両端につぶれ
		42	C13	1層	楔形石器	2.2	0.9	0.6	1.0	黒曜石	上下両端につぶれ
		47	B14	1層	楔形石器	2.5	1.1	1.5	2.9	黒曜石	上端の平坦面より加撃。下端つぶれ
		33	G12	1層	楔形石器	1.6	1.7	0.3	1.5	サヌカイト	上端の平坦面より加撃。下端つぶれ
		35	D12	1層	楔形石器	1.9	1.0	0.6	1.2	サヌカイト	上端につぶれ。下端欠損
		58	G13	1層	楔形石器	4.6	4.5	0.9	24.5	サヌカイト	上下両端につぶれ
		37	A14	1層	楔形石器	2.5	1.8	0.5	2.3	サヌカイト	上端の平坦面より加撃。下端につぶれ。側縁に押圧剥離による調整。
		38	不明	1層	楔形石器	1.7	0.7	0.3	0.6	サヌカイト	不明
		65	G13	1層	楔形石器	1.7	1.6	0.6	1.9	サヌカイト	上下両端につぶれ
		44	不明	1層	楔形石器	1.4	2.2	0.3	1.2	サヌカイト	上下両端につぶれ
		46	B14	1層	楔形石器	2.6	2.9	1.3	6.2	サヌカイト	上下両端につぶれ
		11	B12	1層	サイドスクレイパー	4.0	2.9	0.5	6.9	頁岩？	顕著な研磨痕
		7	C14	1層	抉入石器	2.9	(1.4)	0.6	2.2	サヌカイト	側縁欠損。両面に顕著な研磨痕
		9	B15	1層	ノッチ	3.4	2.7	0.7	6.0	黒曜石	縦長剥片の右側縁に急斜度な押圧剥離で抉りを作出
		16	C14	1層	RF	1.5	2.9	0.6	2.0	黒曜石	剥片の両端を切断して三角形に整形。端部に押圧剥離を施し刃部としている？
		11	F11	1層	RF	2.0	2.9	0.3	2.2	サヌカイト	剥片の打点部付近に数枚の押圧剥離
		12	E12	1層	RF	3.0	2.5	0.4	2.1	サヌカイト	剥片の打点部に加工？楔形石器の削片の可能性
		23	D15	1層	RF	2.1	1.7	0.3	1.2	サヌカイト	剥片の両側縁に押圧剥離。楔形石器の可能性
		15	D15	1層	RF	1.1	2.6	0.3	0.7	サヌカイト	剥片の打点部に二次加工
		18	B14	1層	RF	0.9	2.4	0.5	1.3	サヌカイト	剥片の側縁に二次加工。楔形石器の可能性
		11	E12	1層	UF	2.0	2.1	0.3	1.4	黒曜石	剥片の端部に微細剥離痕
		16	A14	1層	UF	1.8	1.3	0.2	0.2	黒曜石	剥片の打点部に微細剥離痕
		14	B12	1層	UF	2.1	2.4	0.4	1.2	サヌカイト	剥片の右側縁に微細剥離痕
		17	B15	1層	UF	3.0	5.7	0.9	10.9	サヌカイト	剥片の右側縁に微細剥離痕
		13	B12	1層	UF	5.8	2.6	0.6	10.0	玉髄・メノウ	縦長剥片の右側縁に微細剥離痕
		489	B12	1層	打製石斧	6.3	5.3	1.0	43.5	泥岩	基部のみ残存。垂直打撃により整形
		487	C14	1層	打製石斧	8.0	5.1	2.0	127.1	流紋岩	側縁を敲打調整
		486	D12	1層	打製石斧	8.7	4.3	1.4	81.7	流紋岩	側縁を折断整形。刃部に磨耗痕
		488	A14	1層	打製石斧の素材剥片	9.1	5.5	1.1	118.2	流紋岩	剥離面打面の縦長剥片
		484	G12	1層	磨製石斧	14.1	5.4	3.6	357.8	流紋岩	柱状の円礫を直接加工した未製品。打製石斧の可能性
		485	G12	1層	磨製石斧	12.0	5.6	3.2	288.3	花崗岩	風化が著しい
		13	T2	1層	磨製石斧	10.9	6.0	2.3	259.5	安山岩	全面研磨。刃部に使用による剥離

挿図番号	図版番号	整理番号	グリッド・遺構	層位	器種	計測値(cm・g)				石材	備考
						長さ	幅	厚さ	重量		
		16	H11年度トレンチ	1層	磨石・叩石類	10.2	10.1	8.9	1406.3	花崗岩	半分欠損。片面に磨痕
		18	H11年度トレンチ	1層	磨石・叩石類	13.6	9.9	6.1	1290.7	花崗岩	両面に磨痕
		490	G12	1層	磨石・叩石類	16.0	18.5	14.3	2600.0	花崗岩	両面に磨痕
		17	T2	1層	磨石・叩石類	14.2	11.8	8.2	2000.0	花崗岩	片面に磨痕
		12	T2	1層	磨石・叩石類	9.2	8.7	4.5	711.8	閃緑岩？	両面に顕著な磨痕
		10	T2	1層	磨石・叩石類	10.4	7.9	5.4	720.1	閃緑岩	全面に磨痕
		491	D11	1層	磨石・叩石類	12.3	11.4	5.8	1280.6	花崗岩	両面に磨痕
		492	G12	1層	磨石・叩石類	11.8	10.8	4.9	919.6	閃緑岩	片面に磨痕
		494	G12	1層	磨石・叩石類	12.8	8.2	4.5	718.5	閃緑岩	片面に磨痕
		138	E10	1層	石皿	34.5	27.5	8.3	12000.0	花崗岩	側縁を剥離調整。片面に磨痕
		11	T2	1層	石皿	21.7	12.3	8.3	3100.0	閃緑岩？	半分欠損。片面に凹み
		59	廃土		楔形石器	2.8	1.8	0.8	4.9	サヌカイト	上下両端につぶれ
		66	廃土		楔形石器	2.4	4.7	0.8	10.8	サヌカイト	上下両端につぶれ
		67	廃土		楔形石器	1.8	1.7	0.6	1.2	サヌカイト	上下両端につぶれ
		21	廃土		UF	1.8	2.0	0.4	1.4	黒曜石	剥片の左側縁に微細剥離痕

第５表　林原遺跡出土石錘観察表

整理番号	グリッド・遺構	層位	計測値(cm・g)				整理番号	グリッド・遺構	層位	計測値(cm・g)				整理番号	グリッド・遺構	層位	計測値(cm・g)			
			長さ	幅	厚さ	重量				長さ	幅	厚さ	重量				長さ	幅	厚さ	重量
696	焼土01	1a層	6.1	5.1	2.2	90.6	19	F10	1a層	6.6	56.5	13.0	95.0	340	DT1-2	1b層	5.5	5.2	2.0	74.5
708	焼土02	1a層	7.8	6.0	1.9	111.4	26	F10	1a層	5.4	4.3	1.5	77.3	246	DT1-2	1b層	6.5	5.0	1.9	102.1
709	焼土02	1a層	6.6	3.8	1.7	68.8	27	F10	1a層	4.2	3.8	7.4	28.9	247	DT1-2	1b層	4.8	3.2	1.2	28.6
176	DT1-1	1a層	6.5	5.0	1.5	75.9	34	F10	1a層	7.3	5.4	1.6	115.8	250	DT1-2	1b層	7.6	6.8	1.9	159.7
196	DT1-1	1a層	7.0	5.4	2.4	112.5	36	F10	1a層	5.9	3.0	1.1	41.1	254	DT1-2	1b層	6.4	4.1	1.7	68.2
206	DT1-1	1a層	7.1	4.3	1.8	76.0	22	F11	1a層	5.8	4.6	8.5	52.7	259	DT1-2	1b層	7.9	4.8	2.1	120.0
214	DT1-1	1a層	5.3	4.3	1.4	52.5	38	F11	1a層	7.4	6.0	1.2	73.7	260	DT1-2	1b層	9.2	6.4	2.0	169.9
215	DT1-1	1a層	6.8	5.2	1.8	92.3	40	F11	1a層	5.2	7.9	1.3	48.7	264	DT1-2	1b層	5.8	4.8	2.5	97.4
168	DT1-1	1a層	6.3	5.8	1.7	96.5	23	F12	1a層	8.3	5.0	1.0	99.8	266	DT1-2	1b層	6.1	4.2	1.2	64.3
169	DT1-1	1a層	6.0	4.2	1.6	58.0	42	G7	1a層	7.9	4.4	1.3	60.8	275	DT1-2	1b層	6.8	5.1	2.1	107.0
170	DT1-1	1a層	9.8	7.2	2.8	325.4	20	H7	1a層	4.9	3.8	13.5	51.1	277	DT1-2	1b層	5.7	4.7	1.8	62.8
171	DT1-1	1a層	5.9	4.5	1.7	74.8	21	H7	1a層	9.4	8.2	19.8	236.2	292	DT1-2	1b層	5.7	4.3	2.1	70.7
172	DT1-1	1a層	6.6	5.0	1.7	91.4	35	I5	1a層	5.8	4.6	1.7	82.9	293	DT1-2	1b層	6.0	5.0	2.4	95.3
173	DT1-1	1a層	6.2	5.7	1.7	89.1	248	DT1-2	1b層	6.9	7.2	2.8	255.6	294	DT1-2	1b層	6.5	5.6	1.8	85.2
174	DT1-1	1a層	5.8	5.4	1.9	77.4	251	DT1-2	1b層	8.4	6.6	1.9	175.4	297	DT1-2	1b層	7.2	4.0	1.2	54.3
175	DT1-1	1a層	8.8	5.4	1.5	107.1	258	DT1-2	1b層	5.0	4.4	2.3	75.7	305	DT1-2	1b層	5.7	5.3	2.3	133.8
177	DT1-1	1a層	6.4	4.3	1.6	82.7	261	DT1-2	1b層	5.5	4.0	1.9	56.0	312	DT1-2	1b層	6.9	5.2	2.1	107.1
178	DT1-1	1a層	7.9	5.6	1.8	104.9	263	DT1-2	1b層	6.0	3.7	1.7	59.2	319	DT1-2	1b層	5.2	4.1	1.6	52.7
179	DT1-1	1a層	7.2	4.4	1.7	96.3	269	DT1-2	1b層	6.8	3.7	1.3	54.2	332	DT1-2	1b層	5.6	5.1	2.2	89.3
181	DT1-1	1a層	5.9	5.2	1.5	81.5	282	DT1-2	1b層	5.0	3.2	1.2	27.7	242	DT1-2	1b層	5.9	5.3	1.1	56.9
185	DT1-1	1a層	8.4	6.6	1.5	138.8	284	DT1-2	1b層	6.9	6.0	1.5	96.0	255	DT1-2	1b層	5.2	5.7	1.8	79.5
186	DT1-1	1a層	5.6	4.2	1.3	39.8	285	DT1-2	1b層	5.8	4.7	1.1	52.4	256	DT1-2	1b層	5.8	4.2	1.6	54.2
188	DT1-1	1a層	5.6	4.1	1.5	59.6	288	DT1-2	1b層	5.8	6.0	2.4	115.3	278	DT1-2	1b層	5.1	5.1	1.8	63.1
189	DT1-1	1a層	6.5	6.1	2.4	124.0	295	DT1-2	1b層	5.9	3.1	1.4	40.3	286	DT1-2	1b層	6.8	5.6	1.8	100.1
190	DT1-1	1a層	7.2	5.1	1.9	118.5	302	DT1-2	1b層	6.3	5.0	1.5	58.1	290	DT1-2	1b層	6.7	3.8	1.3	53.4
191	DT1-1	1a層	8.2	5.2	2.8	165.0	303	DT1-2	1b層	7.5	4.5	1.8	89.9	291	DT1-2	1b層	4.4	5.0	2.1	51.7
192	DT1-1	1a層	5.4	5.6	2.9	50.6	310	DT1-2	1b層	7.9	5.9	1.6	99.1	296	DT1-2	1b層	7.7	4.3	1.3	61.7
193	DT1-1	1a層	6.7	5.0	1.6	52.4	311	DT1-2	1b層	5.7	5.4	1.7	77.2	299	DT1-2	1b層	6.0	5.0	1.8	73.5
194	DT1-1	1a層	6.2	4.2	1.7	59.4	320	DT1-2	1b層	6.5	4.1	2.5	110.5	300	DT1-2	1b層	6.4	4.6	1.6	70.3
195	DT1-1	1a層	5.4	4.2	1.7	64.0	324	DT1-2	1b層	6.0	6.3	2.5	121.6	301	DT1-2	1b層	6.8	3.9	1.9	89.5
197	DT1-1	1a層	7.1	5.2	2.3	141.0	325	DT1-2	1b層	7.0	4.5	1.6	71.2	308	DT1-2	1b層	6.7	3.7	2.8	65.3
198	DT1-1	1a層	5.8	5.1	1.8	66.5	327	DT1-2	1b層	6.8	4.5	1.4	58.9	309	DT1-2	1b層	9.3	5.8	2.2	180.6
199	DT1-1	1a層	7.2	5.8	1.8	121.0	328	DT1-2	1b層	5.4	4.1	1.2	40.6	314	DT1-2	1b層	9.3	4.8	2.8	106.6
201	DT1-1	1a層	7.3	4.2	1.2	82.7	330	DT1-2	1b層	7.7	6.4	2.0	141.1	315	DT1-2	1b層	9.9	7.1	2.2	251.3
202	DT1-1	1a層	6.2	5.3	1.9	99.4	333	DT1-2	1b層	6.5	7.1	2.2	151.5	321	DT1-2	1b層	8.3	6.0	1.7	132.0
203	DT1-1	1a層	8.1	6.4	2.2	163.8	335	DT1-2	1b層	6.9	6.8	2.0	133.9	322	DT1-2	1b層	6.6	5.2	2.2	102.9
204	DT1-1	1a層	5.2	4.1	1.5	52.9	336	DT1-2	1b層	6.8	5.2	1.6	69.2	323	DT1-2	1b層	4.8	5.2	1.7	65.6
205	DT1-1	1a層	6.5	4.5	1.2	53.0	337	DT1-2	1b層	8.3	6.9	1.9	160.2	326	DT1-2	1b層	6.0	4.0	2.0	65.4
207	DT1-1	1a層	8.0	5.3	2.3	140.5	341	DT1-2	1b層	7.0	5.8	1.4	79.7	343	DT1-2	1b層	6.3	4.4	1.6	62.0
209	DT1-1	1a層	6.1	5.1	1.3	59.8	342	DT1-2	1b層	8.6	4.5	1.6	95.5	147	石錘溜まり1	1b層	6.3	4.7	1.9	91.5
210	DT1-1	1a層	7.7	4.7	2.1	105.6	344	DT1-2	1b層	6.5	6.1	1.2	105.3	148	石錘溜まり1	1b層	5.9	5.6	2.2	111.4
211	DT1-1	1a層	7.7	5.8	1.9	118.8	723	DT1-2	1b層	9.3	5.7	1.6	147.6	149	石錘溜まり1	1b層	6.2	5.2	1.7	78.1
217	DT1-1	1a層	7.4	5.7	1.9	109.6	724	DT1-2	1b層	6.2	4.2	1.7	61.3	150	石錘溜まり1	1b層	6.0	4.5	1.8	70.9
218	DT1-1	1a層	5.8	4.7	2.1	74.6	240	DT1-2	1b層	4.9	4.2	1.8	52.3	151	石錘溜まり1	1b層	6.9	4.9	2.1	102.0
219	DT1-1	1a層	6.6	5.8	1.2	91.1	241	DT1-2	1b層	7.1	4.1	1.6	66.7	152	石錘溜まり1	1b層	6.3	5.5	1.9	93.2
220	DT1-1	1a層	10.1	5.7	1.9	165.2	243	DT1-2	1b層	6.2	5.1	1.8	79.9	153	石錘溜まり1	1b層	7.0	5.6	1.6	95.5
221	DT1-1	1a層	6.7	5.7	2.0	94.2	244	DT1-2	1b層	7.2	5.4	1.1	96.9	154	石錘溜まり1	1b層	8.6	5.9	1.8	131.0
222	DT1-1	1a層	6.2	5.3	1.9	93.1	245	DT1-2	1b層	7.6	4.1	1.8	89.8	155	石錘溜まり1	1b層	6.8	4.5	2.5	98.0
225	DT1-1	1a層	8.6	5.0	1.9	124.7	249	DT1-2	1b層	6.5	6.2	2.1	125.7	156	石錘溜まり1	1b層	5.6	4.9	1.5	62.6
226	DT1-1	1a層	5.7	5.6	1.5	76.1	252	DT1-2	1b層	6.3	4.8	1.6	73.4	659	DT2	1b層	6.9	5.6	2.6	147.5
227	DT1-1	1a層	6.3	4.5	1.4	65.9	253	DT1-2	1b層	6.3	4.2	1.6	50.6	662	DT2	1b層	8.8	6.3	2.6	183.0
228	DT1-1	1a層	5.4	4.3	1.4	55.4	257	DT1-2	1b層	6.9	5.3	1.6	84.6	663	DT2	1b層	6.1	6.4	2.1	142.2
229	DT1-1	1a層	6.1	5.2	2.1	86.9	262	DT1-2	1b層	9.8	4.7	2.1	156.1	664	DT2	1b層	7.7	4.9	2.4	113.2
230	DT1-1	1a層	5.8	4.4	1.9	75.8	265	DT1-2	1b層	4.3	4.4	1.4	46.8	665	DT2	1b層	8.6	4.3	2.5	165.3
231	DT1-1	1a層	5.1	4.6	2.3	80.5	267	DT1-2	1b層	5.8	4.8	1.4	57.9	669	DT2	1b層	4.8	3.9	1.8	56.2
232	DT1-1	1a層	6.3	4.5	2.0	88.9	268	DT1-2	1b層	6.5	4.9	2.0	104.5	670	DT2	1b層	5.5	5.2	1.9	71.3
233	DT1-1	1a層	5.2	4.6	1.3	46.5	270	DT1-2	1b層	5.4	5.2	1.6	61.7	660	DT2	1b層	7.2	4.8	1.6	77.7
234	DT1-1	1a層	7.9	5.0	2.4	132.7	271	DT1-2	1b層	6.9	6.5	2.0	106.0	661	DT2	1b層	6.9	5.1	2.2	96.0
208	DT1-1	1a層	7.2	4.3	2.2	83.8	272	DT1-2	1b層	8.1	6.7	2.7	213.2	666	DT2	1b層	6.9	4.4	2.1	99.7
187	DT1-1	1a層	6.3	4.9	1.5	70.9	273	DT1-2	1b層	5.0	7.0	1.3	78.1	668	DT2	1b層	7.0	5.1	1.8	79.7
200	DT1-1	1a層	7.2	5.5	2.2	117.9	274	DT1-2	1b層	6.7	5.6	2.4	118.7	671	DT2	1b層	6.2	5.6	2.2	102.2
223	DT1-1	1a層	6.2	5.1	2.0	113.3	276	DT1-2	1b層	6.5	4.4	1.6	118.7	667	DT2	1b層	6.3	4.8	1.3	55.8
224	DT1-1	1a層	5.8	4.6	1.2	48.1	279	DT1-2	1b層	6.3	5.8	1.5	92.4	65	C10	1b層	7.0	6.2	1.6	141.6
180	DT1-1	1a層	6.2	5.8	1.8	101.2	280	DT1-2	1b層	5.4	4.1	1.4	50.0	51	C11	1b層	5.8	4.7	2.0	94.4
182	DT1-1	1a層	5.0	2.1	1.6	32.5	281	DT1-2	1b層	5.1	4.9	1.5	56.1	53	C11	1b層	7.0	5.2	1.7	102.1
183	DT1-1	1a層	6.5	5.4	1.8	82.7	283	DT1-2	1b層	6.8	5.1	2.3	93.1	55	C11	1b層	8.6	7.3	2.4	252.1
184	DT1-1	1a層	6.6	4.6	1.7	78.5	287	DT1-2	1b層	5.4	4.4	1.6	53.4	57	C11	1b層	5.0	4.5	1.6	68.0
212	DT1-1	1a層	6.7	4.3	1.6	83.6	289	DT1-2	1b層	6.1	4.6	1.4	56.0	58	C11	1b層	5.4	3.2	1.4	43.4
213	DT1-1	1a層	7.0	5.6	1.3	80.2	298	DT1-2	1b層	7.3	4.1	1.6	72.2	59	C11	1b層	6.2	5.5	1.1	79.7
216	DT1-1	1a層	7.1	5.4	1.8	110.3	304	DT1-2	1b層	5.3	6.2	2.0	97.2	60	C11	1b層	6.7	2.8	1.5	58.1
24	C10	1a層	5.1	4.6	1.2	75.1	306	DT1-2	1b層	7.1	6.8	2.0	114.4	61	C11	1b層	5.2	4.0	1.4	49.1
32	C11	1a層	7.3	6.0	2.2	158.3	307	DT1-2	1b層	5.6	4.2	1.8	66.2	62	C11	1b層	6.2	4.6	2.1	86.7
41	C11	1a層	5.2	3.2	8.5	35.5	313	DT1-2	1b層	4.4	6.6	1.9	75.6	63	C11	1b層	7.8	5.0	2.0	136.4
30	D10	1a層	5.9	4.9	1.8	80.8	316	DT1-2	1b層	8.7	4.3	1.6	96.5	66	C11	1b層	6.7	5.7	1.8	114.4
31	D11	1a層	7.1	4.9	2.0	109.7	317	DT1-2	1b層	6.9	6.2	2.2	142.0	69	C11	1b層	5.7	5.5	1.3	70.0
33	D11	1a層	6.6	4.2	1.1	63.1	318	DT1-2	1b層	5.3	6.2	2.2	101.0	71	C11	1b層	7.2	2.6	1.3	42.6
39	D11	1a層	6.2	5.0	2.1	102.5	329	DT1-2	1b層	5.5	4.0	1.6	41.7	72	C11	1b層	6.0	4.7	1.9	60.2
28	E10	1a層	6.9	7.2	2.0	97.7	331	DT1-2	1b層	6.8	6.4	2.1	123.0	75	C11	1b層	5.7	4.2	1.2	42.4
29	E10	1a層	6.0	4.3	1.7	82.7	334	DT1-2	1b層	5.8	5.0	2.0	85.5	76	C11	1b層	6.7	4.0	1.4	57.2
37	E10	1a層	8.7	8.2	1.9	286.6	338	DT1-2	1b層	6.7	5.5	1.5	72.2	77	C11	1b層	6.5	6.6	2.5	167.0
25	E11	1a層	5.9	4.0	1.4	50.7	339	DT1-2	1b層	6.7	6.1	2.0	108.4	78	C11	1b層	8.6	7.1	1.6	140.0

整理番号	グリッド・遺構	層位	計測値(cm・g)				整理番号	グリッド・遺構	層位	計測値(cm・g)				整理番号	グリッド・遺構	層位	計測値(cm・g)			
			長さ	幅	厚さ	重量				長さ	幅	厚さ	重量				長さ	幅	厚さ	重量
79	C11	1b層	6.1	5.7	1.4	62.1	690	SK14	1層	6.7	5.7	1.9	131.2	562	DT6	1層	5.2	3.2	1.2	37.1
83	C11	1b層	6.9	5.0	1.2	101.6	691	SK14	1層	5.0	4.3	1.4	49.3	563	DT6	1層	6.6	4.9	1.4	69.1
84	C11	1b層	6.3	5.3	2.0	98.4	692	SK14	1層	7.4	4.7	2.1	99.2	570	DT6	1層	6.5	6.1	1.9	84.7
85	C11	1b層	6.5	4.6	1.9	84.5	693	SK14	1層	7.2	5.3	2.0	94.5	564	DT6	1層	7.1	4.5	1.6	106.0
56	D10	1b層	8.2	5.5	2.2	170.9	675	配石遺構04	1層	7.0	5.7	1.6	91.9	565	DT6	1層	6.9	5.9	2.2	133.7
50	D11	1b層	7.4	6.7	0.8	78.3	674	SK19	1層	6.3	6.1	1.3	141.1	569	DT6	1層	6.7	5.3	1.8	96.2
52	D11	1b層	6.8	4.8	2.0	113.3	495	DT3	1層	7.7	6.6	2.4	175.7	567	DT6	1層	7.1	5.0	1.9	117.5
54	D11	1b層	6.4	4.3	1.4	74.3	496	DT3	1層	6.4	5.3	1.8	103.6	568	DT6	1層	6.8	7.1	2.4	178.9
64	E10	1b層	7.1	4.2	2.3	123.5	497	DT3	1層	6.2	4.8	2.1	90.7	571	DT6	1層	8.8	5.4	3.5	248.2
74	E10	1b層	5.9	5.2	2.3	108.1	499	DT4	1層	7.2	6.5	1.9	122.9	725	DT6	1層	7.7	5.6	1.8	114.5
80	E10	1b層	6.8	5.1	1.4	60.4	500	DT4	1層	9.1	5.4	1.8	165.5	566	DT6	1層	7.1	4.9	1.1	52.9
70	E11	1b層	5.5	4.1	1.5	49.9	501	DT4	1層	5.7	5.9	1.8	101.1	143	石錘溜まり3	1層	6.7	5.5	2.2	116.5
81	F10	1b層	7.3	6.7	1.6	121.8	157	石錘溜まり2	1層	7.5	6.6	1.6	147.6	144	石錘溜まり3	1層	5.9	4.5	2.4	87.8
82	F10	1b層	6.9	5.8	2.6	151.9	158	石錘溜まり2	1層	8.8	5.1	2.2	162.2	145	石錘溜まり3	1層	6.2	5.2	2.4	99.0
86	F10	1b層	8.2	5.2	1.6	119.4	159	石錘溜まり2	1層	6.4	4.3	1.2	59.0	146	石錘溜まり3	1層	7.3	6.2	1.9	127.5
87	F10	1b層	7.2	4.7	1.2	99.3	160	石錘溜まり2	1層	5.5	4.9	1.3	70.7	677	SK21	1層	6.8	3.7	1.7	69.2
88	F10	1b層	5.9	3.9	1.1	46.2	161	石錘溜まり2	1層	4.5	3.8	1.5	38.1	574	DT7	1層	7.1	4.2	1.6	75.8
89	F10	1b層	5.6	4.2	1.5	60.7	162	石錘溜まり2	1層	6.6	6.4	1.6	103.7	575	DT7	1層	5.8	6.5	1.8	79.4
90	F10	1b層	7.1	6.3	1.9	121.5	163	石錘溜まり2	1層	6.7	4.3	1.1	59.2	576	DT7	1層	6.5	4.5	1.3	55.8
67	F9	1b層	5.5	4.4	1.2	48.3	164	石錘溜まり2	1層	5.0	4.2	1.4	43.3	577	DT7	1層	7.5	5.7	1.8	104.3
68	F9	1b層	6.9	4.5	1.2	69.3	165	石錘溜まり2	1層	5.9	5.1	1.2	55.5	578	DT7	1層	7.6	5.9	1.9	116.4
73	H8	1b層	5.8	4.4	1.7	64.9	166	石錘溜まり2	1層	8.8	5.5	1.7	132.0	579	DT7	1層	6.6	7.6	1.5	123.5
720	T2	1b層	5.0	5.3	1.5	60.0	167	石錘溜まり2	1層	5.1	6.6	1.1	42.4	580	DT7	1層	6.3	8.1	2.1	164.5
676	SK08	1c層	9.0	6.2	2.1	175.1	711	配石遺構07	1層	7.6	5.3	2.4	148.8	581	DT7	1層	5.6	7.2	2.0	128.3
103	C10	1c層	5.4	4.9	1.1	43.2	502	DT5	1層	7.6	6.3	1.9	135.9	582	DT7	1層	6.4	4.0	2.0	73.0
121	C10	1c層	10.6	5.3	2.5	217.5	503	DT5	1層	6.6	6.1	3.0	134.4	583	DT7	1層	7.0	5.6	2.1	119.1
93	C11	1c層	6.7	4.3	1.3	65.6	504	DT5	1層	3.6	5.1	1.7	45.3	584	DT7	1層	6.9	5.6	1.2	94.6
94	C11	1c層	5.8	4.7	1.4	58.5	505	DT5	1層	7.2	5.7	2.2	129.4	585	DT7	1層	6.7	4.9	1.5	76.5
100	C11	1c層	5.1	4.2	1.8	45.3	506	DT5	1層	7.1	5.2	2.0	92.1	586	DT7	1層	6.6	5.6	1.3	86.3
105	C11	1c層	5.3	4.3	1.2	42.8	507	DT5	1層	6.4	4.7	2.5	110.8	587	DT7	1層	6.5	5.2	1.8	89.2
106	C11	1c層	5.2	4.1	2.1	52.3	508	DT5	1層	6.2	5.5	1.8	105.8	588	DT7	1層	7.9	4.0	1.2	71.1
107	C11	1c層	6.1	4.1	2.0	77.4	509	DT5	1層	7.7	4.5	2.0	99.4	589	DT7	1層	6.4	5.8	1.9	93.5
108	C11	1c層	7.2	5.5	2.0	74.9	510	DT5	1層	7.3	4.8	2.4	127.1	590	DT7	1層	6.8	4.2	2.3	70.1
110	C11	1c層	6.5	5.0	1.2	65.2	511	DT5	1層	6.4	3.7	1.9	71.5	591	DT7	1層	5.2	7.1	2.3	126.8
111	C11	1c層	5.0	4.2	1.2	48.5	512	DT5	1層	7.3	3.1	1.9	89.9	592	DT7	1層	6.7	7.4	3.0	211.1
113	C11	1c層	5.0	4.5	1.5	49.9	513	DT5	1層	5.0	4.7	1.1	48.1	593	DT7	1層	9.6	7.9	2.3	236.3
115	C11	1c層	5.7	4.2	15.0	54.0	514	DT5	1層	6.7	5.6	2.4	130.4	594	DT7	1層	7.3	5.8	1.9	120.7
117	C11	1c層	4.9	3.3	1.2	27.9	515	DT5	1層	7.2	4.6	1.7	106.0	595	DT7	1層	6.6	4.5	1.9	76.5
118	C11	1c層	6.1	3.8	1.3	52.5	516	DT5	1層	9.0	4.4	2.0	127.9	596	DT7	1層	6.9	4.7	1.8	79.7
119	C11	1c層	5.4	6.5	2.2	68.2	517	DT5	1層	6.9	5.9	1.9	109.3	597	DT7	1層	6.1	5.9	2.0	58.5
128	C11	1c層	5.3	4.8	1.6	61.4	518	DT5	1層	6.8	5.8	2.0	91.6	598	DT7	1層	7.3	4.7	2.4	122.9
135	C11	1c層	5.8	3.9	2.1	69.6	519	DT5	1層	8.2	7.5	2.4	228.5	599	DT7	1層	6.3	5.2	2.9	148.8
137	C11	1c層	6.4	4.8	2.5	115.5	520	DT5	1層	6.8	4.8	2.2	154.6	600	DT7	1層	9.4	5.1	2.2	163.0
96	C12	1c層	7.5	4.8	1.6	85.3	521	DT5	1層	5.0	4.7	2.2	56.6	601	DT7	1層	7.1	4.6	1.5	71.6
120	C12	1c層	5.6	5.0	1.8	73.8	522	DT5	1層	9.0	5.1	2.1	150.1	602	DT7	1層	6.6	5.4	2.7	129.2
122	C12	1c層	6.9	6.1	2.1	119.6	523	DT5	1層	8.3	4.4	1.8	92.6	603	DT7	1層	7.3	6.1	2.3	128.7
127	C12	1c層	7.0	3.5	1.4	63.3	524	DT5	1層	6.5	4.6	1.8	112.7	604	DT7	1層	7.0	4.9	2.2	95.6
129	C12	1c層	6.1	5.0	2.1	77.4	525	DT5	1層	8.7	4.7	2.4	164.4	605	DT7	1層	6.7	4.9	1.9	91.0
132	C12	1c層	6.6	4.2	2.1	66.7	526	DT5	1層	5.6	3.7	1.5	49.6	606	DT7	1層	5.5	4.8	2.4	83.2
95	D10	1c層	6.4	4.8	1.8	74.0	527	DT5	1層	5.8	4.5	2.6	101.6	607	DT7	1層	6.3	4.4	2.1	103.2
97	D10	1c層	5.8	5.6	1.2	96.0	528	DT5	1層	5.7	6.3	2.1	111.5	608	DT7	1層	7.0	4.5	2.0	84.7
98	D10	1c層	6.1	5.6	2.1	116.5	529	DT5	1層	9.3	7.4	2.8	265.8	609	DT7	1層	8.2	5.1	1.6	104.1
104	D10	1c層	5.2	3.8	1.3	35.8	530	DT5	1層	5.8	5.3	1.8	87.7	610	DT7	1層	8.0	6.8	1.2	158.4
125	D10	1c層	5.3	3.6	2.2	72.0	531	DT5	1層	7.1	5.5	1.9	112.8	611	DT7	1層	8.3	4.7	1.6	100.1
126	D10	1c層	6.3	4.6	1.7	73.0	532	DT5	1層	7.4	7.2	2.1	207.2	612	DT7	1層	8.1	5.2	1.8	126.5
92	D11	1c層	5.7	4.7	2.1	79.1	533	DT5	1層	6.1	4.9	1.9	85.2	613	DT7	1層	5.8	6.6	1.3	56.5
101	D11	1c層	7.2	4.2	1.2	78.7	534	DT5	1層	6.8	4.5	1.3	65.8	614	DT7	1層	6.5	5.9	2.2	115.8
102	D11	1c層	7.1	5.8	2.3	127.9	535	DT5	1層	5.6	5.9	2.4	107.0	615	DT7	1層	8.7	7.2	2.3	211.8
112	D11	1c層	6.2	5.2	2.0	74.9	536	DT5	1層	8.4	6.3	2.4	191.1	616	DT7	1層	5.2	5.1	1.5	65.1
116	D11	1c層	7.0	5.2	1.7	88.3	537	DT5	1層	6.3	3.5	1.2	40.0	617	DT7	1層	9.2	4.8	2.3	159.4
130	D11	1c層	7.7	6.2	1.8	136.4	538	DT5	1層	7.1	4.2	1.5	60.8	618	DT7	1層	7.1	6.3	1.7	109.3
131	D11	1c層	7.1	4.5	2.2	81.3	539	DT5	1層	7.2	6.3	1.3	74.3	619	DT7	1層	9.5	8.1	2.4	273.4
134	D11	1c層	7.0	5.2	1.5	93.3	540	DT5	1層	6.6	7.5	1.9	105.7	620	DT7	1層	6.2	5.3	1.8	93.5
136	D11	1c層	7.1	5.6	1.4	78.4	541	DT5	1層	6.1	3.6	1.7	42.4	621	DT7	1層	5.7	6.6	1.4	74.9
114	E10	1c層	5.7	5.1	1.8	61.6	542	DT5	1層	11.1	5.9	2.6	237.8	622	DT7	1層	7.5	5.8	1.8	119.9
99	E11	1c層	6.7	3.4	1.5	47.5	543	DT5	1層	6.1	5.0	2.0	89.0	623	DT7	1層	5.2	6.4	1.5	83.6
123	E11	1c層	8.0	4.3	1.7	90.5	544	DT5	1層	7.6	4.8	2.3	119.0	624	DT7	1層	5.8	6.0	2.3	123.1
124	E11	1c層	7.4	3.9	1.8	80.1	545	DT5	1層	9.0	4.6	1.9	127.4	625	DT7	1層	5.4	3.8	1.5	57.0
109	F10	1c層	8.7	4.6	1.3	96.0	546	DT5	1層	6.0	5.3	2.0	97.1	626	DT7	1層	5.1	6.1	2.2	98.8
133	F10	1c層	5.2	4.5	1.7	57.1	547	DT5	1層	10.5	6.2	1.7	172.5	627	DT7	1層	6.4	5.3	2.5	124.1
679	SK14	1層	6.4	3.8	1.7	64.3	548	DT5	1層	5.6	5.9	2.2	93.9	628	DT7	1層	7.0	4.5	1.6	71.9
680	SK14	1層	7.1	6.1	1.9	121.8	549	DT5	1層	7.1	6.3	2.1	139.6	629	DT7	1層	5.4	4.0	2.0	64.4
681	SK14	1層	7.6	5.3	2.3	159.7	550	DT5	1層	7.8	4.7	1.4	75.9	630	DT7	1層	5.2	6.4	1.6	87.6
682	SK14	1層	5.6	4.5	1.6	60.7	551	DT5	1層	6.0	4.0	1.7	66.0	631	DT7	1層	6.0	4.8	1.9	79.2
683	SK14	1層	6.6	5.9	2.2	105.9	552	DT5	1層	6.3	5.4	2.0	99.0	632	DT7	1層	8.8	7.8	2.3	242.3
684	SK14	1層	6.9	6.7	2.7	171.8	553	DT5	1層	5.3	5.2	1.8	83.4	633	DT7	1層	6.4	5.0	2.0	103.3
685	SK14	1層	6.6	6.4	2.5	149.7	554	DT5	1層	7.6	5.0	2.5	144.1	634	DT7	1層	6.7	4.9	1.8	85.4
686	SK14	1層	5.2	3.9	1.2	39.9	555	DT5	1層	7.3	5.5	2.0	124.9	635	DT7	1層	6.6	5.2	2.3	125.8
687	SK14	1層	4.9	4.6	1.3	64.0	556	DT5	1層	6.8	5.8	1.2	102.4	636	DT7	1層	5.4	4.9	1.6	64.9
688	SK14	1層	6.7	5.5	2.5	108.3	721	DT5	1層	5.1	3.7	1.4	39.9	637	DT7	1層	6.6	4.4	2.1	93.7
689	SK14	1層	6.3	4.7	1.0	57.0	722	DT5	1層	4.7	5.9	1.9	94.0	638	DT7	1層	7.4	6.1	1.3	105.0

整理番号	グリッド・遺　構	層位	計測値(cm・g)				整理番号	グリッド・遺　構	層位	計測値(cm・g)				整理番号	グリッド・遺　構	層位	計測値(cm・g)			
			長さ	幅	厚さ	重量				長さ	幅	厚さ	重量				長さ	幅	厚さ	重量
639	DT7	1層	6.1	5.8	2.1	96.5	354	B14	1層	7.3	4.6	2.2	127.2	423	D12	1層	6.5	5.5	1.4	80.9
640	DT7	1層	7.8	5.7	2.4	164.4	355	B14	1層	6.4	5.1	2.3	98.5	424	D12	1層	4.3	3.7	1.2	28.8
641	DT7	1層	5.8	4.9	1.6	68.5	363	B14	1層	7.7	5.2	1.2	92.7	440	D12	1層	8.1	6.2	1.7	128.1
642	DT7	1層	4.6	4.3	1.6	51.0	378	B14	1層	11.9	11.3	3.2	667.2	466	D12	1層	7.9	5.9	2.8	165.3
643	DT7	1層	7.0	5.6	2.7	140.0	432	B14	1層	7.7	4.5	2.1	118.5	476	D12	1層	6.9	4.9	2.2	113.2
644	DT7	1層	8.1	4.8	2.1	119.2	441	B14	1層	6.5	6.8	1.6	105.0	139	D12	1層	6.1	5.1	2.1	97.6
645	DT7	1層	6.1	3.9	2.0	114.1	444	B14	1層	7.0	6.1	1.6	94.2	140	D12	1層	7.3	6.2	2.6	183.1
646	DT7	1層	6.4	4.6	2.1	90.7	445	B14	1層	6.8	6.4	1.4	87.2	142	D12	1層	6.0	4.6	1.9	79.6
647	DT7	1層	8.7	4.2	2.4	113.1	462	B14	1層	7.7	6.1	2.1	126.5	431	D13	1層	6.1	6.0	2.0	109.4
648	DT7	1層	8.6	5.0	1.8	110.5	463	B14	1層	7.5	4.6	1.8	96.1	395	D14	1層	4.9	3.9	1.9	65.2
649	DT7	1層	7.6	4.5	1.9	97.2	465	B14	1層	7.4	6.1	1.5	110.3	436	D14	1層	4.9	5.6	1.2	54.2
650	DT7	1層	8.5	7.8	1.6	172.8	467	B14	1層	7.0	5.6	1.5	86.2	451	D15	1層	9.1	8.3	3.0	314.2
651	DT7	1層	9.2	4.1	2.0	159.5	468	B14	1層	6.6	6.5	1.2	107.4	469	D15	1層	7.6	5.9	2.4	140.2
652	DT7	1層	5.0	5.4	1.4	64.1	474	B14	1層	8.0	7.2	2.2	191.1	433	E11	1層	4.1	5.4	1.6	58.8
422	A11	1層	6.4	4.2	1.6	57.9	348	B15	1層	8.4	5.1	1.9	125.9	437	E11	1層	7.4	6.1	3.6	160.4
478	A12	1層	7.2	4.2	1.2	66.9	349	B15	1層	6.2	5.5	2.2	101.5	481	E11	1層	7.2	6.7	1.6	112.6
368	A13	1層	5.6	3.3	1.5	40.1	362	B15	1層	7.6	6.9	2.1	128.1	482	E11	1層	6.3	3.8	2.9	87.8
381	A13	1層	5.5	5.3	1.8	85.0	388	B15	1層	7.0	5.3	2.1	115.9	483	E11	1層	6.3	5.5	2.0	87.2
394	A13	1層	6.3	4.9	1.9	69.1	435	B15	1層	9.0	7.4	1.8	160.1	352	E12	1層	5.9	5.4	2.0	95.9
402	A13	1層	7.6	8.2	2.1	192.8	456	B15	1層	6.8	6.4	1.8	120.5	377	E12	1層	7.5	6.4	2.0	144.1
429	A13	1層	6.1	4.6	1.9	63.3	457	B15	1層	12.1	6.8	3.3	384.0	391	E12	1層	5.8	4.6	1.6	55.5
438	A13	1層	5.4	6.7	1.5	61.4	458	B15	1層	8.5	5.5	1.5	109.1	413	E12	1層	5.1	4.0	1.6	48.3
446	A13	1層	6.5	4.2	1.5	65.9	459	B15	1層	7.7	5.3	1.3	113.8	428	E12	1層	7.8	6.7	1.5	125.6
447	A13	1層	6.9	5.2	1.4	87.3	460	B15	1層	5.7	5.1	1.3	67.7	442	E12	1層	5.4	3.9	2.5	78.4
3	A14	1層	5.9	3.5	1.5	56.8	471	B15	1層	6.4	5.8	1.9	105.4	443	E12	1層	6.6	5.7	1.6	80.3
393	A14	1層	5.1	4.4	1.5	60.5	385	C11	1層	7.8	5.8	2.0	120.3	475	E12	1層	8.2	5.5	1.7	136.1
350	B12	1層	6.1	5.6	1.8	65.1	417	C11	1層	5.4	4.4	1.6	51.9	477	E13	1層	6.5	5.9	1.7	86.5
351	B12	1層	7.0	5.7	1.8	8.6	418	C11	1層	5.2	5.7	2.2	81.8	404	E14	1層	9.0	6.9	2.2	193.4
358	B12	1層	8.5	5.3	1.9	148.6	419	C11	1層	5.1	3.6	1.4	40.3	405	E14	1層	4.7	5.5	2.3	87.2
359	B12	1層	6.8	5.7	1.8	95.6	420	C11	1層	5.0	5.5	2.6	104.3	397	F14	1層	6.5	5.1	1.0	46.9
361	B12	1層	9.1	5.8	2.5	187.9	421	C11	1層	5.2	4.9	1.3	38.1	398	F14	1層	7.2	3.3	2.1	79.2
370	B12	1層	6.2	4.8	1.2	88.5	426	C11	1層	5.3	4.6	2.0	79.0	408	F14	1層	7.5	6.4	1.6	112.4
373	B12	1層	6.2	4.2	2.1	83.4	390	C12	1層	4.9	3.9	1.5	36.3	410	F14	1層	7.4	4.9	1.8	93.2
374	B12	1層	5.9	4.4	1.8	58.2	415	C12	1層	5.7	3.8	1.6	50.5	375	G10	1層	6.6	4.4	1.0	41.6
379	B12	1層	7.4	6.5	2.2	172.7	396	C13	1層	6.7	7.7	2.2	149.2	386	G10	1層	7.3	4.2	2.0	103.0
392	B12	1層	6.8	7.1	2.7	196.4	464	C14	1層	9.2	7.0	2.2	208.0	141	G11	1層	6.8	6.5	1.3	105.1
401	B12	1層	8.3	4.3	2.2	121.7	356	C15	1層	7.1	5.6	2.1	134.3	406	G12	1層	7.9	3.7	2.2	95.6
407	B12	1層	5.5	5.0	1.4	52.6	357	C15	1層	6.1	4.9	2.5	103.8	416	G12	1層	5.9	5.2	1.6	67.1
409	B12	1層	7.0	4.3	2.2	84.3	365	C15	1層	6.8	6.0	1.4	92.8	425	G12	1層	7.8	6.0	1.9	113.7
411	B12	1層	6.6	4.9	1.6	76.1	366	C15	1層	8.5	6.5	2.4	160.9	439	G12	1層	7.3	5.9	1.9	127.1
412	B12	1層	6.0	7.4	2.1	111.7	387	C15	1層	7.6	5.2	2.0	117.5	472	G12	1層	9.0	6.0	2.5	179.9
427	B12	1層	6.4	4.9	3.6	156.1	449	C15	1層	7.5	5.2	1.9	103.3	382	G13	1層	7.4	5.2	1.4	74.3
430	B12	1層	7.9	5.9	2.3	138.6	450	C15	1層	7.4	8.5	2.6	227.4	414	G14	1層	7.7	6.8	1.8	119.6
434	B12	1層	7.2	5.2	2.4	162.9	452	C15	1層	6.7	8.7	2.5	212.4	712	C11	不明	6.6	5.2	1.4	61.7
448	B12	1層	4.3	5.2	2.0	55.0	453	C15	1層	9.6	6.8	1.7	158.8	6	T2	不明	5.4	4.0	1.2	54.3
360	B13	1層	6.3	4.6	1.1	52.3	454	C15	1層	6.7	10.2	1.9	179.6	15	T2	不明	7.4	3.9	1.6	89.1
364	B13	1層	7.0	5.5	2.0	114.7	455	C15	1層	8.6	4.3	2.0	96.7	1	T2	不明	6.9	5.1	1.8	99.5
367	B13	1層	7.1	6.3	1.5	101.8	461	C15	1層	7.3	5.8	1.2	109.8	2	TS	不明	5.8	4.4	0.9	50.4
369	B13	1層	5.3	4.9	1.1	58.9	470	C15	1層	6.9	5.0	1.2	89.2	14	H11年T	不明	5.0	2.9	1.2	37.9
383	B13	1層	6.7	6.4	2.4	141.9	473	C15	1層	9.0	7.4	2.6	233.6	4	不明	不明	7.0	3.8	1.9	96.6
384	B13	1層	7.5	6.0	2.0	99.9	376	D11	1層	6.2	6.1	2.0	105.0	5	不明	不明	5.5	3.8	1.1	46.9
399	B13	1層	6.4	4.9	2.1	108.8	380	D11	1層	9.2	5.1	1.9	139.2	713	不明	排土	6.8	5.3	1.6	84.7
400	B13	1層	7.4	5.7	2.1	121.3	479	D11	1層	4.7	4.3	1.8	52.1	714	不明	表土	6.7	5.2	1.5	83.3
403	B13	1層	6.6	5.0	1.8	91.8	371	D12	1層	9.9	6.1	1.9	143.0	7	不明	不明	8.4	7.0	2.2	258.7
480	B13	1層	5.4	6.4	1.7	86.2	372	D12	1層	8.1	5.1	2.6	161.0	8	不明	不明	4.6	3.8	1.2	48.9
353	B14	1層	7.3	5.8	2.3	141.5	389	D12	1層	5.4	5.4	1.5	62.2	9	不明	不明	4.1	4.2	1.4	41.5

第６表　林原遺跡出土土器集計表

遺構（1）

型式・器種	分類	DT1-1	DT1-2	DT1-3	DT2	DT3	DT4	DT5	DT6	DT7	DT8	SI01	SI01-SK1	SI01-SK2	SI02	焼土01	焼土02	焼土03	焼土04	焼土05	焼土08	焼土09	焼土10	焼土12	焼土13	焼土14	SK03	SK07	SK08	SK10	SK11	SK13	SK14	SK15	SK16	SK17	SK18	SK19
縄文時代早期																																					
菱根式																																					
縄文時代前期																																					
羽式																																					
西川津式			8	1		3																															
北白川下層1a式			1	2	2																																
北白川下層1b式				11					2																												
縄文時代中期																																					
船元Ⅲ式				4																												1					
里木Ⅱ・Ⅲ古段階																																					
里木Ⅱ・Ⅲ中段階																																					
里木Ⅱ・Ⅲ新段階				1					1																				1			4					
里木Ⅱ・Ⅲ古～中段階		19	52	4	10	2	3	4	11	42								1										1	4	2		58		2			
中期				46	2	1																						1				4					
縄文時代後期																																					
屈曲形有文深鉢	A類	3	11				1																														
屈曲形有文深鉢	B類	6	50	1		3	1	3	3	5						2																					
屈曲形有文深鉢	C１類	3				5		6	5	5																											
屈曲形有文深鉢	C２類	2			3			4		4											1			1													
屈曲形有文深鉢	C３ｉ類	1	2			2		2	2	6																											
屈曲形有文深鉢	C３ii類		3		2			6	1	3																											
屈曲形有文深鉢	D類	1	4		3						1	6	2																								
屈曲形有文深鉢	E類		6						1																												
屈曲形深鉢			38			1			1	3																											
屈曲形有文鉢		3	8		1	13		19	13	38	2	1	1																				1			
屈曲形無文鉢		1	19			3	3	12		2	1																										
屈曲形有文浅鉢		6	13		3	10	5	25	13	42	2	3	1							1				1	1									1		
屈曲形無文浅鉢		1	30		1	1	2	2	4	1	2																										
バケツ形有文浅鉢			6																																		
バケツ形無文浅鉢			2																																		
ボール形有文浅鉢			10		2		6	3	4	4	2	1	2																					1		
ボール形無文浅鉢		35	74	1	2	26	19	14	11	15	5	2	1			2											1									
皿形有文浅鉢			3			2				2																											
皿形無文浅鉢		13	33			5	2	6	2	6																											
砲弾形有文深鉢Ａ		8	27	1		1	4	6	1	5	1																										
砲弾形有文深鉢Ｂ			1		2			1			2	2	2																								
砲弾形無文深鉢	端部面取り	55	264	14	3	4	8	16	6	8		1															1			2			1				
砲弾形無文深鉢	端部丸	7	745		32	65	39	224	59	139	17	16	5	2		2	1					5				1						1	1	5	4		
砲弾形無文深鉢	端部先細り	22	36	17	17	39	2	26	39	34	3	21				1					1													1			
砲弾形無文鉢				4									2																								
壺形有文鉢		3	8	1		4	1	3	1	2	1																								1		
壺形無文鉢		1	1			1																													1		
底部	平底	135	333	19	15	33	24	77	39	85	1	12	5	1							1			2										1	1		
底部	凹底	14	13	1	4	8	4	14	8	12	2	2	1				1			1														1			
底部	高台底	5	20		2	1		3		2																								1			
底部	丸底	3	1																																		
底部	不明	24	284	4	5	2	2	60	30	49	1	1		2																				2		1	
器形不明　有文深鉢口縁		226	7		2				1	2																											
器形不明　有文浅鉢口縁		8			2		1	2																1													
器形不明　無文浅鉢口縁		88	5	13	10	60	18	71	34	3	4	5										2															
器形不明　有文深鉢胴部		32	215	10	10	13	6	88	36	149	278	10	4	1						1		1				8		1						2	2		
器形不明　無文深鉢胴部		1,860	9,366	391	321	1,033	560	2,631	519	1,754		410	75	59		43	28	7	29	33	18	40	10	6	18		7	18	9	7	6	11	12	120	48	3	5	10
器形不明　有文浅鉢胴部		11	50			4				299						1														1							
器形不明　無文浅鉢胴部		402	1,399	71	59	256	74	71	145	1	19	34	1	5		4		1	1			8		1			1							1	2		
橋状把手		1	2		1				1																												
権現山式古～新段階					1																																
宮滝式																																					
土製品		1						2																													
有孔円盤		1	2																																		
縄文時代晩期																																					
原田式																																					
晩期中葉						1				1																											
前池式～沢田式																																					
突帯文																																					
晩期後葉		4																																			
弥生時代																																					
弥生中期							4																														
弥生後期							4																														
弥生時代						1																															
古墳時代																																					
古墳時代後期・土師器		17						1							4																						
古墳時代後期・須恵器			141						1																												
中・近世																																					
中世磁器																																					
かわらけ																																					
その他（不明）		1	3	1		1		1	4	14														6													
合計		3,023	13,296	618	517	1,604	793	3,403	998	2,737	344	527	102	70	4	55	30	9	30	36	21	56	10	18	19	9	9	20	11	15	8	12	84	134	61	4	5	10

型式・器種　分類　DT1-1　DT1-2　DT1-3　DT2　DT3　DT4　DT5　DT6　DT7　DT8　SI01　SI01-SK1　SI01-SK2　SI02　焼土01　焼土02　焼土03　焼土04　焼土05　焼土08　焼土09　焼土10　焼土12　焼土13　焼土14　SK03　SK07　SK08　SK10　SK11　SK13　SK14　SK15　SK16　SK17　SK18　SK19

遺構（2）

型式・器種	分類	SK21	SK23	SK24	SK25	SK26	SK28	SK29	配石02	配石04	配石06	配石07	配石09	配石10	配石11	配石12	配石15	SR03	粘土2	Pit05	Pit10	Pit16	Pit34	Pit36	Pit38	Pit39	Pit40	Pit42	Pit45	Pit47	Pit48	Pit49	Pit50	Pit51	Pit53	Pit60	Pit61	Pit62
縄文時代早期																																					
夢根式																																					
縄文時代前期																																					
羽式																																					
西川津式													1																								
北白川下層1a式																																					
北白川下層1b式																																					
縄文時代中期																																					
船元Ⅲ式											1																										
里木Ⅱ・Ⅲ古段階																																					
里木Ⅱ・Ⅲ中段階																																					
里木Ⅱ・Ⅲ新段階																																					
里木Ⅱ・Ⅲ古～中段階													1													1											
中期																																					
縄文時代後期																																					
屈曲形有文深鉢	A類																																				
屈曲形有文深鉢	B類																																				
屈曲形有文深鉢	C１類																																				
屈曲形有文深鉢	C２類										1		1																								
屈曲形有文深鉢	C３ｉ類																																				
屈曲形有文深鉢	C３ii類																																				
屈曲形有文深鉢	D類									2																											
屈曲形有文深鉢	E類																																				
屈曲形深鉢																																					
屈曲形有文鉢											1																										
屈曲形無文鉢										1			2																								
屈曲形有文浅鉢																			1																		
屈曲形無文浅鉢																																					
バケツ形有文浅鉢																																					
バケツ形無文浅鉢																																					
ボール形有文浅鉢										2	1		1																								
ボール形無文浅鉢										1			1																								
皿形有文浅鉢																																					
皿形無文浅鉢																																					
砲弾形有文深鉢A																																					
砲弾形有文深鉢B																																					
砲弾形無文深鉢	端部面取り									1					2								1														
砲弾形無文深鉢	端部丸									7		3	3					1		1										1				2	1		1
砲弾形無文深鉢	端部先細り									2	6		4																								
砲弾形無文鉢																																					
壺形有文鉢										1																											
壺形無文鉢										1			1																								
底部	平底									7	1																							1			
底部	凹底									3		2														1		1									
底部	高台底																																				
底部	丸底																																				
底部	不明									4	1		1					2						1													
器形不明　有文深鉢口縁										1							1																				
器形不明　有文浅鉢口縁																																		1		1	
器形不明　無文浅鉢口縁			1							2	1	3	1					2																1			
器形不明　有文深鉢胴部	1	4								5			2				16														4						
器形不明　無文深鉢胴部	15		3	1	3	1	3	4	220	66	40			4	2		25	26			7	5	3			23	2	3	1	3		2	3		1	3	3	19
器形不明　有文浅鉢胴部														1										1													
器形不明　無文浅鉢胴部	4							1	5	4	2	14						21	2					5	3	2											3
橋状把手																																					
塚見山式古～新段階																																					
宮滝式																																					
土製品																																					
有孔円盤																																					
縄文時代晩期																																					
原田式																																					
晩期中葉														1				2																			
前池式～沢田式																																					
突帯文																		2																			1
晩期後葉																																					
弥生時代																																					
弥生中期																																					
弥生後期																		1																			
弥生時代																																					
古墳時代																																					
古墳時代後期・土師器																																					
古墳時代後期・須恵器																																					
中・近世																																					
中世磁器																																					
かわらけ																																					
その他（不明）																																					
合計		20	4	4	1	3	1	3	5	265	83	50	33	1	7	2	17	56	29	1	7	5	4	7	3	27	2	4	1	3	5	2	3	2	4	5	3	24
型式・器種	分類	SK21	SK23	SK24	SK25	SK26	SK28	SK29	配石02	配石04	配石06	配石07	配石09	配石10	配石11	配石12	配石15	SR03	粘土2	Pit05	Pit10	Pit16	Pit34	Pit36	Pit38	Pit39	Pit40	Pit42	Pit45	Pit47	Pit48	Pit49	Pit50	Pit51	Pit53	Pit60	Pit61	Pit62

遺構（3）

型式・器種	分類	Pit63	Pit64	Pit65	Pit66	Pit77	Pit78	Pit79	Pit111	Pit195	Pit199	Pit200	Pit205	Pit206	Pit208	Pit211	Pit212	Pit214	Pit216	Pit219	Pit223	Pit224	Pit225	Pit226	Pit228	Pit233	Pit245	Pit246	Pit250	Pit251	Pit259	トレンチ1	トレンチ5	T-27	合計
縄文時代早期																																			
菱根式																																			
縄文時代前期																																			
羽式																																			
西川津式																																			13
北白川下層1a式																																			5
北白川下層1b式																																			13
縄文時代中期																																			
船元Ⅲ式																																			6
里木Ⅱ・Ⅲ古段階																																			
里木Ⅱ・Ⅲ中段階																																			
里木Ⅱ・Ⅲ新段階																																			7
里木Ⅱ・Ⅲ古～中段階																																			217
中期																																			54
縄文時代後期																																			
屈曲形有文深鉢	A類																							1											16
屈曲形有文深鉢	B類																																		74
屈曲形有文深鉢	C１類																																		24
屈曲形有文深鉢	C２類																																		17
屈曲形有文深鉢	C３ｉ類																																		15
屈曲形有文深鉢	C３ii類																																		15
屈曲形有文深鉢	D類																																		19
屈曲形有文深鉢	E類																																		7
屈曲形深鉢																																			43
屈曲形有文鉢																																			101
屈曲形無文鉢																																			44
屈曲形有文浅鉢																																			128
屈曲形無文浅鉢																																			44
バケツ形有文浅鉢																																			6
バケツ形無文浅鉢																																			2
ボール形有文浅鉢																																			39
ボール形無文浅鉢																																			210
皿形有文浅鉢																																			7
皿形無文浅鉢																																			67
砲弾形有文深鉢A																																			54
砲弾形有文深鉢B																																			10
砲弾形無文深鉢	端部面取り	1	1	1	1																				1	1							1		394
砲弾形無文深鉢	端部丸	1	1				1																					1						2	1,396
砲弾形無文深鉢	端部先細り																																		271
砲弾形無文鉢																																			6
壺形有文鉢																																			26
壺形無文鉢																																			6
底部	平底																																		793
底部	凹底													1																				1	95
底部	高台底																																		34
底部	丸底																																		4
底部	不明		1				1																1												479
器形不明　有文深鉢口縁																																			240
器形不明　有文浅鉢口縁				1																															17
器形不明　無文浅鉢口縁																																			324
器形不明　有文深鉢胴部		1																				1													901
器形不明　無文深鉢胴部		11	7	2	2	3	5	1	18	3	3	3	1		16	9	9	1	17	8	1	6	3			7	2	6	2	3	20			21	20,148
器形不明　有文浅鉢胴部																																			368
器形不明　無文浅鉢胴部							3																												2,625
橋状把手																																			5
権現山式古～新段階																																		1	2
宮滝式																																			
土製品																																			3
有孔円盤																																			3
縄文時代晩期																																			
原田式																																			
晩期中葉																																			5
前池式～沢田式																																			
突帯文																																			3
晩期後葉																																			4
弥生時代																																			
弥生中期																																			4
弥生後期																																			5
弥生時代																																			1
古墳時代																																			
古墳時代後期・土師器																																1			23
古墳時代後期・須恵器																																1			143
中・近世																																			
中世磁器																																			
かわらけ																																			
その他（不明）																																			31
合計		14	10	4	3	3	10	1	18	3	3	3	1	1	16	9	9	1	17	8	1	7	4	1	1	8	2	7	2	3	20	2	1	25	29,616
型式・器種	分類	Pit63	Pit64	Pit65	Pit66	Pit77	Pit78	Pit79	Pit111	Pit195	Pit199	Pit200	Pit205	Pit206	Pit208	Pit211	Pit212	Pit214	Pit216	Pit219	Pit223	Pit224	Pit225	Pit226	Pit228	Pit233	Pit245	Pit246	Pit250	Pit251	Pit259	トレンチ1	トレンチ5	T-27	合計

1ａ層

型式・器種	分類	B11	C10	C11	C12	D10	D11	D12	E9	E10	E11	F9	F10	F11	F12	G7	G8	G9	G10	G12	H6	H7	H8	H9	H10	I5	I6	I7	I8	合計
縄文時代早期																														
菱根式																														
縄文時代前期																														
羽式																														
西川津式																														
北白川下層1a式				1		1														1										3
北白川下層1b式		2																												2
縄文時代中期																														
船元Ⅲ式				2																										2
里木Ⅱ・Ⅲ古段階																														
里木Ⅱ・Ⅲ中段階																														
里木Ⅱ・Ⅲ新段階																														
里木Ⅱ・Ⅲ古～中段階		9		9	1	5				2						1			3											30
中期				1																										1
縄文時代後期																														
屈曲形有文深鉢	Ａ類																													
屈曲形有文深鉢	Ｂ類			2		1	2															1								6
屈曲形有文深鉢	Ｃ１類																													
屈曲形有文深鉢	Ｃ２類			1		1				1						1														4
屈曲形有文深鉢	Ｃ３ｉ類																													
屈曲形有文深鉢	Ｃ３ii類			1																										1
屈曲形有文深鉢	Ｄ類			1														1												2
屈曲形有文深鉢	Ｅ類															1														1
屈曲形深鉢										1			1				1													3
屈曲形有文鉢		1											1																	2
屈曲形無文鉢				2																										2
屈曲形有文浅鉢		2		4						1		1			1															9
屈曲形無文浅鉢																														
バケツ形有文浅鉢																														
バケツ形無文浅鉢																														
ボール形有文浅鉢				1																										1
ボール形無文浅鉢		4				3			2								1													10
皿形有文浅鉢																														
皿形無文浅鉢		2		1		3				1																				7
砲弾形有文深鉢Ａ				1			1			2																				4
砲弾形有文深鉢Ｂ				2																										2
砲弾形無文深鉢	端部面取り	4		1		10	5			8	1		3		1	2	1		3		1	1				1			1	43
砲弾形無文深鉢	端部丸	15	2	27		18	11		3	43	5	4	5	5	2	4	2	4	3		1	8	4							166
砲弾形無文深鉢	端部先細り	11		2		7				11	1	1									1					2				36
砲弾形無文鉢																														
壺形有文鉢				1																										1
壺形無文鉢				1																										1
底部	平底	1		9		5			1	8	2		2	4	1	1	1									2	2			39
底部	凹底			6						1			2			1	3			1										14
底部	高台底			3								2		1																6
底部	丸底																													
底部	不明	13		33		8	2		1	17	2	2	4				4		2			4	3					3		98
器形不明　有文深鉢口縁		2								2	1					1	5	1	1			2								15
器形不明　有文浅鉢口縁		3		6		1				4		3	1									1								19
器形不明　無文浅鉢口縁		10		6		8			2	24		4	12			1		1	3		1	4	4					1		81
器形不明　有文深鉢胴部		11	6	5		3	5		2	12			3	2		4		2	5	1	56		2			2				121
器形不明　無文深鉢胴部		440	18	44	9	410	190		48	635	37	137	304	20	13	56	208	78	47	52		100	50	4	1	100	28	33	21	3,083
器形不明　有文浅鉢胴部		4		3		6				1		26	3									26								69
器形不明　無文浅鉢胴部		41	8	105		36	15			120			72	11	2		5	18	10	7			9			22	6	5		492
橋状把手										2																				2
権現山式古～新段階											1					1	2					1								5
宮滝式																														
土製品																														
有孔円盤										1																				1
縄文時代晩期																														
原田式																														
晩期中葉		1			1		1			1			3								1									8
前池式～沢田式													3				1	1					1				2			8
突帯文																														
晩期後葉												2														1				3
弥生時代																														
弥生中期																														
弥生後期																														
弥生時代																											1			1
古墳時代																														
古墳時代後期・土師器								1		3			36				3	36	2		1		5					2		89
古墳時代後期・須恵器				1			1						5	1	1		2	6	1	1	1		8			6		3		37
中・近世																														
中世磁器																														
かわらけ																														
その他（不明）																	1													1
合計		576	34	282	11	526	233	1	59	901	50	182	460	44	21	74	240	148	80	63	63	148	86	4	1	136	39	47	22	4,531

型式・器種	分類	B11	C10	C11	C12	D10	D11	D12	E9	E10	E11	F9	F10	F11	F12	G7	G8	G9	G10	G12	H6	H7	H8	H9	H10	I5	I6	I7	I8	合計

層位不明

型式・器種	分類	T1·3·4·5	T24·25·26	T-27	T-28	調査区外	排土	層不明	合計
縄文時代早期									
菱根式							1		1
縄文時代前期									
羽式									
西川津式									
北白川下層1a式									
北白川下層1b式									
縄文時代中期									
船元Ⅲ式									
里木Ⅱ・Ⅲ古段階									
里木Ⅱ・Ⅲ中段階									
里木Ⅱ・Ⅲ新段階									
里木Ⅱ・Ⅲ古～中段階								1	1
中期									
縄文時代後期									
屈曲形有文深鉢	Ａ類								
屈曲形有文深鉢	Ｂ類		1						1
屈曲形有文深鉢	Ｃ１類								
屈曲形有文深鉢	Ｃ２類						1		1
屈曲形有文深鉢	Ｃ３ｉ類								
屈曲形有文深鉢	Ｃ３ii類		1						1
屈曲形有文深鉢	Ｄ類	1	1						2
屈曲形有文深鉢	Ｅ類								
屈曲形深鉢			2						2
屈曲形有文鉢									
屈曲形無文鉢									
屈曲形有文浅鉢							1		1
屈曲形無文浅鉢									
バケツ形有文浅鉢									
バケツ形無文浅鉢									
ボール形有文浅鉢									
ボール形無文浅鉢			3	1			1		5
皿形有文浅鉢									
皿形無文浅鉢									
砲弾形有文深鉢Ａ								1	1
砲弾形有文深鉢Ｂ									
砲弾形無文深鉢	端部面取り	3	1				7		11
砲弾形無文深鉢	端部丸	12	7				13	6	38
砲弾形無文深鉢	端部先細り		3		2		9	5	19
砲弾形無文鉢									
壺形有文鉢							1		1
壺形無文鉢							1		1
底部	平底	7					11	2	20
底部	凹底	2	1	2			3	2	10
底部	高台底		3						3
底部	丸底								
底部	不明	5	3	1		1	7	2	19
器形不明　有文深鉢口縁		1			2				3
器形不明　有文浅鉢口縁		1	1				6		8
器形不明　無文浅鉢口縁		10	3		1		9	3	26
器形不明　有文深鉢胴部		4	3				11	5	23
器形不明　無文深鉢胴部		385	317	48	15	25	409	59	1,258
器形不明　有文浅鉢胴部				1			2		3
器形不明　無文浅鉢胴部		20	31	9	2		29	10	101
橋状把手									
権現山式古～新段階		1		3					4
宮滝式					1				1
土製品									
有孔円盤									
縄文時代晩期									
原田式							3		3
晩期中葉				3					3
前池式～沢田式					1				1
突帯文							3		3
晩期後葉									
弥生時代									
弥生中期					1				1
弥生後期									
弥生時代				13			13		26
古墳時代									
古墳時代後期・土師器		86		14			52	1	153
古墳時代後期・須恵器		11		1	2	32	37		83
中・近世									
中世磁器									
かわらけ					1				1
その他（不明）							128		128
合計		549	381	96	28	58	758	97	1,967

型式・器種	分類	T1·3·4·5	T24·25·26	T-27	T-28	調査区外	排土	層不明	合計

１ｂ層

型式・器種	分類	C10	C11	C12	D9	D10	D11	E9	E10	F9	F10	G8	G9	合計
縄文時代早期														
菱根式														
縄文時代前期														
羽式														
西川津式										3				3
北白川下層1a式														
北白川下層1b式														
縄文時代中期														
船元Ⅲ式			1											1
里木Ⅱ・Ⅲ古段階														
里木Ⅱ・Ⅲ中段階														
里木Ⅱ・Ⅲ新段階											2			2
里木Ⅱ・Ⅲ古～中段階				10						1				11
中期							3							3
縄文時代後期														
屈曲形有文深鉢	Ａ類													
屈曲形有文深鉢	Ｂ類													
屈曲形有文深鉢	Ｃ１類													
屈曲形有文深鉢	Ｃ２類													
屈曲形有文深鉢	Ｃ３ⅰ類													
屈曲形有文深鉢	Ｃ３ⅱ類													
屈曲形有文深鉢	Ｄ類													
屈曲形有文深鉢	Ｅ類													
屈曲形深鉢							2							2
屈曲形有文鉢														
屈曲形無文鉢														
屈曲形有文浅鉢												1		1
屈曲形無文浅鉢														
バケツ形有文浅鉢														
バケツ形無文浅鉢							3							3
ボール形有文浅鉢														
ボール形無文浅鉢							3							3
皿形有文浅鉢														
皿形無文浅鉢						1								1
砲弾形有文深鉢Ａ														
砲弾形有文深鉢Ｂ														
砲弾形無文深鉢	端部面取り					3	2							5
砲弾形無文深鉢	端部丸			1	1	8					10			20
砲弾形無文深鉢	端部先細り	1		1			13				1			16
砲弾形無文鉢														
壺形有文鉢														
壺形無文鉢														
底部	平底						1		1					2
底部	凹底													
底部	高台底													
底部	丸底													
底部	不明										2			2
器形不明　有文深鉢口縁							1				2		1	4
器形不明　有文浅鉢口縁							8		2	1				11
器形不明　無文浅鉢口縁						3	36				3		1	43
器形不明　有文深鉢胴部				3		2				1	3		1	10
器形不明　無文深鉢胴部			801	48	9	93	81	3	6	31	231	20	20	1,343
器形不明　有文浅鉢胴部											35			35
器形不明　無文浅鉢胴部				4		2	30		10	1		1		48
橋状把手														
権現山式古～新段階														
宮滝式														
土製品														
有孔円盤														
縄文時代晩期														
原田式											1			1
晩期中葉														
前池式～沢田式														
突帯文														
晩期後葉														
弥生時代														
弥生中期														
弥生後期														
弥生時代														
古墳時代														
古墳時代後期・土師器														
古墳時代後期・須恵器														
中・近世														
中世磁器														
かわらけ														
その他（不明）														
合計		1	802	67	10	112	183	3	19	38	290	22	23	1,570
型式・器種	分類	C10	C11	C12	D9	D10	D11	E9	E10	F9	F10	G8	G9	合計

１ｃ層

型式・器種	分類	C10	C11	C12	D10	D11	E9	E10	E11	E12	F9	F10	F11	G8	G9	G10	G11	G12	G13	合計
縄文時代早期																				
菱根式																				
縄文時代前期																				
羽式			1																	1
西川津式																				
北白川下層1a式																				
北白川下層1b式									1											1
縄文時代中期																				
船元Ⅲ式																	1			1
里木Ⅱ・Ⅲ古段階			1																	1
里木Ⅱ・Ⅲ中段階																				
里木Ⅱ・Ⅲ新段階																				
里木Ⅱ・Ⅲ古～中段階	2	19	5								1									27
中期																				
縄文時代後期																				
屈曲形有文深鉢	Ａ類																			
屈曲形有文深鉢	Ｂ類																			
屈曲形有文深鉢	Ｃ１類																			
屈曲形有文深鉢	Ｃ２類																			
屈曲形有文深鉢	Ｃ３ⅰ類																			
屈曲形有文深鉢	Ｃ３ⅱ類																			
屈曲形有文深鉢	Ｄ類																			
屈曲形有文深鉢	Ｅ類																			
屈曲形深鉢																				
屈曲形有文鉢																				
屈曲形無文鉢			1																	1
屈曲形有文浅鉢																				
屈曲形無文浅鉢																				
バケツ形有文浅鉢																				
バケツ形無文浅鉢																				
ボール形有文浅鉢																				
ボール形無文浅鉢																				
皿形有文浅鉢																				
皿形無文浅鉢																				
砲弾形有文深鉢Ａ			1																	1
砲弾形有文深鉢Ｂ																				
砲弾形無文深鉢	端部面取り		4					1												5
砲弾形無文深鉢	端部丸		2				1	6		2					2					13
砲弾形無文深鉢	端部先細り							2		1										3
砲弾形無文鉢																				
壺形有文鉢																				
壺形無文鉢																				
底部	平底							1												1
底部	凹底																			
底部	高台底																			
底部	丸底																			
底部	不明		1																	1
器形不明　有文深鉢口縁			1					1												2
器形不明　有文浅鉢口縁																				
器形不明　無文浅鉢口縁								3		1										4
器形不明　有文深鉢胴部								4			1									5
器形不明　無文深鉢胴部	10	170	27	10		6	104		46		11	2	10	9	1		10	2	418
器形不明　有文浅鉢胴部																				
器形不明　無文浅鉢胴部	4	14	1				14							1						34
橋状把手																				
権現山式古～新段階																				
宮滝式																				
土製品																				
有孔円盤																				
縄文時代晩期																				
原田式																				
晩期中葉																				
前池式～沢田式																				
突帯文																				
晩期後葉																				
弥生時代																				
弥生中期																				
弥生後期																				
弥生時代																				
古墳時代																				
古墳時代後期・土師器																				
古墳時代後期・須恵器																				
中・近世																				
中世磁器																				
かわらけ																				
その他（不明）																				
合計	16	215	33	10	1	6	136	1	50	1	12	2	10	12	1	1	10	2	519
型式・器種	分類	C10	C11	C12	D10	D11	E9	E10	E11	E12	F9	F10	F11	G8	G9	G10	G11	G12	G13	合計

1層

型式・器種	分類	A11	A12	A13	A14	A15	B12	B13	B14	B15	B16	C10	C11	C12	C13	C14	C15	D11	D12	D13	D14	E11	E12	E13	E14	E15	F11	F12	F13	F14	F15	G8	G9	G10	G11	G12	G13	G14	H9	合計
縄文時代早期																																								
菱根式																																								
縄文時代前期																																								
鼻式																																								
西川津式				1																	1															1			3
北白川下層1a式																																								
北白川下層1b式												2		1						1																					4
縄文時代中期																																								
船元Ⅲ式																											1													1
里木Ⅱ・Ⅲ古段階																																								
里木Ⅱ・Ⅲ中段階																																								
里木Ⅱ・Ⅲ新段階									2						7								2																	11
里木Ⅱ・Ⅲ古～中段階													8	11				15	27			5					1													67
中期																																								
縄文時代後期																																								
屈曲形有文深鉢	A類						2																													1				3
屈曲形有文深鉢	B類				1		1	2	4	5							3				1	1	2				1	1								3				25
屈曲形有文深鉢	C１類																						1														1			2
屈曲形有文深鉢	C２類						3			1							1		2				9		1															17
屈曲形有文深鉢	C３ｉ類							1														1	1																	3
屈曲形有文深鉢	C３ii類			1													1		1																					3
屈曲形有文深鉢	D類							1		3																		1	2												7
屈曲形有文深鉢	E類																																							
屈曲形深鉢																	1	1	1						4		1													8
屈曲形有文鉢				5	4			3		2							2						3																	19
屈曲形無文鉢										1													3														2			6
屈曲形有文浅鉢				7	3		1	2		1									2			1	10		1		5													33
屈曲形無文浅鉢			1	2	1		1							1				1	1																	1				9
バケツ形有文浅鉢																																								
バケツ形無文浅鉢																																								
ボール形有文浅鉢				1	1					2																														4
ボール形無文浅鉢				2	1		1		2	1								9	1			3															1			21
皿形有文浅鉢																		1																						1
皿形無文浅鉢																			2																					2
砲弾形有文深鉢Ａ								1	1	1							1										2		1											7
砲弾形有文深鉢Ｂ				1															1					1					1										4
砲弾形無文深鉢	端部面取り		2	10			2	4	3	12	1						10	1	3			2	7				2	6	2				3			6	1	9		86
砲弾形無文深鉢	端部丸		16	40	30		23	34	40	56			7	7	1	2	27	14	45	1		11	97	9			13	53	16	4				2	15	8	5		576
砲弾形無文深鉢	端部先細り		7	12	3		10	7	5	6					1		6		17			4	20			1	2	7	4	2			4		2				1	121
砲弾形無文鉢																																								
壺形有文鉢																																								
壺形無文鉢									1													1																		2
底部	平底		7	14	16	2	4	8	6	30				1			10	6	13			11	41	7			10	1	3	5					4	5	2	3		209
底部	凹底			5	2		5		2	5			1				2	3	2			4	8			1	1			1					4	1	1	1		49
底部	高台底		2															2				1					1	3											9
底部	丸底																						1					4											5
底部	不明			11	5		5	9	7	12			1		1	1	9	4	23				22	4	10			19	3	2				1		12		5		166
器形不明　有文深鉢口縁				1					2					1	1				5					8			2	1				2	2						25
器形不明　有文浅鉢口縁			5							6	1		1				1	2	2			6	2	2			2			2										32
器形不明　無文浅鉢口縁				29	18	1	18	26	25	40	1		4	3		2	17	2	24		2	18	44	2	6	2	13	30	12	11	1		4	3	2	9	1	6		376
器形不明　有文深鉢胴部				6	1				1	29			2			1	8	10	46			14	22	3	6	2	15	5	4	6						6	3			190
器形不明　無文深鉢胴部		19	357	870	580	43	527	530	430	1,714	15	1	105	80	36	121	500	361	926	22	8	794	790	157	270	7	177	702	89	265	36	7	66	41	99	454	170	290	3	11,662
器形不明　有文浅鉢胴部			24	2	36		2			1					8		4	1				16	22	1	21		3	48		3				1		68	1	1		263
器形不明　無文浅鉢胴部				32		5	47	66	25	162	4		15	20			57	11			5	70	131	19			43	16	42				12	10	16	10	26	8		852
橋状把手																																								
権現山式古～新段階										1									2				1							1						2				7
宮滝式										1																														1
土製品																											1												1
有孔円盤								1		1																														2
縄文時代晩期																																								
原田式								1																												5	1			7
晩期中葉				1	1					3												1	3		1		1	3						1	1	2				18
前池式～沢田式										1																	1	2	1							3	1			9
突帯文										1							1																1							3
晩期後葉																																		1	3	6			10
弥生時代																																								
弥生中期					2				1																										3				6
弥生後期					5			4	5	2							1																							17
弥生時代				7	24	1	4		14					1																										51
古墳時代																																								
古墳時代後期・土師器				1	4	1		1	2	33													1				9	3					19		18	96	8	1		197
古墳時代後期・須恵器							1			1																	4	1	1				5	5	12	14	2	3		49
中・近世																																								
中世磁器																																								
かわらけ																																								
その他（不明）			11										1																	1						2				15
合計		19	432	1,061	738	53	657	701	576	2,136	22	3	145	126	55	127	662	444	1,146	24	17	964	1,241	207	328	13	307	909	180	305	37	7	116	64	161	719	235	335	4	15,276

| 型式・器種 | 分類 | A11 | A12 | A13 | A14 | A15 | B12 | B13 | B14 | B15 | B16 | C10 | C11 | C12 | C13 | C14 | C15 | D11 | D12 | D13 | D14 | E11 | E12 | E13 | E14 | E15 | F11 | F12 | F13 | F14 | F15 | G8 | G9 | G10 | G11 | G12 | G13 | G14 | H9 | 合計 |

第７表　林原遺跡出土石器集計表

		原石		石核		剥片・チップ		石鏃		石錐		SC		抉入石器		N		釣針形石器		RF		UF		楔形石器		剥片石器合計		打製石斧		磨製石斧		石錘		磨石・敲石類		石皿		砥石・不明		礫石器合計		合計	
		点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
DT1-1	黒曜石					22	13.2	1	0.7	2	6.0					1	3.3			1	1.0	1	0.8	2	9.3	31	34.3													0	0.0	31	34.3
	サヌカイト					35	58.7	9	4.3	2	3.6					1	3.0							1	5.7	48	75.3	1	99.2											1	99.2	49	174.5
	安山岩					4	67.4					2	563.7											1	3.5	7	634.6													0	0.0	7	634.6
	水晶					1	1.1															1	3.3			2	4.4													0	0.0	2	4.4
	その他の石材					1	2.0																			1	2.0	4	676.1	3	272.6	69	6383.9	2	1180.4					78	8513.0	79	8515.0
	合計	0	0.0	0	0.0	63	142.4	10	5.0	4	9.6	2	563.7	0	0.0	2	6.3	0	0.0	1	1.0	2	4.1	4	18.5	89	750.6	5	775.3	3	272.6	69	6383.9	2	1180.4	0	0.0	0	0.0	79	8612.2	168	9362.8
DT1-2	黒曜石			1	14.6	74	57.9	5	4.5	2	0.7					1	0.5					3	8.2	3	7.0	89	93.4													0	0.0	89	93.4
	サヌカイト					76	90.6	9	6.5	1	1.9			1	8.3			1	4.8	3	12.0			9	31.0	103	155.1													0	0.0	103	155.1
	安山岩					10	56.2													1	2.7					12	58.9													0	0.0	12	58.9
	水晶					4	4.1					1	3.3													5	7.4					1	69.5							1	69.5	6	76.9
	その他の石材																									0	0.0			2	423.7	108	9859.2	2	2653.0	3	9971.0			115	22906.9	115	22906.9
	合計	0	0.0	1	14.6	164	208.8	14	11.0	3	2.6	1	3.3	1	8.3	1	0.5	1	4.8	4	14.7	3	8.2	12	38.0	209	314.8	0	0.0	2	423.7	109	9928.7	2	2653.0	3	9971.0	0	0.0	116	22976.4	325	23291.2
DT1-3	黒曜石					4	2.1	1	0.4																	5	2.5													0	0.0	5	2.5
	サヌカイト					1	0.2							2	48.5											3	48.7													0	0.0	3	48.7
	安山岩																									0	0.0													0	0.0	0	0.0
	水晶																									0	0.0													0	0.0	0	0.0
	その他の石材																									0	0.0													0	0.0	0	0.0
	合計	0	0.0	0	0.0	5	2.3	1	0.4	0	0.0	0	0.0	2	48.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	51.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	51.2
DT2	黒曜石					2	0.7																			2	0.7													0	0.0	2	0.7
	サヌカイト					2	0.4																			2	0.4													0	0.0	2	0.4
	安山岩																									0	0.0													0	0.0	0	0.0
	水晶																									0	0.0													0	0.0	0	0.0
	その他の石材					1	1.6																			1	1.6					16	1840.9							16	1840.9	17	1842.5
	合計	0	0.0	0	0.0	5	2.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	2.7	0	0.0	0	0.0	16	1840.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	16	1840.9	21	1843.6
DT3	黒曜石					14	17.4	1	1.8															4	27.5	19	46.7													0	0.0	19	46.7
	サヌカイト					3	5.3	4	5.7	1	0.9	2	5.5													10	17.4													0	0.0	10	17.4
	安山岩																									0	0.0													0	0.0	0	0.0
	水晶																									0	0.0													0	0.0	0	0.0
	その他の石材																									0	0.0					6	701.0					1	22.3	7	723.3	7	723.3
	合計	0	0.0	0	0.0	17	22.7	5	7.5	1	0.9	2	5.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	27.5	29	64.1	0	0.0	0	0.0	6	701.0	0	0.0	0	0.0	1	22.3	7	723.3	36	787.4
DT4	黒曜石			1	2.1	9	6.7	1	0.4																	11	9.2													0	0.0	11	9.2
	サヌカイト					3	3.8																	1	3.4	4	7.2													0	0.0	4	7.2
	安山岩																									0	0.0													0	0.0	0	0.0
	水晶																									0	0.0													0	0.0	0	0.0
	その他の石材																									0	0.0			1	135.8	5	654.7							6	790.5	6	790.5
	合計	0	0.0	1	2.1	12	10.5	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.4	15	16.4	0	0.0	1	135.8	5	654.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	790.5	21	806.9
DT5	黒曜石					8	11.3	1	0.6	1	2.5											2	3.5	3	6.2	15	24.1													0	0.0	15	24.1
	サヌカイト			1	7.5	3	2.3	3	3.3	1	2.5									1	2.1			1	1.4	11	19.1													0	0.0	11	19.1
	安山岩			1	487.2							1	207.9													2	695.1													0	0.0	2	695.1
	水晶																									0	0.0													0	0.0	0	0.0
	その他の石材																									0	0.0			1	167.0	60	6733.5	6	3070.6	3	5667.4			70	15638.5	70	15638.5
	合計	0	0.0	2	494.7	11	13.6	4	3.9	2	5.0	1	207.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.1	2	3.5	4	7.6	28	738.3	0	0.0	1	167.0	60	6733.5	6	3070.6	3	5667.4	0	0.0	70	15638.5	98	16376.8
DT6	黒曜石			1	5.6	11	3.2	2	1.0									1	3.8					1	1.0	16	14.6													0	0.0	16	14.6
	サヌカイト					10	10.0	2	1.6					2	15.1											14	26.7													0	0.0	14	26.7
	安山岩																									0	0.0	1	427.1									1	427.1	1	427.1
	水晶																									0	0.0													0	0.0	0	0.0
	その他の石材			1	2.8																					1	2.8			2	448.2	12	1367.2			1	4600.0			15	6415.4	16	6418.2
	合計	0	0.0	2	8.4	21	13.2	4	2.6	0	0.0	0	0.0	2	15.1	0	0.0	1	3.8	0	0.0	0	0.0	1	1.0	31	44.1	1	427.1	2	448.2	12	1367.2	0	0.0	1	4600.0	0	0.0	16	6842.5	47	6886.6
DT7	黒曜石					70	61.6	2	0.8	3	5.6					1	4.4					3	12.0	7	50.5	86	134.9													0	0.0	86	134.9
	サヌカイト			1	5.7	21	25.4	6	3.4	2	3.5			1	7.9											31	45.9													0	0.0	31	45.9
	安山岩					1	0.3																			1	0.3													0	0.0	1	0.3
	水晶																									0	0.0													0	0.0	0	0.0
	その他の石材			1	612.2	1	1.0																			2	613.2	1	704.2			83	9201.8	3	1663.6	4	26323.5			91	37893.1	93	38506.3
	合計	0	0.0	2	617.9	93	88.3	8	4.2	5	9.1	0	0.0	1	7.9	1	4.4	0	0.0	0	0.0	3	12.0	7	50.5	120	794.3	1	704.2	0	0.0	83	9201.8	3	1663.6	4	26323.5	0	0.0	91	37893.1	211	38687.4
DT8	黒曜石					12	2.7			1	1.0									3	4.3	1	1.5	1	1.4	21	10.9													0	0.0	21	10.9
	サヌカイト					4	0.5					1	4.2													5	4.7													0	0.0	5	4.7
	安山岩					3	1.6																			3	1.6													0	0.0	3	1.6
	水晶																									0	0.0													0	0.0	0	0.0
	その他の石材																									0	0.0													0	0.0	0	0.0
	合計	0	0.0	0	0.0	19	4.8	0	0.0	1	1.0	1	4.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	4.3	1	1.5	1	1.4	29	17.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	29	17.2

		原石		石核		剥片・チップ		石鏃		石錐		SC		抉入石器		N		釣針形石器		RF		UF		楔形石器		剥片石器合計		打製石斧		磨製石斧		石錘		磨石・敲石類		石皿		砥石・不明		礫石器合計		合計	
		点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
SS1	黒曜石					24	17.2	1	0.2											1	0.7			1	0.7	28	18.8											0	0.0	28	18.8
	サヌカイト					28	19.1	1	0.3											2	6.7			1	1.6	34	27.7											0	0.0	34	27.7
	安山岩					4	1.7																			4	1.7											0	0.0	4	1.7
	水晶					1	1.6																			1	1.6											0	0.0	1	1.6
	その他の石材																									0	0.0											0	0.0	0	0.0
	合計	0	0.0	0	0.0	57	39.6	2	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	7.4	0	0.0	2	2.3	67	49.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	67	49.8
SS2	黒曜石					8	2.9																			8	2.9											0	0.0	8	2.9
	サヌカイト					10	4.4													1	0.7			4	10.3	16	15.4											0	0.0	16	15.4
	安山岩					3	5.3																			3	5.3											0	0.0	3	5.3
	水晶																									0	0.0											0	0.0	0	0.0
	その他の石材					1	4.7																			1	4.7											0	0.0	1	4.7
	合計	0	0.0	0	0.0	22	17.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.7	0	0.0	4	10.3	28	28.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	28	28.3
SS3	黒曜石					9	1.6	1	0.6																	10	2.2											0	0.0	10	2.2
	サヌカイト					14	14.2	1	0.2															3	6.2	18	20.6											0	0.0	18	20.6
	安山岩					1	0.5																			1	0.5											0	0.0	1	0.5
	水晶																									0	0.0											0	0.0	0	0.0
	その他の石材																									0	0.0											0	0.0	0	0.0
	合計	0	0.0			24	16.3	2	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	6.2	29	23.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	29	23.3
1a層	黒曜石			2	9.9	20	17.1	1	1.1													1	0.5	1	2.1	25	30.7											0	0.0	25	30.7
	サヌカイト			2	46.4	51	87.2	7	5.9					1	3.3					3	4.5			3	6.7	70	154.0											0	0.0	70	154.0
	安山岩					5	48.0																			5	48.0											0	0.0	5	48.0
	水晶					8	35.7																			8	35.7											0	0.0	8	35.7
	その他の石材																					1	14.6			1	14.6	2	170.6	3	551.9	30	2815.3	4	2302.9	2	10500.0	1	66.3	42	16407.0	43	16421.6
	合計	0	0.0	4	56.3	84	188.0	8	7.0	0	0.0	0	0.0	1	3.3	0	0.0	0	0.0	3	4.5	2	15.1	4	8.8	109	283.0	2	170.6	3	551.9	30	2815.3	4	2302.9	2	10500.0	1	66.3	42	16407.0	151	16690.0
1b層	黒曜石					11	7.8			1	3.5	1	3.2											1	6.1	14	20.6											0	0.0	14	20.6
	サヌカイト					13	20.3																			13	20.3											0	0.0	13	20.3
	安山岩																									0	0.0											0	0.0	0	0.0
	水晶																									0	0.0											0	0.0	0	0.0
	その他の石材																									0	0.0					58	5325.9			1	2500.0			59	7825.9	59	7825.9
	合計	0	0.0	0	0.0	24	28.1	0	0.0	1	3.5	1	3.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	6.1	27	40.9	0	0.0	0	0.0	58	5325.9	0	0.0	1	2500.0	0	0.0	59	7825.9	86	7866.8
1c層	黒曜石					1	0.4																			1	0.4											0	0.0	1	0.4
	サヌカイト					2	1.1																			2	1.1											0	0.0	2	1.1
	安山岩																									0	0.0											0	0.0	0	0.0
	水晶																									0	0.0											0	0.0	0	0.0
	その他の石材					1	12.8																			1	12.8					1	138.2	50	3866.8	2	2456.7	1	5500.0	54	11961.7	55	11974.5
	合計	0	0.0	0	0.0	4	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	14.3	0	0.0	1	138.2	50	3866.8	2	2456.7	1	5500.0	0	0.0	54	11961.7	58	11976.0
1層	黒曜石			4	321.9	89	86.8	5	3.0	2	11.2					1	6.0	2	3.2	1	2.5	2	16.0	7	18.5	114	469.1											0	0.0	114	469.1
	サヌカイト					135	146.9	13	6.3	2	6.5	1	13.2	2	17.3					5	7.5	2	12.1	8	39.5	173	249.3	1	67.3											1	67.3	174	316.6
	安山岩			1	396.3	15	42.5																			16	438.8											0	0.0	16	438.8
	水晶					6	13.1																	1	2.6	7	15.7											0	0.0	7	15.7
	その他の石材			1	25.4	5	127.2			1	1.4	1	6.9									1	10.0			9	170.9	4	441.2	6	1520.2	187	20368.0	11	13348.7	2	15100.0			210	50778.1	219	50949.0
	合計	0	0.0	6	743.6	250	416.5	18	9.3	5	19.1	2	20.1	2	17.3	1	6.0	2	3.2	6	10.0	5	38.1	16	60.6	319	1343.8	5	508.5	6	1520.2	187	20368.0	11	13348.7	2	15100.0	0	0.0	211	50845.4	530	52189.2
SI01	黒曜石					12	16.6	1	0.7											1	0.8	2	4.8	1	2.1	18	25.0											0	0.0	18	25.0
	サヌカイト					8	6.8	4	2.0	1	0.4			1	9.8							1	6.5			15	25.5											0	0.0	15	25.5
	安山岩					1	12.0																			1	12.0											0	0.0	1	12.0
	水晶																									0	0.0											0	0.0	0	0.0
	その他の石材					3	2.8																			3	2.8			1	60.4	4	534.3	1	977.6					6	1572.3	9	1575.1
	合計	0	0.0	0	0.0	24	38.2	5	2.7	1	0.4	0	0.0	1	9.8	0	0.0	0	0.0	1	0.8	3	11.3	1	2.1	37	65.3	0	0.0	1	60.4	4	534.3	1	977.6	0	0.0	0	0.0	6	1572.3	43	1637.6
不明	黒曜石					6	3.9															1	1.4			7	5.3											0	0.0	7	5.3
	サヌカイト					7	6.7																	3	16.9	10	23.6											0	0.0	10	23.6
	安山岩					2	1.8																			2	1.8											0	0.0	2	1.8
	水晶																									0	0.0											0	0.0	0	0.0
	その他の石材																									0	0.0					13	1053.2							13	1053.2	13	1053.2
	合計	0	0.0	0	0.0	15	12.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.4	3	16.9	19	30.7	0	0.0	0	0.0	13	1053.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	13	1053.2	32	1083.9

遺跡遠景（航空写真）

写真図版 2

調査区東西セクション西側（北西より）

調査区東西セクション中央（北西より）

調査区東西セクション東側（北西より）

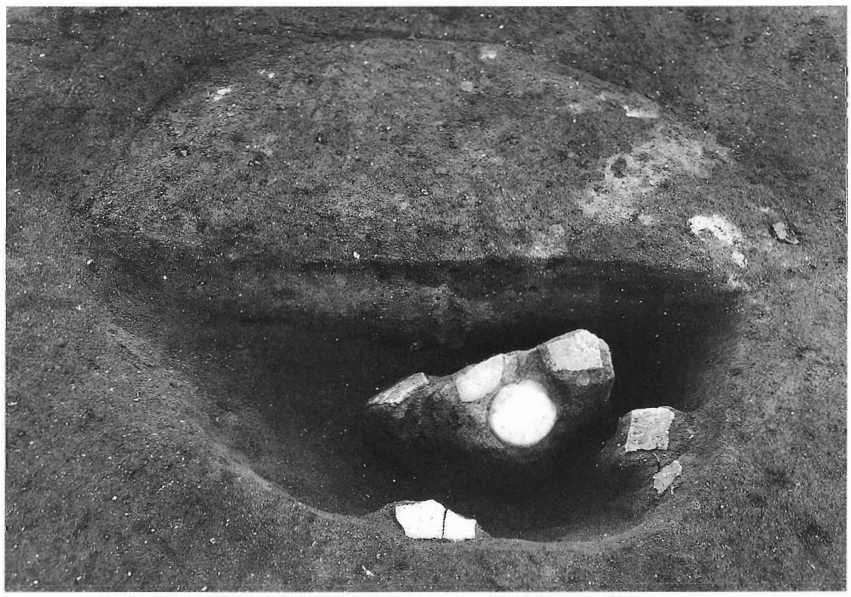
１ａ層遺構完掘状況（南東より）

写真図版４

土器溜まり１－１検出状況（南より）

焼土01セクション（東より）

焼土01遺物出土状況
（東より）

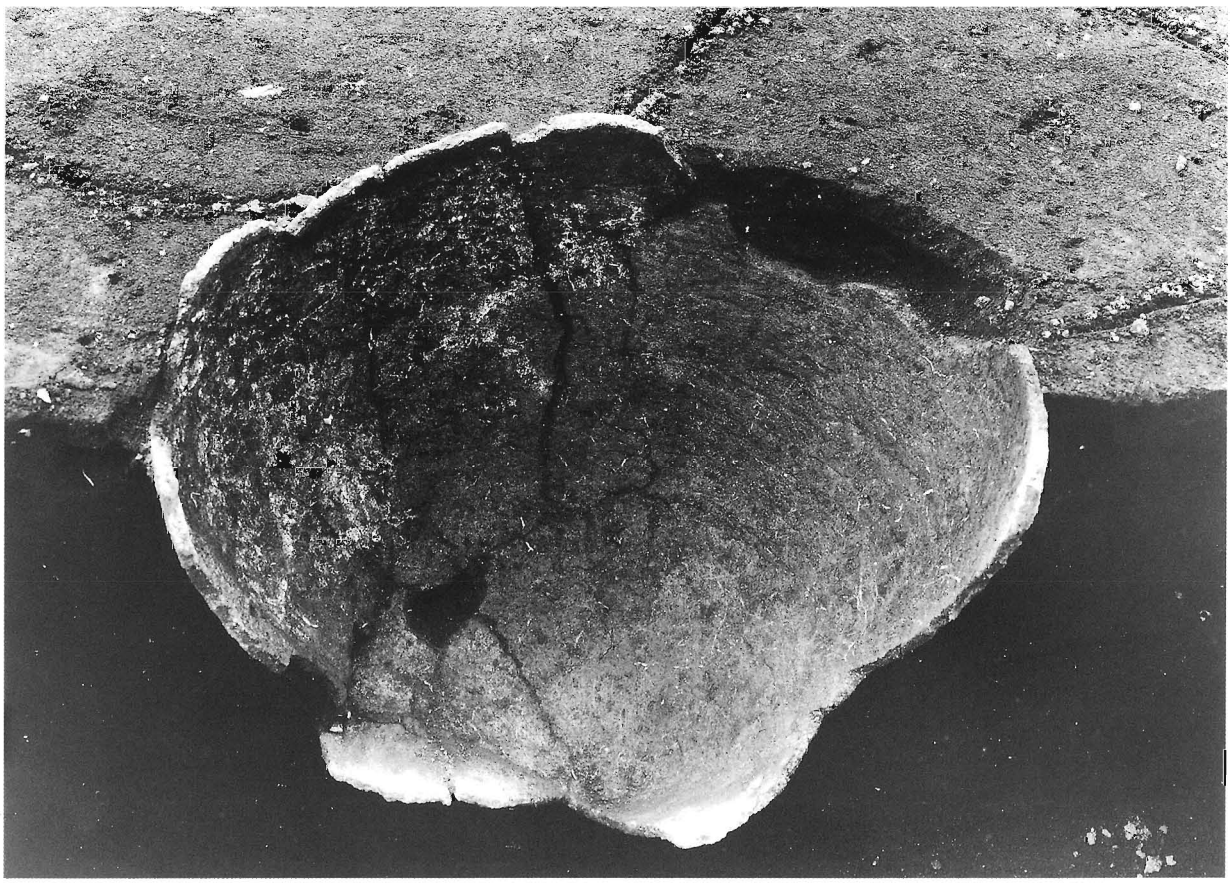


焼土02セクション
（西より）

焼土02遺物出土状況
（西より）

写真図版６

土器埋設遺構１側面（南より）

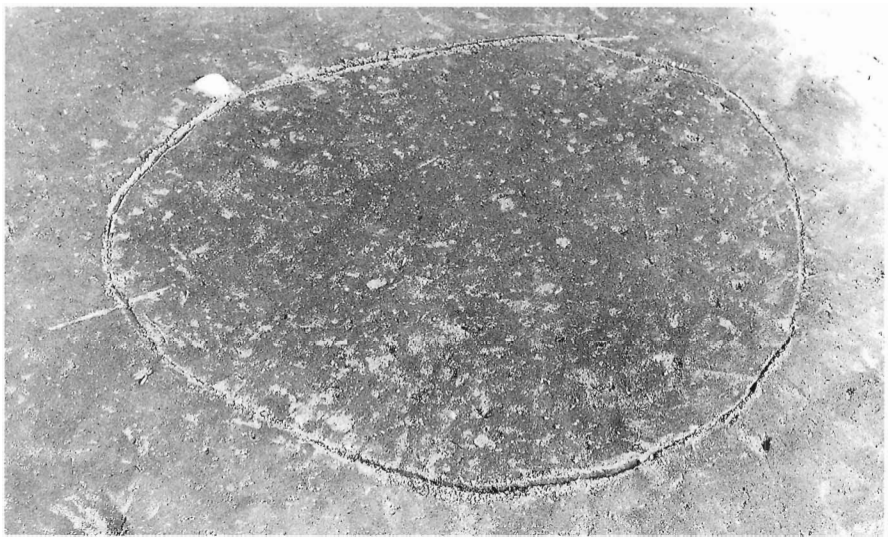


土器埋設遺構１完掘状況（南より）

炭窯セクション（南東より）

焼土・炭集中部検出状況（南より）

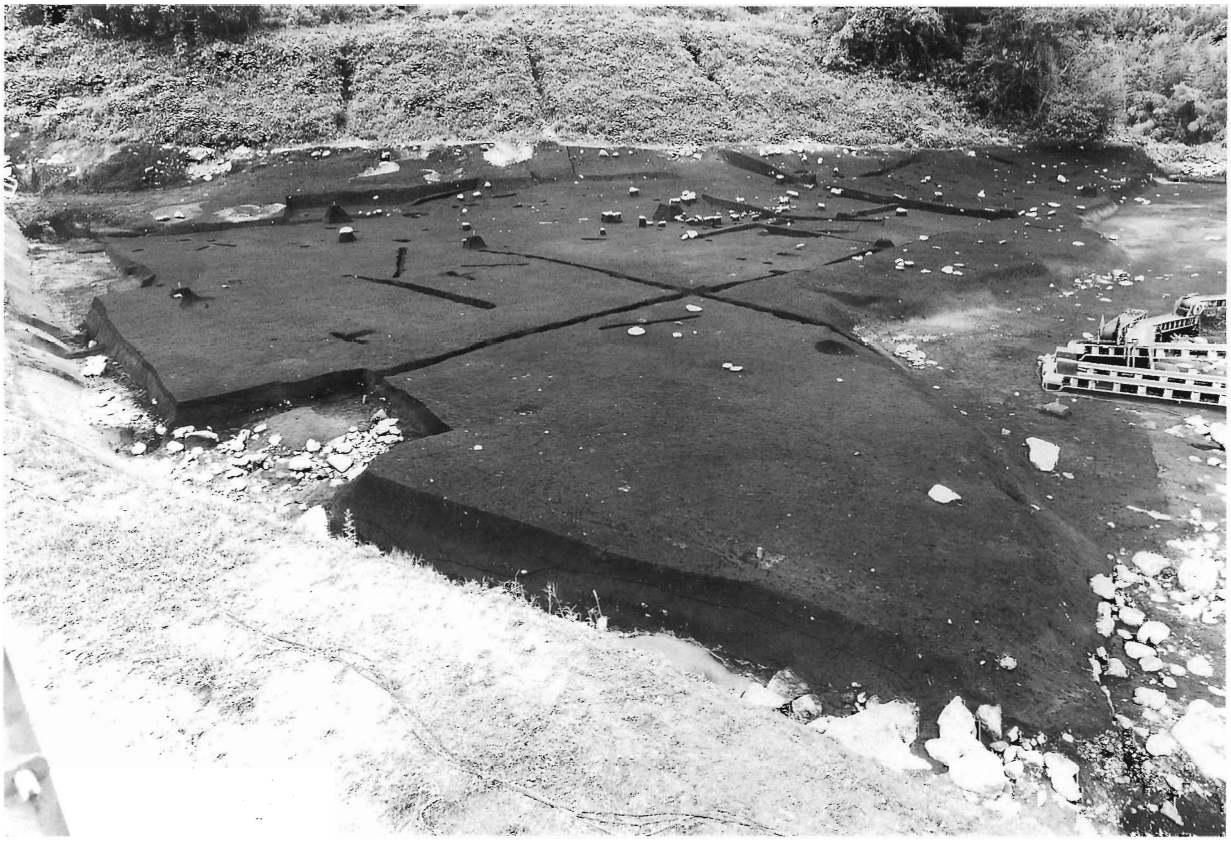
写真図版８



炭溜まり02検出状況
（東より）

配石遺構01検出状況
（西より）

配石遺構02完掘状況（南より）

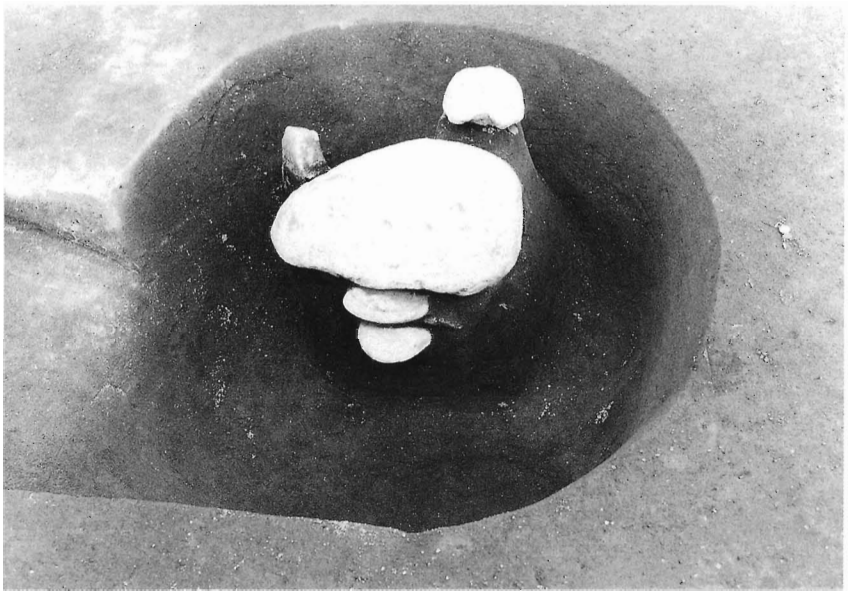


１ｂ層遺構完掘状況（南東より）

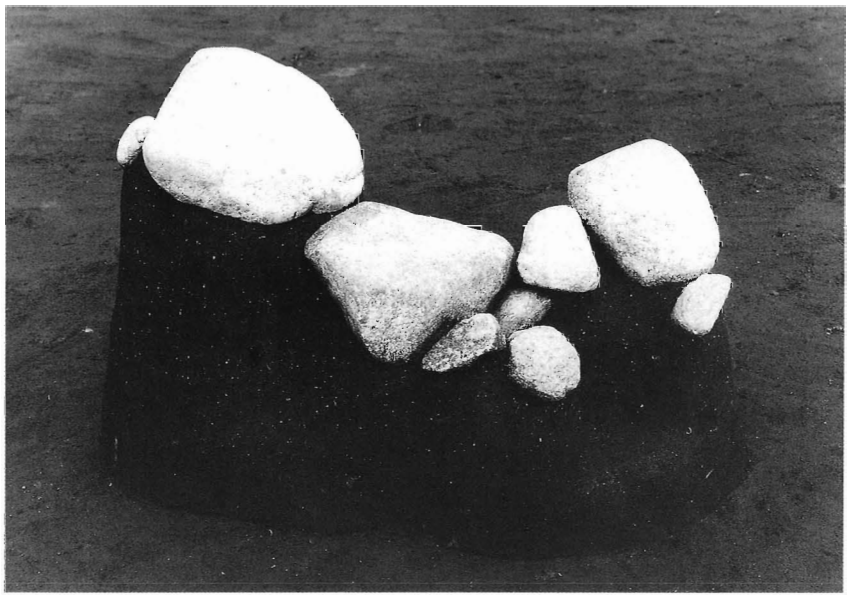
焼土04検出状況
（東より）

石錘溜まり１検出状況
（東より）

写真図版10



ＳＫ08石検出状況
（南より）

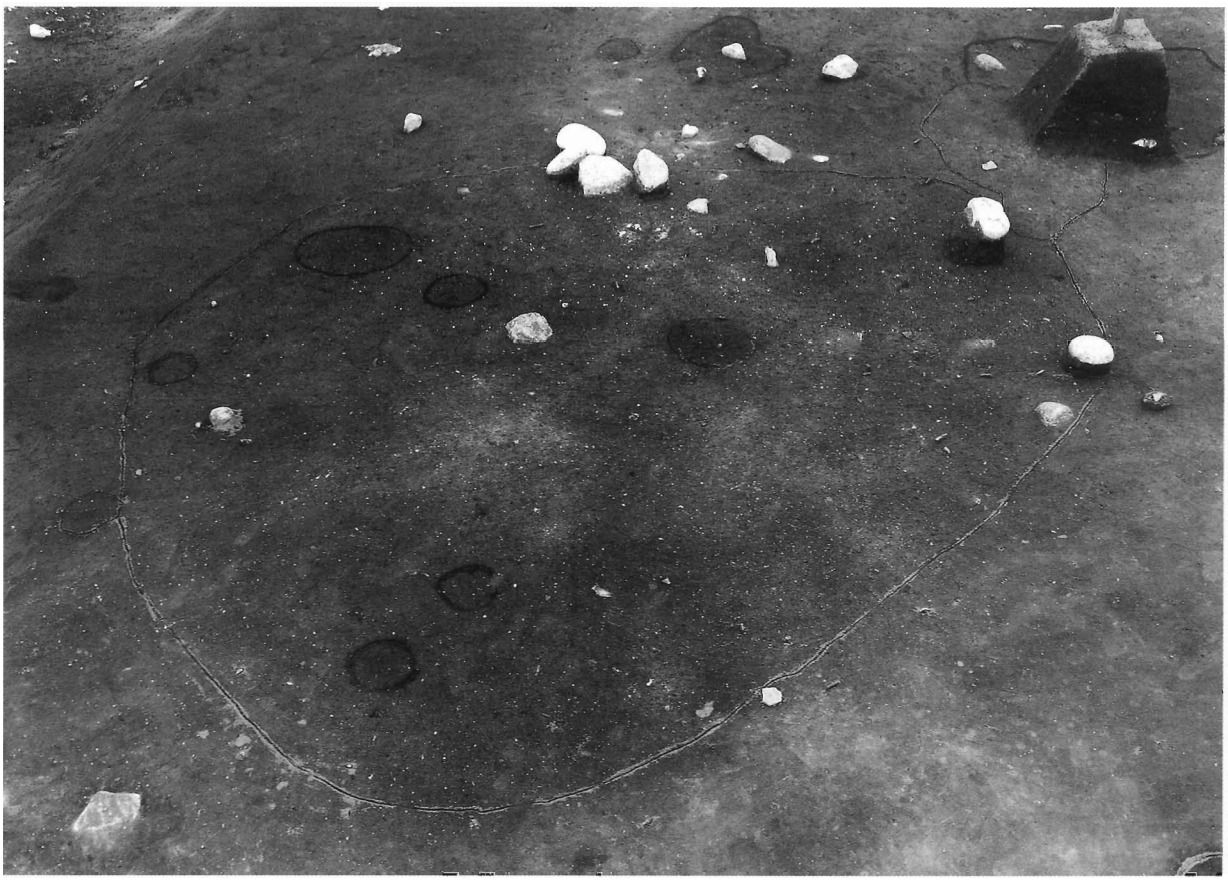


配石遺構03石検出状況
（東より）

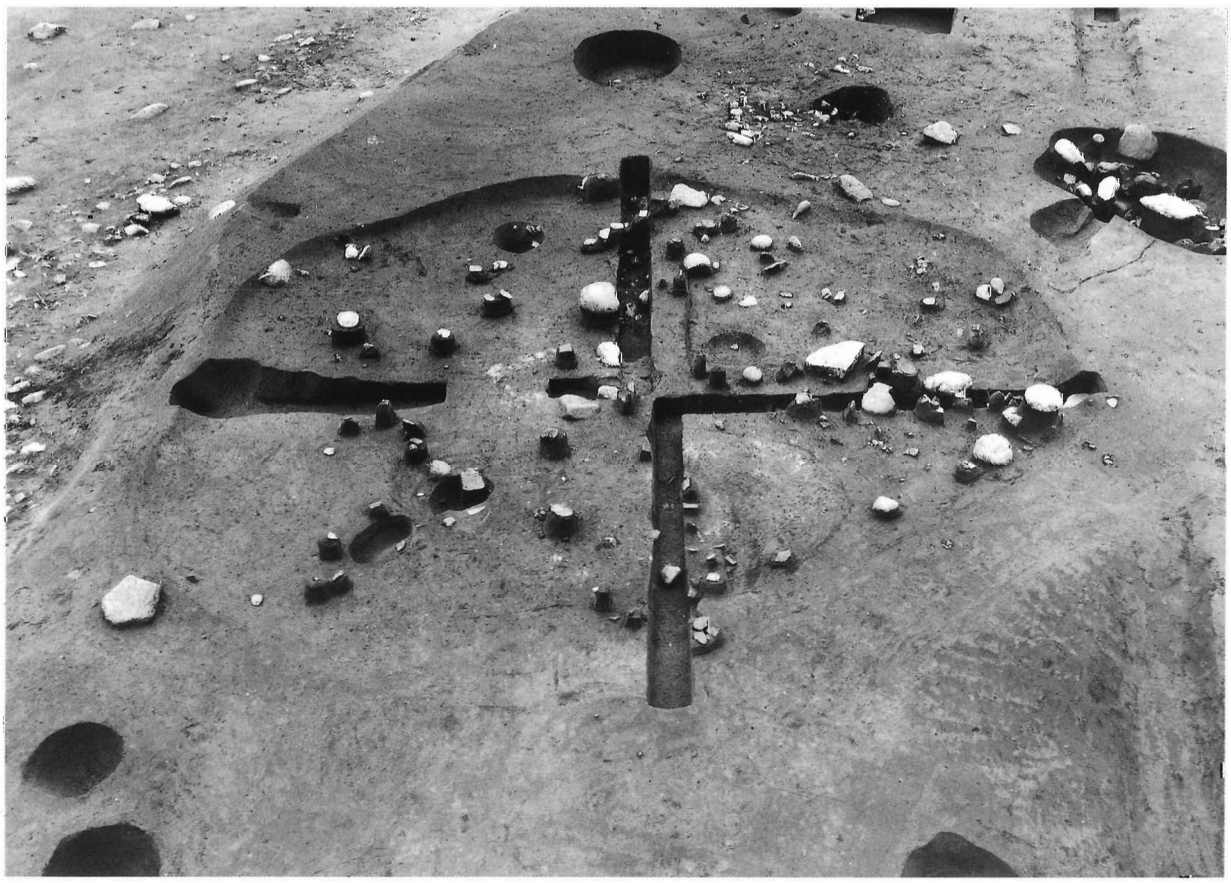
ＳＫ10石検出状況
（東より）

ＳＫ14セクション（南より）

ＳＫ14石検出状況（南より）

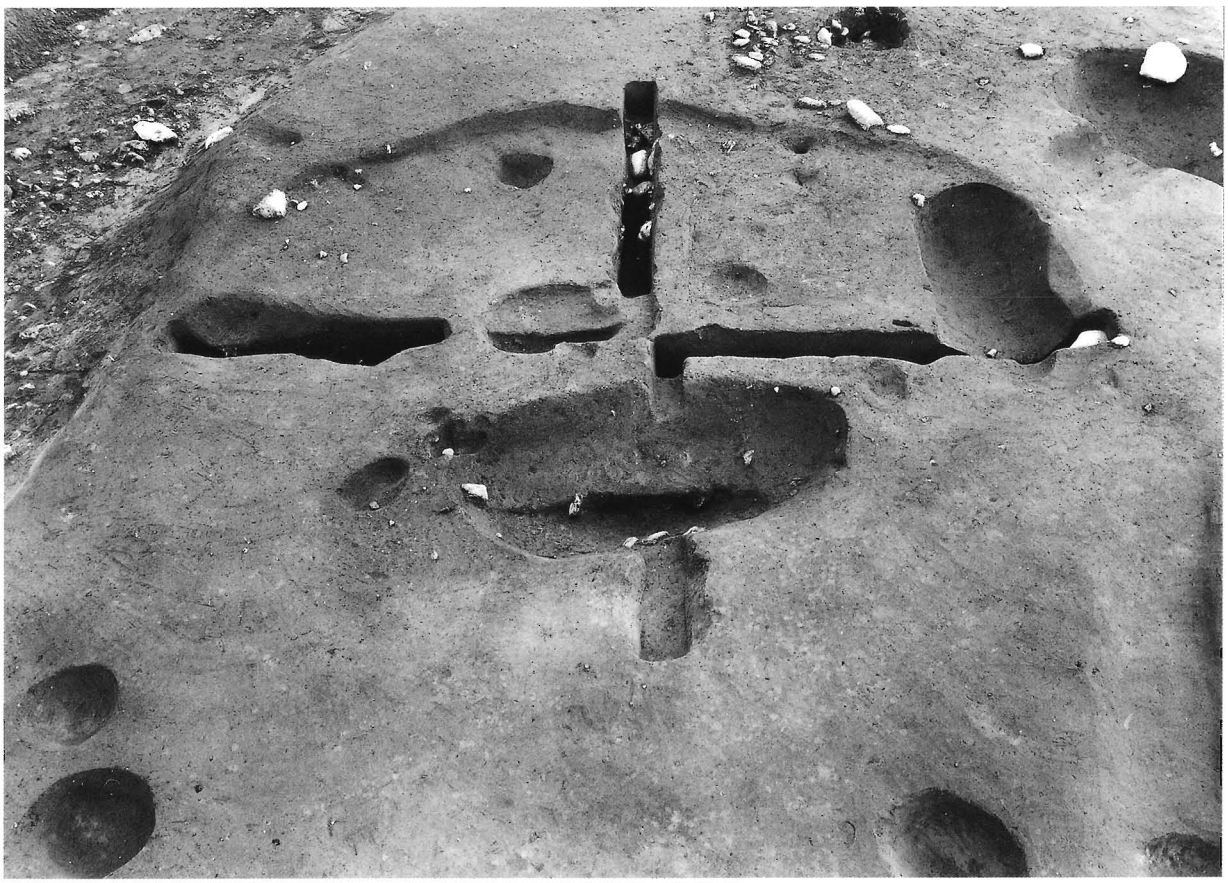


ＳＩ01及び上面ピット検出状況（北より）



ＳＩ01遺物出土状況（北より）

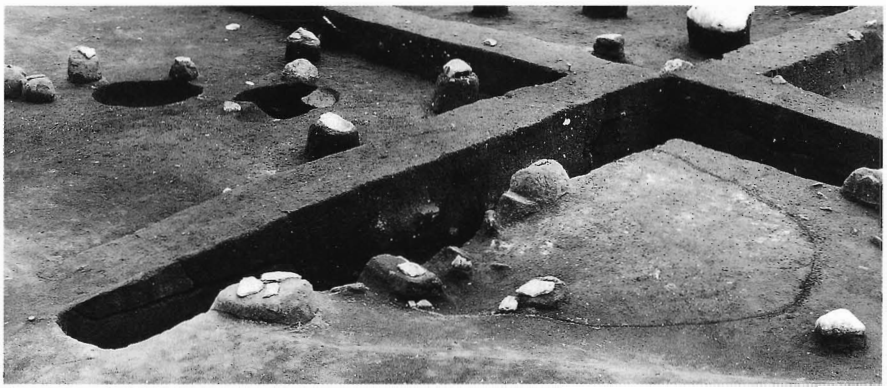
ＳＩ01遺物出土状況拡大（西より）



ＳＩ01完掘状況（北より）

写真図版14

ＳＩ01東セクション
（南より）



ＳＩ01北セクション
（西より）

ＳＩ01－焼土１検出状況
（南より）

ＳＩ01－焼土１
セクション（北より）

ＳＩ01－ＳＫ１セクション
（北より）

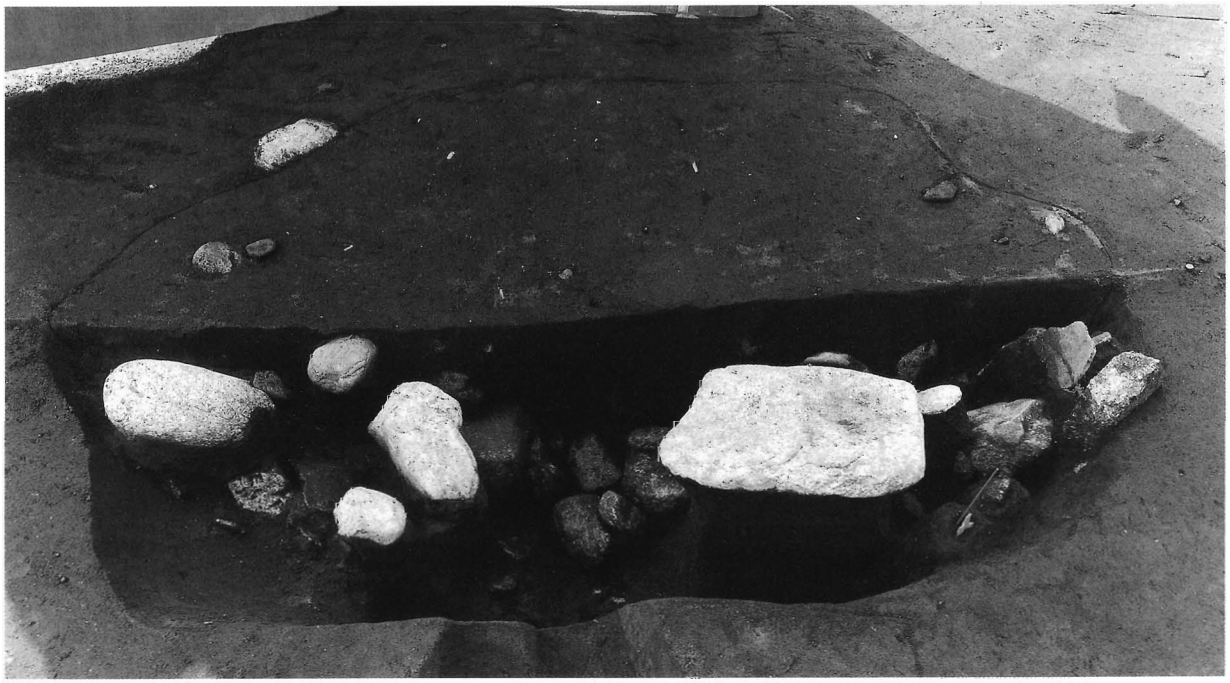
ＳＩ01－ＳＫ１完掘状況
（北より）

ＳＩ01－ＳＫ２セクション
（西より）

ＳＩ01－ＳＫ２完掘状況
（西より）

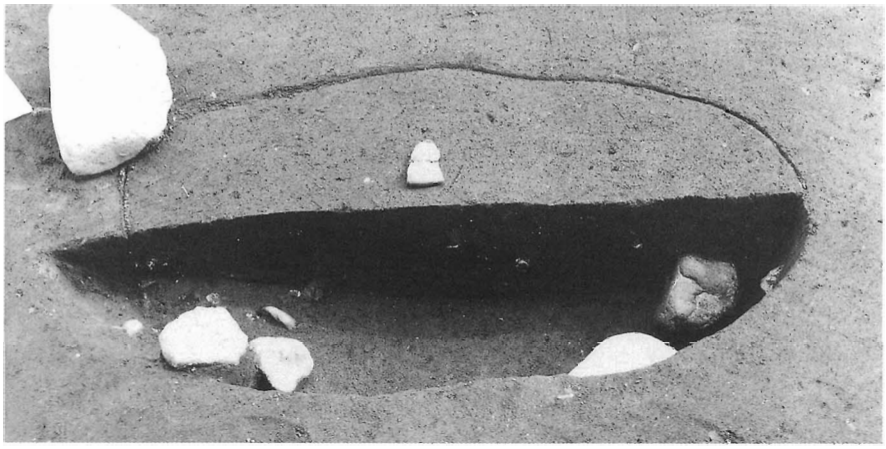
写真図版16

焼土05セクション
（南東より）

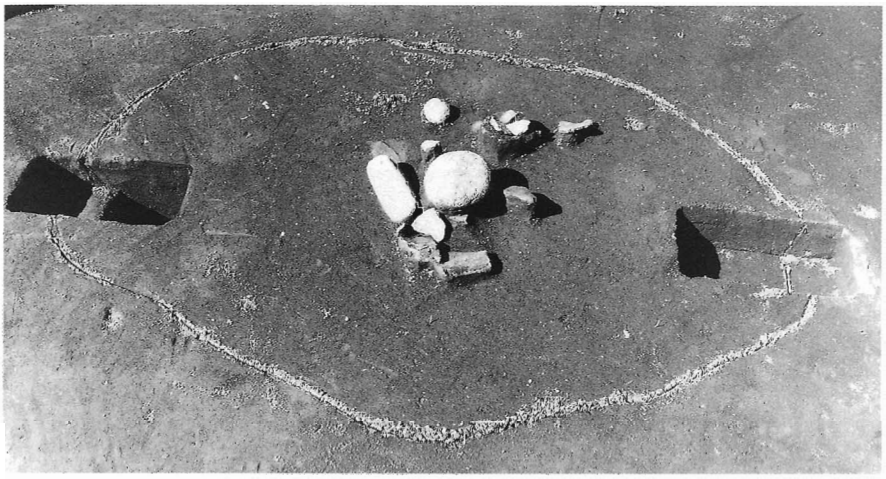


配石遺構04セクション（北東より）

配石遺構04石・遺物出土状況（北東より）



ＳＫ15セクション
（北西より）



ＳＫ16遺物出土状況
（東より）

ＳＫ18セクション
（東より）

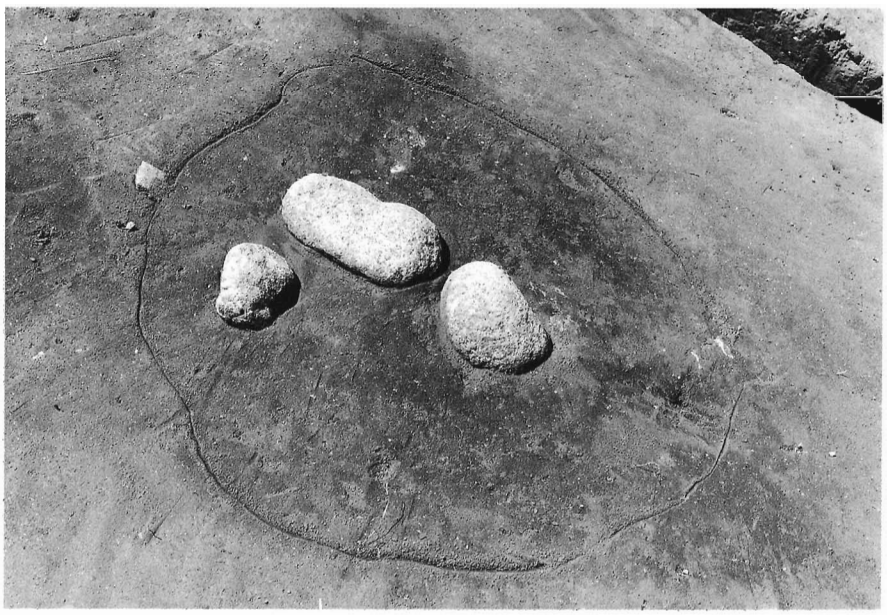
ＳＫ18遺物出土状況
（東より）

配石遺構05石出土状況
（北東より）

石囲炉状遺構１完掘状況
（西より）

土器溜まり３南北セクション（北西より）

土器溜まり５遺物出土状況（北西より）



配石遺構07検出状況
（北東より）

石錘溜まり２検出状況
（北東より）

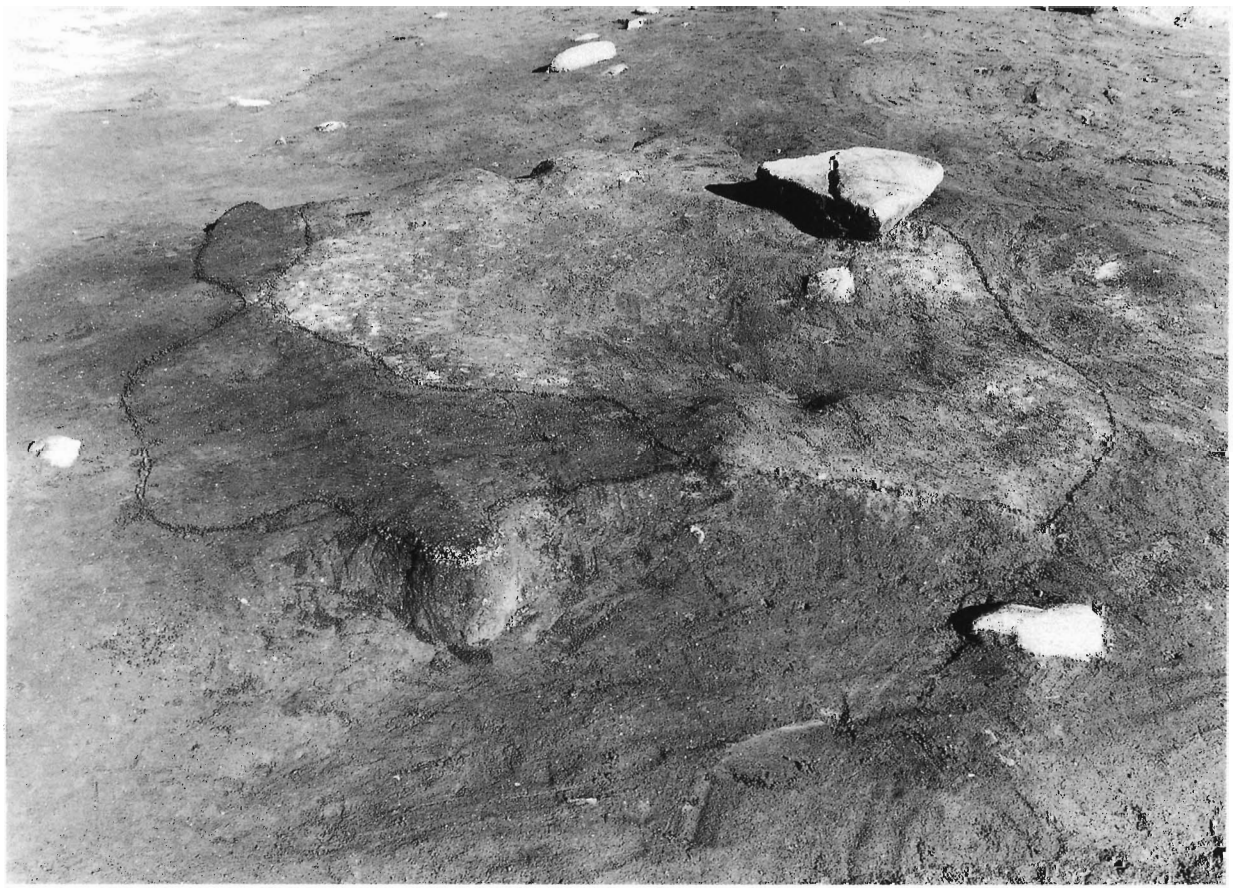
写真図版20

土器溜まり６遺物出土状況（西より）

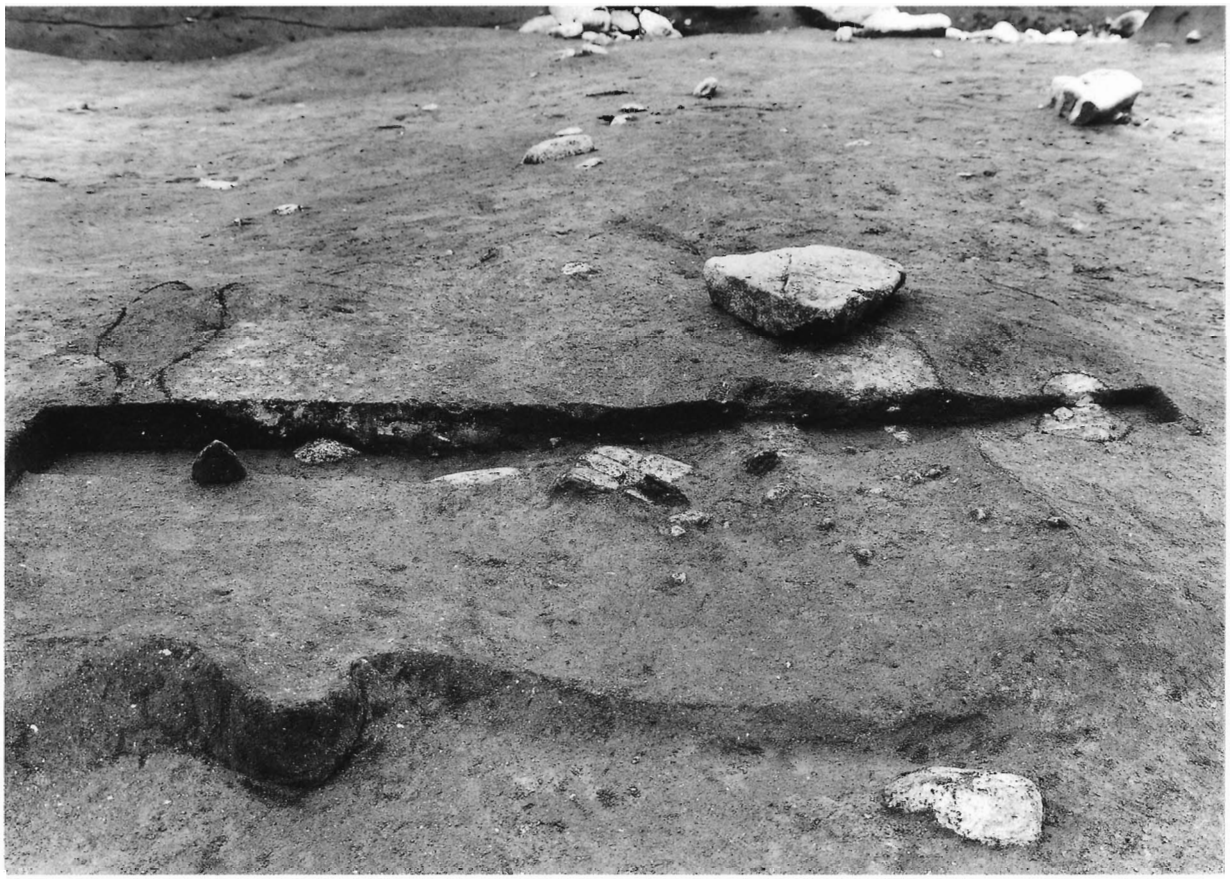
土器溜まり７遺物出土状況（南西より）

焼土08検出状況
（南より）

焼土09検出状況
（南より）

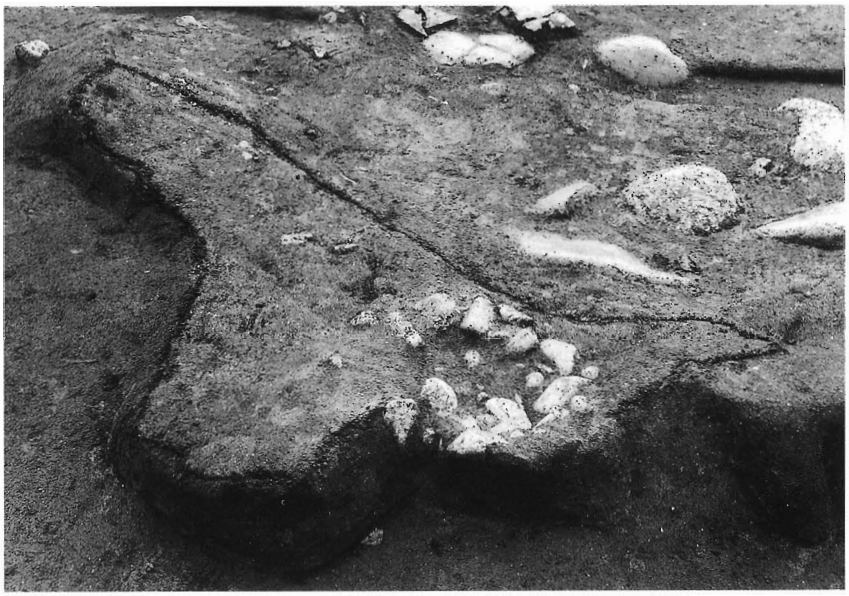


土器溜まり７直下の遺構（粘土面・硬化面３）検出状況（南より）



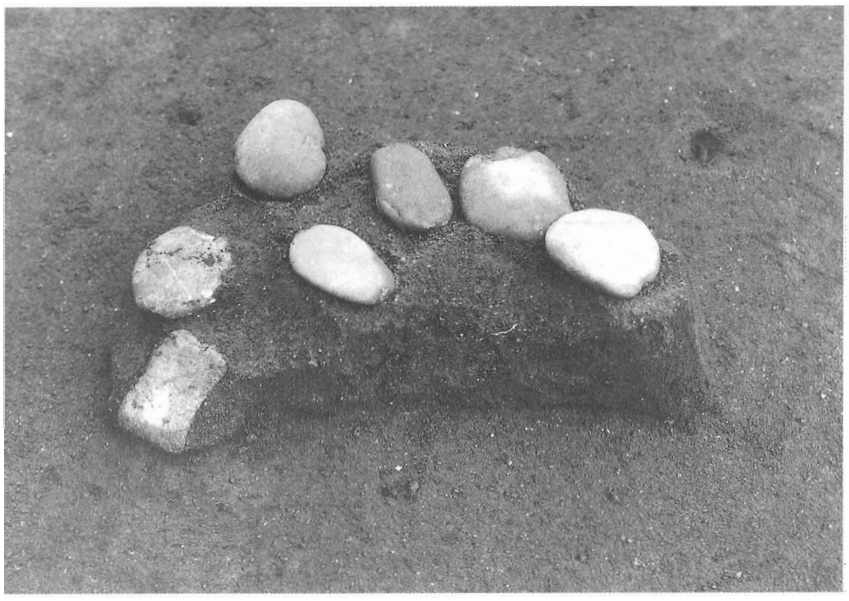
土器溜まり７直下の遺構（粘土面・硬化面３・粘土ピット）セクション（南より）

土器溜まり７直下の遺構（硬化面４・焼土10・石囲炉状遺構２）検出状況（南より）



土器溜まり７直下の遺構
（硬化面４・石囲炉状遺構２）
検出状況（北より）

石囲炉状遺構２検出状況
（北より）



石錘溜まり３検出状況
（西より）

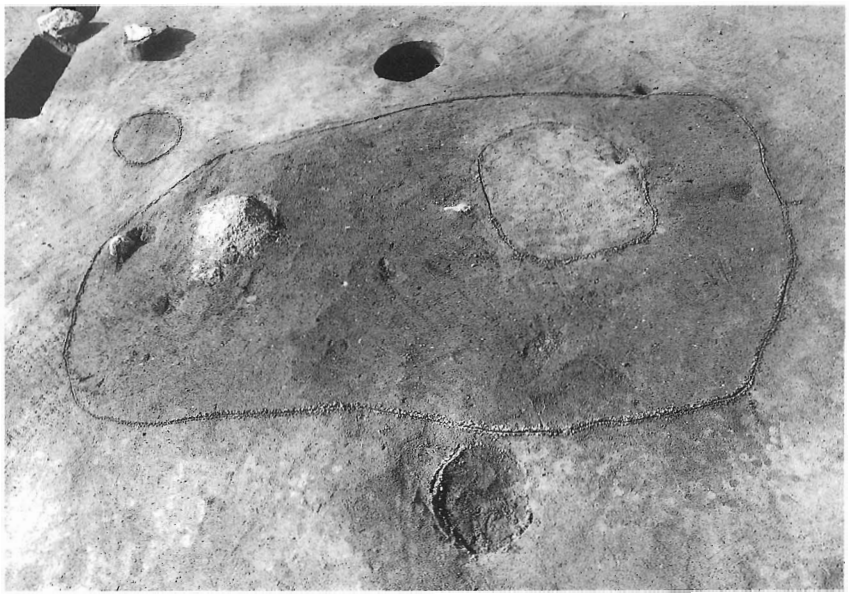
写真図版24

焼土11セクション
（南より）

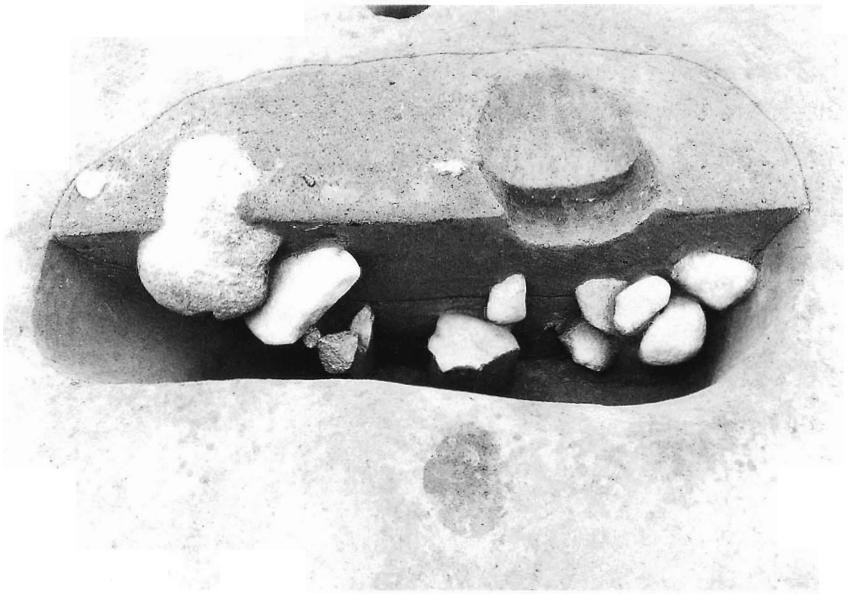
焼土12セクション
（東より）

配石遺構08検出状況
（西より）

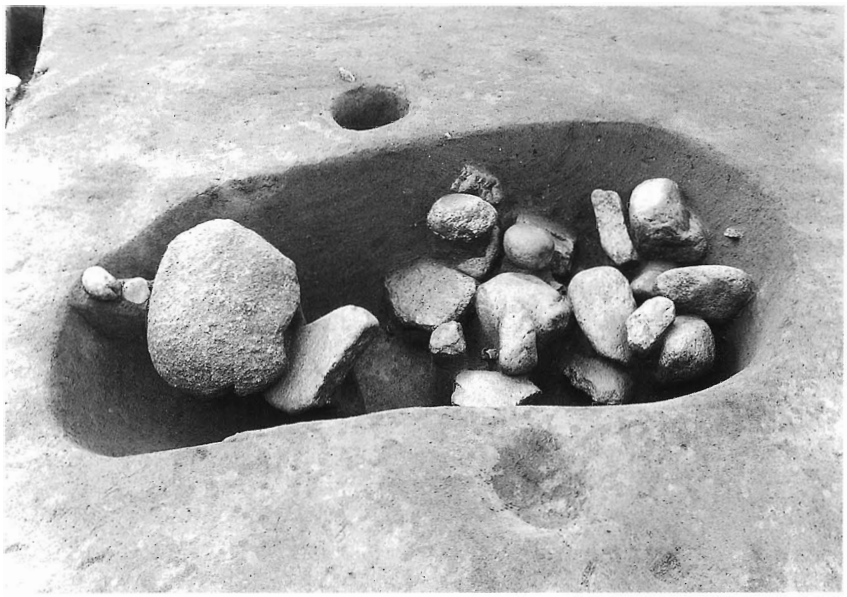
ＳＫ21セクション
（東より）



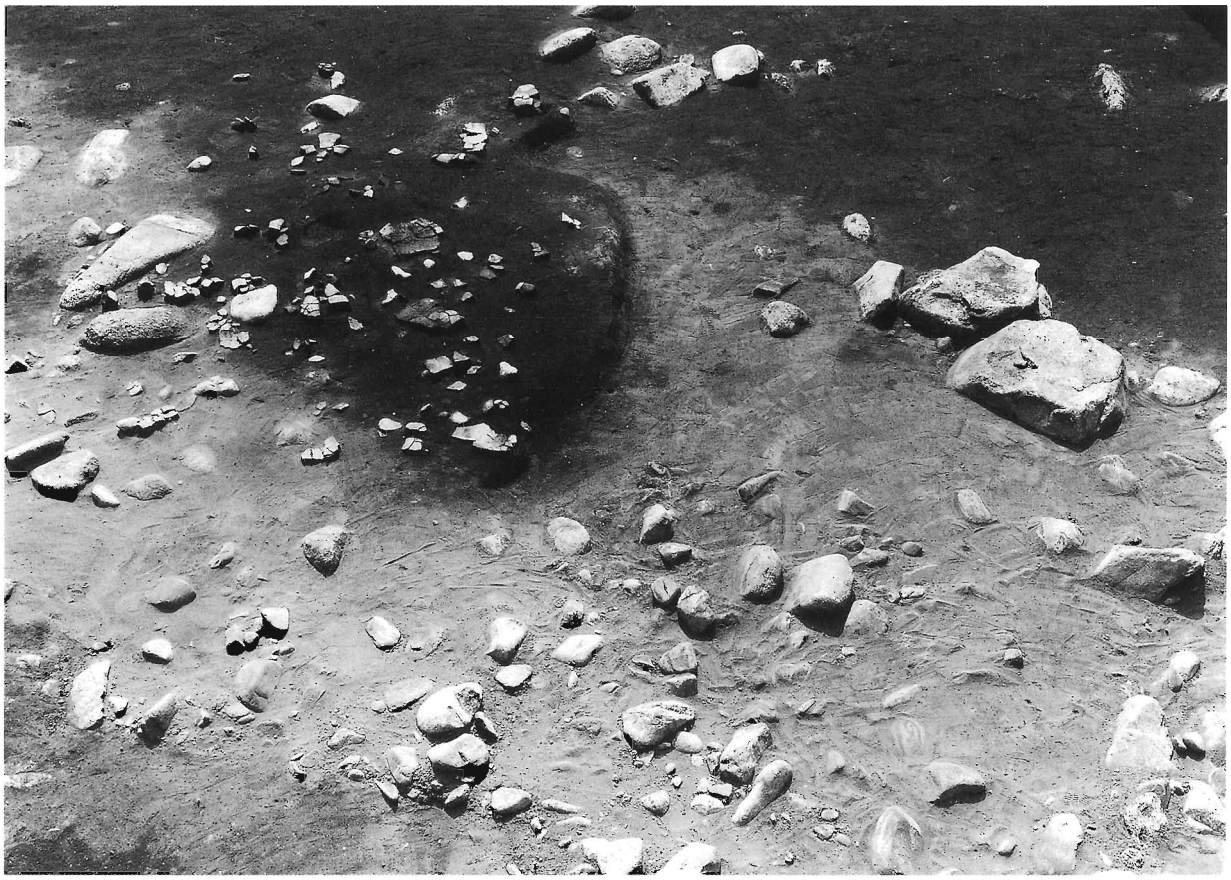
焼土13・配石遺構09
検出状況（北東より）



配石遺構09セクション
（北東より）



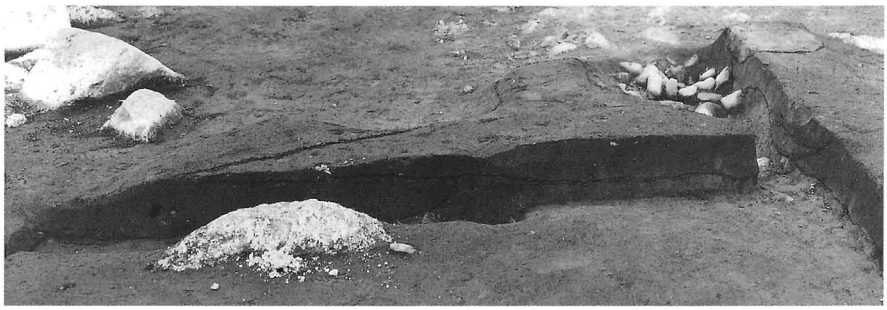
配石遺構09石検出状況
（北東より）



土器溜まり８遺物出土状況（東より）

土器溜まり８遺物出土状況（北東より）

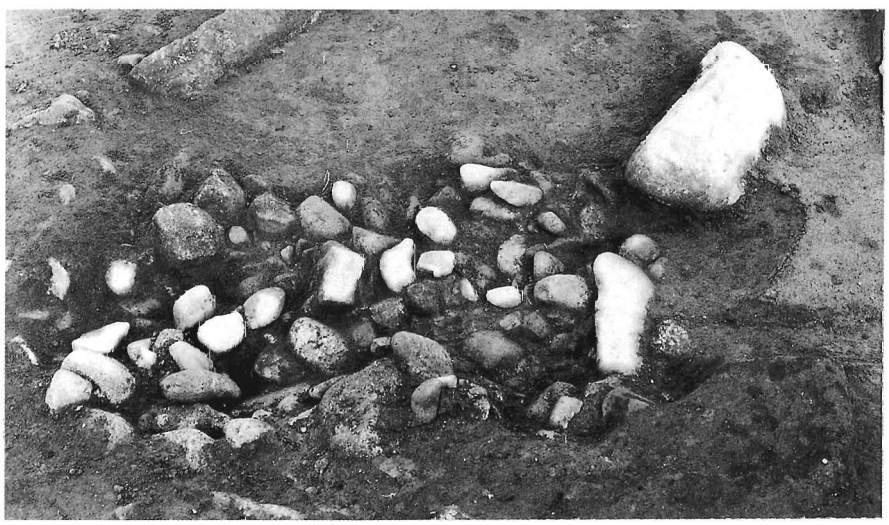
土器溜まり８東セクション
（南より）



土器溜まり８西セクション
（南より）

土器溜まり８南セクション
（西より）

土器溜まり８北及び
焼土14・15セクション
（西より）

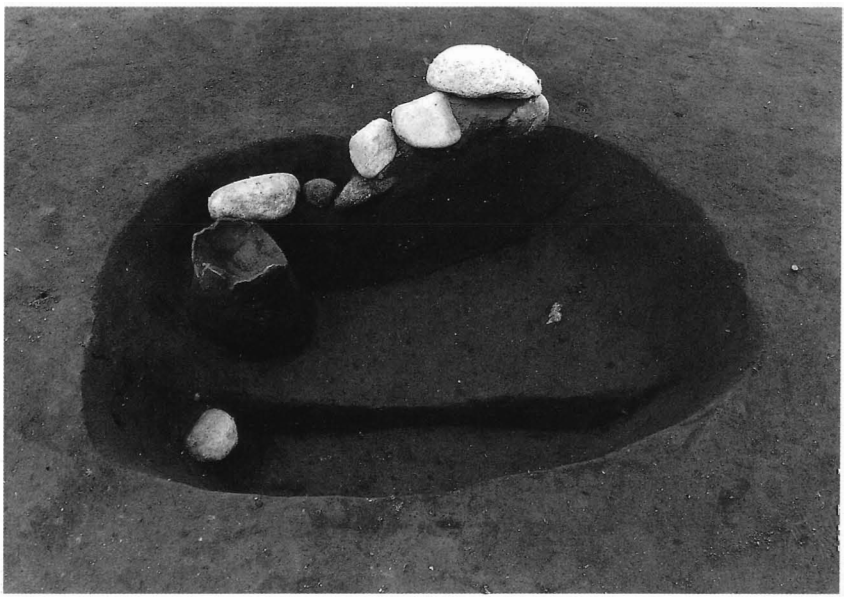


焼土14・15完掘状況
（西より）

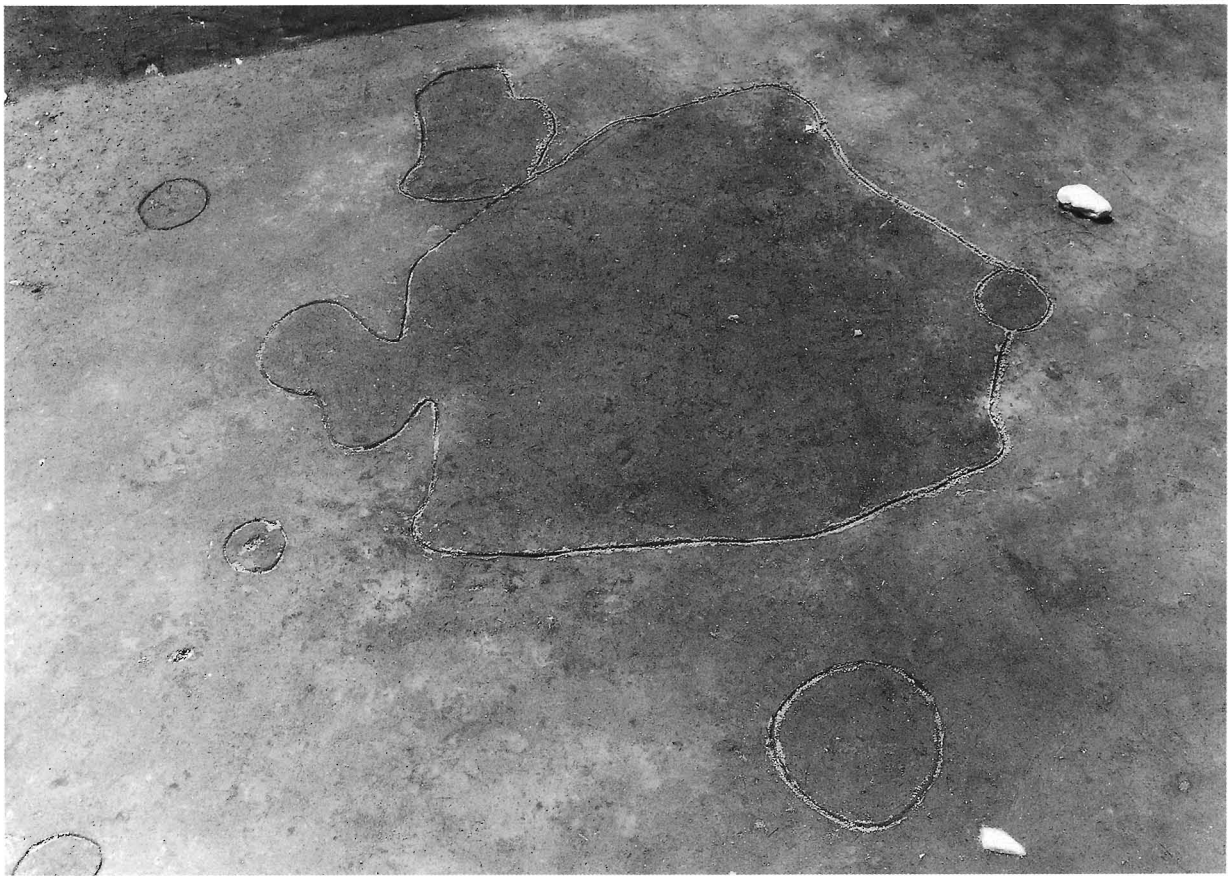
写真図版28

土器埋設遺構２側面
（南より）

土器埋設遺構４セクション
（北より）



配石遺構10石・遺物
出土状況（北東より）

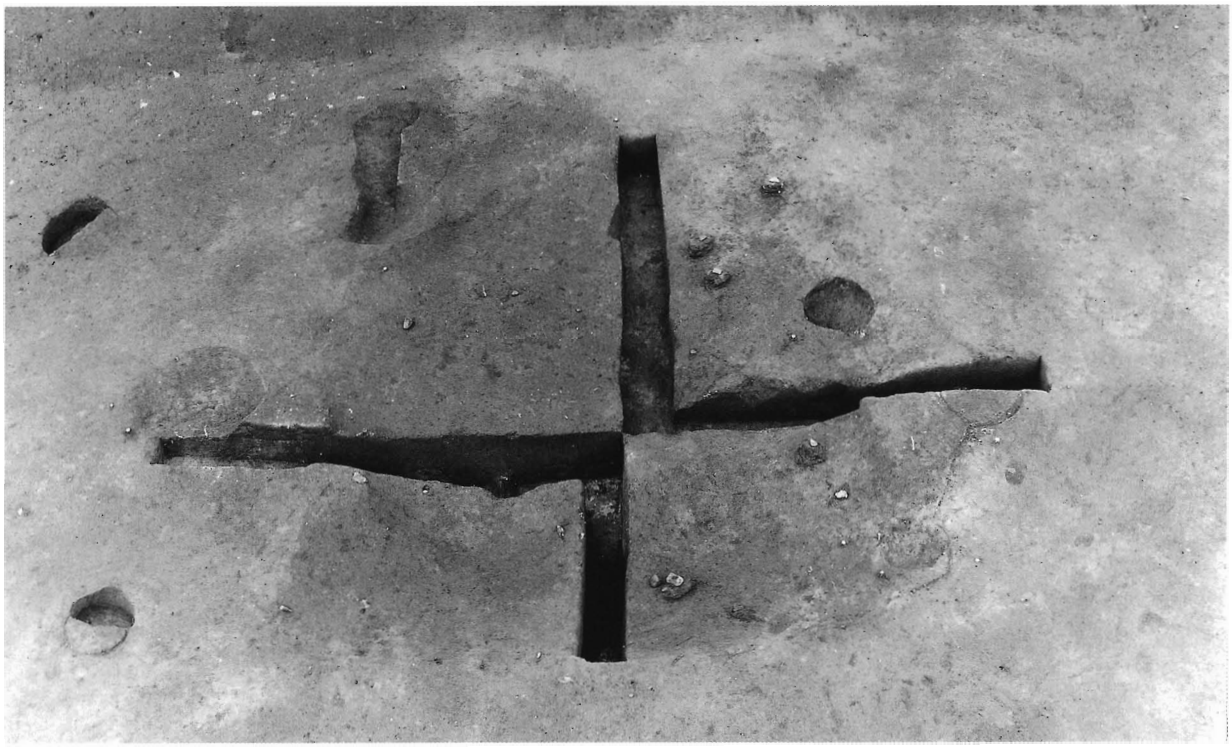


ＳＩ02検出状況（北より）

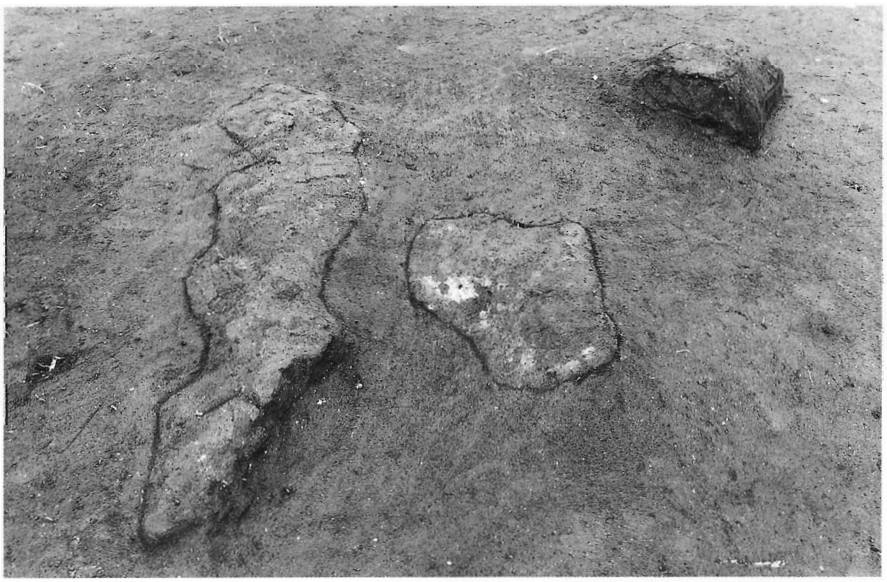
ＳＩ02西南セクション
（南西より）

ＳＩ02北東セクション
（北東より）

写真図版30



ＳＩ02完掘状況（北より）

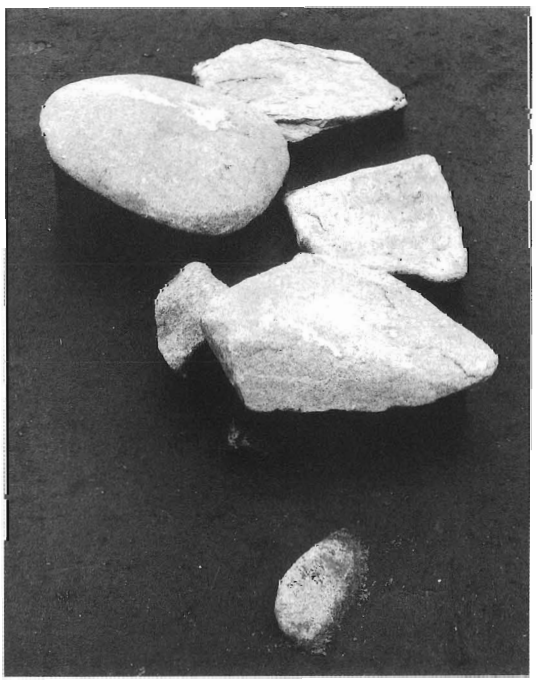


焼土16・硬化面５・６
検出状況（東より）

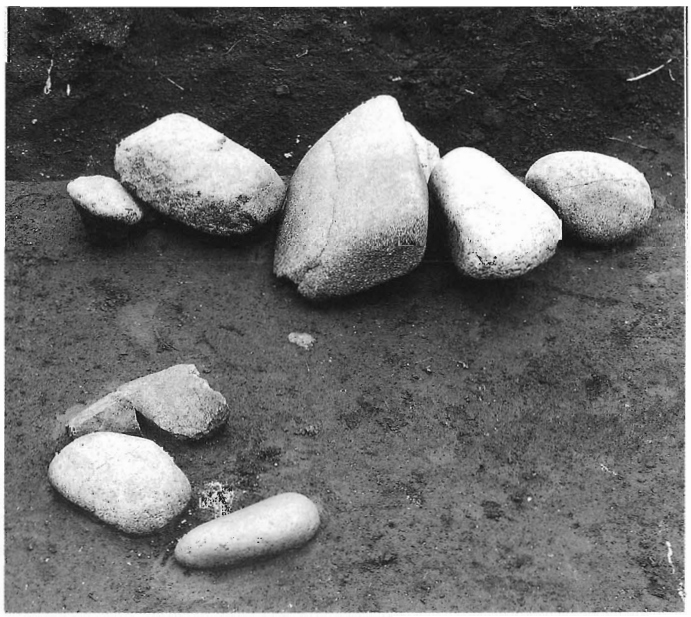
焼土16セクション
（北より）

配石遺構11セクション
（東より）

配石遺構12石検出状況
（東より）

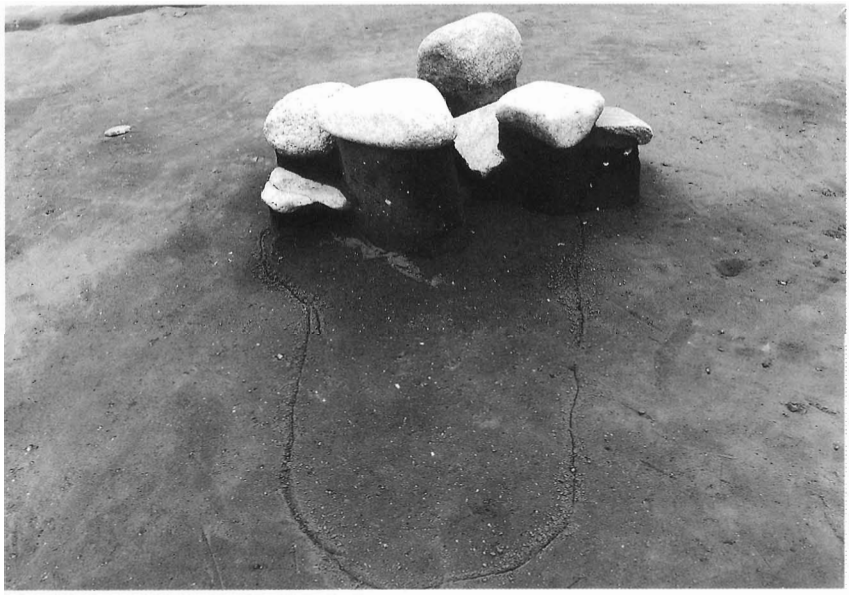


配石遺構13石検出状況（東より）



配石遺構14検出状況（南より）

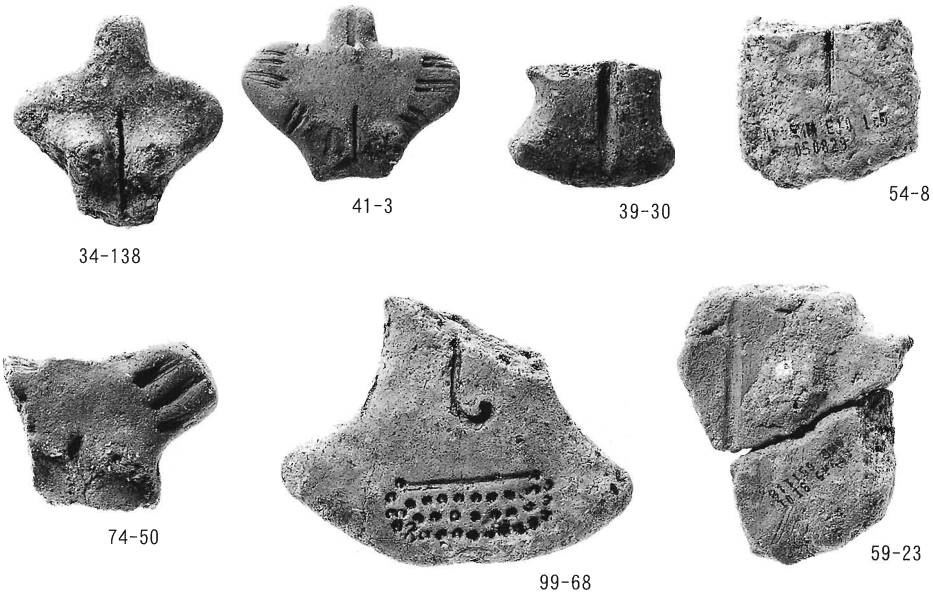
写真図版32



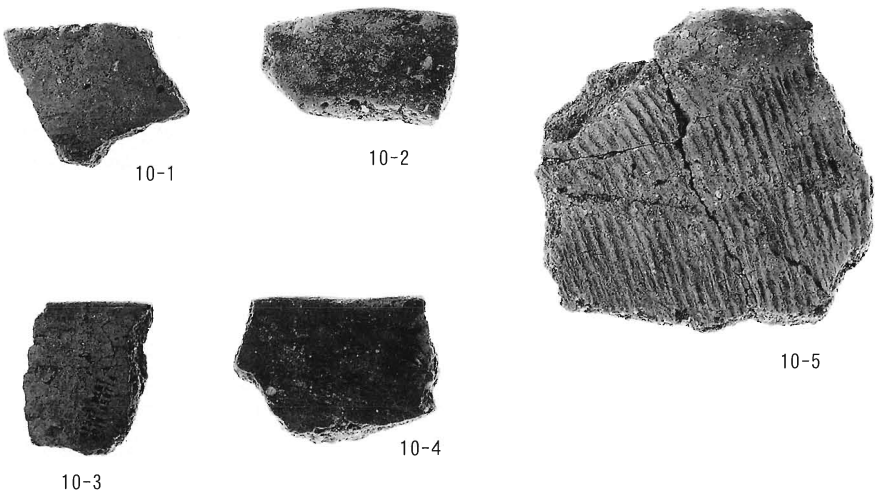
配石遺構15検出状況
（南東より）

配石遺構16検出状況
（北東より）

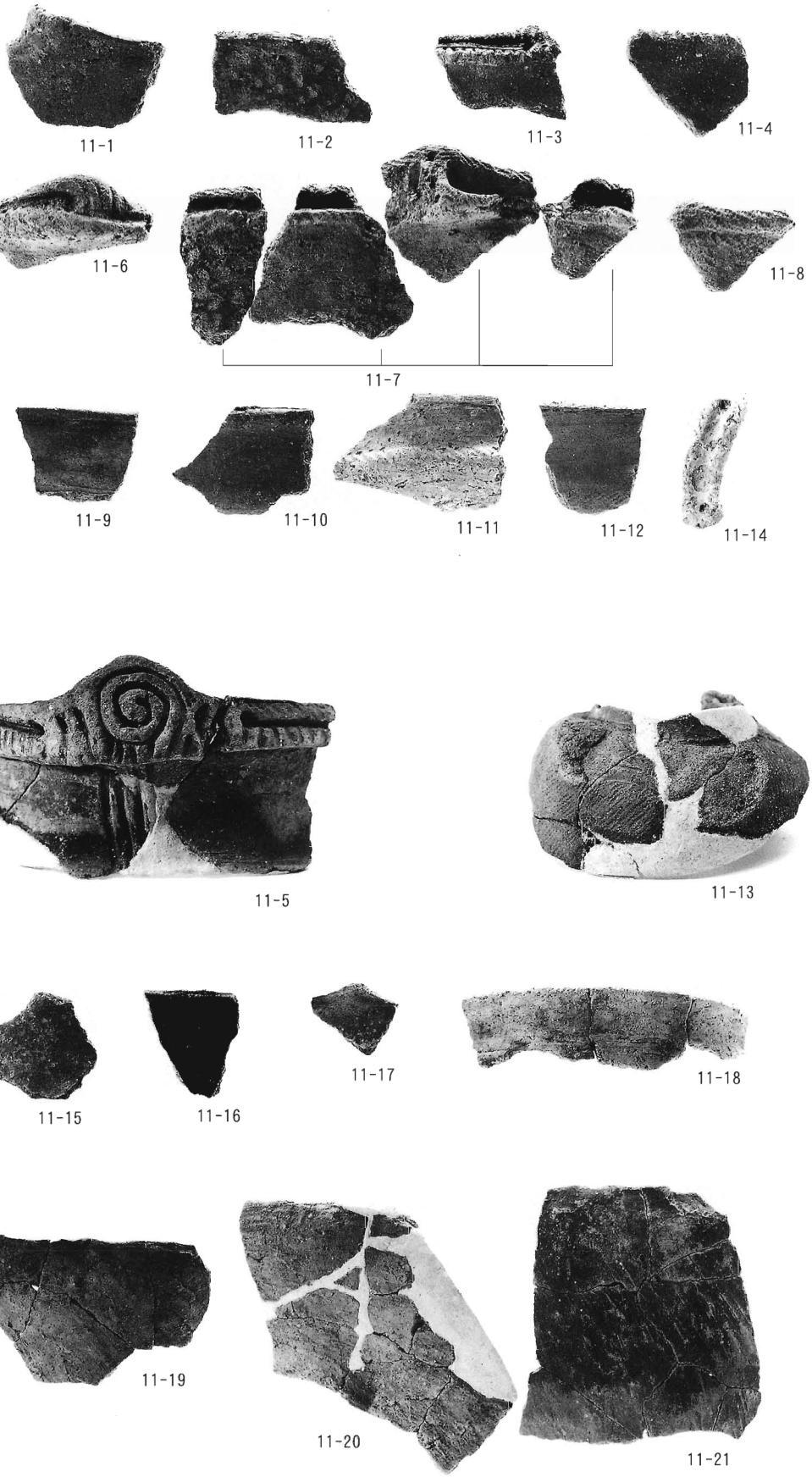
配石遺構17検出状況
（南西より）



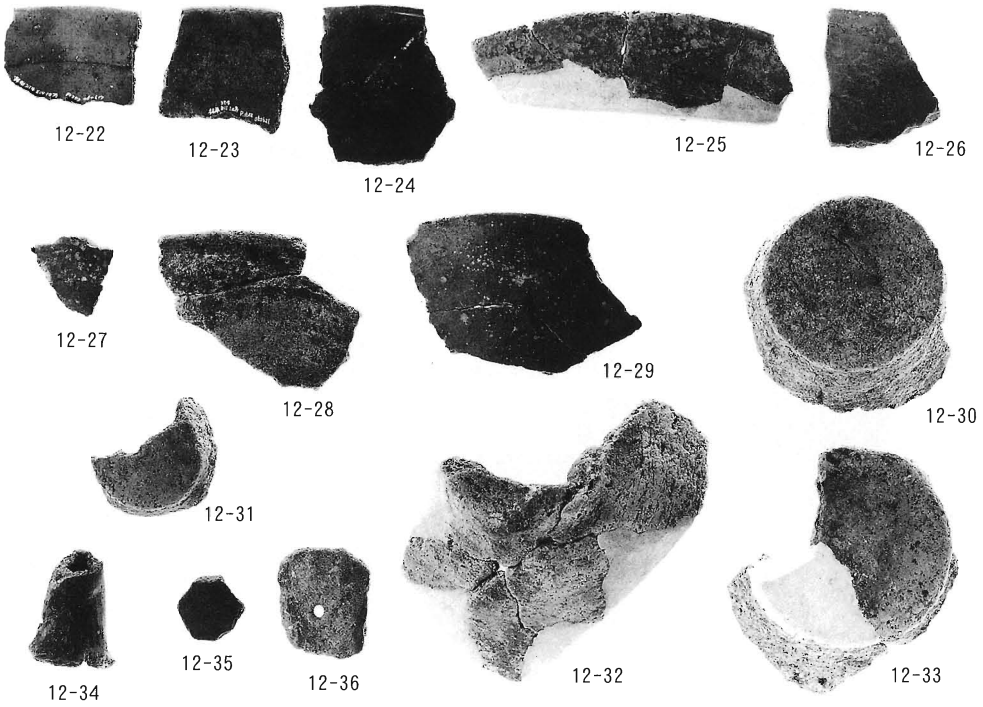
林原遺跡出土土偶



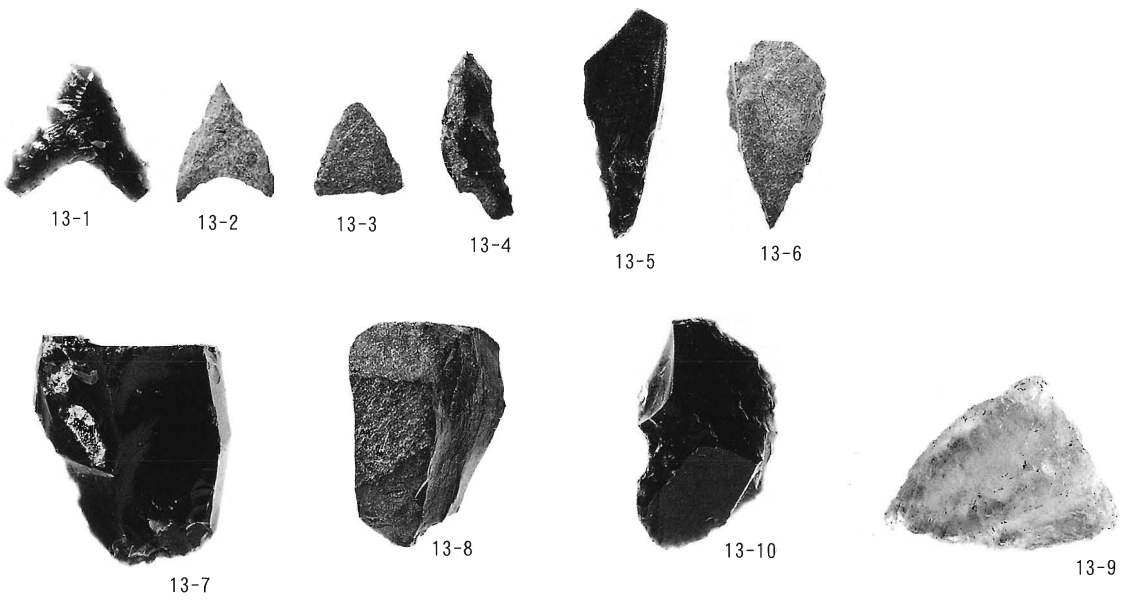
焼土01・03出土遺物



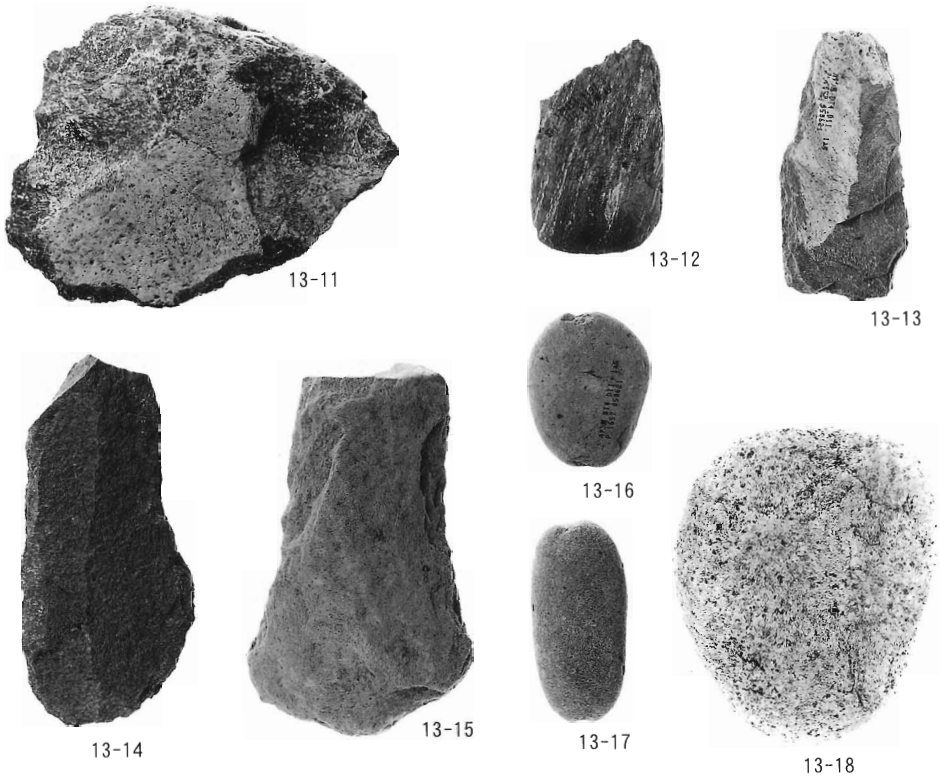
土器溜まり１－１出土土器（１）



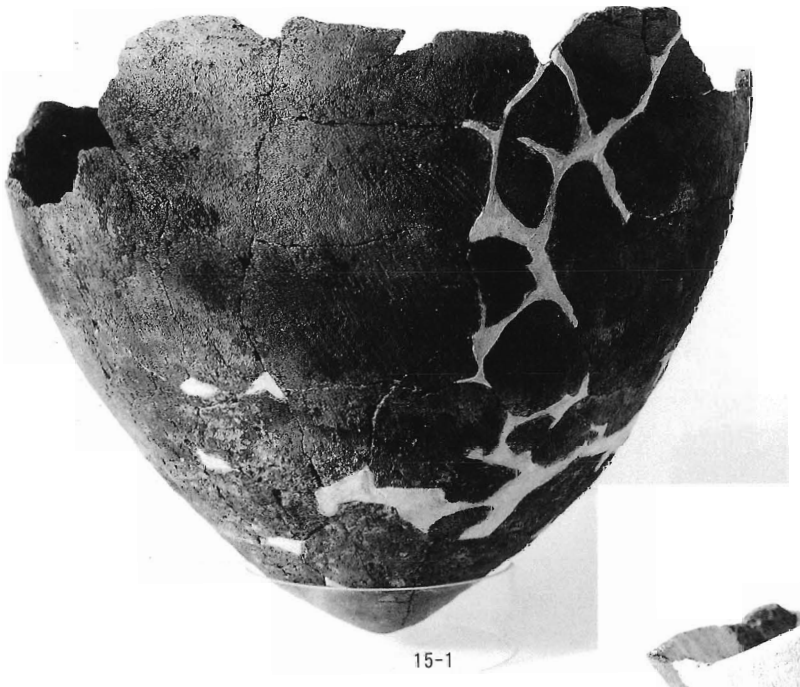
土器溜まり１－１出土土器（２）



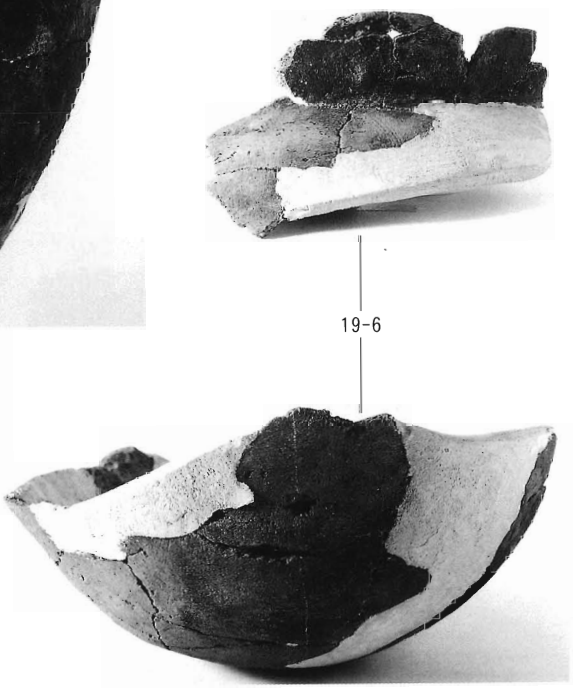
土器溜まり１－１出土石器（１）



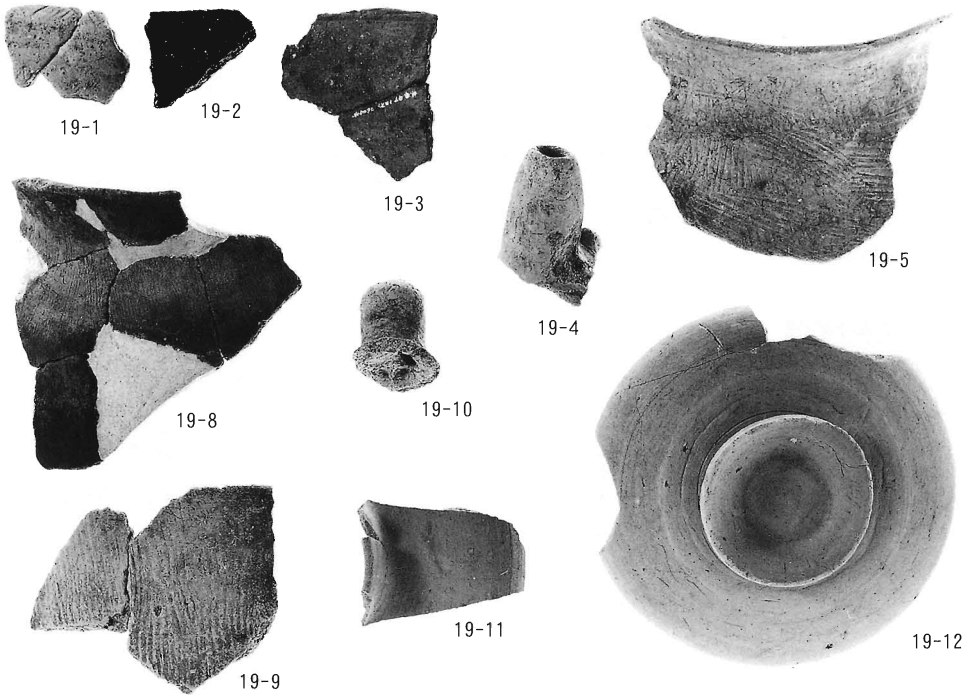
土器溜まり１－１出土石器（２）



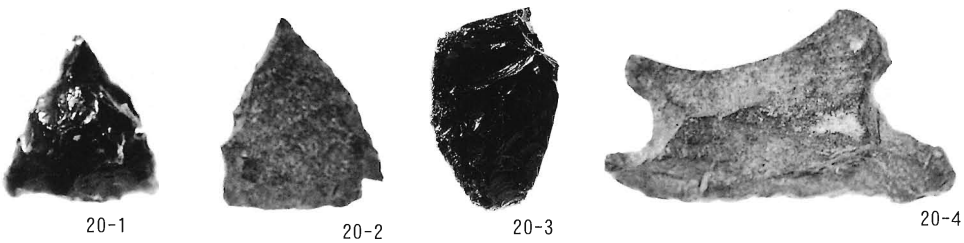
埋設土器１



１ａ層出土土器（１）

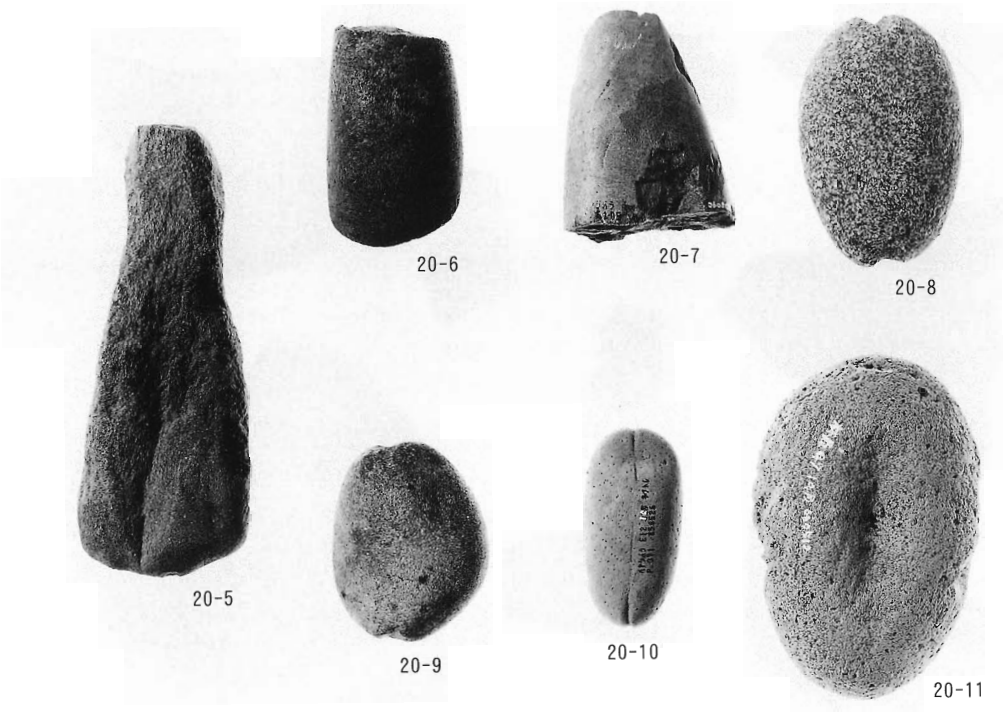


１ａ層出土土器（２）

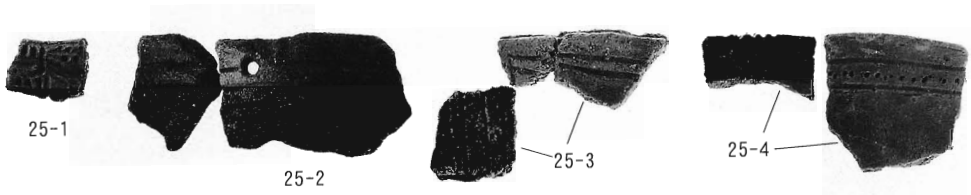


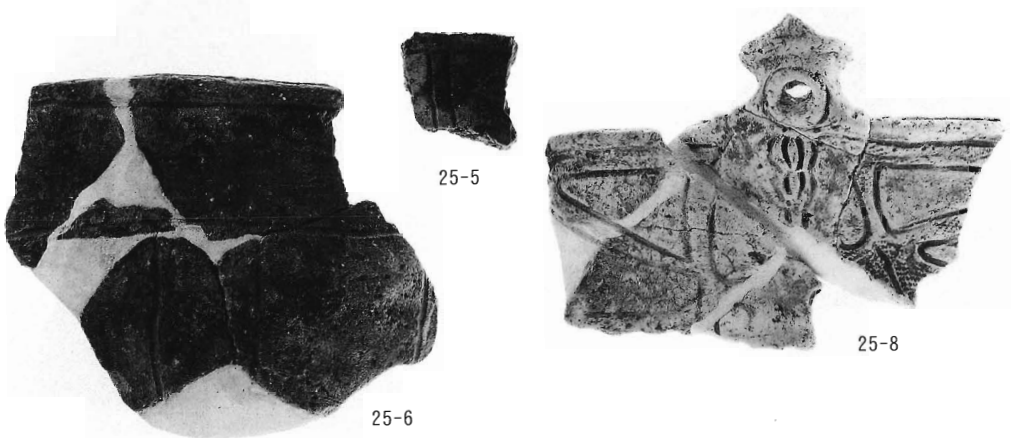
１ａ層出土石器（１）

写真図版38

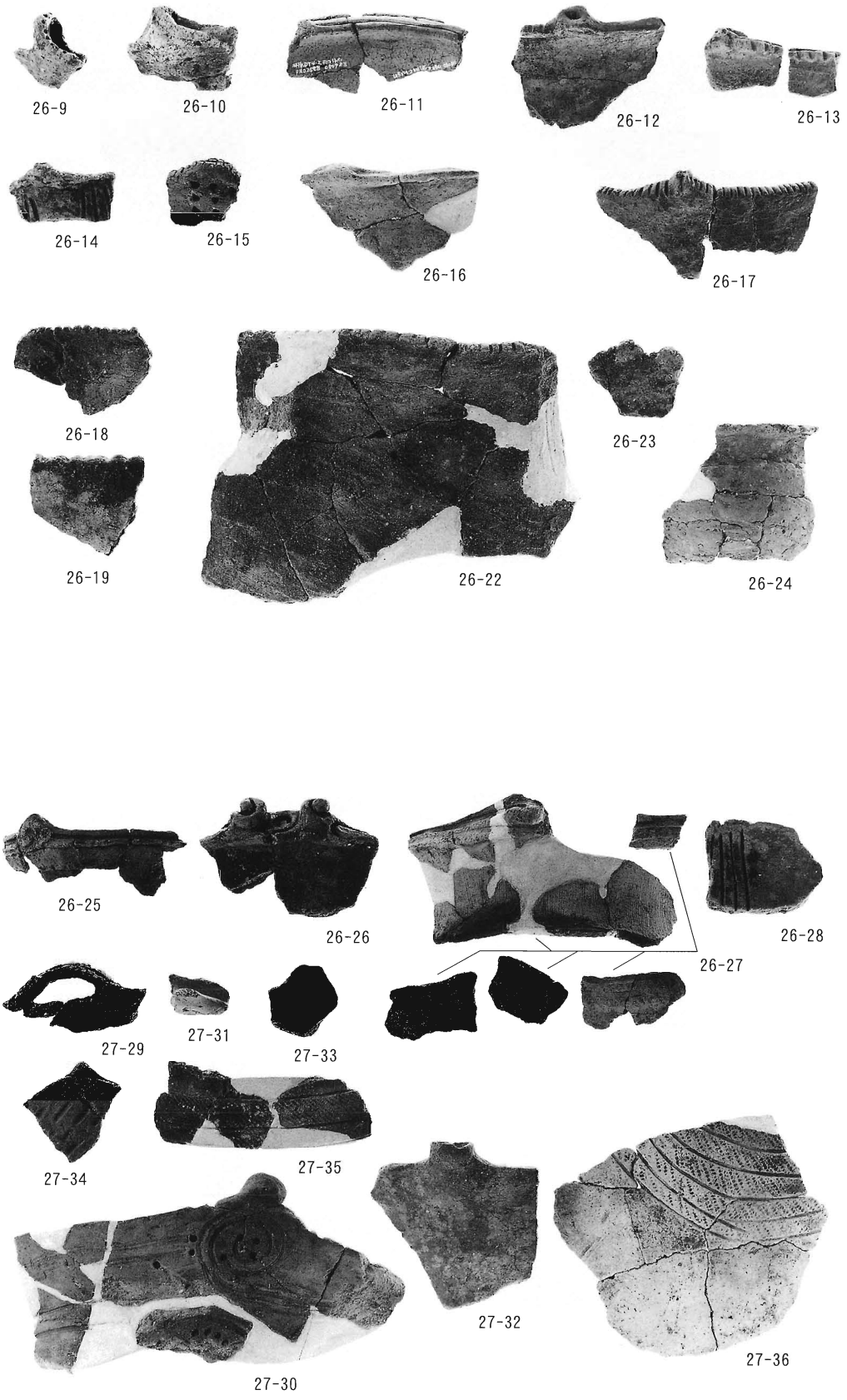


１ａ層出土石器（２）





土器溜まり１－２出土土器（１）



土器溜まり１－２出土土器（２）

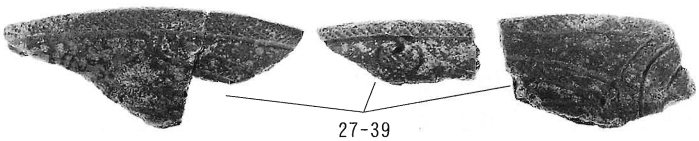
写真図版40

26-20

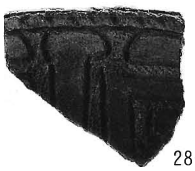
26-21

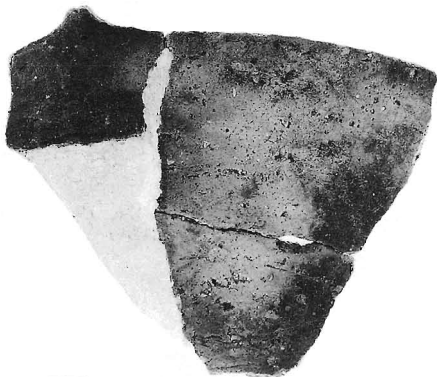
27-40

27-37


27-39

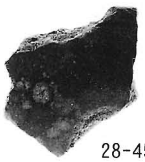
27-38


28-41


28-42

28-44（内面）

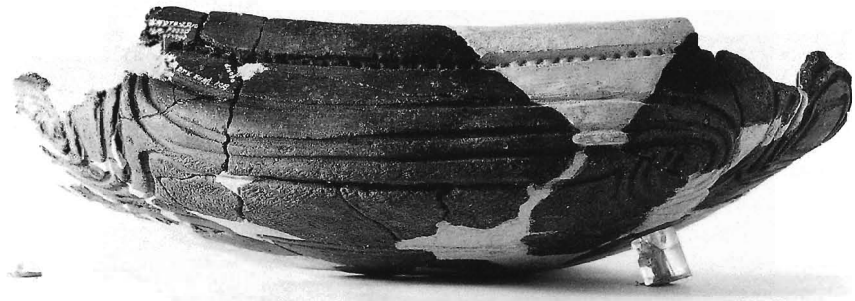
28-43


28-45

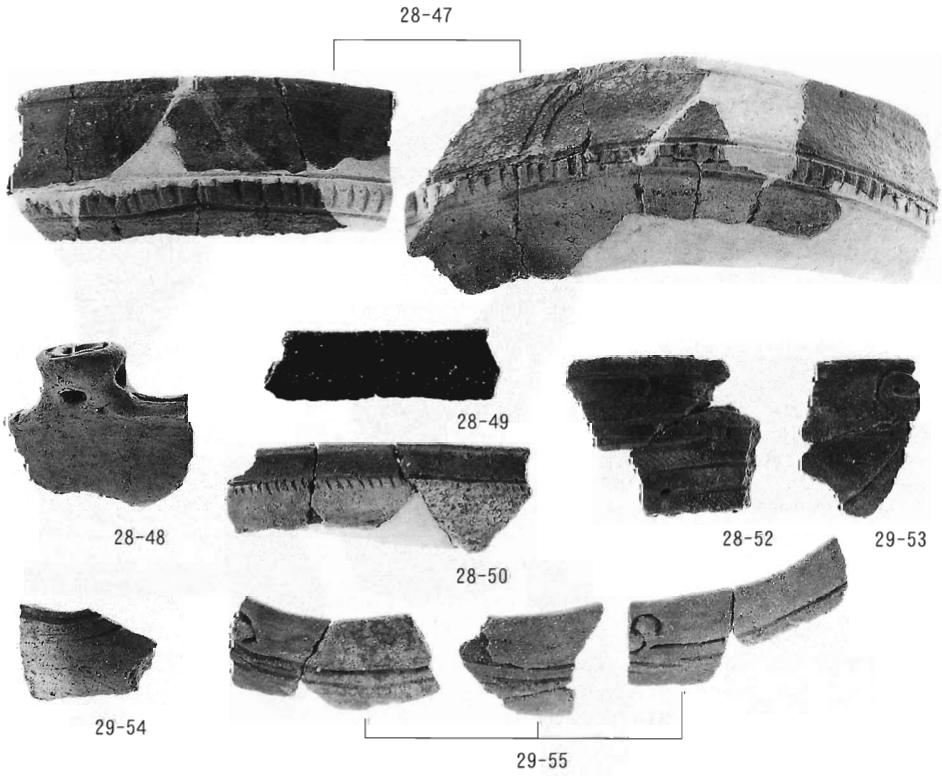
28-46

土器溜まり１－２出土土器（３）

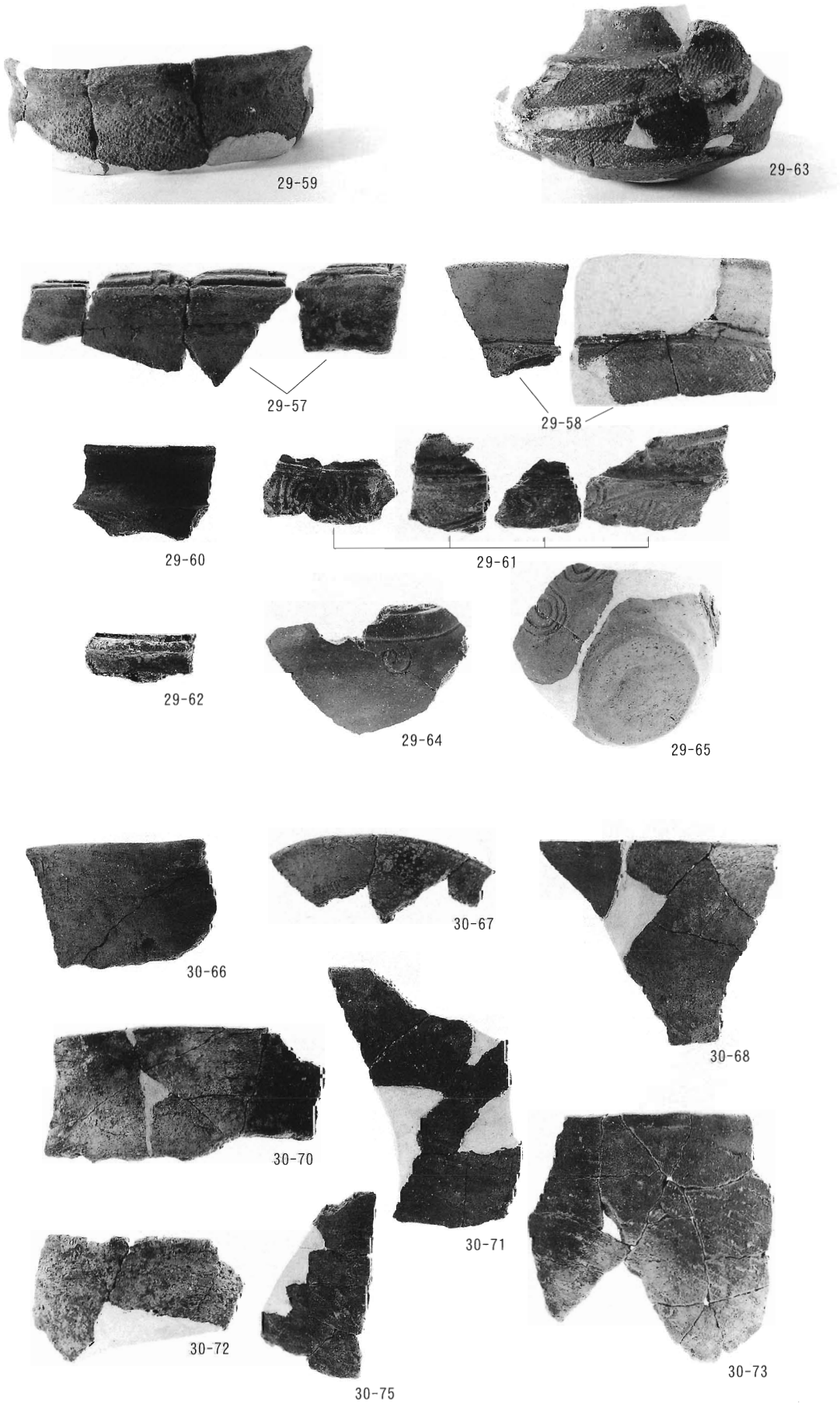
28-51



29-56



土器溜まり１－２出土土器（４）

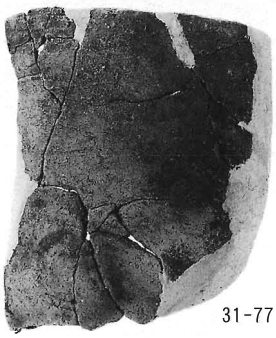


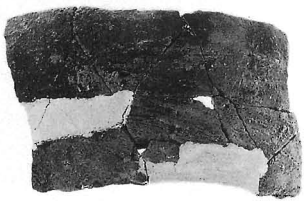
土器溜まり１－２出土土器（５）

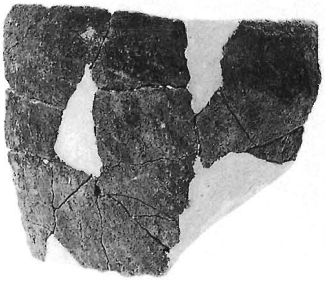
30-69

30-74

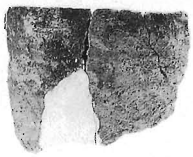
30-76

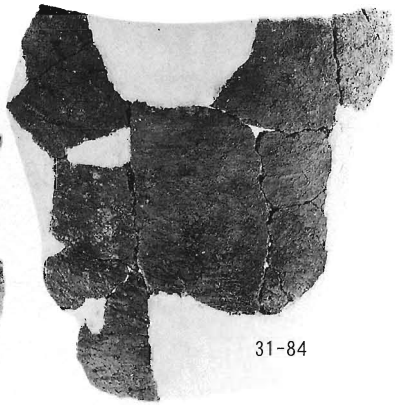

31-77


31-81


31-82

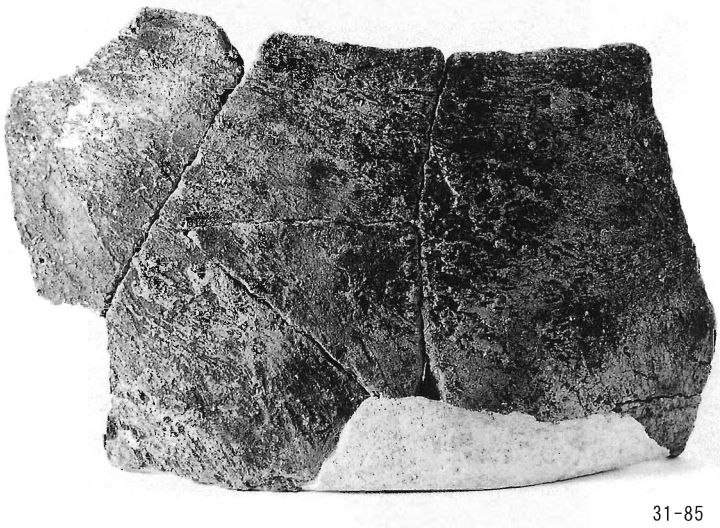
31-83


32-87


31-84

土器溜まり１－２出土土器（６）

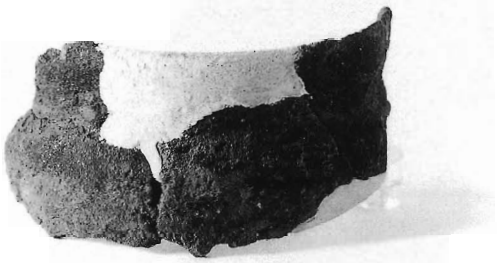
31-78



31-85

34-116

土器溜まり１－２出土土器（７）

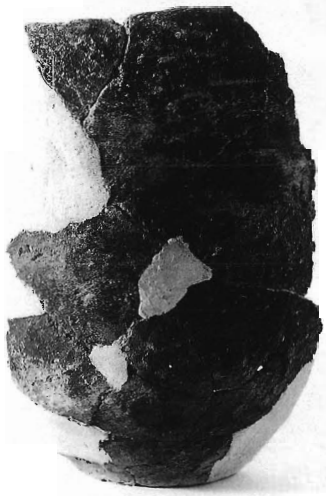


31-79

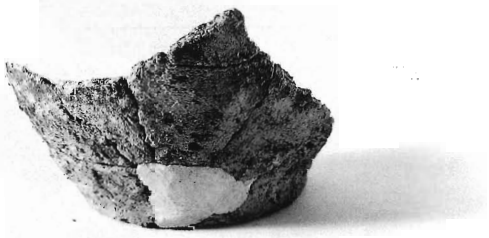
31-80

32-86

32-92

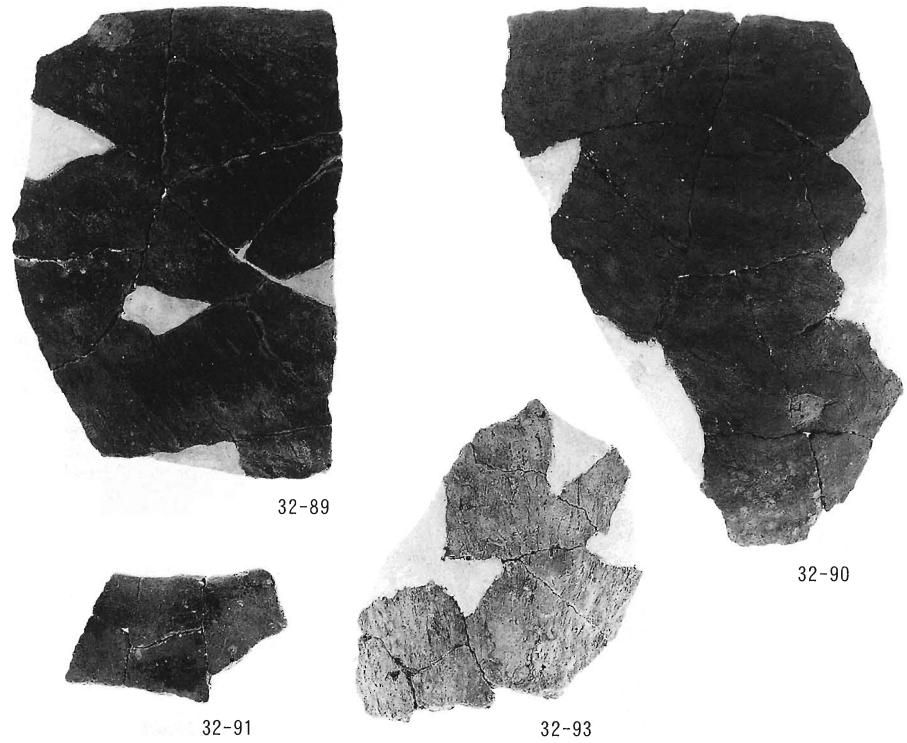


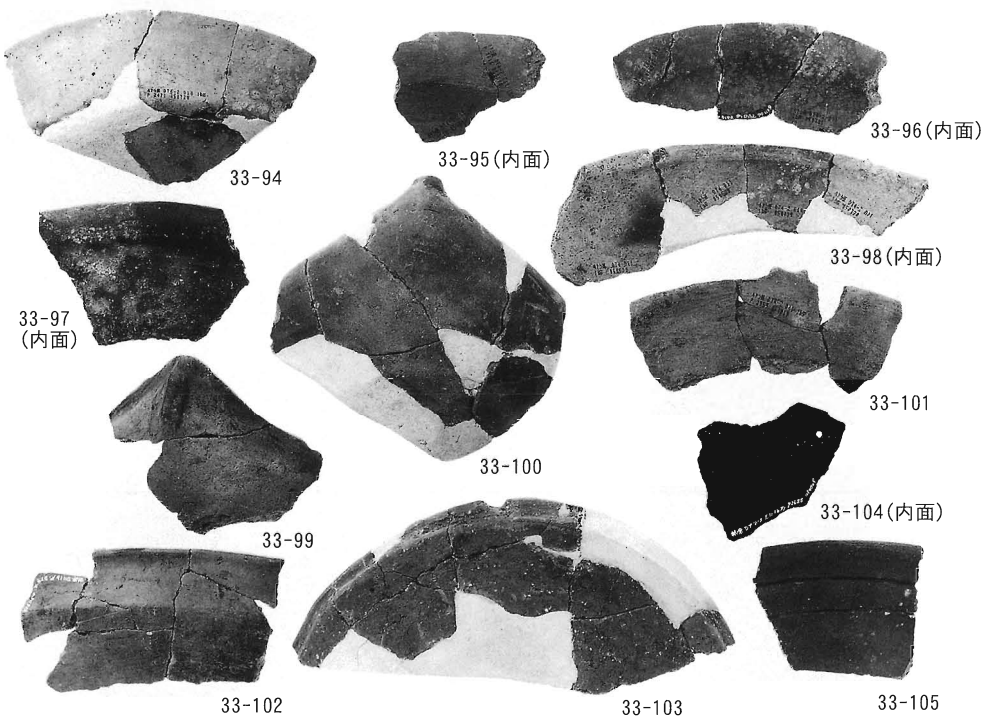
32-88



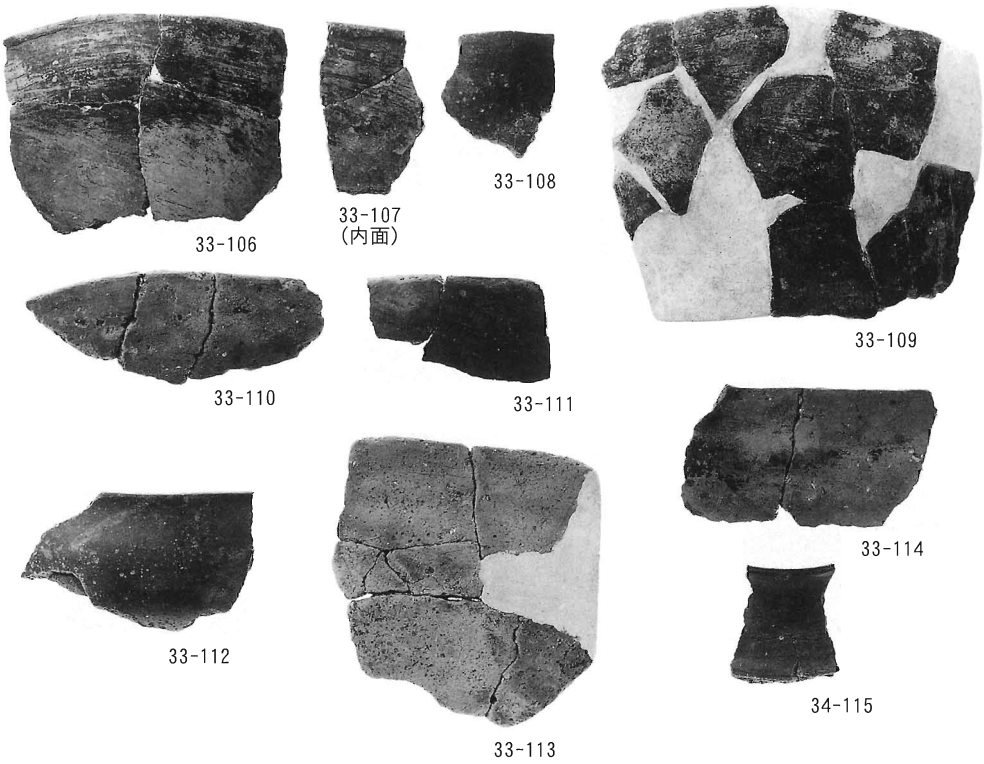
34-118

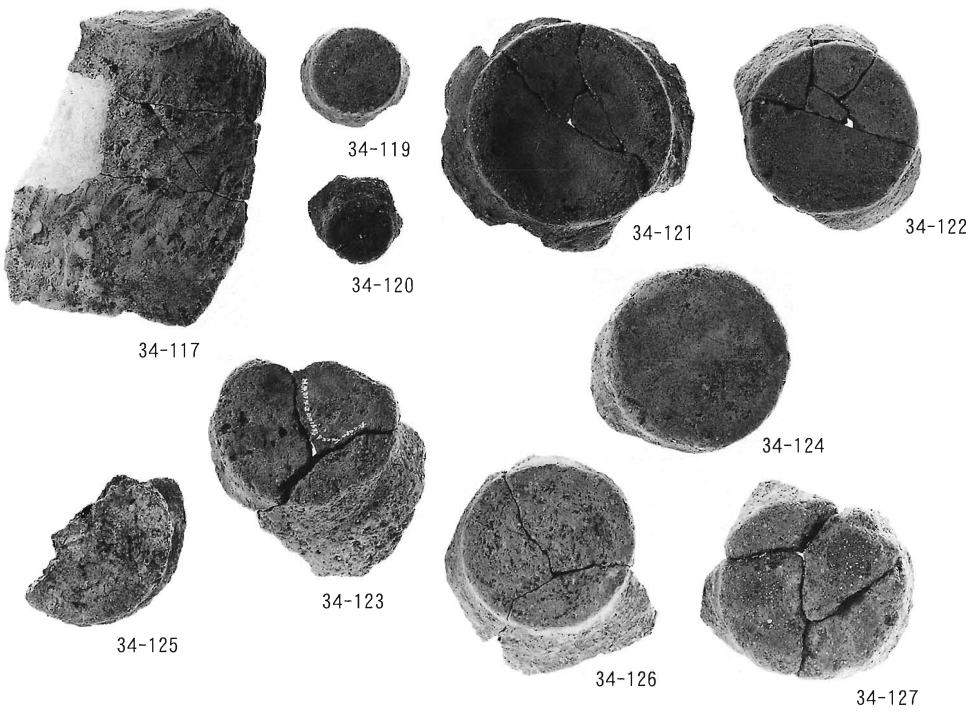
土器溜まり１－２出土土器（８）



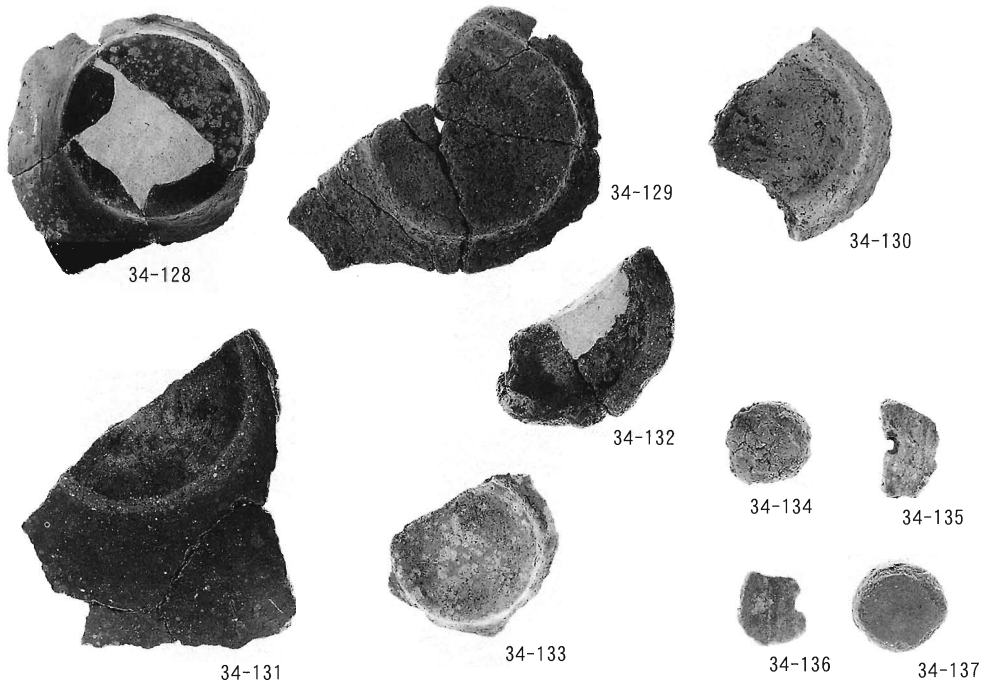


土器溜まり１－２出土土器（９）

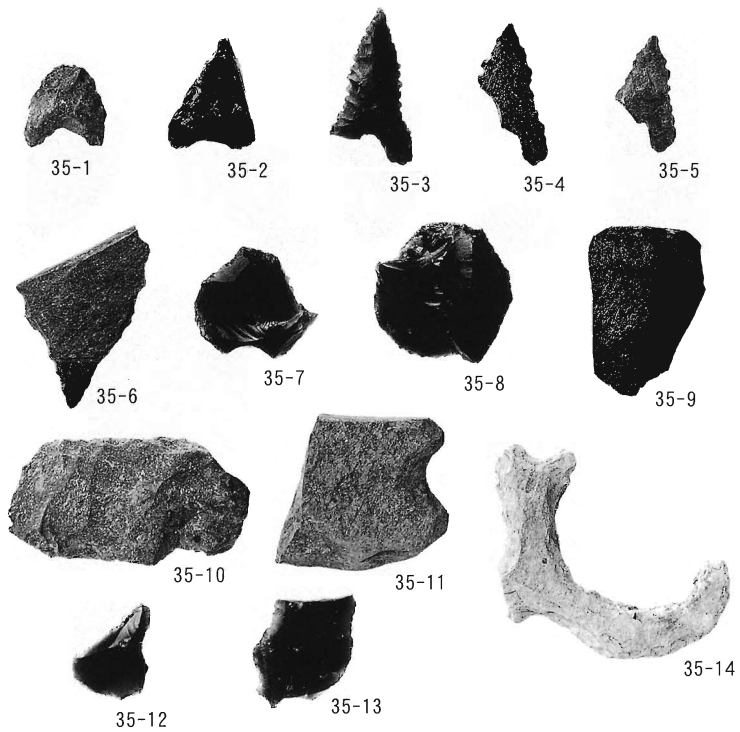




土器溜まり１－２出土土器（10）



土器溜まり１－２出土土器（11）



土器溜まり１－２出土石器（１）